

市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事

図面リスト

意匠図		構造図		機械設備図			
図面No.	図面名称	図面No.	図面名称	図面No.	図面名称		
A-01	工事タイトル・図面リスト	A-31	B棟 1階 荷受・配膳室 平面詳細 (既存・改修)	S-01	構造設計標準仕様書	M-01	凡例・器具表・機器表・プロパン庫改修図
-02	特記仕様書-1	-32	B棟 1階 荷受・配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-02	鉄筋コンクリート構造配筋詳細図 (1)	-02	各階平面図
-03	特記仕様書-2	-33	B棟 1階 荷受・配膳室 展開図-1 (既存)	-03	鉄筋コンクリート構造配筋詳細図 (2)	-03	衛生設備 A棟 1階平面図 (改修前・後)
-04	特記仕様書-3	-34	B棟 1階 荷受・配膳室 展開図-2 (改修)	-04	鉄骨構造標準図 (1)	-04	衛生設備 A棟 2・3階平面図 (改修前・後)
-05	特記仕様書-4	-35	B棟 1階 ホール(荷揚室) 平面詳細図 (既存・改修)	-05	鉄骨構造標準図 (2)	-05	衛生設備 B棟 1階平面図 (改修前・後)
-06	特記仕様書-5	-36	B棟 1階 ホール(荷揚室) 天井伏図 (既存・改修)	-06	A棟 基礎、1階床伏図	-06	衛生設備 B棟 1・2階平面図 (改修前・後)
-07	特記仕様書-6	-37	B棟 1階 ホール(荷揚室) 展開図 (既存・改修)	-07	2階床、3階床伏図	-07	衛生設備 B棟 3・4階平面図 (改修前・後)
-08	付近見取り図、工事概要、配置図	-38	B棟 2階 配膳室 平面詳細図 (既存・改修)	-08	3階+2100(機械室)、R階床伏図	M-08	空調設備 各階平面図 (改修前・後)
-09	A棟 仕上表	-39	B棟 2階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-09	断面図		
-10	A棟 1階平面図 (既存・改修)	-40	B棟 2階 配膳室 展開図 (既存・改修)	-10	構造詳細図 (大梁、鉄骨リスト)		
-11	A棟 2階平面図 (既存・改修)	-41	B棟 3・4階 配膳室 平面詳細図 (既存・改修)	-11	基礎配筋図		
-12	A棟 3階平面図 (既存・改修)	-42	B棟 3・4階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-12	B棟 基礎、1階床、2階床伏図		
-13	A棟 1階 ホール(荷揚室) 平面詳細図 (既存・改修)	-43	B棟 3・4階 配膳室 展開図 (既存・改修)	-13	3階床、4階床伏図		
-14	A棟 1階 ホール(荷揚室) 天井伏図 (既存・改修)	-44	B棟 1階 ホール(荷揚室)、2・3・4階 配膳室 矩計図 (既存・改修)	-14	4階+2100(機械室)、R階床伏図		
-15	A棟 1階 ホール(荷揚室) 展開図 (既存・改修)	-45	B棟 昇降路 平面・断面詳細図	-15	断面図		
-16	A棟 2階 配膳室 平面詳細図 (既存・改修)	-46	B棟 プラットホーム 改修図-1 (全体平面図 既存・改修)	-16	構造詳細図 (大梁、鉄骨リスト)		
-17	A棟 2階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-47	B棟 プラットホーム 改修図-2 (平面・断面詳細図 既存・改修)	-17	基礎配筋図		
-18	A棟 2階 配膳室 展開図 (既存・改修)	-48	B棟 プラットホーム 改修図-3 (雑詳細図)	-18	1階 荷受・配膳室 コンクリートスラブ復旧配筋図		
-19	A棟 3階 配膳室 平面詳細図 (既存・改修)	-49	建具表	S-19	A、B棟 スラブ補助梁取付詳細図		
-20	A棟 3階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-50	雑詳細図-1				
-21	A棟 3階 配膳室 展開図 (既存・改修)	-51	雑詳細図-2				
-22	A棟 1階 ホール(荷揚室)下 消火水槽改修図-1 (既存・改修)	-52	雑詳細図-3				
-23	A棟 1階 ホール(荷揚室)下 消火水槽改修図-2 (既存・改修)	-53	雑詳細図-4				
-24	A棟 1階 ホール(荷揚室)、2・3階 配膳室 矩計図 (既存・改修)	-54	その他工事 ガラス 改修図				
-25	A棟 昇降路 平面・断面詳細図	-55	その他工事 石油庫 改修図				
-26	B棟 仕上表	-56	その他工事 プロパン庫 改修図				
-27	B棟 1階平面図 (既存・改修)	-57	仮設計画図-1 (その他工事配置図)				
-28	B棟 2階平面図 (既存・改修)	-58	仮設計画図-2 (A棟 各階平面図) ※参考図				
-29	B棟 3階平面図 (既存・改修)	A-59	仮設計画図-3 (B棟 各階平面図) ※参考図				
A-30	B棟 4階平面図 (既存・改修)						

特記仕様書
1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。
2. 本特記仕様書における採用事項
① 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。
② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。
③ 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。
3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。
4. その他事項

項目 特記事項
1. 仮設閉鎖切り
2. 監査員事務所等
3. 工事用水及び電力
1. 一般事項
2. 既存防水層の処理
3. アスファルト防水
4. シーリング改修工法の種類

項目 特記事項
3. 防水改修工事
3.1 種別及び工程
3.2 材料
3.3 種別及び工程
3.4 材料
3.5 保護層等の施工

項目 特記事項
3. 防水改修工事
3.1 種別及び工程
3.2 材料
3.3 種別及び工程
3.4 材料
3.5 保護層等の施工
3.6 遮熱防水

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). It details exterior renovation work including concrete repair, waterproofing, and material specifications.

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). It details interior renovation work including wall treatments, floor coverings, and material specifications.

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). It details roof and exterior wall work, including waterproofing, insulation, and material specifications.

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). It details window and door specifications, including material types, performance standards, and installation methods.

Table with columns: 項目, 特記事項. Contains technical specifications for automatic door opening devices, sensors, shutters, and glass doors.

Table with columns: 項目, 特記事項. Contains specifications for various construction work items including painting, carpentry, and roof waterproofing.

Table with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed specifications for wood and laminate materials, including strength, moisture content, and processing methods.

Table with columns: 項目, 特記事項. Contains specifications for floor and ceiling materials, including laminate flooring and acoustic tiles.

6章 内装改修工事	6.1 材料	①電圧防止床シート張り 種類： 性能：・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) 厚さ：・2.0mm・4.0mm・4.5mm ②電圧防止床タイル張り 種類： 性能：・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) 寸法厚さ：・300x300x2.0mm・500x500x3.0mm・図示 ③視覚障害者用床タイル張り 種類：・合成ゴム貼付用・合成ゴム埋込用・合成ゴム表面ON ・せつ器装イタ・コンクリート 厚さ：・2mm・15mm・20mm・30mm ④耐衝撃性床シート張り 種類：①抗菌 厚さ：②2.0mm ⑤防滑性床シート張り 種類：①コイン 厚さ：②2.5mm ⑥防滑性床タイル張り 種類： 寸法厚さ：・300x300x2.0mm・500x500x3.0mm・図示 ビニル幅木の厚み：①1.5mm以上 ビニル幅木の長さ：①60mm②100mm③300mm 下地の工法：※標準仕様書6.8.3(1)による①図示 目地処理場合の工法：※熱溶接工法・図示
		9. カーペット敷き ①織じゅうたん 種別：・A種・B種・C種 パイル形状：・カットパイル・ブレードパイル・カット/ブレード併用 色柄：※無地・柄物 帯電性の適用：・適用しない・適用する(人体帯電圧：※3kV以下) ②タフテッドカーペット パイル形状：・ブレードパイル パイル長：・図示・mm ③ニードルパンチカーペット 厚さ：・4mm・7mm ④タイルカーペット パイル形状 種類 寸法(mm) 総厚さ(mm) ・ブレードパイル ※第1種 ※500x500 ※6.5 ・カットパイル ・カット/ブレード併用
		⑤下敷き材 下敷き材：※反毛フェルト第2種2号(厚9mm) タフテッドカーペットの工法：・「グリッド」工法・全面接着工法 織じゅうたんの接着方法：※「ドット」工法・手縫い(づり縫い) タイルカーペットの敷き方(平場)：※松敷き (階段部分)：※横線流し
		10. 合成樹脂塗床 種類 仕上げ種類 備考 ・弾性ウレタン塗床材 ※平滑・防滑・つや消し F☆☆☆☆ ・球状樹脂塗床材 ・薄膜流し展べ ・厚膜流し展べ：※平滑・防滑 ・樹脂モルタル：・平滑・防滑

6章 内装改修工事	6.2 材料	13. セッコウボード、その他ボード及び合板張り 規格名称 種類 記号 厚さ(mm) 木質系セッコウボード ・木毛セッコウボード ・木片セッコウボード ・HF・NF ・HF・NF せッコウボード製品 ①せッコウボード ・シーツグせッコウボード ②強化せッコウボード ・せッコウボード ③化粧せッコウボード(19mm厚) ・化粧せッコウボード ・吸音穴あきせッコウボード ・不燃紙裏打 繊維強化セッコウボード ④酸化カルシウム板(タイ2) ⑤酸化カルシウム板(防汚) ⑥酸化カルシウム板 ・RS・VS ・DV・DO・DC 火山性ガラス繊維層板(VS*ボード) ⑦合板 材種 樹種、防虫・難燃・防蟻処理等 厚さ(mm) 工法 ・難燃合板 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワック ・不透明塗料塗りの場合 ・ワック【1級・2級】 ⑧普通合板 ⑨ワック ⑩1類 ・4・5.5 ・A種 ⑪2類 ・6 ⑫2 ・B種 ⑬捨張り用合板 ・南洋材 ・型枠用 ・針葉樹 ・構造用 ⑭有孔合板 ・ワック ・1類 ・4・5.5 ・A種 ⑮2類 ・ワック ・高冷紗裏打 ・B種 ⑯天然木化粧合板 化粧単板のそば包み ・行方 ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ⑰特殊加工化粧合板 表面仕上げの種類 ・ワック ・ワック 普通合板の防虫処理：※行わない・行方 天然木化粧合板の防虫処理：※行わない・行方 特殊加工化粧合板の防虫処理：※行わない・行方 せッコウボードの目地処理：・継目処理工法 ①目透し工法 ②突付け工法 遮音シール材：・ワック系シール材 ・ジョイントセム	
		14.2 材料	14. 壁紙張り 防火性能の指定：・下表による・図示 品質 検定区分 施工箇所 ・ワック系 1級・2級 ・織物系 1級・3級・4級 ・プラスチック系 1級・2級
		14.3 施工	モルタル面及びプラスター面の下地調整：・RA種 ※RB種・RC種 コンクリート面の下地調整：・RA種 ※RB種・RC種 せッコウボード及びその他ボード面の下地調整：・RA種 ※RB種・RC種
		15.3 材料	15. モルタル塗り モルタル：・現場調合材料・既調合材料 既製目地：・適用・不適用 既製目地の形状寸法等：・図示 床の目地：・設ける・設けない 工法：※押し目地・切り目地 16. タイル張り 伸縮調整目地の位置：※4m(縦・横)・図示

6章 内装改修工事	6.3 工法	16.4 有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類：・図示・下表による 施工箇所 形式・形状寸法(mm) 用途による区分 耐凍害性 色 釉薬 備考 有 無 標準 特注 施粘 無粘 ①タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行方 タイルの試験張り：・行方 壁タイル張り工法：・改良積上張り 17. セルフレベリング材塗り 品質：・セメント系・せッコウ系 厚さ：・10mm・図示	
		7.2 材料	7.2 材料 1. 共通事項 塗料の防火材料の指定：・図示 2. 下地調整 塗装面の種類 種別 木部(不透明塗料塗部) ※A種(新規面)・RB種(塗替え面)・RC種 木部(透明系塗料塗部) ・RA種 ※RB種・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種・RC種 亜鉛めっき鋼面 ・RA種 ※RB種・RC種 モルタル・プラスター ・RA種 ※RB種・RC種 コンクリート・ALCパネル ・RA種 ※RB種・RC種 押出成形セメント板 ・RA種・RB種・RC種 せッコウその他のボード 継目処理工法の場合：・RA種・RB種・RC種 その他の場合：・RA種 ※RB種・RC種
		7.3 材料	3. 錆止め塗料塗り 鉄鋼面：④A種(屋外) ⑤B種(屋内) 鉄鋼面(上塗りEP-Gの場合)：・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面：※A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面(上塗りEP-Gの場合)：・A種・B種 ※C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法：※A種・B種・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法：・A種 ※B種・C種 鉄鋼面塗替え部分工法：・A種・B種 ※C種
		7.4 材料	4. 合成樹脂塗料塗り(SOP) 種別：※1種・2種 木部の種別(新規外部)：※A種・B種 木部の種別(新規内部)：・A種 ※B種 木部の種別(多孔隙広葉樹)：・A種・B種 木部の種別(塗替え)：・A種 ※B種 鉄鋼面の種別：・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面の種別(塗替え)：※A種・B種 亜鉛めっき鋼面の種別(新規)：・A種 ※B種

7章 塗装改修工事	7.1 材料	10. ***塗料塗り 11.2 ***塗料塗り 12.2 ***塗料塗り 13.2 ***塗料塗り 14.2 ***塗料塗り 1.0. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 種別：・A種 ※B種・C種 塗替えの場合のしり止め：・標準仕様書7.13.2(b)による・図示 1.1. 合成樹脂エマルジョン塗料塗り(EP-T) コンクリート面及びモルタル面の種別：・A種 ※B種・C種 プラスター面の種別：・A種 ※B種・C種 せッコウボード等の種別：・A種 ※B種・C種 1.2. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別：・A種 ※B種 1.3. オイルステイン塗り(OS) 塗料の種別：・図示 1.4. 木材保護塗料塗り(WP) 種別：・A種 ※B種	
		7.2 材料	1. 共通事項 ・本章の事項は構造特記仕様による ・本章の事項は構造特記仕様による ・本章の事項は構造特記仕様による コンクリートの種別：※1類・2類 使用骨材による種別：・普通コンクリート(下表による)・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) 備考 ・構造躯体(基礎～階) 30 ・構造躯体(階～階) 24 ・構造躯体(階～階) 21 ・捨てコンクリート ・18・21 使用骨材による種別：・軽量コンクリート(下表による)・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) 備考 ・18・21 ・18・21 ・18・21
		7.3 材料	スランプ：※18cm ④図示 コンクリート部材の許容差及び測定方法：・標準仕様書8.1.4(d)(1)による 打放し仕上げの種別(合着せき板を用いる場合) 施工部位 種別 備考 ・化粧打放し部 A種 ⑤打放し補修下部(地上見え隠れ) A種 ⑥基礎部(見え隠れ) C種 コンクリートの仕上げの平坦さ：・e種・b種・c種 製作工場のグレードは下記同等以上で大径認定された工場とする： ・Sグレード・Mグレード・Mグレード・Rグレード・Jグレード 施工管理技術者の配置：・する・しない
		7.4 材料	2. 材料 鉄筋の種類：・SR295 ⑥SD295A・SD295B・SD345・SD390 ⑦構造特記仕様による 溶接金網の寸法、径：⑧φ6x150x150・φ6x100x100・φ4.5x50x50 ⑨構造特記仕様による あと施工アンカーの種類：⑩金鳳系アンカー ⑪接着系アンカー 引張耐力：・図示 せん断耐力：・図示 アンカー本体の径：・図示 アンカー本体の埋込深さ：・図示 アンカー本体のセット方式：・図示 ※本体打込み式改良型 接合筋の径及び長さ：・図示 ⑫接着系アンカー 引張耐力：・図示 せん断耐力：・図示 アンカーの種類：・図示 アンカー筋の径：・図示 アンカー筋の埋込深さ：・図示 アンカー筋の種類：・図示 ※異形棒鋼 アンカー筋の新設壁内への定着長さ：・図示 あと施工アンカーの性能確認試験：・行方 ⑬あと施工アンカー使用材料は監督員の承諾を得たものとする セメントの種類：※普通セメント ※混合セメント ※高炉セメント ※747セメント フェロニッケル系スラグ骨材の使用：・使用する・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A・B スラグ骨材の使用：・使用する・使用しない 電気炉酸化スラグ骨材の使用：・使用する・使用しない 混和剤：・AE剤・AE減水剤・高性能AE減水剤 混和剤：・747セメント・高炉セメント・膨張剤 引張耐力：・図示

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

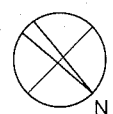
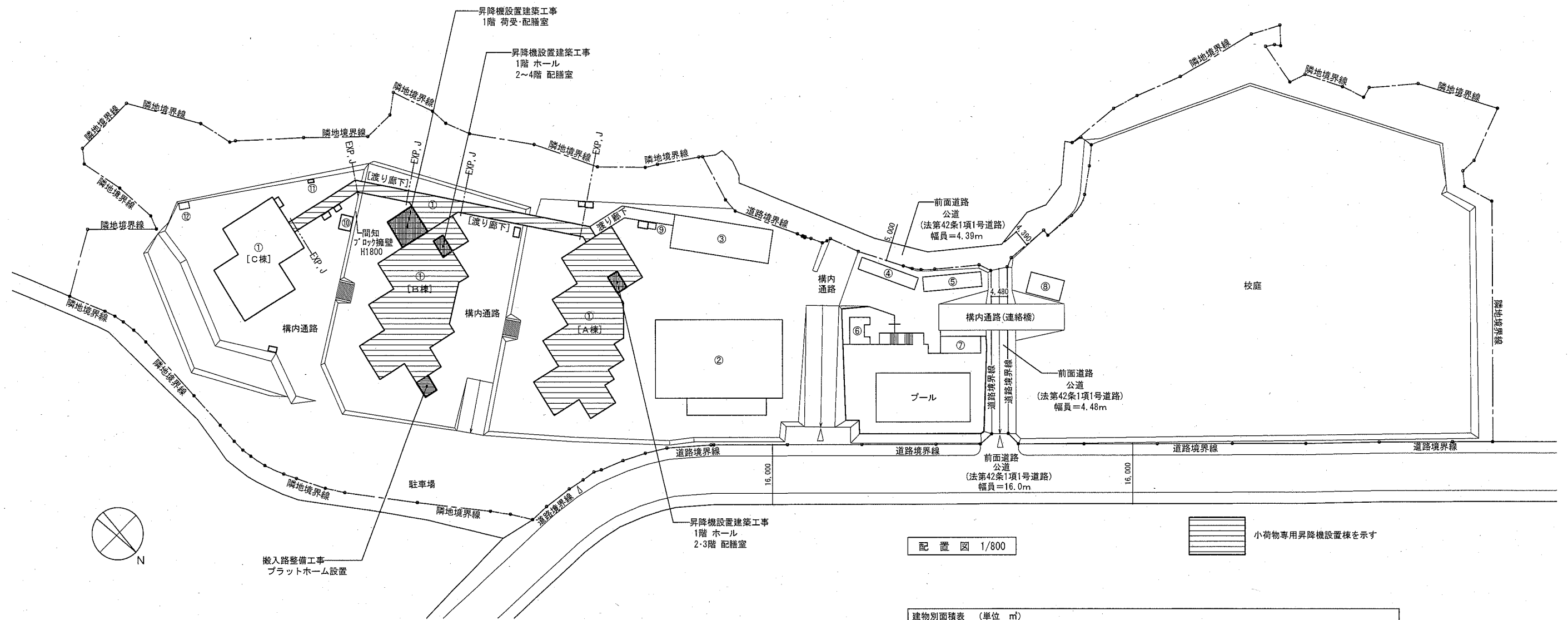
工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 特記仕様書-4

縮尺
A-05
No.

<p>8章 耐震改修工事(外構・その他)</p> <p>2.6 構造体用材料の材料及び適合</p> <p>2.7 型枠の材料</p> <p>2.8 鋼材</p> <p>2.9 高力ボルト</p> <p>2.10 溶接材料</p> <p>2.11 鋼材</p> <p>2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等</p> <p>2.13 鋼材の材料試験等</p> <p>2.14 基礎工事に用いる材料</p> <p>2.15 継手及び定着</p> <p>2.16 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <p>3.7 壁の配筋及び補強</p> <p>3.8 ガス圧接</p> <p>4.2 機械式継手</p> <p>4.3 溶接継手</p> <p>7.8 型枠工事</p> <p>9.1 一般事項</p> <p>10.2 材料及び適合</p>	<p>特記事項</p> <p>モルタルの圧縮強度: 示す・18N/mm²</p> <p>モルタルのフロー層: 示す・180mm未満・180mm以上240mm未満・240mm以上</p> <p>型枠の材料等: 下表による・示す</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別・厚さ</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>合板</td> <td>「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm</td> <td>※複合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td> <td>※南洋材</td> </tr> <tr> <td></td> <td>床型用鋼製「オボレ」プレート</td> <td>・針葉材</td> </tr> </table> <p>スリーブ: ①溶融亜鉛めっき鋼管・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管・つば付き鋼管・鋼管・紐テープ</p> <p>鋼材の材質: 下表による・示す ①構造特記仕様書による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>材質(種類の記号)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>構造躯体</td> <td>SS400 SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造躯体(階～階)</td> <td>SM490A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造躯体(階～階)</td> <td>STKR400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>BCR295</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SN400C SN400A</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋼材の形状及び寸法: 示す</p> <p>種類: M77型高力ボルト2種(S10T)・JISの高力ボルト2種(F10T)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) ①構造特記仕様書による</p> <p>高力ボルトの径: 示す</p> <p>表2.9以外の溶接材料: 示す</p> <p>スタッドの規格、形状、寸法等: 下表による・示す ①構造特記仕様書による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>規格番号</th> <th>形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>2階床より上部各階床スラブ</td> <td>JIS B 1198</td> <td></td> <td>・形状、寸法は示す</td> </tr> <tr> <td>・腰梁スラブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>柱底均しモルタル: ①無取除モルタル 示す</p> <p>材料: 示す</p> <p>工法: 示す</p> <p>引張強度、ヤング係数等: 示す</p> <p>引張りを受ける鋼板の試験: 適用する・適用しない 示す</p> <p>抗の材料: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>抗の継手、工法等: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>3. 鉄筋の加工及び組立</p> <p>継手の種類: ①重ね継手・ガサ圧接継手・機械継手 ②構造特記仕様書による</p> <p>継手の位置: 示す</p> <p>主筋の重ね継手長さ: ①標準仕様書8.3.4(3)(7)による 示す</p> <p>耐力鉄筋の重ね継手長さ: ①標準仕様書8.3.4(3)(7)による 示す</p> <p>先組み工法等の継手の位置: 示す</p> <p>柱への梁引張り鉄筋の定着長さ: ①標準仕様書8.3.4(4)による 示す</p> <p>鉄筋等のかぶり厚さ: ①標準仕様書8.3.6による 示す</p> <p>土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合): 示す・40mm・50mm・60mm ①構造特記仕様書による</p> <p>塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: 示す</p> <p>壁の配筋: 示す</p> <p>開口部の補強筋: 示す</p> <p>抜取試験の方法: ①超音波探傷試験・引張試験</p> <p>4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手</p> <p>機械式継手の種類: 示す</p> <p>機械式継手の工法及び品質の確認方法等: 示す・施工計画による品質計画</p> <p>溶接継手の工法: 示す ①構造特記仕様書による</p> <p>溶接継手の工法及び品質の確認方法等: 示す・施工計画による品質計画</p> <p>不良継手部の修正方法: 示す・施工計画による品質計画</p> <p>7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め</p> <p>外部に面する打直し仕上げの増打厚さ: 25mm・20mm・15mm</p> <p>型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用: 適用する・適用しない</p> <p>9. 軽量コンクリート</p> <p>土に接する軽量コンクリートの使用: 使用する【使用箇所: 示す】</p> <p>水に接する軽量コンクリートの使用: 使用する【使用箇所: 示す】</p> <p>軽量コンクリート種類: 下表による 示す</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・1種・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1種・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1種・2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>所要気乾単位容積重量: 示す kN/m³</p> <p>所要スランプ: ①21cm・18cm</p> <p>10. 露中コンクリート</p> <p>構造体強度補正値(S): ①6 N/mm²</p>	種類	種別・厚さ	材質	合板	「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合		「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材		床型用鋼製「オボレ」プレート	・針葉材	施工部位	材質(種類の記号)	備考	構造躯体	SS400 SS400		構造躯体(階～階)	SM490A		構造躯体(階～階)	STKR400			BCR295			SN400C SN400A		施工部位	規格番号	形状、寸法	備考	2階床より上部各階床スラブ	JIS B 1198		・形状、寸法は示す	・腰梁スラブ				施工部位	種類	備考	・屋上防水押え	・1種・2種			・1種・2種			・1種・2種		<p>11.1 一般事項</p> <p>1.1. 無筋コンクリート</p> <p>コンクリートの種別: ※I類・II類・その他</p> <p>適用箇所: 下表による・示す</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※18・21</td> <td>※15以下 ※18以下</td> </tr> </table> <p>1.2. あと施工アンカー工事</p> <p>埋込配管等の調査方法: 電磁波レーダ方式・電磁波誘導法 示す</p> <p>施工確認試験: ①引張試験機による引張試験 示す</p> <p>試験の箇所数: ①3本/10㎡(径及び仕様毎)・全数 示す</p> <p>1ロットの定着: ①1日に施工されたアンカー(径及び仕様毎) 示す</p> <p>1.3. 鉄骨工作</p> <p>仮組の実施: 行わない・行う</p> <p>1.4. 高力ボルト接合</p> <p>すべり係数試験の実施: 行わない・行う</p> <p>試験の方法、試験片の摩擦面の状態: 示す</p> <p>ボルト長さかおじの呼びの5倍をJIS規格のボルト回転数の回転量: 120°</p> <p>1.5. 溶接接合</p> <p>溶接技能者の技量付加試験: 行わない・行う</p> <p>開先形状: 示す</p> <p>エンドタブの切除の有無: 有り・無し</p> <p>【エンドタブの切除の適用箇所: 示す】</p> <p>スカラップの形状: 示す</p> <p>溶接部の外観試験: ①告示第1464号第二号による試験: 示す</p> <p>②JASS 6 別冊6(付表3「溶接」): 示す</p> <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験: 適用する・適用しない</p> <p>③工場溶接の場合</p> <p>製作工場の社内検査: 行わない ④示す(全数検査を行い試験結果報告書を出す)</p> <p>第三者機関による検査: ①示す・行わない</p> <p>15.12 溶接部の試験</p> <p>④工場溶接の場合</p> <p>A O Q L: 2.5% ※4.0%</p> <p>検査水準: ①第1水準・第2水準・第3水準・第4水準・第5水準 ②第6水準</p> <p>⑤工事現場溶接の場合</p> <p>第三者機関による検査: ①示す・行わない</p> <p>A O Q L: 2.5% ※4.0%</p> <p>放射線透過試験: 適用する・適用しない</p> <p>17.4 塗料の種類</p> <p>SRC造の鋼製スリーブ(鉄骨に溶接されたもの)の内面:</p> <p>示す・標準仕様書 表7.3.1【A種・B種・C種】</p> <p>耐火被覆材の接着面: 示す・標準仕様書 表7.3.1【A種・B種・C種】</p> <p>1.8. 耐火被覆</p> <p>耐火被覆材の種類及び性能: 示す</p> <p>耐火被覆材の工法: 示す・吹付工法・巻付け工法</p> <p>耐火被覆の耐火性能: 示す・建築基準法に基づく所定の性能</p> <p>20. 溶融亜鉛めっき工法</p> <p>摩擦面の処理: ①8.20.5(1)(7) ②8.20.5(1)(4)</p> <p>③構造特記仕様書による 示す</p> <p>すべり係数試験の実施: 行わない・行う</p> <p>試験の方法、試験片の摩擦面の状態: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>2.1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</p> <p>既存仕上げの撤去範囲: ①標準仕様書8.21.2(1)(7)による 協議による</p> <p>設備配管等の撤去範囲: ①標準仕様書8.21.2(1)(4)による</p> <p>設備配管等の移設範囲等: ①標準仕様書8.21.2(1)(4)による</p> <p>既存構造体の撤去範囲: 示す・協議による</p> <p>既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置: 示す</p> <p>既存部分の目黒しの程度: 示す</p> <p>②載荷試験</p> <p>打込み工法: 流込み工法・圧入工法 示す</p> <p>既存構造体と増設壁との取合い: ①標準仕様書8.21.9による 示す</p> <p>増設後の仕上げ: 示す</p> <p>2.2. 鉄骨プレースの設置工事</p> <p>割製補強筋の仕様: 示す</p> <p>プレース設置後の仕上げ: 示す</p> <p>2.3. 柱補強工事</p> <p>工法の種別: 構造特記仕様書による</p> <p>・溶接金網巻き工法・溶接閉鎖7-7巻き工法</p> <p>・鋼板巻き工法・帯板巻き付け工法</p>	施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ		※18・21	※15以下 ※18以下	<p>23.5 溶接金網巻き工法</p> <p>外部に面する打直し仕上げの増打厚さ: 25mm・20mm・15mm</p> <p>型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用: 適用する・適用しない</p> <p>打込み工法: 流込み工法・圧入工法 示す</p> <p>工法の種別: 鋼板巻き工法・帯板巻き付け工法</p> <p>柱脚の隙間: 示す・設かない・設ける</p> <p>柱頭の隙間: 示す・設かない・設ける</p> <p>補強工事後の仕上げ: 示す</p> <p>2.4. 連続繊維補強工事</p> <p>ひび割れ部の改修工法: ①標準仕様書4.1.4に準ずる 示す</p> <p>柱の隅角部の面取りの形状、寸法: 示す</p> <p>連続繊維補強材の引張強度試験の数量: 示す</p> <p>連続繊維補強材の付着強度試験の数量: 示す</p> <p>補強工事後の仕上げ: 示す</p> <p>2.5. 耐震スリット新設工事</p> <p>スリットの幅、及び長さ: 示す</p> <p>耐火充填材の仕様箇所、及び仕様: 示す</p> <p>遮音充填材の仕様箇所、及び仕様: 示す</p> <p>2.6. 免震改修工事</p> <p>支束材の材質等: 示す</p> <p>減衰材の材質等: 示す</p> <p>性能確認試験の項目: 示す</p> <p>性能確認試験の数量: 示す</p> <p>製品検査の項目等: 示す</p> <p>材料の防錆処置: 示す ※製造所仕様による</p> <p>材料の設置位置寸法の許容差: 示す ※製造所仕様による</p> <p>割製補強筋の適用: 示す</p> <p>支束材又は減衰材設置後の仕上げ: 示す</p> <p>支束材への耐火被覆の適用及び仕様: 示す</p> <p>免震部(又は減衰部)に設置するエキスパンションジョイントの仕様及び工法: 示す ※製造所推奨仕様による</p> <p>検査の項目及び数量: ①検査項目は協議の上決定し、数量は全数とする 示す</p> <p>2.7. 制振改修工事</p> <p>既存鉄骨の撤去範囲及び方法: 示す</p> <p>既存鉄骨の処置: 示す</p> <p>減衰材の材質等: 示す</p> <p>性能確認試験の項目: 示す</p> <p>性能確認試験の数量: 示す</p> <p>製品検査の項目等: 示す</p> <p>材料の防錆処置: 示す ※製造所仕様による</p> <p>材料の設置位置寸法の許容差: 示す ※製造所仕様による</p> <p>別置の材料の種類、形状、寸法、数量等: 示す ※製造所仕様による</p> <p>割製補強筋の適用: 示す</p> <p>減衰材設置後の仕上げ: 示す</p> <p>検査の項目: 示す</p> <p>2.8. 土工事</p> <p>2.8.1 土工事及び地盤工事</p> <p>既存杭の撤去、方法等: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>既存杭の杭頭処理等: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>既存杭の補強: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>既存杭の試験: 構造特記仕様書による 示す</p> <p>①埋戻し及び盛土</p> <p>種別: A種・B種・C種・D種</p> <p>・搬入まさ土(砂礫等の混入のない良質なものをとし、水締め、機器による締固めとする)</p> <p>②建設発生土の処理</p> <p>・現場説明書による・構外搬出適切処理 ※構内指定場所堆積・構内指定場所敷均し</p> <p>・他現場に搬入()</p> <p>・指定処分地()</p> <p>③山留めの撤去</p> <p>・撤去・存置</p> <p>2.8.4 地盤工事</p> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置、本数、寸法: 示す</p> <p>④載荷試験</p> <p>載荷試験: 水平試験・鉛直試験</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重: 示す</p> <p>試験方法: 示す</p> <p>試験報告書の記載事項等: 示す</p> <p>⑤地盤の載荷試験</p> <p>載荷試験: 平板載荷試験</p> <p>試験の位置、載荷荷重: 示す</p> <p>試験方法: 示す</p> <p>試験報告書の記載事項等: 示す</p> <p>⑥杭地盤は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」4章【地盤工事】による。</p> <p>28.4 地盤工事</p>	<p>8章 耐震改修工事(外構・その他)</p> <p>8.4.4 地盤工事</p> <p>8.3.1 一般事項</p> <p>8.3.2 材料</p> <p>8.3.4 セメント</p> <p>8.3.5 特定埋設工法</p> <p>8.4.3 材料</p> <p>8.4.5 継手</p> <p>8.5.1 一般事項</p> <p>8.5.4 材料その他</p> <p>8.5.5 7-7スリット工法、7-7工法、7-7-7工法</p> <p>8.5.6 場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡張杭工法</p> <p>8.5.7 材料</p> <p>8.5.8 砂利及び砂地盤</p> <p>8.5.9 捨てコンクリート地盤</p> <p>8.5.10 床下防湿層</p> <p>9章 環境配慮改修工事</p> <p>9.1 一般事項</p> <p>1.3 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>1.5 石綿含有成形板の除去</p> <p>2.3 改修工法の種類及び工程</p> <p>3.2 材料</p> <p>3.3 既存外壁の処置</p> <p>8.3.3 既設コンクリート杭地盤</p> <p>工法の適用: セメント工法(4.3.4)・特定埋設工法(4.3.5)</p> <p>材料の強度等による区分:</p> <p>杭の寸法、継手の箇所数、杭先端形状: 示す</p> <p>支持地盤の位置、種類: 示す</p> <p>アースオーガーの支持地盤への掘削深さ: 示す</p> <p>杭の支持地盤への掘削深さ: 示す</p> <p>杭の水平方向の位置精度: 示す・100mm以内</p> <p>掘削液の管理試験: ①表4.3.11による</p> <p>杭間固定液の管理試験: ②表4.3.11による</p> <p>施工の種類: 示す</p> <p>支持地盤の位置、種類: 示す</p> <p>杭の水平方向の位置精度: 示す・100mm以内</p> <p>杭の継手の工法: 7-7溶接・無溶接継手(工法:)</p> <p>杭頭の処理方法: 示す</p> <p>4. 鋼杭地盤</p> <p>材料の種類: SKK400・SKK490・SHK400・SHK490M 示す</p> <p>杭の継手の工法: ①自動7-7溶接・半自動7-7溶接</p> <p>5. 場所打ちコンクリート杭地盤</p> <p>工法の適用: 7-7スリット工法(4.5.5)・7-7-7工法(4.5.5)・7-7-7-7工法(4.5.5)</p> <p>場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.6)・拡張杭工法(4.5.6) 示す</p> <p>帯筋の加工、組立: 示す</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ: 示す・60mm・mm</p> <p>鉄筋かごの補強: 示す</p> <p>組立鉄筋の節の継手: ①重ね継手 示す</p> <p>セメントの種類: 普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種・混合セメント 示す</p> <p>コンクリートの設計基準強度: Fc=21N/mm²・Fc=24N/mm² 示す</p> <p>コンクリートのスランプ: ①180mm・150mm 示す</p> <p>コンクリートの構造体強度補正値(S): 示す ※3N/mm²</p> <p>支持地盤の位置、種類: 示す</p> <p>杭孔壁の超音波測定: 行わない・行う</p> <p>杭の水平方向の位置精度: 示す・100mm以内</p> <p>支持地盤の位置、種類: 示す</p> <p>杭の水平方向の位置精度: 示す・100mm以内</p> <p>6. 砂利、捨てコンクリート地盤等</p> <p>砂地盤の種類: シルト・山砂・川砂・砕砂 ①再生砕石(RC-40)</p> <p>防湿層の材料: ①t=0.15mm</p> <p>砂利及び砂地盤の厚さ: 示す ※60mm・100mm・120mm・150mm</p> <p>捨てコンクリートの厚さ: 示す ※50mm・mm・120mm・150mm</p> <p>床下防湿層の適用: 適用しない・適用する 示す</p> <p>床下防湿層の範囲: 示す</p> <p>1. 石綿含有建材の除去工事</p> <p>①現場説明書による</p> <p>封じ込め処理: 適用しない・適用する【処理方法: 示す】</p> <p>埋込み処理: 適用しない・適用する【処理方法: 示す】</p> <p>石綿含有建材撤去後の仕上げ: 示す</p> <p>既存石綿含有建材の調査報告書: 有り【有与: 行う・行わない】・無し</p> <p>分析による石綿含有の調査: 行う・行わない</p> <p>分析による石綿含有の調査方法: JIS A 1481-2・JIS A 1481-3</p> <p>石綿粉じん濃度測定: 行う(測定箇所・測定方法を含め現場説明書による)・行わない</p> <p>石綿粉じん濃度測定箇所:</p> <p>石綿粉じん測定方法: ①空気中の繊維状粒子測定方法(JIS K 3850-1)</p> <p>除去工法: ①標準仕様書9.1.3(2)(7)による 示す・現場説明書による</p> <p>石綿含有吹付け材の根包: ①湿潤化・固形化 示す</p> <p>除去工法: ①標準仕様書9.1.5による 示す ②現場説明書による</p> <p>除去物の処理: ①密閉処理・密封固化 示す ②現場説明書による</p> <p>2. 断熱アスファルト防水改修工事</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PHR層上</td> <td>・P1B1/BI-1・BI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td>・R層上</td> <td>・P2A1/AI-1・AI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P0D1/DI-1・DI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1B1/BI-1・BI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M3D1/DI-1・DI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4D1/DI-1・DI-2</td> <td>断熱材: t=</td> </tr> </table> <p>3. 外断熱改修工事</p> <p>断熱材の種類及び厚さ: 示す</p> <p>外装材の種類及び防火性能: 示す</p> <p>既存外壁仕上げ材の撤去: 示す・全面撤去・部分撤去</p> <p>既存外壁下地面の清掃: 示す</p> <p>既存外壁下地欠損部の改修方法: 示す</p>	施工部位	工法/種別	備考	・PHR層上	・P1B1/BI-1・BI-2	断熱材: t=	・R層上	・P2A1/AI-1・AI-2	断熱材: t=		・P0D1/DI-1・DI-2	断熱材: t=		・T1B1/BI-1・BI-2	断熱材: t=		・M3D1/DI-1・DI-2	断熱材: t=		・M4D1/DI-1・DI-2	断熱材: t=
種類	種別・厚さ	材質																																																																																			
合板	「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合																																																																																			
	「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材																																																																																			
	床型用鋼製「オボレ」プレート	・針葉材																																																																																			
施工部位	材質(種類の記号)	備考																																																																																			
構造躯体	SS400 SS400																																																																																				
構造躯体(階～階)	SM490A																																																																																				
構造躯体(階～階)	STKR400																																																																																				
	BCR295																																																																																				
	SN400C SN400A																																																																																				
施工部位	規格番号	形状、寸法	備考																																																																																		
2階床より上部各階床スラブ	JIS B 1198		・形状、寸法は示す																																																																																		
・腰梁スラブ																																																																																					
施工部位	種類	備考																																																																																			
・屋上防水押え	・1種・2種																																																																																				
	・1種・2種																																																																																				
	・1種・2種																																																																																				
施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ																																																																																			
	※18・21	※15以下 ※18以下																																																																																			
施工部位	工法/種別	備考																																																																																			
・PHR層上	・P1B1/BI-1・BI-2	断熱材: t=																																																																																			
・R層上	・P2A1/AI-1・AI-2	断熱材: t=																																																																																			
	・P0D1/DI-1・DI-2	断熱材: t=																																																																																			
	・T1B1/BI-1・BI-2	断熱材: t=																																																																																			
	・M3D1/DI-1・DI-2	断熱材: t=																																																																																			
	・M4D1/DI-1・DI-2	断熱材: t=																																																																																			

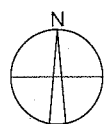
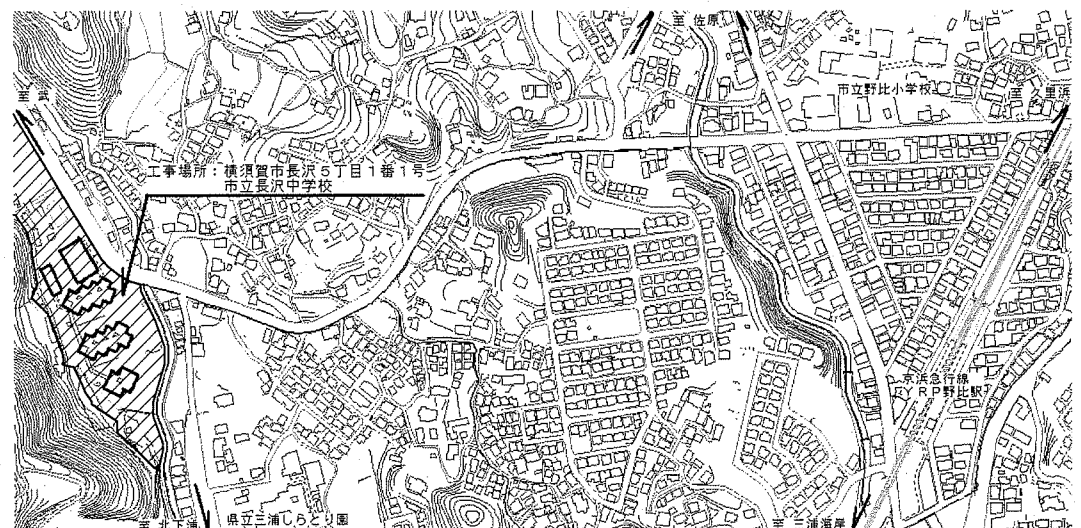
項目	特記事項															
3.4 工法	風圧力に対応した工法：・製造所仕様による・図示 下地調整：・製造所仕様による・図示 断熱材の施工方法：・製造所仕様による・図示 外装材の施工：・製造所仕様による・図示 外装材の取付：・あと施工アール・接着剤・図示 透気層：・有り(厚み：mm)・無し															
4.2 材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ：・図示 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性能区分：※U3-1・U3-2															
5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビス法[※]ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]ウレタンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下地</td> <td>・25・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フォームフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	・ビス法 [※] ウレタンフォーム	・	・25	・押出法 [※] ウレタンフォーム	・3種：土間コンクリート下地	・25・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フォームフォーム	・	・
種類	種別	厚さ(mm)														
・ビス法 [※] ウレタンフォーム	・	・25														
・押出法 [※] ウレタンフォーム	・3種：土間コンクリート下地	・25・50														
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・														
・フォームフォーム	・	・														
5.3 現場吹付け発泡断熱材	接着剤の [※] M7 [※] 放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 材料：・吹付け硬質ウレタンフォーム 種類：・A種1 難燃材：・1級・2級・3級 吹付け厚さ(mm)：・図示・25・30・20															
5.4 断熱材後張り工法	接着剤の [※] M7 [※] 放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆ <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビス法[※]ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法[※]ウレタンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下地</td> <td>・25・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フォームフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	・ビス法 [※] ウレタンフォーム	・	・25	・押出法 [※] ウレタンフォーム	・3種：土間コンクリート下地	・25・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フォームフォーム	・	・
種類	種別	厚さ(mm)														
・ビス法 [※] ウレタンフォーム	・	・25														
・押出法 [※] ウレタンフォーム	・3種：土間コンクリート下地	・25・50														
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・														
・フォームフォーム	・	・														
6.2 材料	6. 屋上緑化改修工事 芝の種類：・コライオン [※] ・ノリ 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数：・図示 縁材・舗装材・水抜き管・マルチング材等：・図示															
6.3 工法	建設省告示第1458号に対応した工法： 灌水装置の設置/種類：・設置しない・設置する【種類：・図示】 既存保護層等の撤去：・撤去しない・撤去する															
6.4 ***の枯補償	新植芝、地被類の保証期間：・1年・半年															
7.1 既存舗装の撤去及び再利用	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去：・撤去しない○撤去する【範囲等：○図示・改修部分全面】 既存舗装の再利用：・再利用しない ・再利用する【範囲等：・図示・改修部分全面】															
7.2 路床	凍上抑制層の適用：○適用しない・適用する 厚さ：・車道部 mm・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用：○適用しない・適用する 厚さ：車道部【・150mm・mm】歩道部【・50mm・mm】 路床安定処理の適用：○適用しない・適用する 路床安定処理の方法：・添加材料による処理・図示 処理内容：【厚さ：・300mm】 【目標CBR：・5以上】															
7.3 路盤	盛土の種類：・A種・B種・C種・D種 フィルター層の材料：・砂・図示 砂の品質：・75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料：・普通 [※] ポットセメント・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメント・生石灰【・特号・1号】 ・消石灰【・特号・1号】 路床土のCBR試験：○行わない・行う【・乱した土・乱さない土】 路床締め度試験：・行う○行わない 車道部の路盤の厚さ：○図示・150mm 歩道部の路盤の厚さ：・図示・100mm 路盤の材料：※砕石【※クワックン [※] ・粒度調整砕石】 ○再生材【※クワックン [※] ・※クワックン鉄鋼スラグ [※] ・粒度調整砕石】															
7.4 舗装の構成及び仕上げ	舗装の厚さ(mm)：車道部【○50mm・mm】歩道部【・30mm・mm】 舗装の平坦性：※著しい不陸のない程度・水の滞留がない平滑性 アスファルトの種類(車道部)：・図示 ※ [※] リア改質アスファルトI型 ・ [※] リア改質アスファルトII型 ○再生密粒 アスファルトの種類(歩道部)：・図示 ※ストリートアスファルト アスファルトの抽出試験：・行う○行わない															

工事区分表					
No	工事内容	建築	機械	電気 (別途工事)	備考
1	小荷物専用昇降機計画通知申請手続き			○	
2	仮設足場(脚立を除く)	○			
3	発生材運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修		○	○	
6	点検口(天井・壁)取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
8	天井付各種設備器具取付			○	
9	ステンレス製(木製)流し(トラップ共)	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続		○		
11	衛生器具取付		○		
12	衛生器具取付用下地	○			
13	排水目皿		○		
14	排水目皿廻りシーリング	○			
15	排水溝・樹蓋設置及び配管敷設工事		○		
16	側溝・蓋設置(グレーチング含む)(配管接続は機械設備工事)				
17	換気扇取付用アルミパネル	○			
18	同上 穴あけ	○			
19	換気扇スイッチ本体取付、配線			○	
20	給気口及び室内レジスター		○		
21	給気ガラリ	○			
22	空調機各種リモコン		○		
23	空調屋外機・室内機廻り配線(冷媒管共巻き)		○		
24	空調機器一次側電源供給			○	
25	昇降路の築造工事及び仕上げ工事	○			
26	昇降路ビット防水	○			
27	昇降路頂部機器揚重用ビームの設置工事	○			
28	各階出入口三方枠、インジケーター、押釦等の取付用下地及び穴あけ	○			
29	出入口三方枠、敷居、インジケーター等取付後の隙間埋め	○			
30	乗降関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
31	ルームエアコン取外し				



配置図 1/800

小荷物専用昇降機設置棟を示す



付近見取図 NS

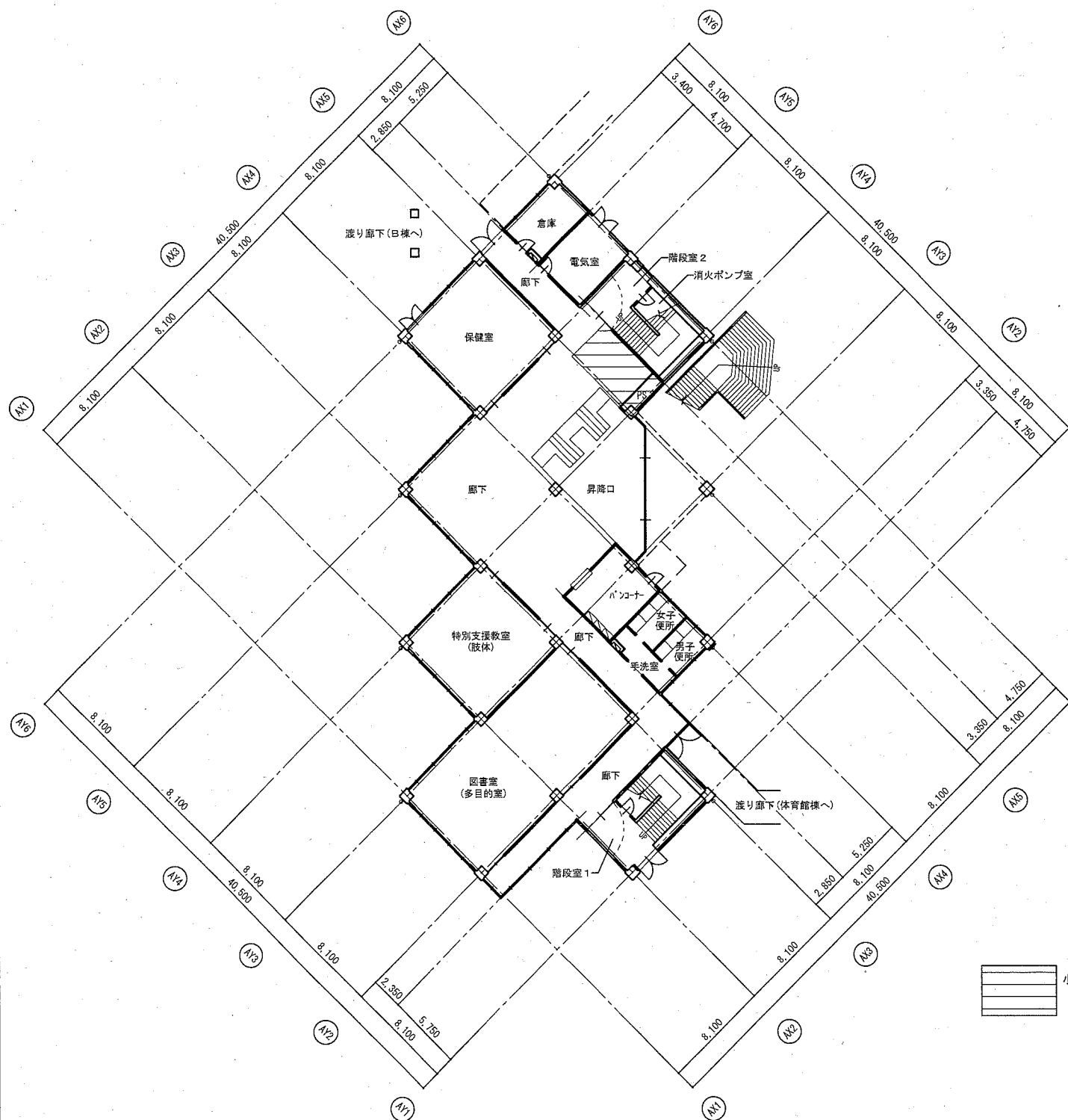
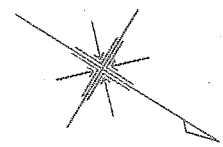
番号	建物名称	建築面積	延床面積	構造	階数	最高高さ
①	校舎(A棟) ※昇降機設置棟	2,347,366 m ²	7,235,040 m ²	SRC造	4階	14.86 m
	校舎(B棟) ※昇降機設置棟					
	校舎(C棟)					
	渡り廊下					
②	体育館	989,262 m ²	989,656 m ²	RC造一部S造	2階	11.70 m
③	技術科棟	343,000 m ²	343,000 m ²	S造	1階	5.45 m
④	部室-1	58,320 m ²	58,320 m ²	RC造	1階	3.40 m
⑤	部室-2	58,320 m ²	58,320 m ²	RC造	1階	3.40 m
⑥	更衣室(プール棟)	40,125 m ²	40,125 m ²	CB造	1階	3.40 m
⑦	便所・倉庫・ポンプ室(プール棟)	49,369 m ²	49,369 m ²	CB造	1階	3.40 m
⑧	体育倉庫	52,080 m ²	52,080 m ²	RC造	1階	3.70 m
⑨	集塵庫-1	3,460 m ²	3,460 m ²	RC造	1階	2.60 m
⑩	焼釜庫	12,870 m ²	12,870 m ²	RC造	1階	3.20 m
⑪	集塵庫-2	4,000 m ²	4,000 m ²	CB造	1階	2.95 m
⑫	浄化槽ポンプ室	4,590 m ²	4,590 m ²	CB造	1階	2.57 m
合計		3,962,762 m ²	8,850,830 m ²			

工事概要
昇降機設置建築工事
 ・ A棟(3階)、B棟(4階)に小荷物専用昇降機(電気別途工事)を設置する。
 ・ A棟 1階昇降口に隣接する廊下をホール(荷揚室)と倉庫に改修し、2階印刷室と3階更衣室を共に配膳室に改修する。
 ・ B棟 1階作業室をホール(荷揚室)に改修し、2階英数教材室、3・4階更衣室を共に配膳室に改修する。
 ・ 昇降機設置に伴い、B棟1階柔道室をA・B棟を一体とした荷受・配膳室に改修する。
 ・ B棟1階の荷受・配膳室改修するにあたり、階段室1(駐車場側)の外部にプラットフォームを新設し、階段室Aの外部建具を改修する。
 ・ 同上のプラットフォームの新設により、その周辺の外構改修も行う
 ・ 上記の改修に伴う機械設備工事を行う。
 ・ 上記の改修に伴う電気設備工事(別途工事)を行う。

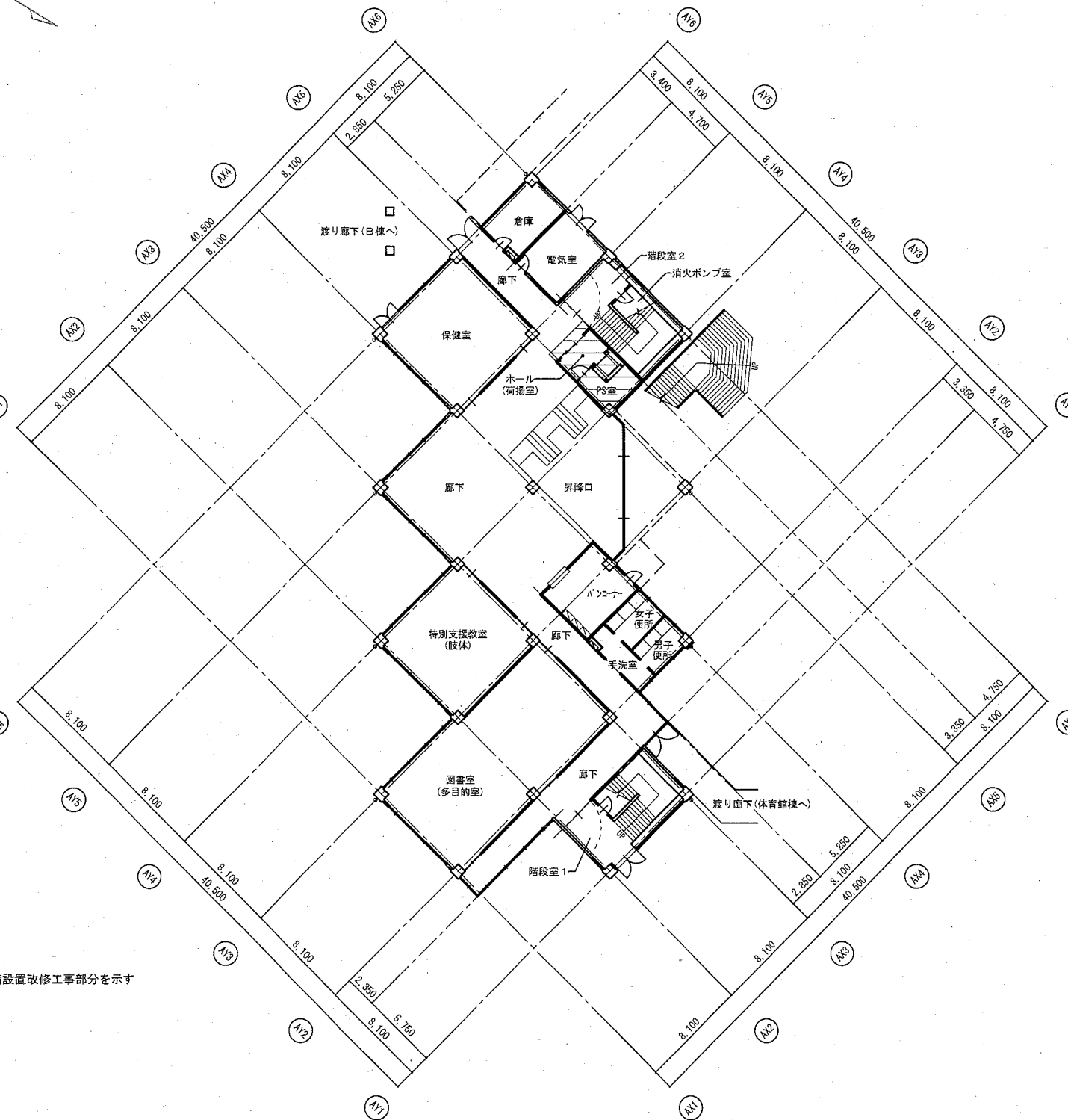
内部仕上表 (A棟)									
階	既存改修	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考
1階	既存	昇降口・廊下	昇降口:スラブコンクリート-135 ※既存残し モルタル-30、タイル-10(100角 平物、段鼻用) ※框踏み面のみ 一部撤去	昇降口:モルタル金コ、タイル張 ※既存残し	昇降口:モルタル(金コ)EP-G ※既存残し	LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.0(目透し)EP ※一部撤去	塩ビ製	昇降口 2,670 廊下 2,550	
			廊下:スラブコンクリート-155(135+フカシ20) 硬質スチレンボード-25共 一部撤去 コンクリート直押え、ビニールシート-2.8(コイン) 一部撤去	廊下:ビニール巾木H100 ※一部撤去	廊下:LGS(65型-100型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G ※一部撤去	LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.0(目透し)EP ※一部撤去			
	改修	昇降口:框踏み面 一部撤去 モルタル-30、段鼻ノリツッパ タイル-10(100角) ※ その他のタイルは既存利用	昇降口 既存柱(旧PS面) 既存コンクリート面にビニール巾木H100 昇降口 W1'面 ケイカル板面にビニール巾木H100	昇降口 既存柱(旧PS面):モルタル金コ(薄塗)EP-G W1b、W1b'面:LGS(65型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G	撤去面 LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.5(目透し)EP	塩ビ製	2,670 昇降口	上り框新設面タイルは段鼻用の役物タイルとし既存に合せる	
	改修	廊下 建具取付面(スラブコンクリート撤去面) モルタル-17.5、ビニールシート-2.5 上記以外:下地調整のうえビニールシート-2.5	廊下 W1b、W1b'面 ケイカル板面にビニール巾木H100	廊下 W1b、W5面:LGS(65型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G	撤去面 LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.5(目透し)EP			塩ビ製	
改修	ホール (荷揚室)	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コテ-135新設 モルタル金コテ-18、ビニールシート-2.0 昇降路内はモルタル金コテ-18 上記以外 下地調整のうえビニールシート-2.0	ラン合板t-12増張 ビニール巾木H300	W1a、W1b:LGS(65型)、強化石膏板-ド' t-21*2、素地仕上 W2:LGS(50型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 W3:LGS(65型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0	LGS19型@225、化粧石膏板-ド' t-9.5	塩ビ製	2,550		新設:HD-1、SD-1、化粧フロッグ(SUS(304)製 600角 防水防臭タイプ) ビニールシート-2.0貼)、室名札
改修	倉庫(PS室)	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コテ-135新設 モルタル金コテ-20	ビニール巾木H100 ※W1a、W1b、W3面のみ 既存RC、ALC面は既存のまま	W1a、W1b':LGS(65型)、強化石膏板-ド' t-21*2、素地仕上 W3:LGS(65型)@455、強化石膏板-ド' t-21、素地仕上(スラブまたは梁下まで)	※設けない				
既存	消火水槽 (昇降口 廊下下部)	防水モルタル-30 ※既存のまま	なし	防水モルタル-10 ※既存のまま	スラブコンクリート 硬質スチレンボード-25打込				改修前に既存防水モルタルの現況調査を行い、浮き・クラック等が確認された部分は補修を行い防水改修をする (現況調査結果を監督員に報告し、防水改修範囲等の再確認をすること) 既存防水モルタル面はケレン・清掃共とする
改修		ボリマーメント系塗膜防水	なし	ボリマーメント系塗膜防水	スラブコンクリート撤去面 スラブコンクリート新設 同上スラブ下 押出法ボリマーメント系塗膜防水				
2階	既存	印刷室	スラブコンクリート-155(135+フカシ20)、型枠ツキプレート共 ※一部撤去 ビニールシート-2.8(グリーン) ※全面撤去	ビニール巾木H100 ※全面撤去	コンクリート壁面:モルタル金コ、EP-G ※既存のまま ボ'ド'壁面:LGS(45*25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 PS壁面:LGS(65型)@455、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 廊下昇降口壁面:ALC' 板t-100(補強アングル L-65*65*6、取付アングル L-ス共) ※全面撤去	LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.0(目透し)EP ※全面撤去	塩ビ製	2,550	撤去:AP-1(木製額縁 両面、SUS製寄置き物共)、木製額縁、木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共、鋼製欄A *2 鋼製欄B、鋼製欄C、鋼製欄D *2、鋼製欄E *3
	改修	配膳室	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コテ-135新設 モルタル金コテ-18、ビニールシート-2.0 昇降路内はモルタル金コテ-18 上記以外 下地調整のうえビニールシート-2.0	ラン合板t-12増張 ビニール巾木H300	W1a、W1b:LGS(65型)、強化石膏板-ド' t-21*2、素地仕上 W2:LGS(50型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 ライニング:LGS(50型)@455、ラン合板面に化粧ケイカル板t-6.0	LGS19型@225、化粧石膏板-ド' t-9.5			塩ビ製
3階	既存	更衣室	スラブコンクリート-155(135+フカシ20)、型枠ツキプレート共 ※一部撤去 踏台:木床組、フローリングボード-15 ※全面撤去 踏み台以外:ビニールシート-2.8(グリーン) ※全面撤去	コンクリート壁面 ビニール巾木H100 ボ'ド'壁面 木製巾木(70*24)H100SOP ※共に全面撤去	コンクリート壁面:モルタル金コ、EP-G ※既存のまま ボ'ド'壁面:LGS(45*25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 PS壁面:LGS(65型)@455、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 廊下昇降口壁面:ALC' 板t-100(補強アングル L-65*65*6、取付アングル L-ス共) ※全面撤去	LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.0(目透し)EP ※全面撤去	塩ビ製	2,550	
	改修	配膳室	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コテ-135新設 モルタル金コテ-18、ビニールシート-2.0 昇降路内はモルタル金コテ-18 上記以外 下地調整のうえビニールシート-2.0	ラン合板t-12増張 ビニール巾木H300	W1a、W1b:LGS(65型)、強化石膏板-ド' t-21*2、素地仕上 W2:LGS(50型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 ライニング:LGS(50型)@455、ラン合板面に化粧ケイカル板t-6.0	LGS19型@225、化粧石膏板-ド' t-9.5			塩ビ製
2・3階	既存	廊下	スラブコンクリート-155(135+フカシ20) ※建具取付面(スラブコンクリート撤去面) コンクリート直押え、ビニールシート-2.8(コイン) ※一部撤去	ビニール巾木H100 ※一部撤去 配膳室改修面	LGS(45*25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※一部撤去 配膳室改修面	LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.0(目透し)EP ※一部撤去	塩ビ製	2,550	
	改修		モルタル-17.5、ビニールシート-2.5 一部 下地調整のうえビニールシート-2.5	W1bケイカル板面にビニール巾木H100	W1b面:LGS(65型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G	撤去面:LGS19型@303、石膏板-ド' t-9.5(目透し)EP			塩ビ製
注記			・ビニールシート-2.0仕様:耐動荷重性・抗菌 ・ビニールシート-2.5仕様:コイン ・床下地調整材:ボリマーメント系塗膜 ・EP-G:つや有合成樹脂エポキシ樹脂塗膜(エポキシ樹脂+硬化剤)使用 ・木部 新規面:工程A種 下地調整R種 モルタル面・石膏板-ド'面:新規面・塗替え面共 工程B種 下地調整R種 ケイカル板面:工程B種 下地調整R種 ・木製カーテンボックス塗装:見掛け面のみEP-G	・W1a、W1a':壁穴区画壁・防火上主要な間仕切壁(耐火1時間認定)仕様は詳細図による ・W1b、W1b':防火上主要な間仕切壁(耐火1時間認定)仕様は詳細図による ・W2、W2'、W3、W5、ライニング:仕様は詳細図による ・化粧ケイカル板のジョイントコーナ部は70*70mm製ジョイナーを使用 ・掲示板:既製品(70*70mm) ・新規点検口(天井):450*450 20ヶ所 ・天井下地開口補強:450*450 20ヶ所、150*1235 10ヶ所	・ボリマーメント系塗膜防水:PB-1仕様 ・押出法ボリマーメント系塗膜防水:2種b t-25 ・既存ケイカル板(t-8、t-10):70*70mm製成形板	・防水改修調査範囲:消火水槽 I、II(床、壁、梁) 下地補修工法:ひび割れ部補修 ウォットリング材充填工法 ボリマーメントモルタル仕上(1.0mm以上のひび割れ) 欠損(鉄筋露出)部補修 エポキシ樹脂モルタル充填工法(100*100) 浮き部補修 アンカボリマーメント部分エポキシ樹脂注入工法 各補修数量:ひび割れ部補修 2.0 m 欠損(鉄筋露出)部補修 2.0 ヶ所 浮き部補修 5.0 穴			

外部仕上表				参考資料	

※その他工事についてはA-57図参照




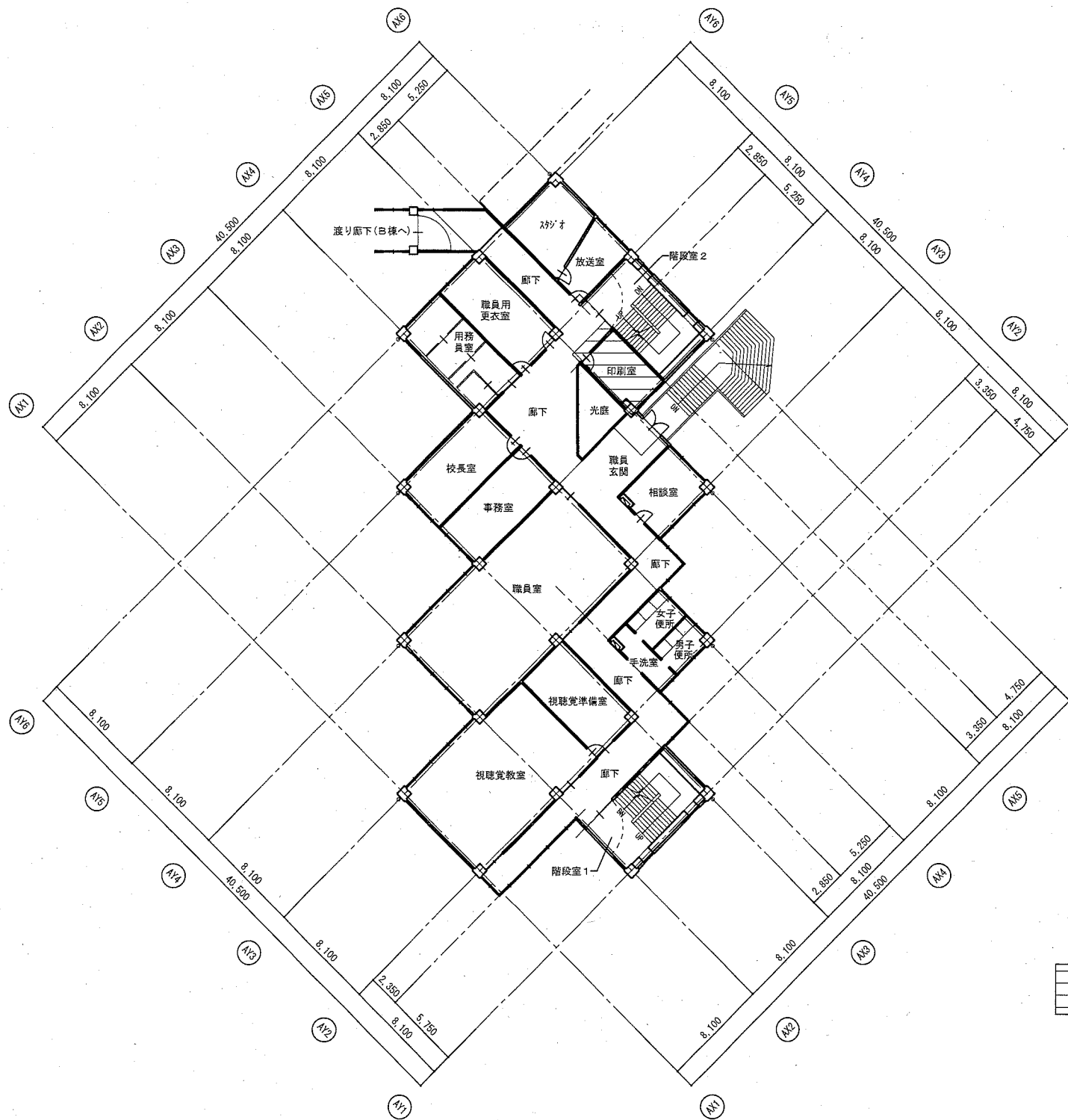
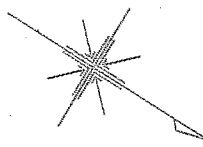
A棟 1階既存平面図 1/300



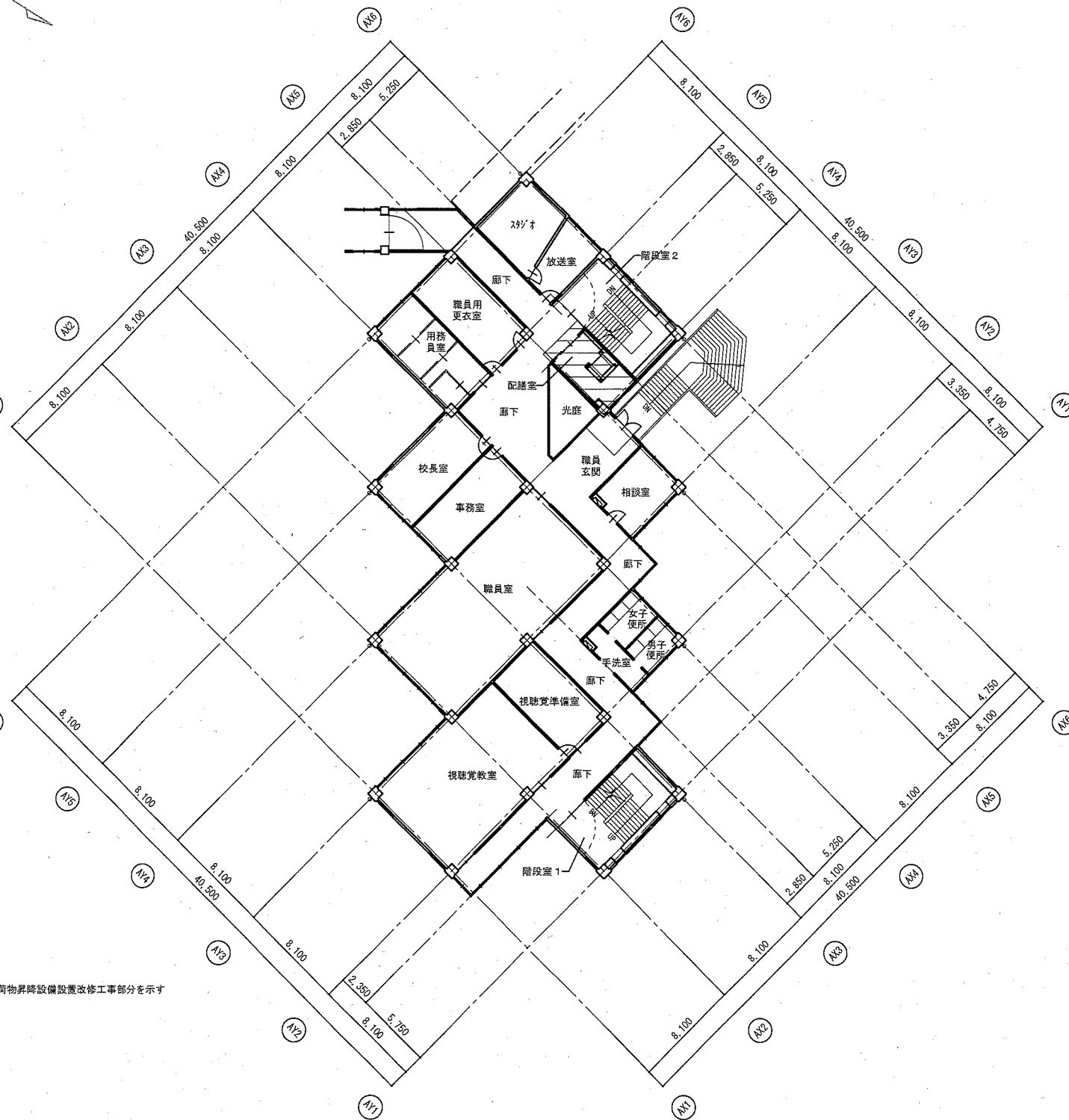
A棟 1階改修平面図 1/300

小荷物昇降設備設置改修工事部分を示す


	公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 令和 2年 2月	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-10 No.
						図面名称	A棟 1階平面図(既存・改修)	

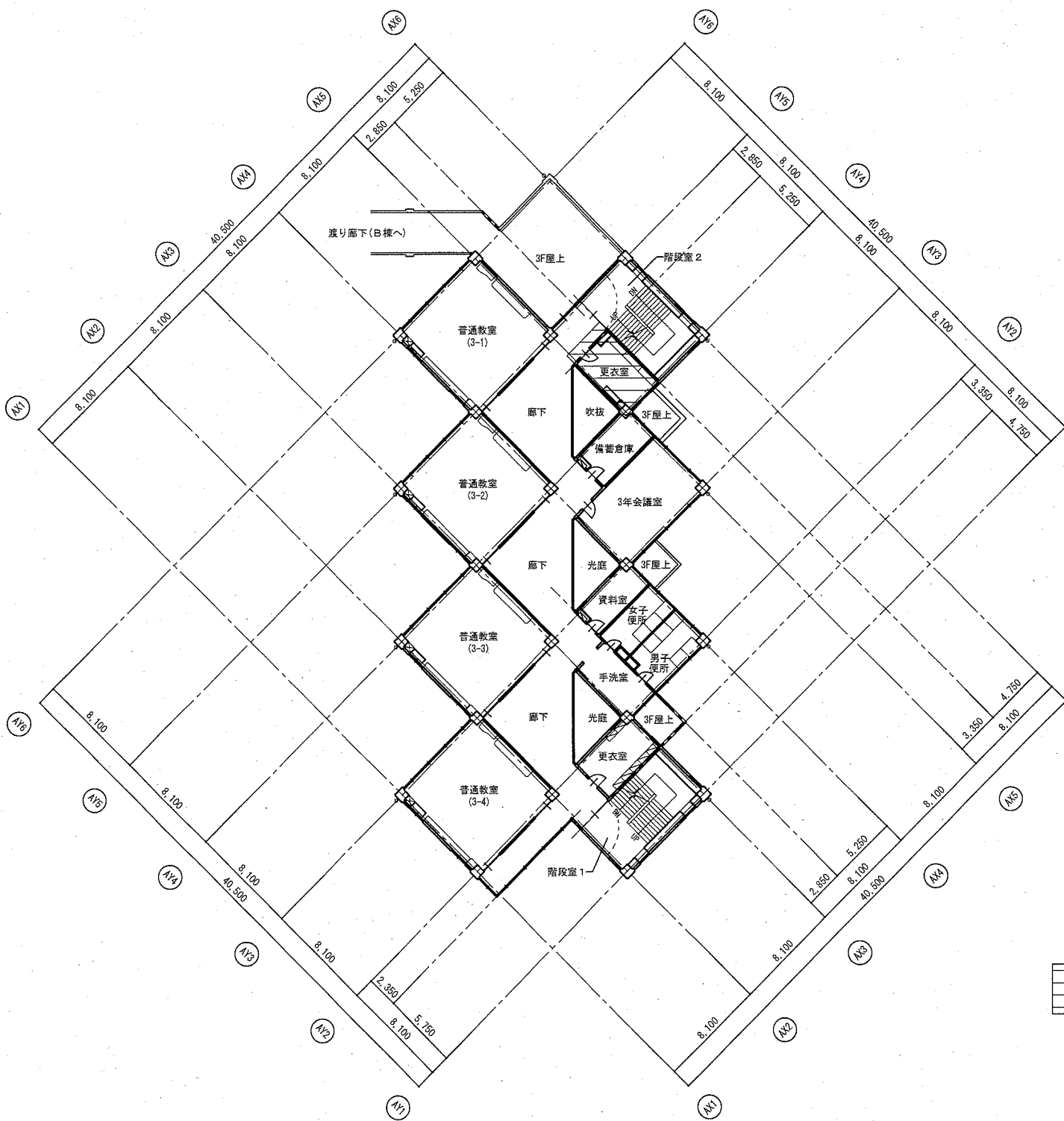
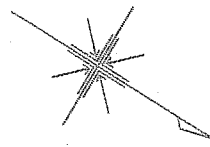


A棟 2階既存平面図 1/300

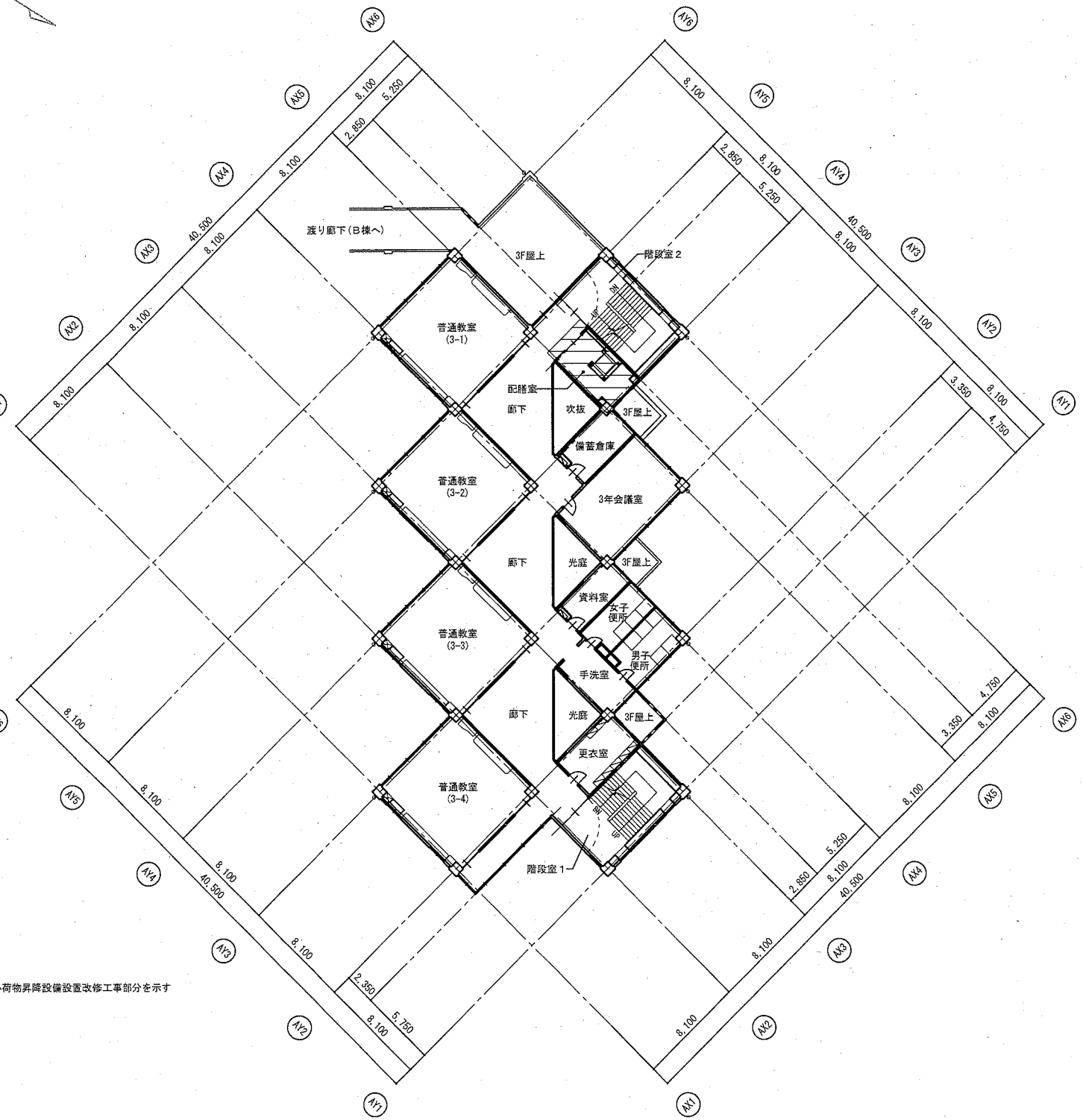


A棟 2階改修平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-11
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	長沢中学校 A棟 2階平面図(既存・改修)	1/300	
						No.	



A棟 3階既存平面図 1/300



A棟 3階改修平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者

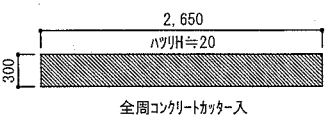
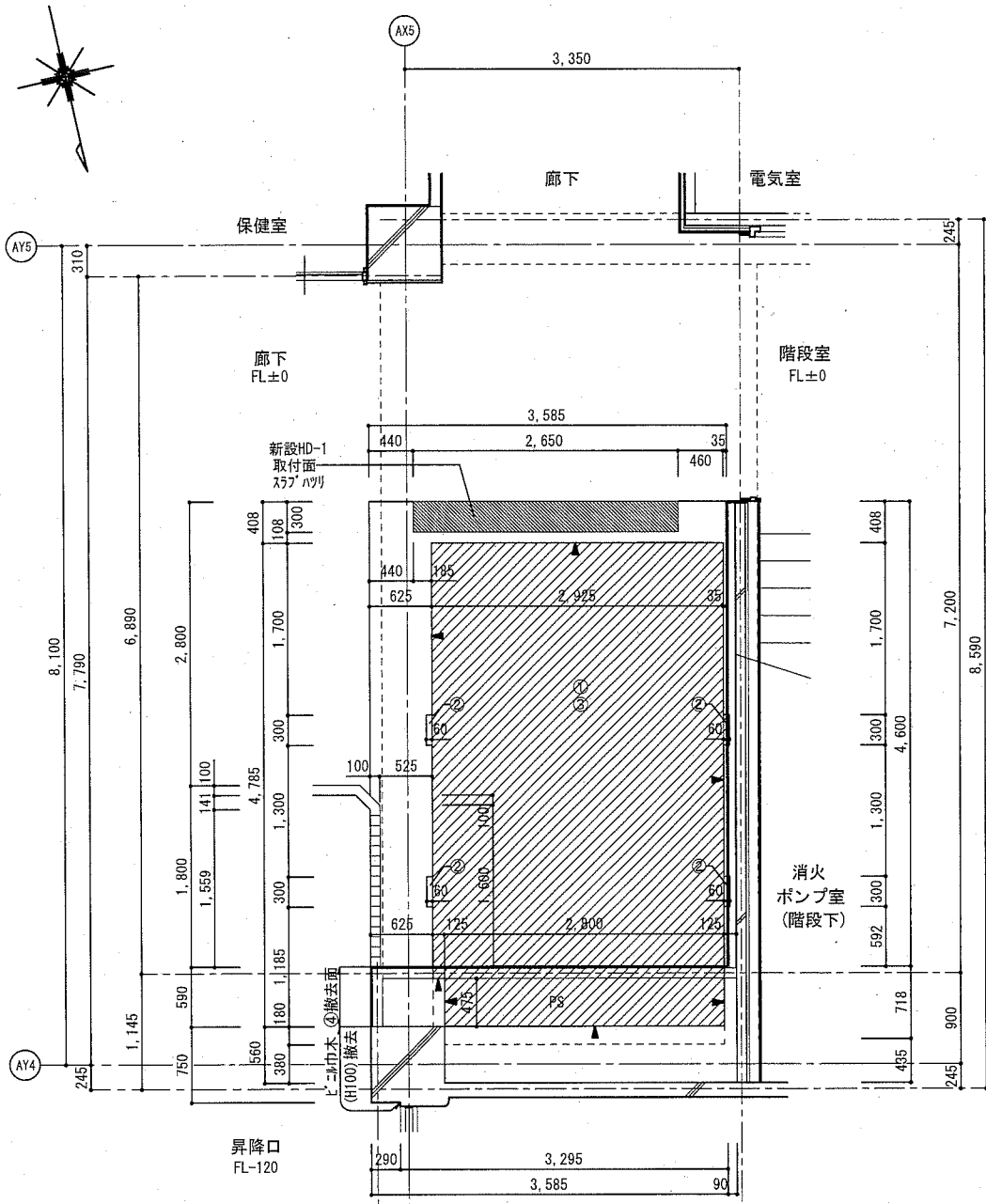
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 長沢中学校 A棟 3階平面図(既存・改修)

縮尺
1/300

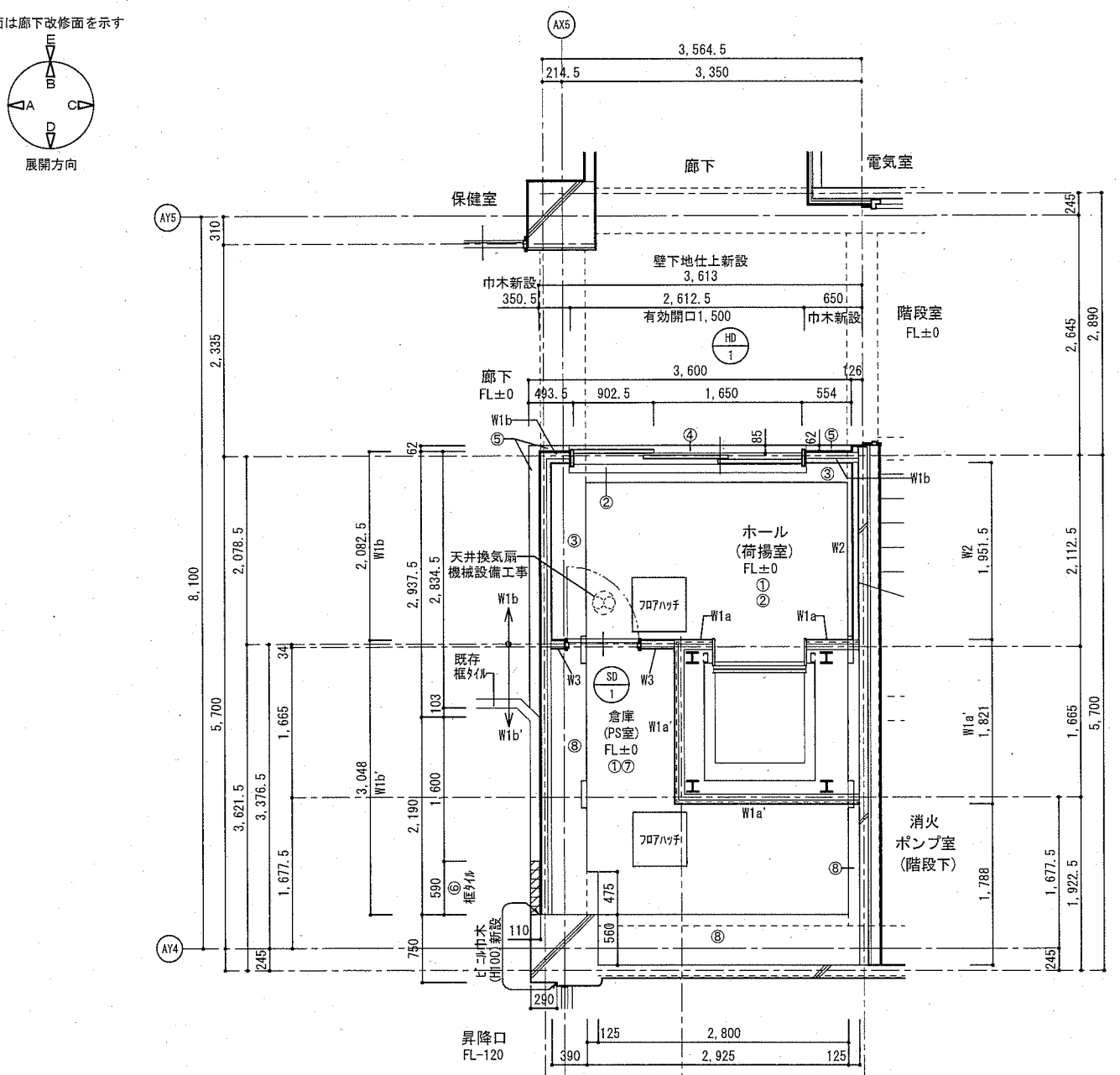
A-12

No.



新設HD-1 スラブ コンクリートハツリ平面図 1/50

A棟 1階 ホール 既存平面詳細図 1/50



A棟 1階 ホール 改修平面詳細図 1/50

部位	仕上
床	スラブ撤去面:モルタル18金コテ、ビニシート-2.0(耐荷重性・抗菌) 上記以外:下地調整の上ビニシート-2.0(耐荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t-12.0増張、ビニ巾木(H300)
壁	W1b面:ホ-ド面に化粧ケイ酸カルシウム板t-6.0 W2面:LGS(S0型)下地、ケイ酸板t-8.0、化粧ケイ酸板t-6.0
天井	LGS(19型)化粧石膏ホ-ド 廻縁:塩ビ製
備考	HD-1、SD-1 600角 SUS製フワフワ *1 (モルタル充填タイプ/ビニシート-2.0仕上 密閉形 防水・防臭型)

部位	仕上
床	スラブ撤去面:モルタル18金コテ 上記以外:モルタル薄塗
巾木	W1a'、W1b'、W3ホ-ド面のみ:ビニ巾木(H100)
壁	W1a'、W1b'、W3面:ホ-ド 素地仕上 既存RC、ALC面は既存のまま
天井	撤去面:LGS下地、石膏ホ-ドt-9.5(目透し)EP
備考	600角 SUS製フワフワ *1 (モルタル充填タイプ/モルタル金コテ仕上 密閉形 防水・防臭型)

部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155(135+増打ち20)直押え ビニシート-2.8(コイン) 一部撤去 昇降口框:立上り面100角ケイ酸 既存のまま 踏み面100角段鼻/ノスリタイプ 一部撤去
巾木	ビニ巾木(H100) 一部撤去
壁	ホ-ド面:LGS下地、ケイ酸板t-10+8(目透し)EP-G 一部撤去
天井	LGS(19型)PBT-9.0(目透し)EP 廻縁:塩ビ製 一部撤去

部位	仕上
床	コンクリート直押え
巾木	RC面:コンクリート素地 ALC面:ALC素地 ホ-ド面:LGS下地現し
天井	なし

①	コンクリートスラブ 総厚155(t-135+増打ち20)撤去
②	コンクリート基礎梁側面一部撤去
③	ビニシート-2.8(コイン)撤去
④	段鼻ケイ酸(100角 上り経路面)一部撤去

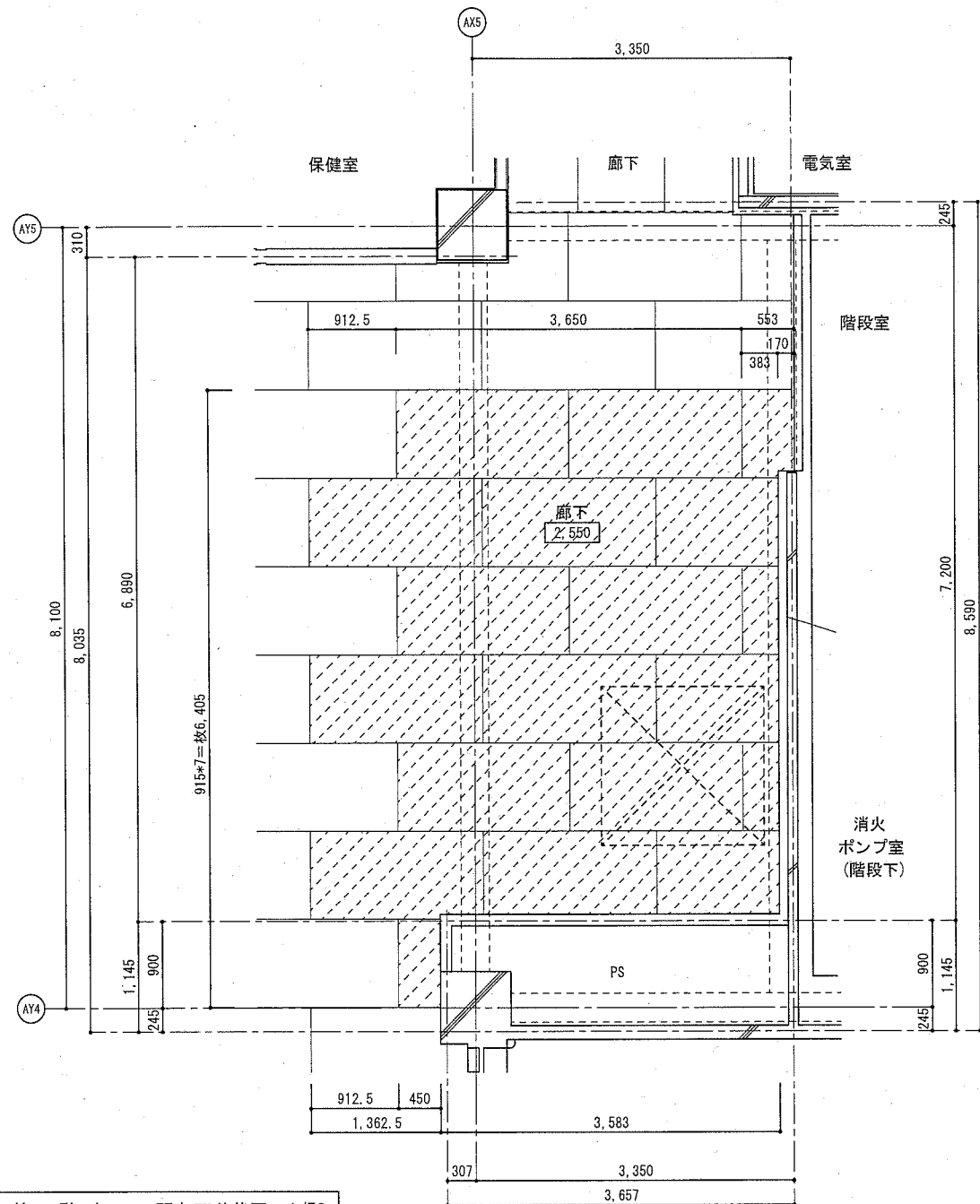
コンクリートスラブ撤去面は以下とする
・硬質スランホ-ドt-25共
・周囲コンクリートカッター入れ共

▼コンクリートカッター入れ

部位	仕上
床	PS壁撤去面:モルタル塗、100角ケイ酸(ノスリタイプ) コンクリートハツリ面:モルタルt-17.5、ビニシート-2.5(コイン) 仕上撤去面:下地調整のうえ、ビニシート-2.5(コイン) 上記以外:ビニ巾木(H100) 張替え
巾木	W1b、W1b'面:ホ-ド面にビニ巾木(H100)
壁	柱面:PS撤去面 一部モルタル(金コテ)、EP-G 上記以外は既存利用 W1b、W1b'面:ケイ酸板t-10+8(目透し)EP-G
天井	撤去面:LGS下地、石膏ホ-ドt-9.5(目透し)EP
備考	昇降口上り框:踏み面100角段鼻タイプ

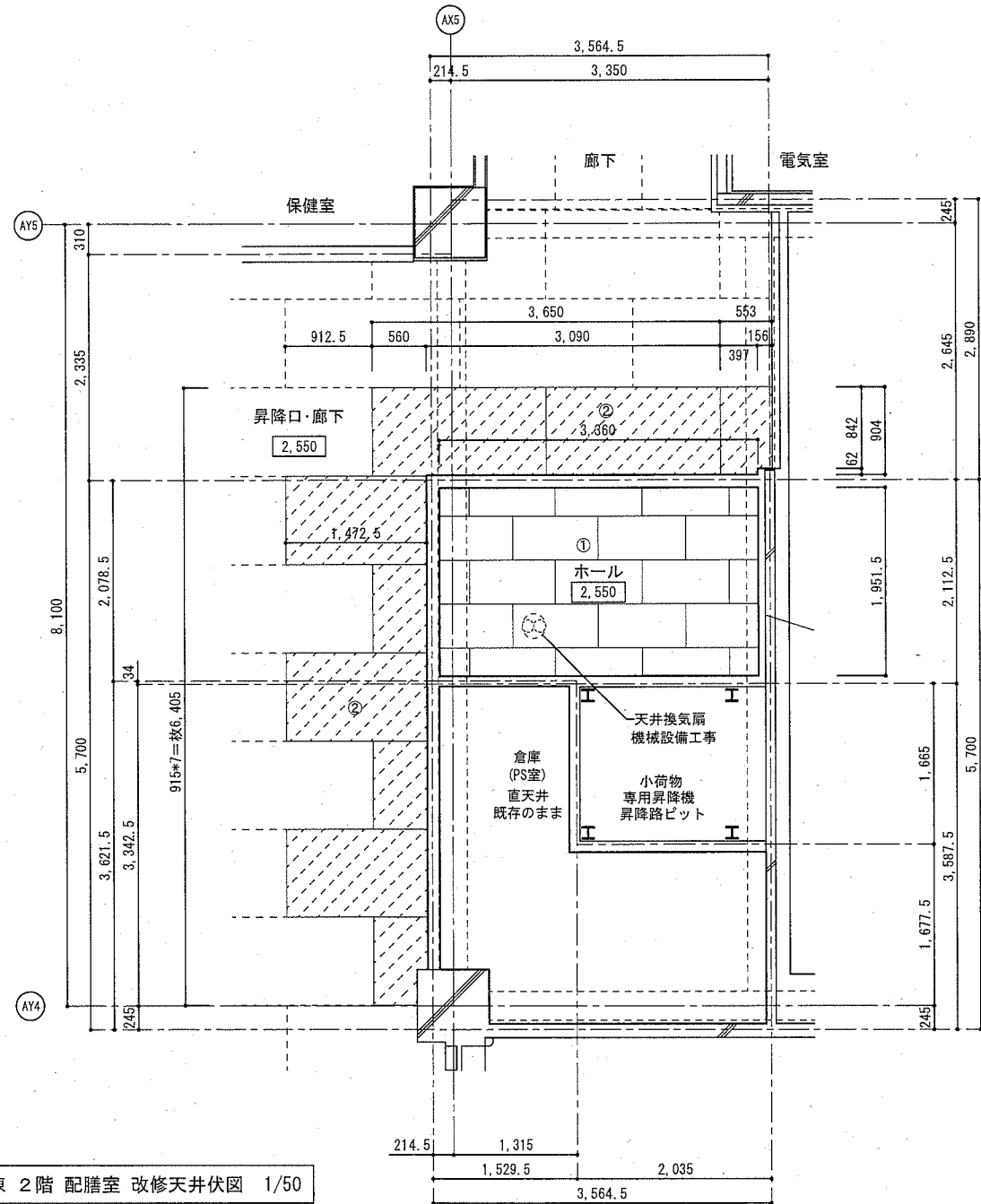
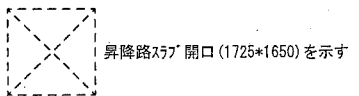
①	スラブコンクリート復旧
②	モルタル18金コテ、ビニシート-2.0
③	下地調整のうえビニシート-2.0
④	モルタル17.5金コテ、ビニシート-2.5
⑤	下地調整のうえビニシート-2.5
⑥	上り框ケイ酸:踏み面100角段鼻タイプ
⑦	モルタル20金コテ
⑧	モルタル薄塗

コンクリートスラブ復旧面はスラブ下断熱材打込共とする
ビニシート-2.0:耐荷重性・抗菌
ビニシート-2.5:コイン
下地調整:ホ-ド面・ホ-ド面・ホ-ド面



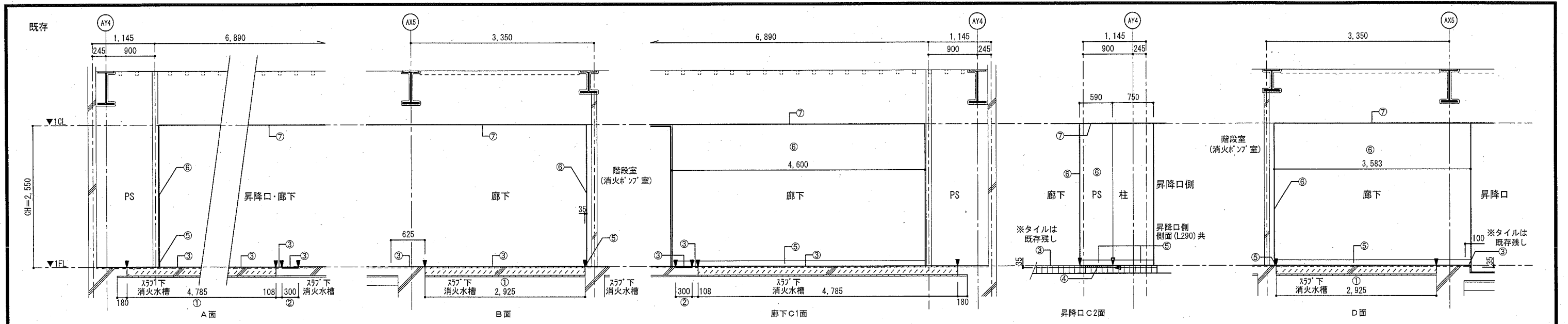
A棟 1階 ホール 既存天井伏図 1/50

天井仕上・撤去内容凡例	
①	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0
備考	廊下はハチ部の天井撤去



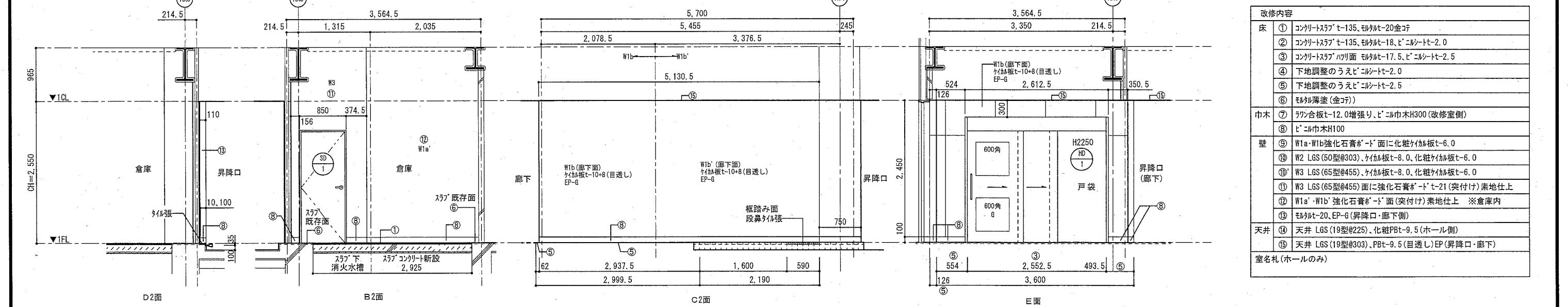
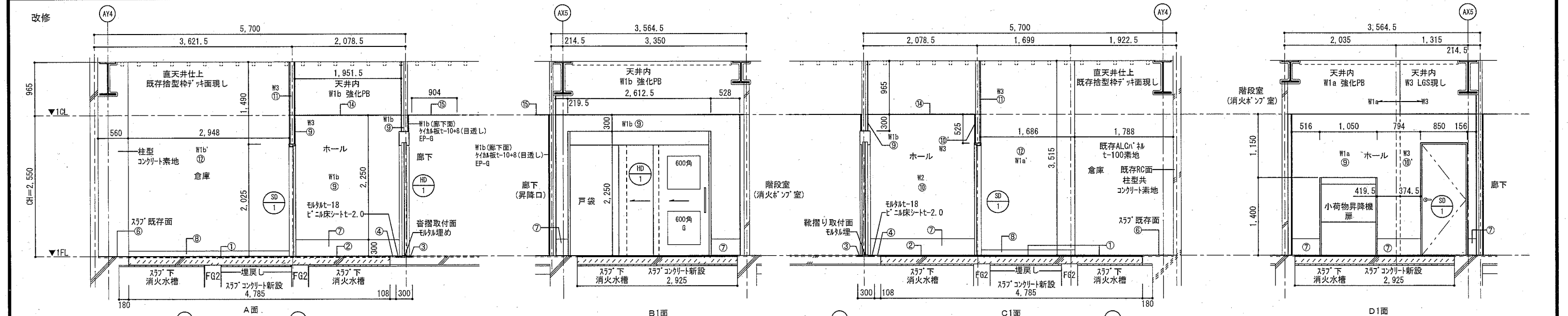
A棟 2階 配膳室 改修天井伏図 1/50

天井改修内容・凡例	
①	LGS(19型)@225、化粧石膏ボード-t-9.5 廻縁 塩ビ製
②	撤去面:LGS19型@303、石膏ボード-t-9.5(目透し)EP 廻縁 塩ビ製
備考	天井点検口新設 (位置は監督員との協議による決定する)

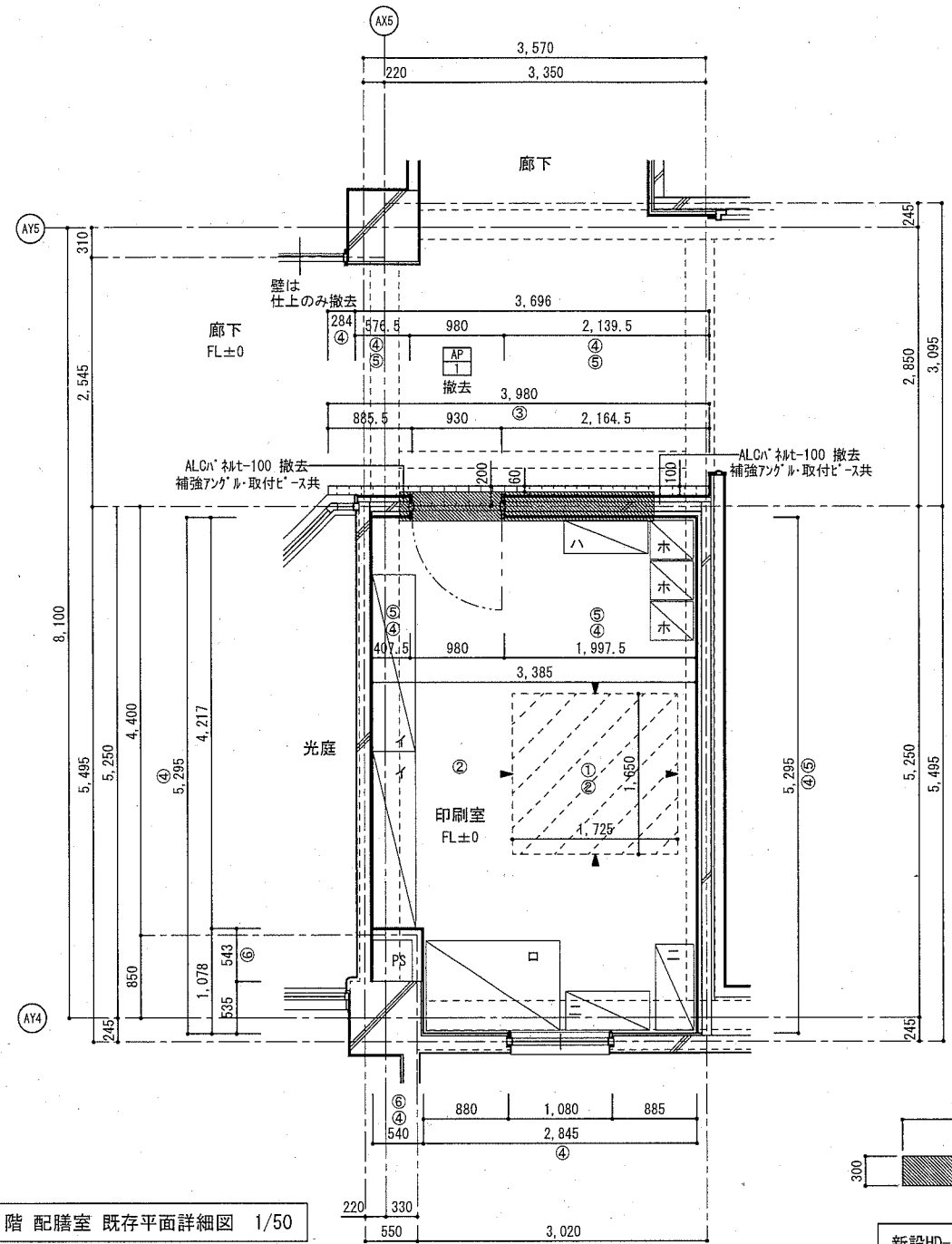
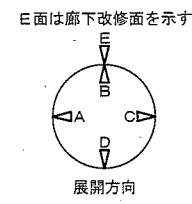


撤去内容					
床	①	コンクリートスラブ t-155 (t-135+7お20) 撤去 (硬質スラブ t-25共)	巾木	⑤	ビニル巾木 (H100) 撤去
	②	コンクリートスラブ t-20新り (7お面)	壁	⑥	LGS下地、ケイカル板 t-10+8撤去 PS面 100型、左記以外65型
	③	ビニルシート t-2.8 (コイ)	天井	⑦	LGS下地、PBT-9.0撤去
	④	階段鼻タイル (100角) 撤去 下地共	備考		ケイカル板 (t-8、t-10) : 7スハト含有成形板

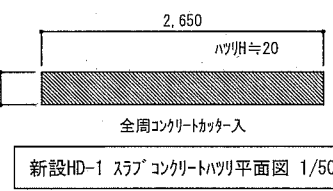
▼コンクリートカッター
▼モルタルカッター



改修内容			
床	①	コンクリートスラブ t-135、モルタル-20金コ	
	②	コンクリートスラブ t-135、モルタル-18、ビニルシート-2.0	
	③	コンクリートスラブ ハツ面、モルタル-17.5、ビニルシート-2.5	
	④	下地調整のうえビニルシート-2.0	
	⑤	下地調整のうえビニルシート-2.5	
	⑥	モルタル薄塗 (金コ)	
巾木	⑦	ラワン合板 t-12.0増張り、ビニル巾木H300 (改修室側)	
	⑧	ビニル巾木H100	
壁	⑨	W1a-W1b強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0	
	⑩	W2 LGS (50型@303)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0	
	⑪	W3 LGS (65型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0	
	⑫	W3 LGS (65型@455)面に強化石膏ボード t-21 (突付け) 素地仕上	
	⑬	W1a、W1b強化石膏ボード面 (突付け) 素地仕上 ※倉庫内	
天井	⑭	モルタル-20、EP-G (昇降口・廊下側)	
	⑮	天井 LGS (19型@225)、化粧PBT-9.5 (ホール側)	
	⑯	天井 LGS (19型@303)、PBT-9.5 (目透し) EP (昇降口・廊下)	
室名札 (ホールのみ)			



A棟 2階 配膳室 既存平面詳細図 1/50



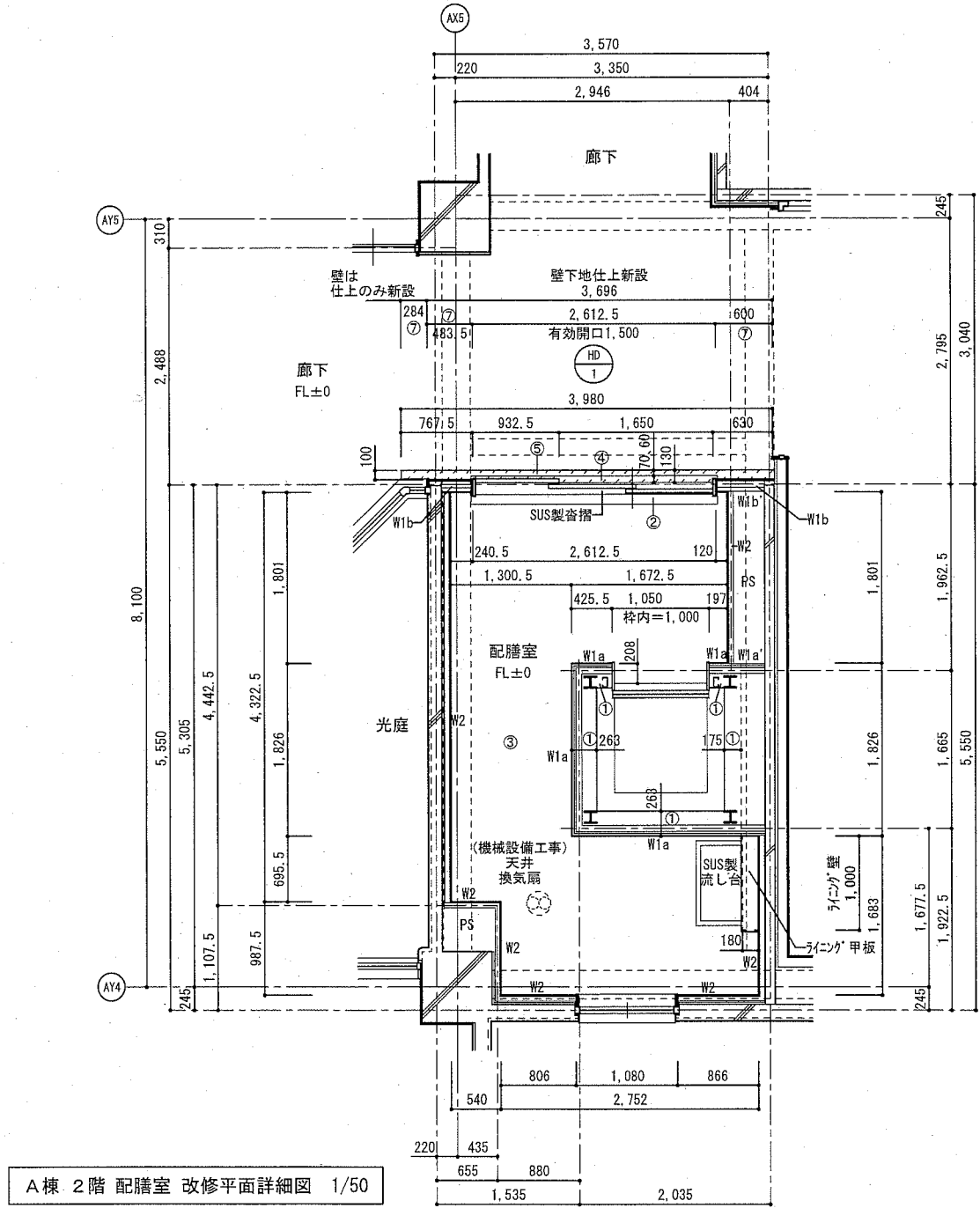
新設HD-1 スラブ コンクリートリバー平面図 1/50

印刷室 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブt-155(135+増打ち20)直押え ビニシート-2.8(ブルー)
巾木	ビニ巾木(H100)
壁	珪藻土面:珪藻土(金タ)EP-G ボート面:LGS下地、ケイ加板t-10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)PBT-9.0(目透し)EP 廻線:塩ビ製

廊下 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブt-155(135+増打ち20)直押え ビニシート-2.8(コイン)
巾木	ビニ巾木(H100)
壁	ボート面:LGS下地、ケイ加板t-10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)PBT-9.0(目透し)EP 廻線:塩ビ製

撤去内容	
床	① コンクリートスラブt-155(135+増打ち20) 撤去(型枠デッキプレート共)
	② ビニシート-2.8(ブルー) 撤去
	③ ビニシート-2.8(コイン) 一部撤去
巾木	④ ビニ巾木(H100) 撤去
壁	⑤ LGS(45型)下地、ケイ加板t-10+8 撤去
	⑥ LGS(65型)下地、ケイ加板t-10+8 撤去
天井	LGS下地、石膏ボードt-9.0 撤去
	AP-1(杏摺共)撤去、木製カーテンボックス撤去 LGS45型(45*25、擴張@303) ※ケイ加板(t-8、t-10):7X7Xt含有成形板

棚類 撤去内容			
記号	名称	規格・寸法	数量
イ	鋼製棚A	W1810D450H1810	2
ロ	鋼製棚B	W1380D920H1000	1
ハ	鋼製棚C	W880D340H880	1
ニ	鋼製棚D	W880D400H880	2
ホ	鋼製棚E	W450D400H880	3



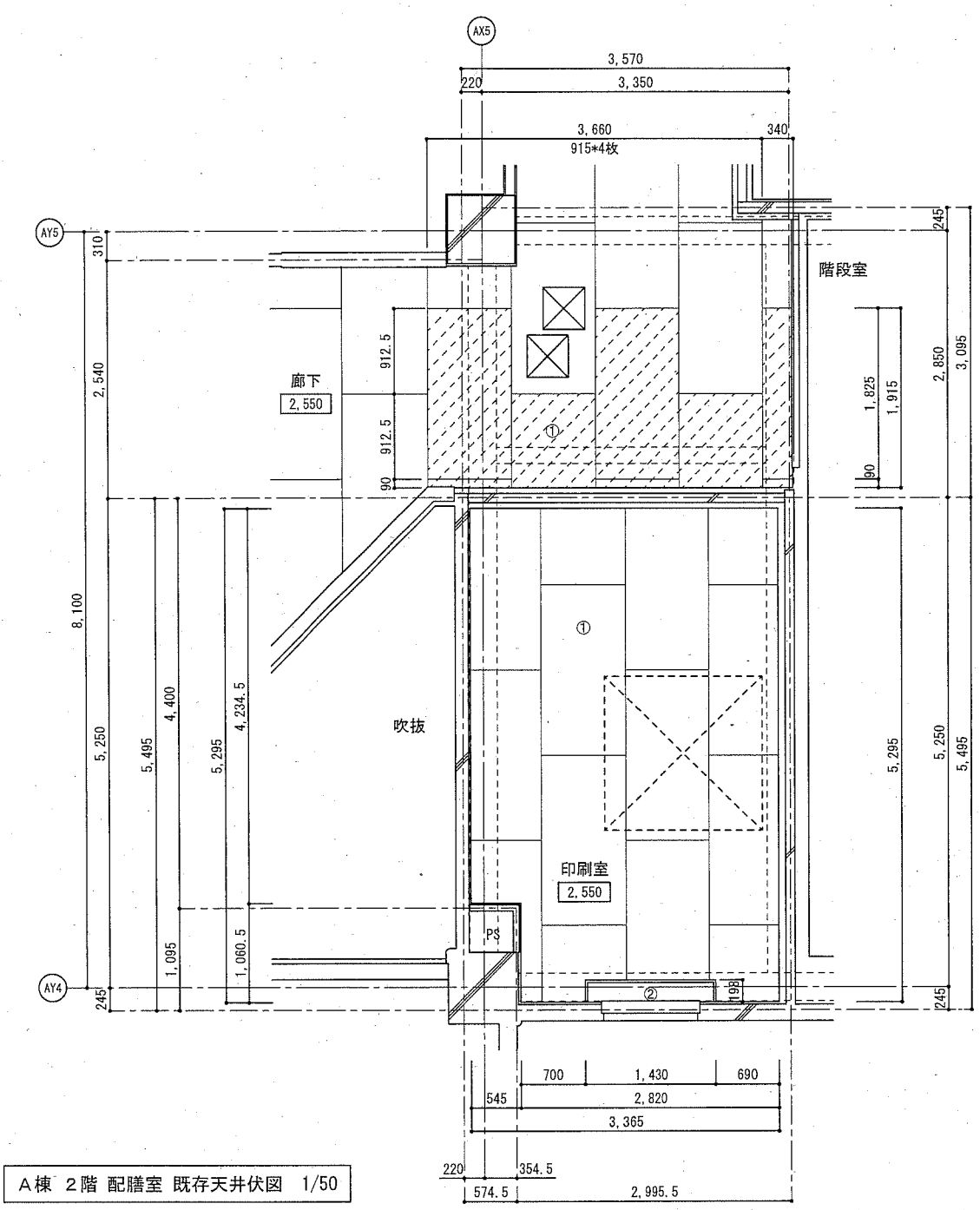
A棟 2階 配膳室 改修平面詳細図 1/50

配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	昇降路内:珪藻土コテ-18 既存スラブ面:下地調整のうえビニシート-2.0(耐荷重性・抗菌)
巾木	珪藻土合板t-12.0増張り、ビニ巾木(H300)
壁	W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイ加板t-6.0 W1a、W1b面:強化石膏ボード面 素地仕上 W2面:LGS(50型)下地、ケイ加板t-8.0、化粧ケイ加板t-6.0
天井	LGS(19型)化粧石膏ボード 廻線:塩ビ製

廊下 改修内部仕上表 ※撤去面のみ新設復旧	
部位	仕上
床	下地調整のうえビニシート-2.5(コイン) 建具撤去面:珪藻土t-17.5、ビニシート-2.5(コイン)
巾木	ビニ巾木(H100)
壁	W1b面:ケイ加板t-10+8(目透し)EP-G
天井	撤去面:LGS下地、石膏ボードt-9.5(目透し)EP

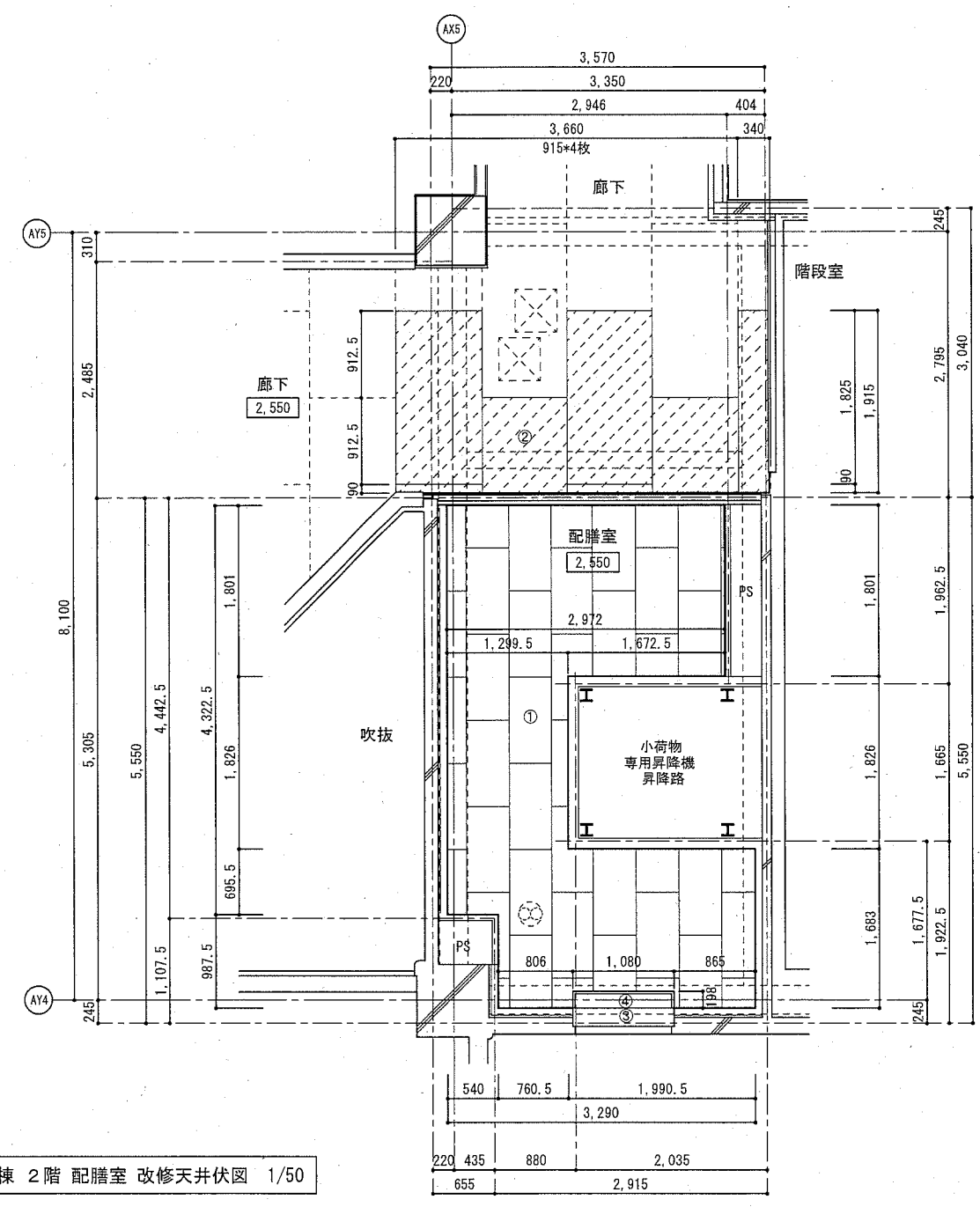
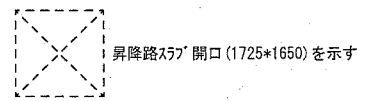
改修内容	
床	① コンクリートスラブt-135復旧 珪藻土コテ-18
	② 珪藻土t-20、ビニシート-2.0
	③ 下地調整のうえビニシート-2.0
	④ 珪藻土t-20、ビニシート-2.5
	⑤ 下地調整のうえビニシート-2.5
巾木	⑥ 珪藻土合板t-12.0増張り、ビニ巾木H300(配膳室側)
	⑦ ビニ巾木H100
壁	⑧ W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイ加板t-6.0
	⑨ W1a、W1b面:強化石膏ボード面 素地仕上
	⑩ W2面:LGS(50型@455)、ケイ加板t-8.0、化粧ケイ加板t-6.0
	⑪ W1b(廊下)面:LGS(65型@455)面にケイ加板t-10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型@225)化粧石膏ボードt-9.5(配膳室側) LGS(19型@303)石膏ボードt-9.5(目透し)EP(廊下側)

木製カーテンボックス:スチール製-24、194*198*144(SUS製C型カーテンホルダ/ソケット)
木製窓額縁:スチール製-24見込140
室名札
ビニシート-2.0:耐荷重性・抗菌、ビニシート-2.5:コイン
下地調整:ボリマニメントペーパースタ



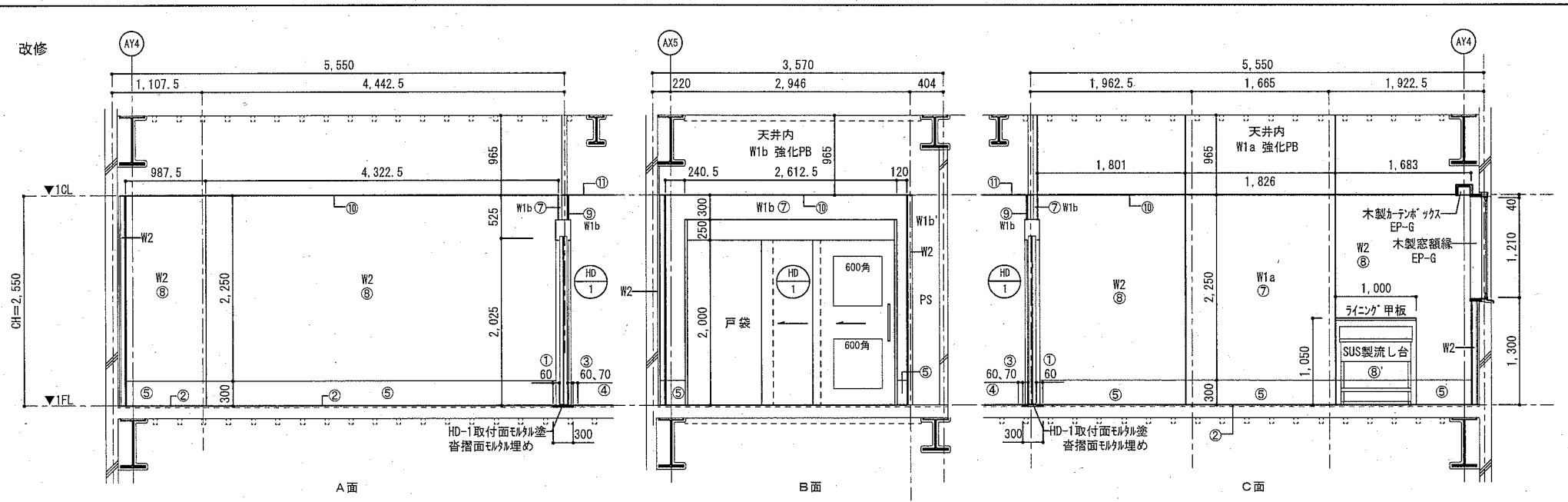
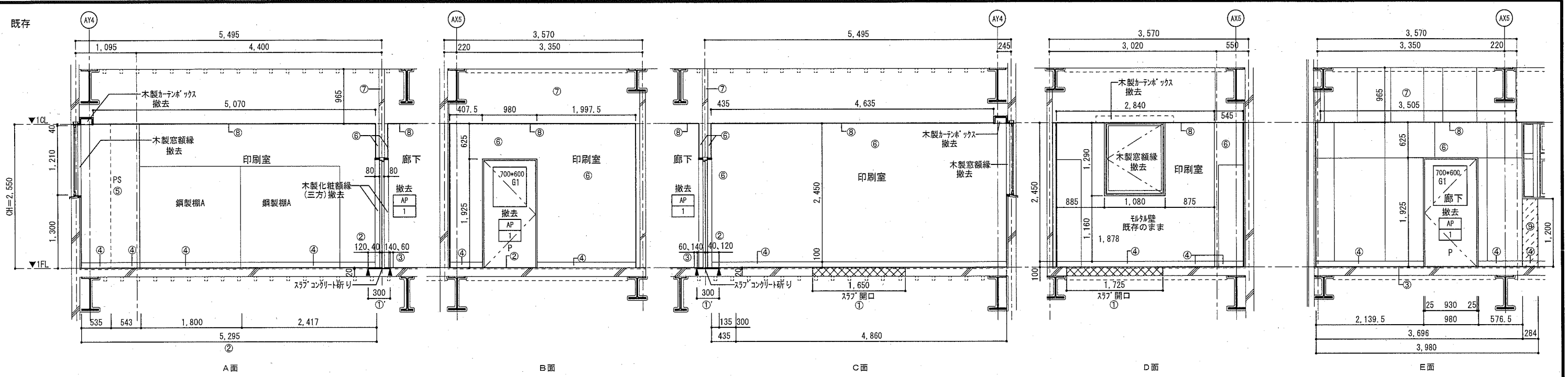
A棟 2階 配膳室 既存天井伏図 1/50

天井仕上・撤去内容凡例	
①	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0
②	木製カーテンボックス H140
備考	印刷室は全面撤去 廊下は天井部の天井撤去 木製窓額縁:フロント24見込60 撤去



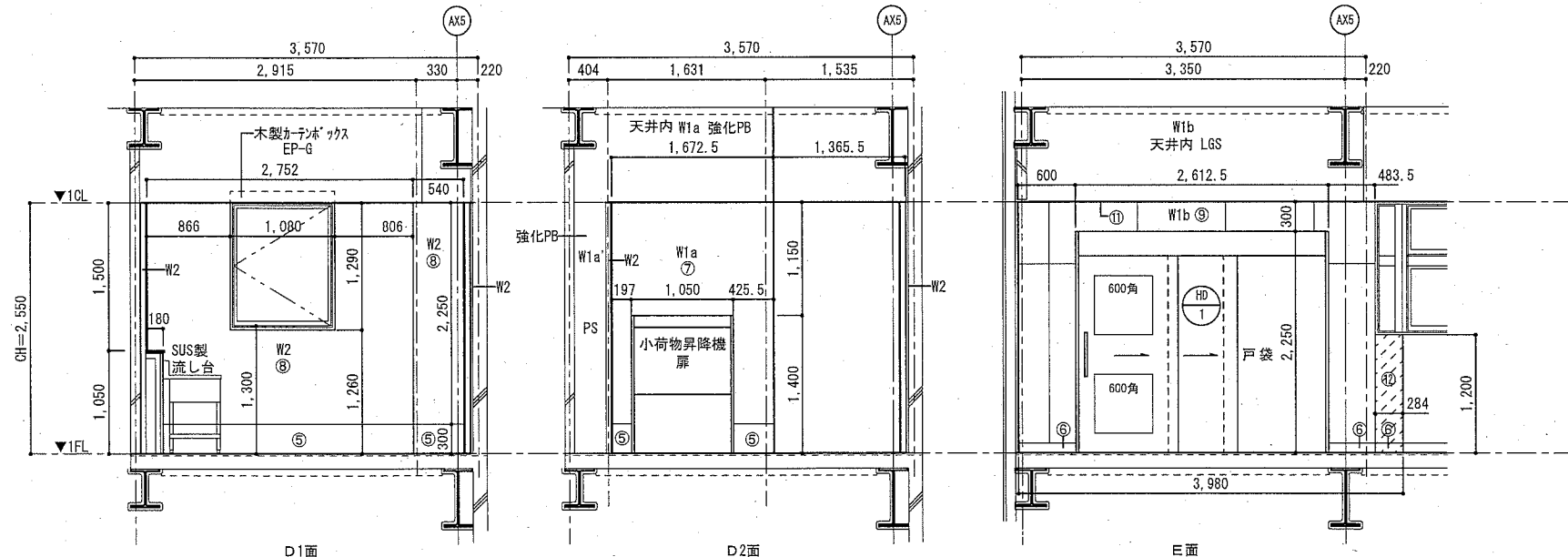
A棟 2階 配膳室 改修天井伏図 1/50

天井改修内容・凡例	
①	LGS(19型)@225、化粧石膏ボード-t-9.5 廻縁 塩ビ製
②	撤去面:LGS19型@303、石膏ボード-t-9.5、EP 廻縁 塩ビ製
③	木製廻縁EP-G
④	木製カーテンボックスEP-G(SUS製カーテンレール シング #共)
備考	天井点検口(450角)新設(位置は監督員との協議による決定する) 木製廻縁:スリット-24 見込140 木製カーテンボックス:スリット-24 塗装は見掛けのみEP-G



撤去内容	
床	① コンクリートスラブ t=155 (t=135+フカ20) 撤去 (型枠デッキプレート共)
	①' コンクリートスラブ t=20 新り (フカ面)
	② ビニルシート t=2.8 (7'レーン) 撤去
	③ ビニルシート t=2.8 (コイン) 撤去
巾木	④ ビニル巾木 (H100) 撤去
壁	⑤ LGS (65型) 下地、ケイカル板 t=10+8 撤去 ※PS面
	⑥ LGS (45型) 下地、ケイカル板 t=10+8 撤去 ※上記以外
	⑦ ALCパネル t=100 撤去 補強アングル (L=65*65*6) 共
天井	⑧ LGS下地、PBT-9.0 撤去
AP-1 (省槽共) 撤去、木製窓額縁撤去、木製カーテンボックス撤去	
⑨ 点線ハザ部分はケイカル板 (t=10+8) のみ撤去 (LGS (45型) 下地残し)	
※ ケイカル板 (t=8, t=10) :7'ス+含有成形板	
	▼ コンクリートカッター
	■ アルミカーテンボックス

A棟 2階 配膳室 既存展開図 1/50

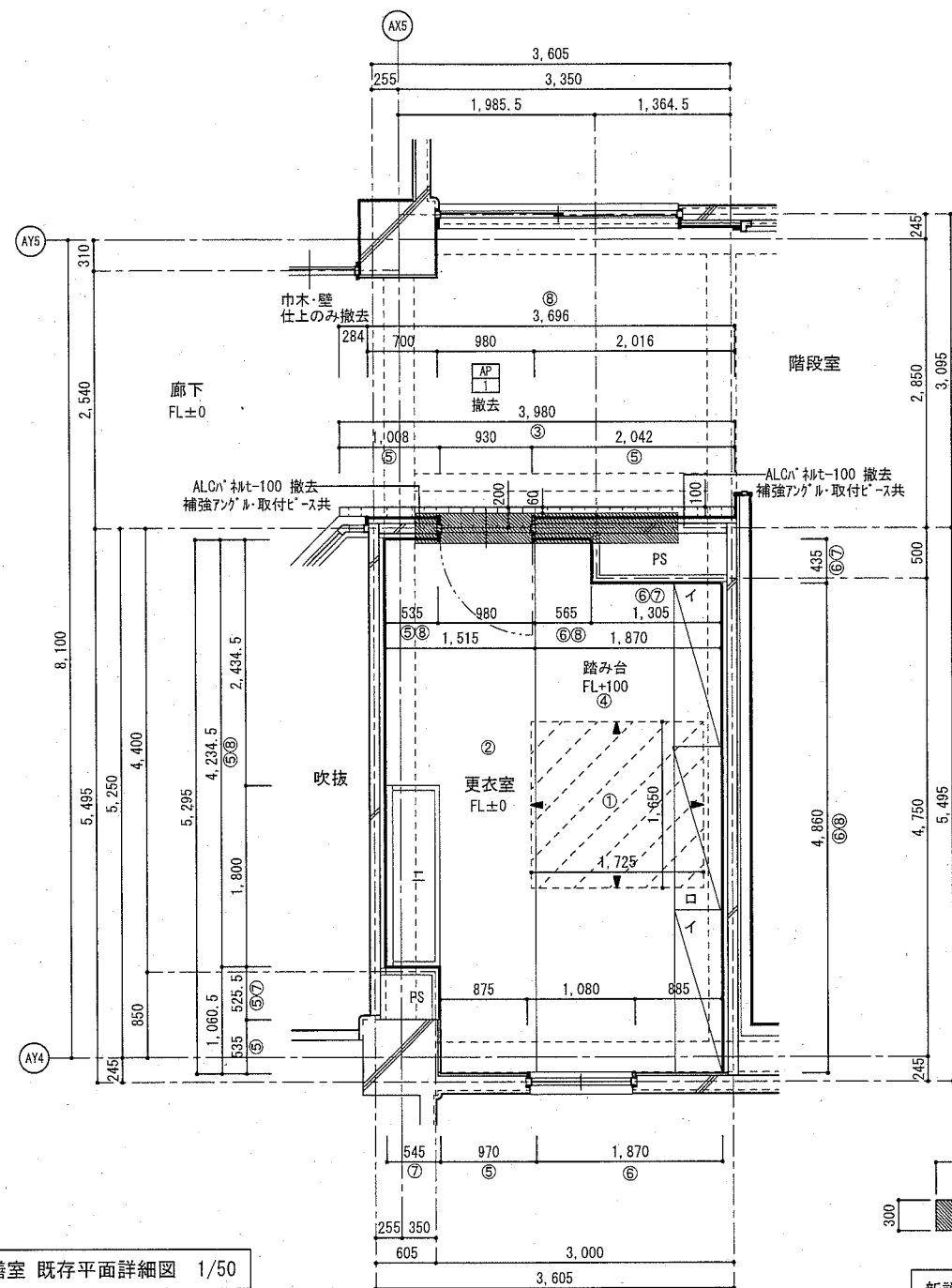
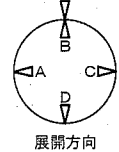


改修内容	
床	① モルタル t=20、ビニルシート t=2.0
	② 下地調整のうえビニルシート t=2.0
	③ モルタル t=20、ビニルシート t=2.5
	④ 下地調整のうえビニルシート t=2.5
巾木	⑤ ラワン合板 t=12.0 増張り、ビニル巾木 H300 (配膳室側)
	⑥ ビニル巾木 H100
壁	⑦ W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t=6.0
	⑧ W2面:LGS (50型@455)、ケイカル板 t=8.0、化粧ケイカル板 t=6.0
	⑨ ライニング:LGS (50型@455)、耐水ラワン合板 t=12.0、化粧ケイカル板 t=6.0
	⑩ W1b (廊下) 面:LGS (65型@455) 面にケイカル板 t=10+8 (目透し) EP-G
天井	⑪ LGS (19型@225) 化粧石膏ボード t=9.5 (配膳室側)
	⑫ LGS (19型@303) 石膏ボード t=9.5 (目透し) EP (廊下側)
⑬ 点線ハザ部分は仕上のみ新設復旧 (ケイカル板 t=10+8 目透し EP-G)	
木製カーテンボックス: スペース t=24、194*198*144 (SUS製C型カーテンレール/シングル)	
木製窓額縁: スペース t=24 見込140	
室名札	
ビニルシート t=2.0: 耐動荷重性・抗菌、ビニルシート t=2.5: コイン	
下地調整: マルメット ベース塗	

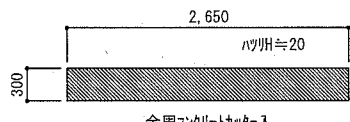
A棟 2階 配膳室 改修展開図 1/50



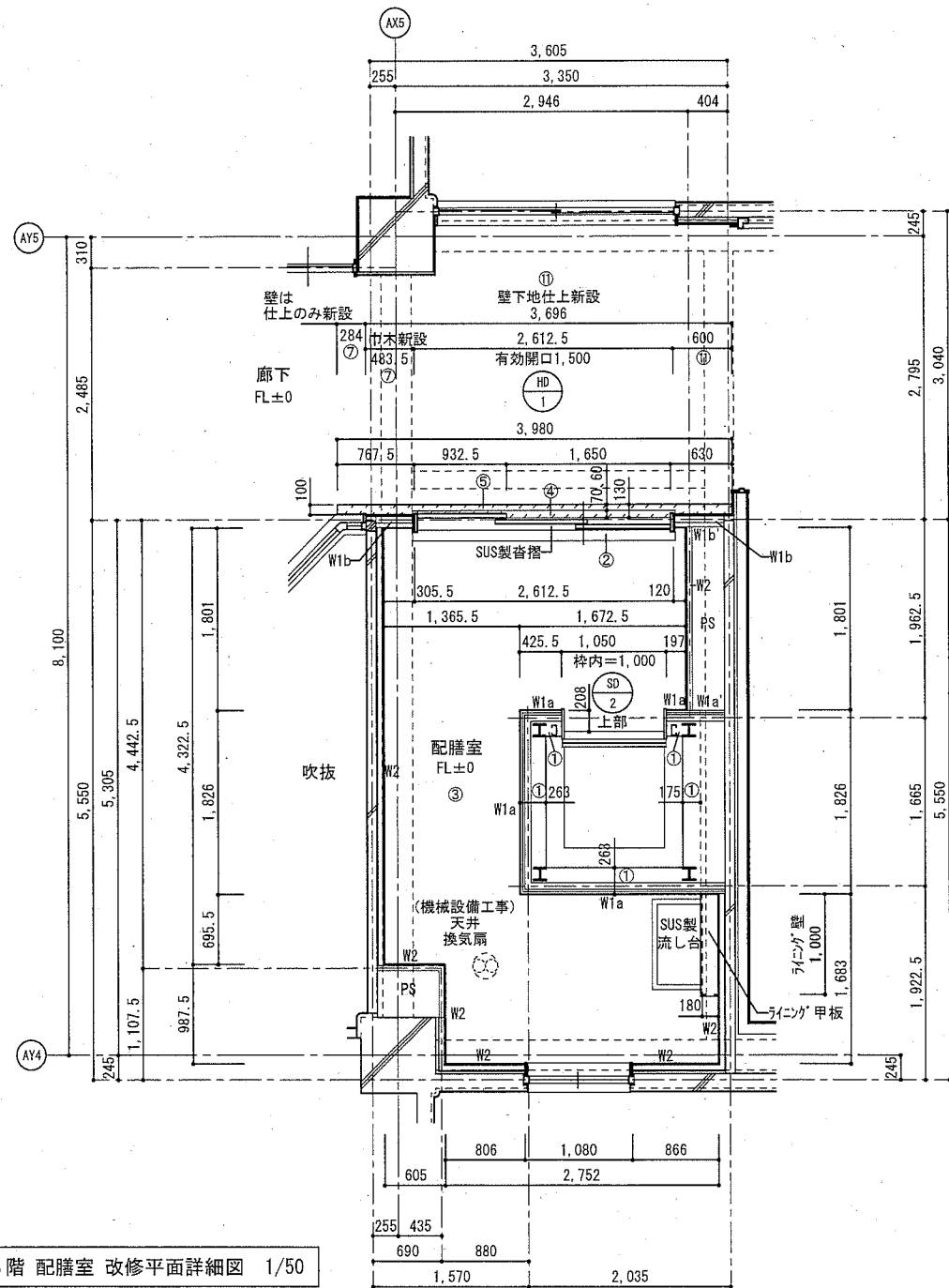
巨面は廊下改修面を示す



A棟 3階 配膳室 既存平面詳細図 1/50



新設HD-1 スラブ コンクリートハツリ平面図 1/50



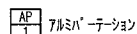
A棟 3階 配膳室 改修平面詳細図 1/50

更衣室 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155 (135+増打ち20) 直押え 踏み台:木床組、フローリング t-15 OSW 上記以外:ビニルシート-2.8 (グリーン)
巾木	踏み台面:木製巾木 t-24 (H100) OP 上記以外:ビニル巾木 (H100)
壁	モルタル面:モルタル (金タ) EP-G ホ-ド面:LGS下地、ケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	LGS (19型) PB t-9.0 (目透し) EP 廻線:塩ビ製

廊下 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155 (135+増打ち20) 直押え ビニルシート-2.8 (グリーン)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	ホ-ド面:LGS下地、ケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	LGS (19型) PB t-9.0 (目透し) EP 廻線:塩ビ製

撤去内容	
床	① コンクリートスラブ t-155 (135+増打ち20) 撤去 (型枠デッキプレート共) ② ビニルシート-2.8 (グリーン) 撤去 ③ ビニルシート-2.8 (グリーン) 一部撤去 ④ 木製踏み台 (木床組、フローリング t-15) 撤去
巾木	⑤ ビニル巾木 (H100) 撤去 ⑥ 木製巾木 (フローリング t-24 H100) 撤去
壁	⑦ LGS (65型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ⑧ LGS (45型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去
天井	LGS下地、石膏ホ-ド t-9.0 撤去

▼ コンクリートハツリ



棚類 撤去内容			
記号	名称	規格・寸法	数量
イ	鋼製棚A	W1510D450H1710	2
ロ	鋼製棚B	W1810D450H1710	1
ニ	木製流し台	L1800	1

配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	昇降路内:モルタル金タ t-18 既存スラブ面:下地調整のうえビニルシート-2.0 (耐荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板 t-12.0 増張り、ビニル巾木 (H300)
壁	W1a、W1b面:強化石膏ホ-ド面に化粧ケイカル板 t-6.0 W1a'、W1b'面:強化石膏ホ-ド面 素地仕上 W2面:LGS (50型) 下地、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0
天井	LGS (19型) 化粧石膏ホ-ド 廻線:塩ビ製

廊下 改修内部仕上表 ※撤去面のみ新設復旧	
部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート-2.5 (グリーン)
巾木	撤去面:モルタル t-17.5、ビニル巾木 t-2.5 (グリーン)
壁	W1b面:ケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	撤去面:LGS下地、石膏ホ-ド t-9.5 (目透し) EP

改修内容	
床	① コンクリートスラブ t-135復旧 モルタル金タ t-18 ② モルタル-20、ビニルシート-2.0 ③ 下地調整のうえビニルシート-2.0 ④ モルタル-20、ビニルシート-2.5 ⑤ 下地調整のうえビニルシート-2.5
巾木	⑥ ラワン合板 t-12.0 増張り、ビニル巾木 H300 (配膳室側) ⑦ ビニル巾木 H100
壁	⑧ W1a、W1b面:強化石膏ホ-ド面に化粧ケイカル板 t-6.0 ⑨ W1a'、W1b'面:強化石膏ホ-ド面 素地仕上 ⑩ W2面:LGS (50型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0 ⑪ W1b (廊下)面:LGS (65型@455)面にケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	LGS (19型@225) 化粧石膏ホ-ド t-9.5 (配膳室側) LGS (19型@303) 石膏ホ-ド t-9.5 (目透し) EP (廊下側)

木製カーテンボックス: スラブ t-24、194*198*144 (SUS製G型カーテンレール/シグナ) 木製窓額縁: スラブ t-24 見込140
室名札
ビニルシート-2.0: 耐荷重性・抗菌、ビニルシート-2.5: グリーン
下地調整: ホ-ド・コンクリート・スラブ

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2年 2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事

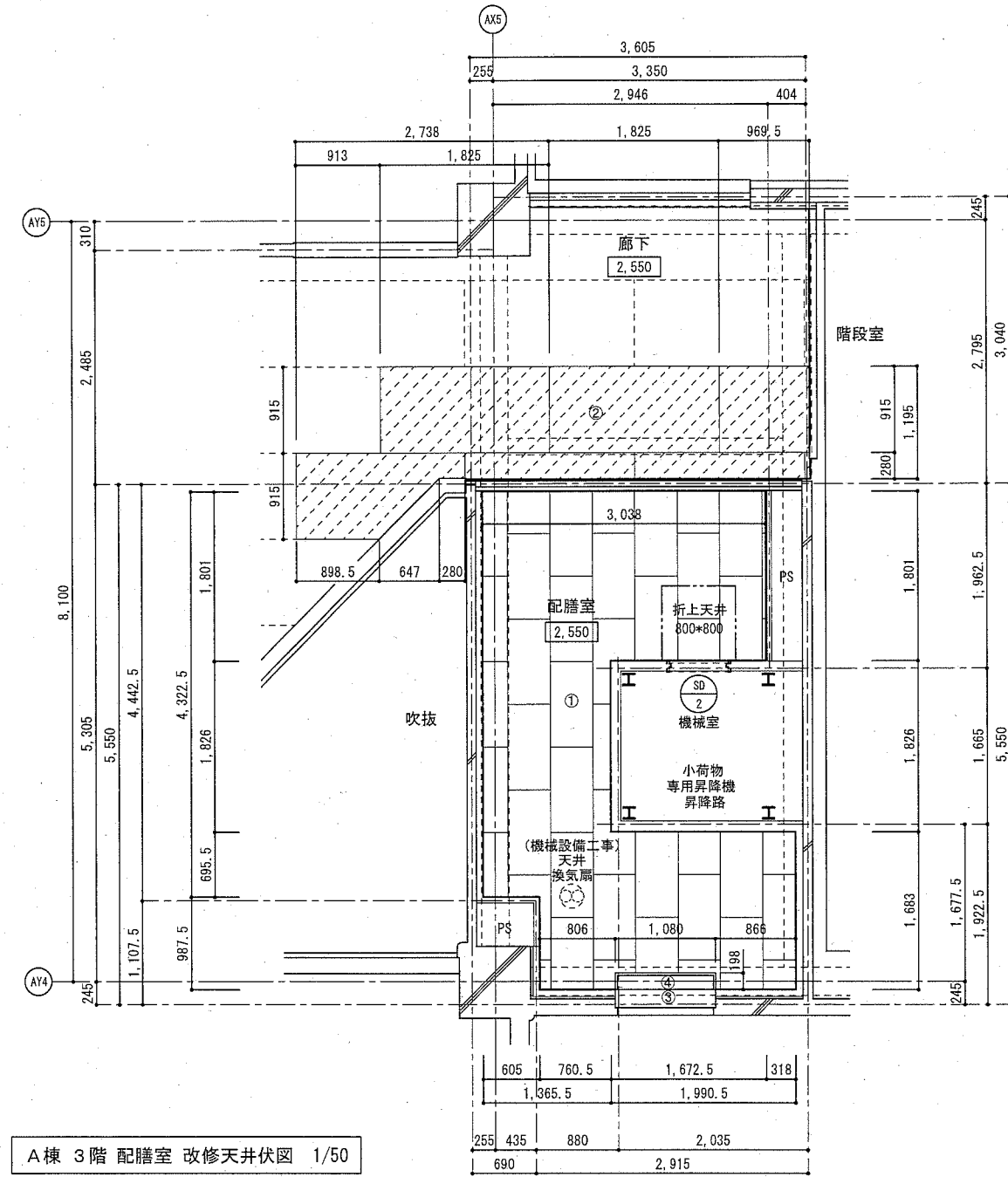
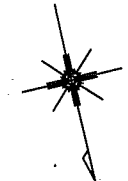
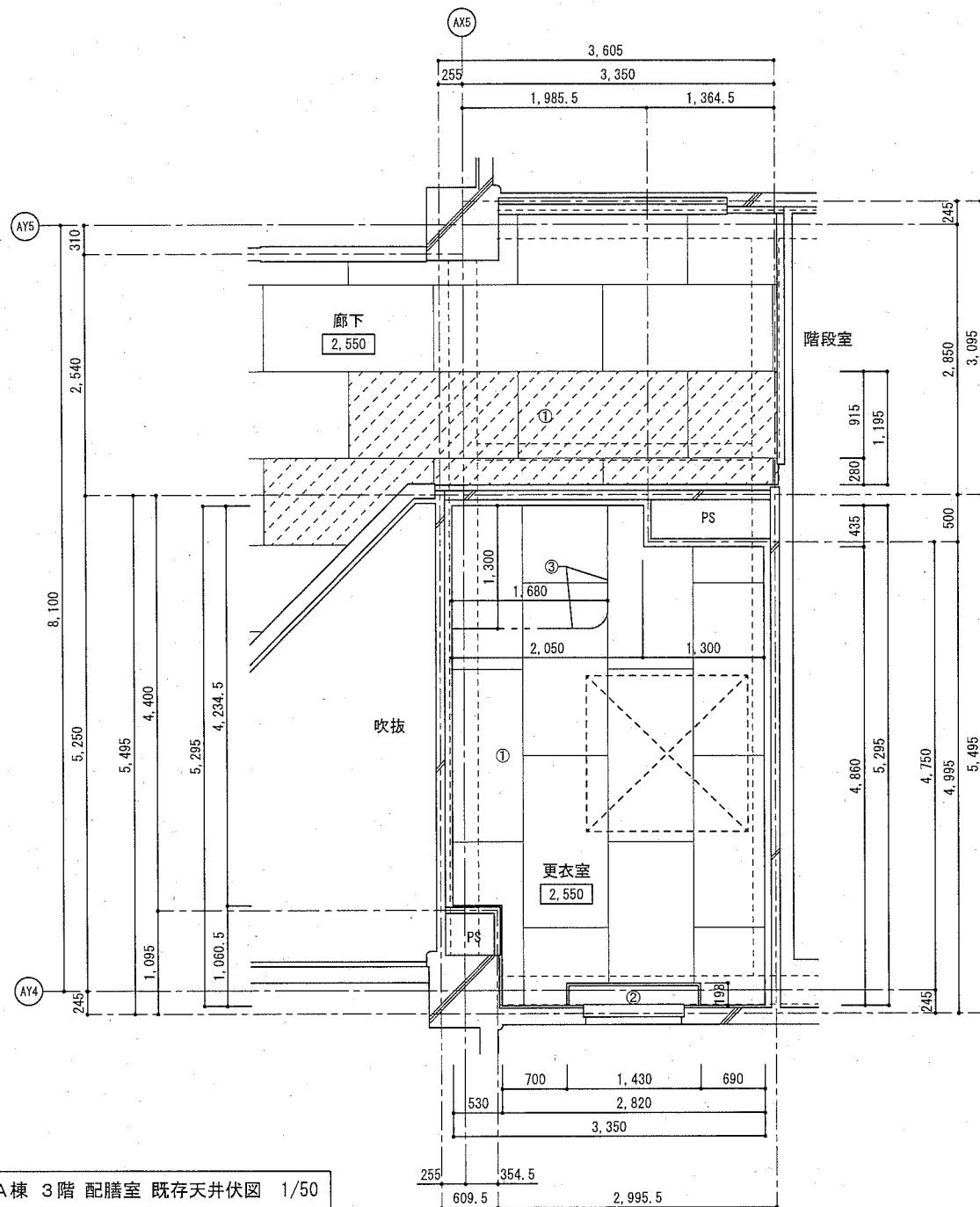
図面名称 長沢中学校 A棟 3階 配膳室 平面詳細図 (既存・改修)

縮尺

1/50

A-19

No.



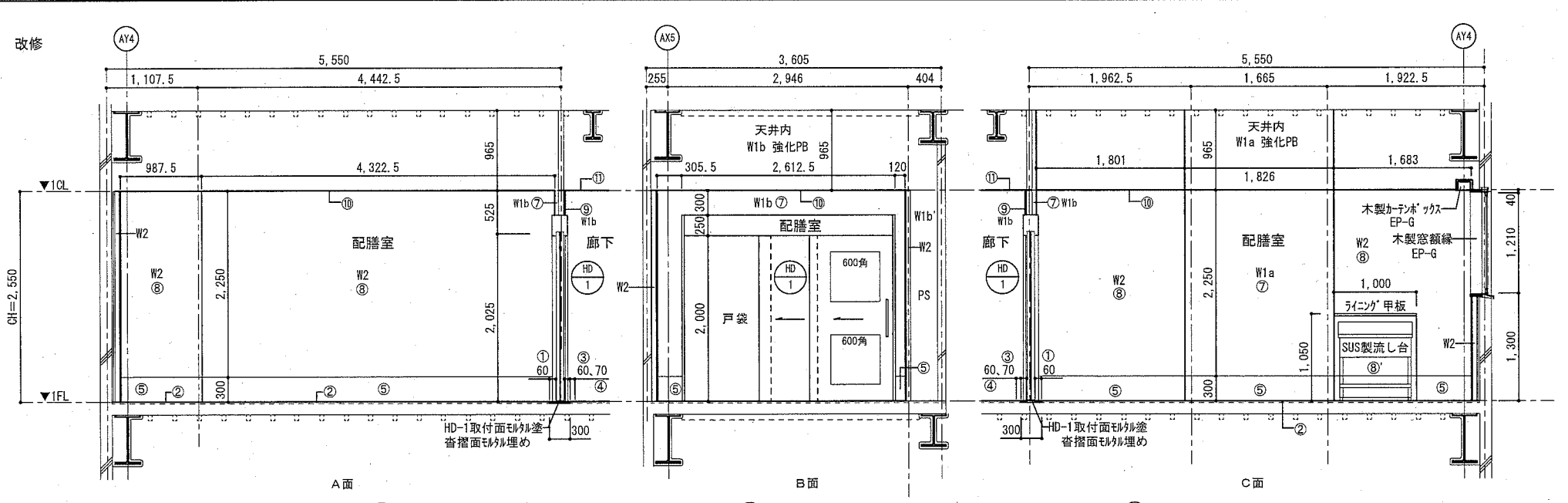
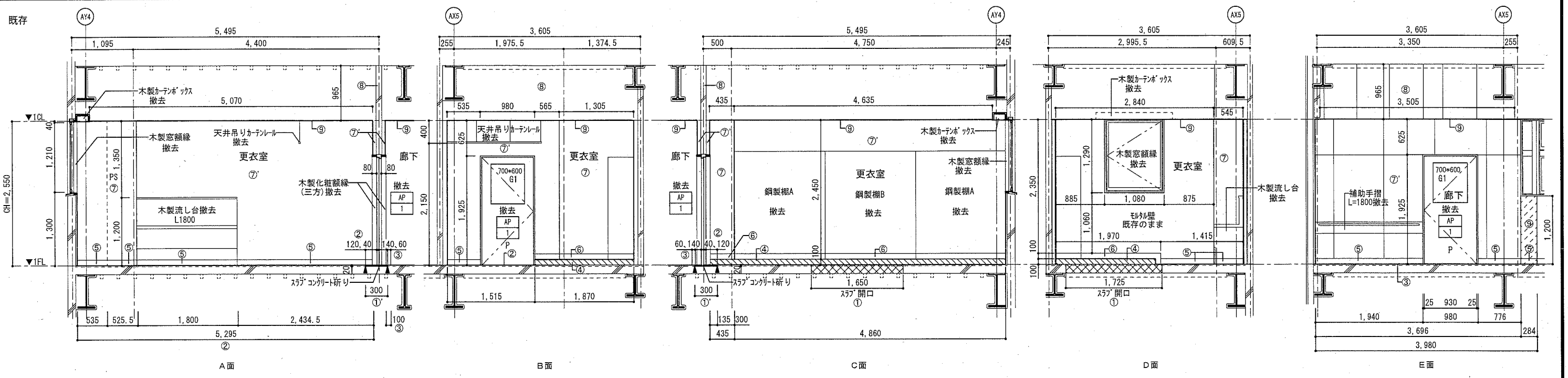
A棟 3階 配膳室 既存天井伏図 1/50

A棟 3階 配膳室 改修天井伏図 1/50

天井仕上・撤去内容凡例	
①	LGS19型@303、石膏ホ-ド-t-9.0
②	木製カテナ-ツカス H140 撤去
③	天井吊りフ-ル製カテナ-ル 撤去
備考	更衣室は全面撤去 廊下はハッチ部の天井撤去 木製窓額縁: フォント24見込60 撤去

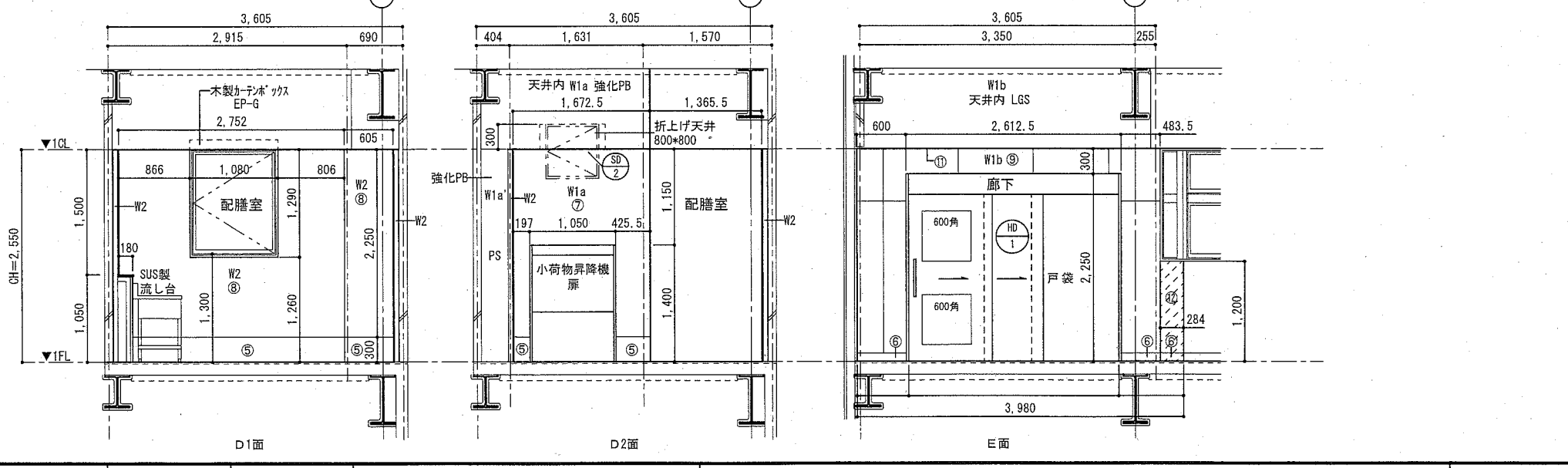
昇降路入り口 (1725*1650) を示す

天井改修内容・凡例	
①	LGS (19型) @225、化粧石膏ホ-ド-t-9.5 廻縁 塩ビ製
②	撤去面: LGS19型@303、石膏ホ-ド-t-9.5、EP 廻縁 塩ビ製
③	木製額縁EP-G
④	木製カテナ-ツカスEP-G (SUS製カテナ-ル シンク 共)
備考	天井点検口 (450角) 新設 (位置は監督員との協議による決定する) 木製額縁: ス* スt-24 見込140 木製カテナ-ツカス: ス* スt-24 塗装は見掛けのみEP-G



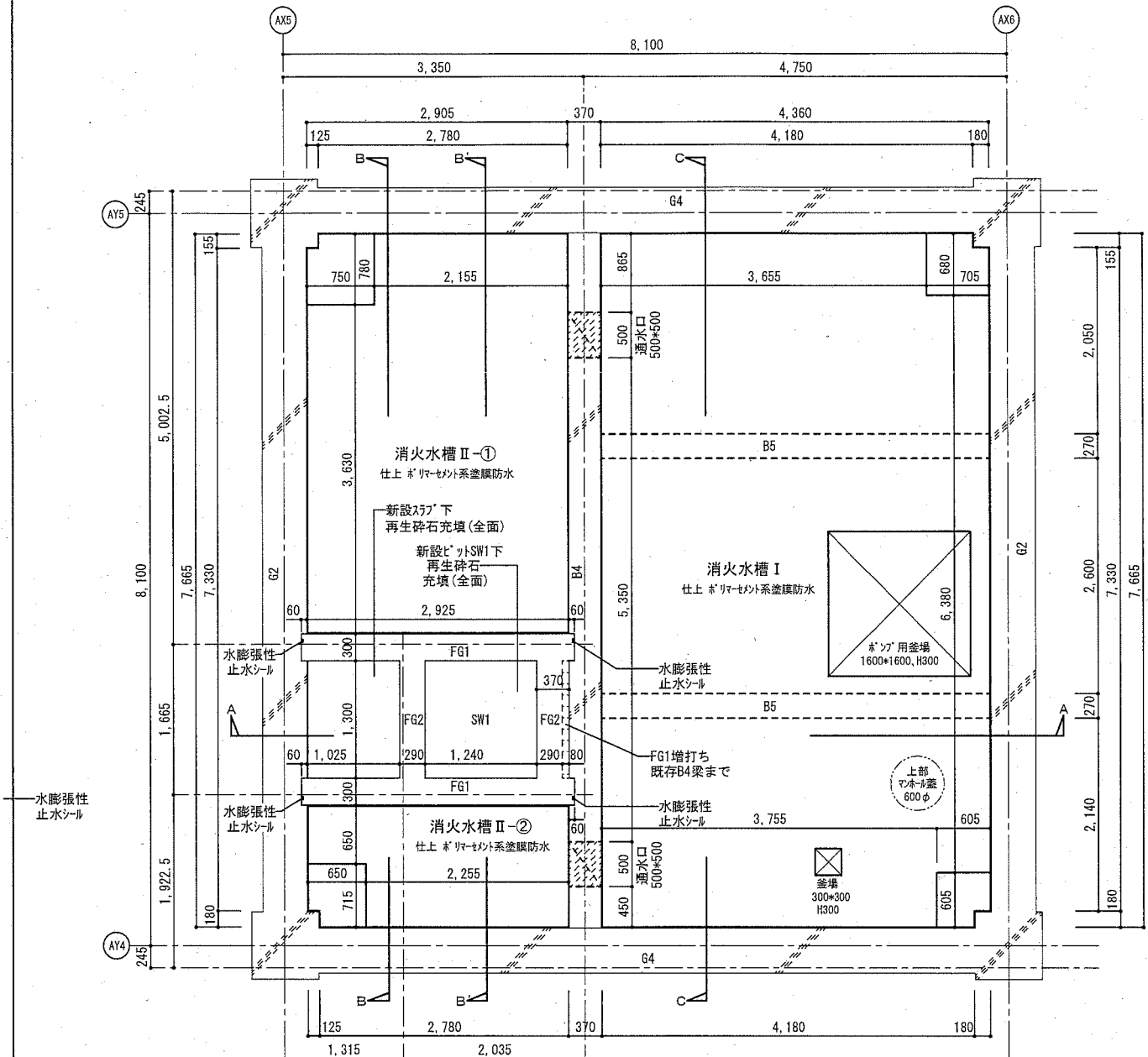
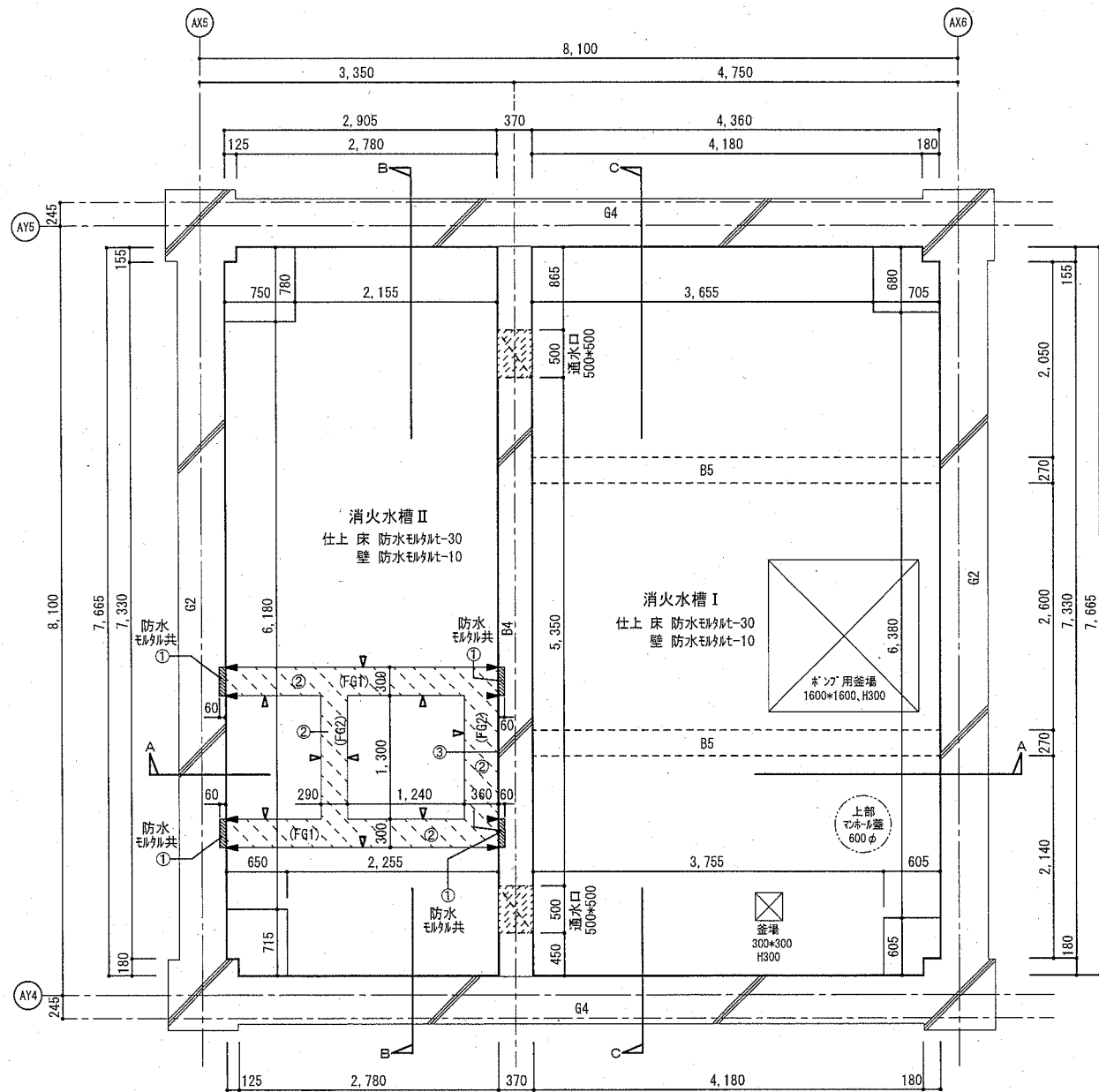
撤去内容	
床	① コンクリートスラブt-155 (t-135+フカ20) 撤去 (型枠デッキプレート共)
	①' コンクリートスラブt-20新り (フカ面)
	② ビニシートt-2.8 (7'レーン) 撤去
	③ ビニシートt-2.8 (コイン) 撤去
	④ 木床組、フローリングt-15撤去
巾木	⑤ ビニ巾木 (H100) 撤去
	⑥ 木製巾木 (7'ワンt-24 H100) 撤去
壁	⑦ LGS (65型) 下地、ケイカル板t-10+8撤去 ※PS面
	⑦' LGS (45型) 下地、ケイカル板t-10+8撤去 ※上記以外
	⑧ ALCパネルt-100撤去 補強アングル (L-65*65*6) 共
天井	⑨ LGS下地、PBt-9.5撤去
AP-1 (管槽共) 撤去、木製窓額縁撤去、木製カーテンボックス撤去 7'製天井吊りカーテンレール撤去、補助手摺 (30φ樹脂コネクション) 7'製支持金物*3共撤去 LGS45型 (45*25、@303) ⑨点線ハッチ部分はケイカル板 (t-10+8) のみ撤去 (LGS (45型) 下地残し)	
	▼コンクリートカッター 7'製パネルネーション

A棟 3階 配膳室 既存展開図 1/50



改修内容	
床	① モルタルt-20、ビニシートt-2.0
	② 下地調整のうえビニシートt-2.0
	③ モルタルt-20、ビニシートt-2.5
	④ 下地調整のうえビニシートt-2.5
巾木	⑤ フワン合板t-12.0増張り、ビニ巾木H300 (配膳室側)
	⑥ ビニ巾木H100
壁	⑦ W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板t-6.0
	⑧ W2面:LGS (50型@455)、ケイカル板t-8.0、化粧ケイカル板t-6.0
	⑧' ライニング:LGS (50型@455)、耐水フワン合板t-12、化粧ケイカル板t-6.0
	⑨ W1b (廊下) 面:LGS (65型@455) 面にケイカル板t-10+8 (目透し) EP-G
天井	⑩ LGS (19型@225) 化粧石膏ボードt-9.5 (配膳室側)
	⑩' LGS (19型@303) 石膏ボードt-9.5 (目透し) EP (廊下側)
⑩点線ハッチ部分は仕上のみ新設復旧 (ケイカル板t-10+8目透しEP-G) 木製カーテンボックス: スラスト-24、194*198*144 (SUS製G型カーテンレール/シングル) 木製窓額縁: スラスト-24見込140 室名札 ビニシートt-2.0: 耐動荷重性: 抗菌、ビニシートt-2.5: コイン 下地調整: 樹脂セメントペースト塗	

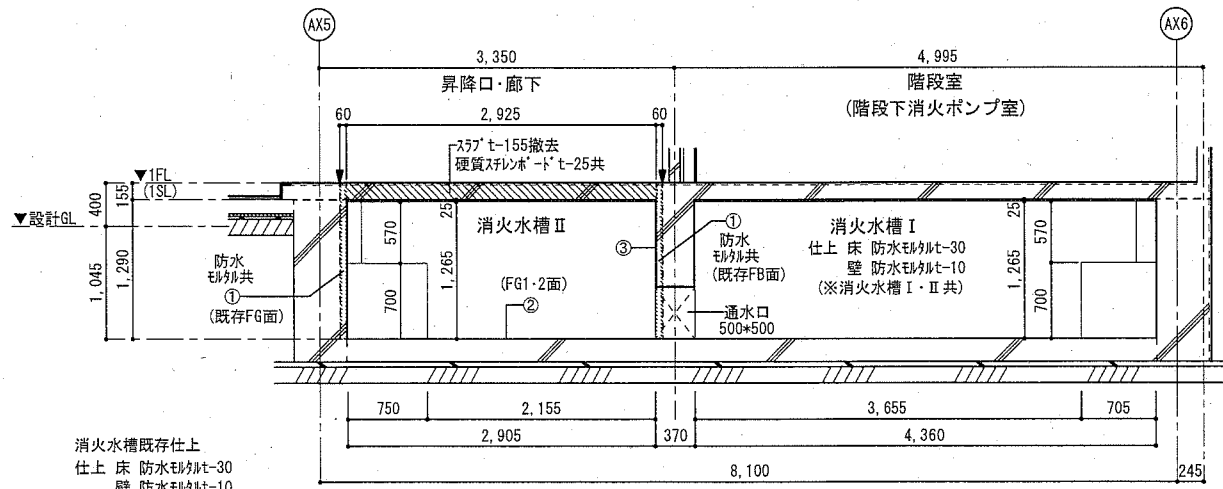
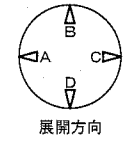
A棟 3階 配膳室 改修展開図 1/50



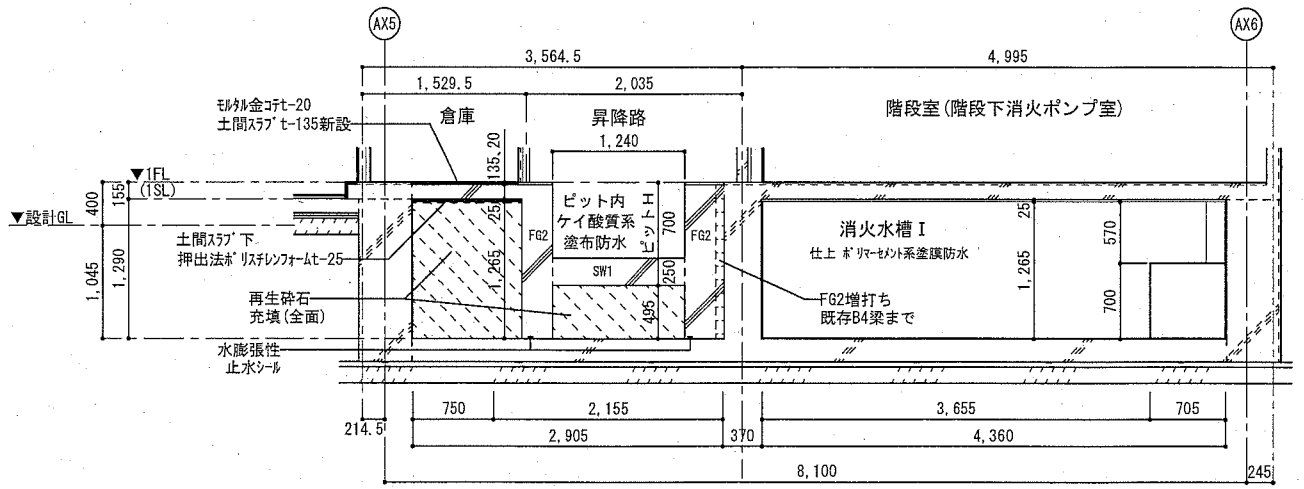
- 撤去凡例・内容
- ① 基礎梁コンクリート 一部ハツリ t=60(実線ハツ部分)
 - ② 床 防水モルタル t=30 撤去
 - ③ 壁 防水モルタル t=10 撤去(点線ハツ部分)
- ▼コンクリートカット入 ▼モルタルカット入

A棟 1階下消火水槽 既存平面詳細図 1/50

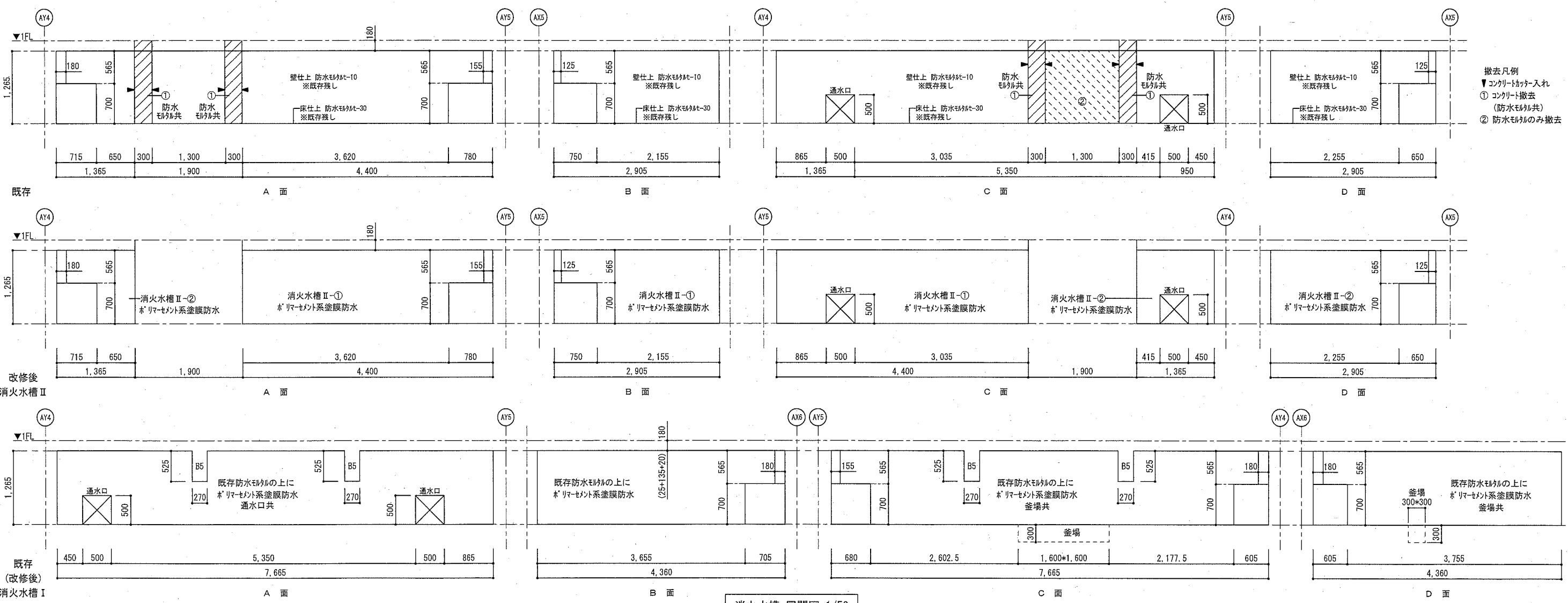
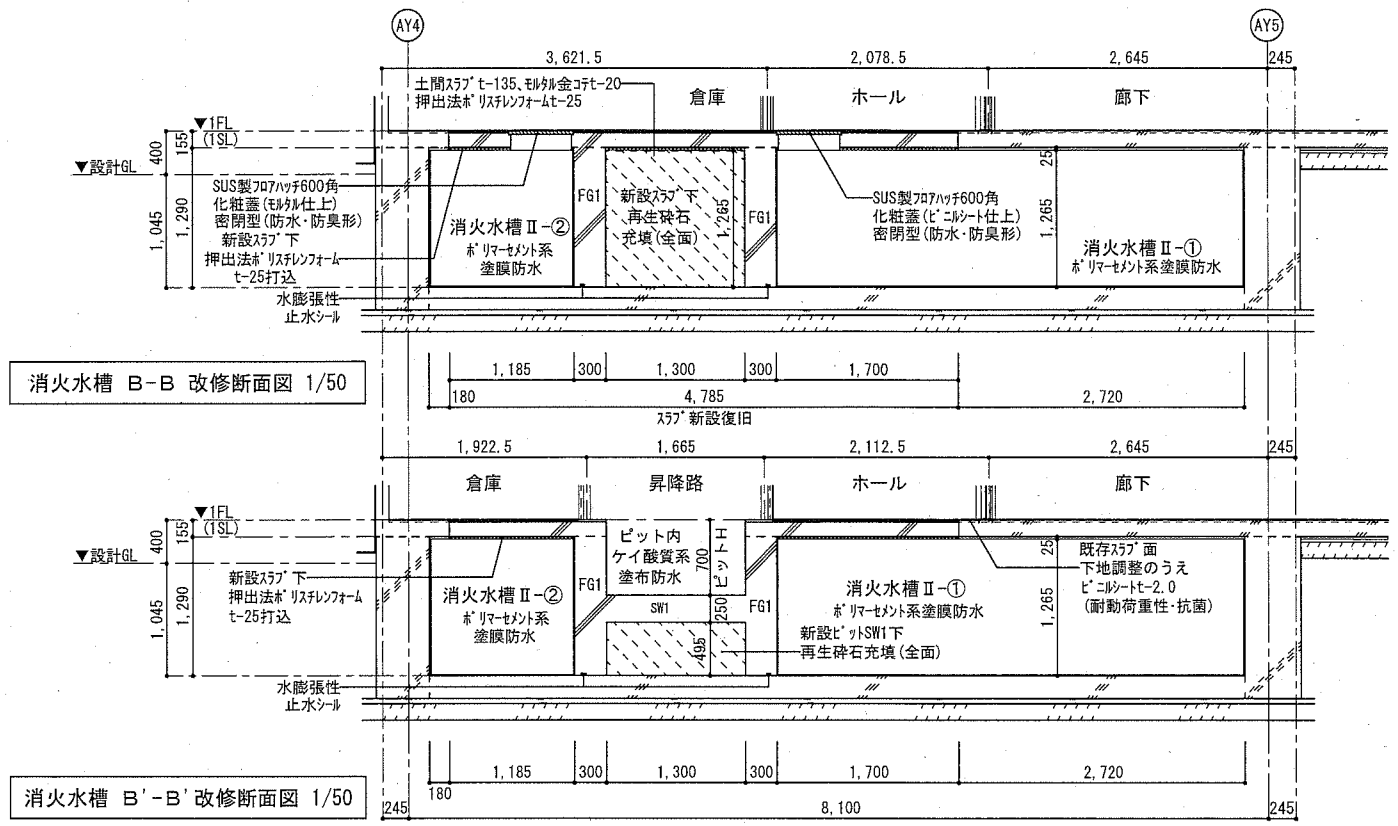
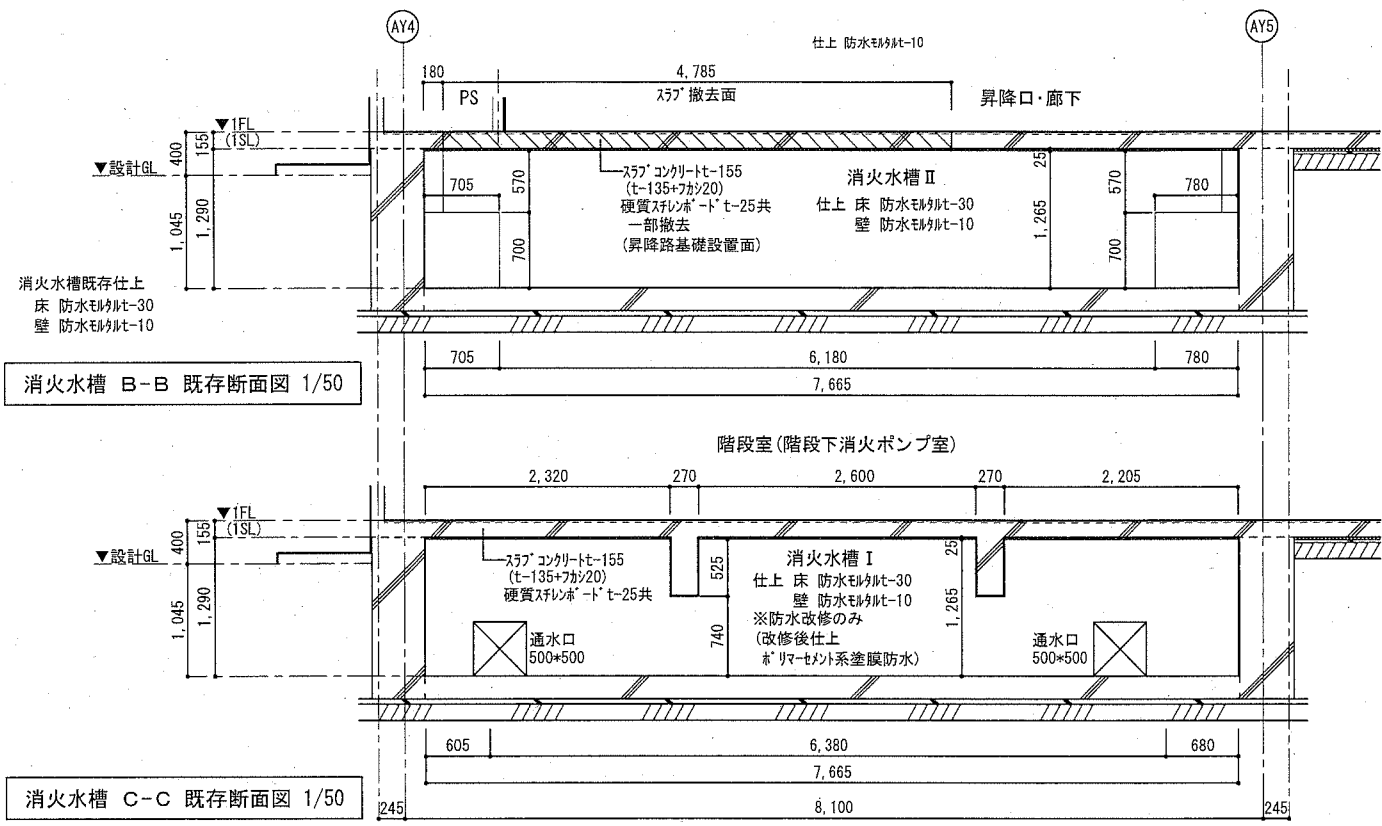
A棟 1階下消火水槽 改修平面詳細図 1/50



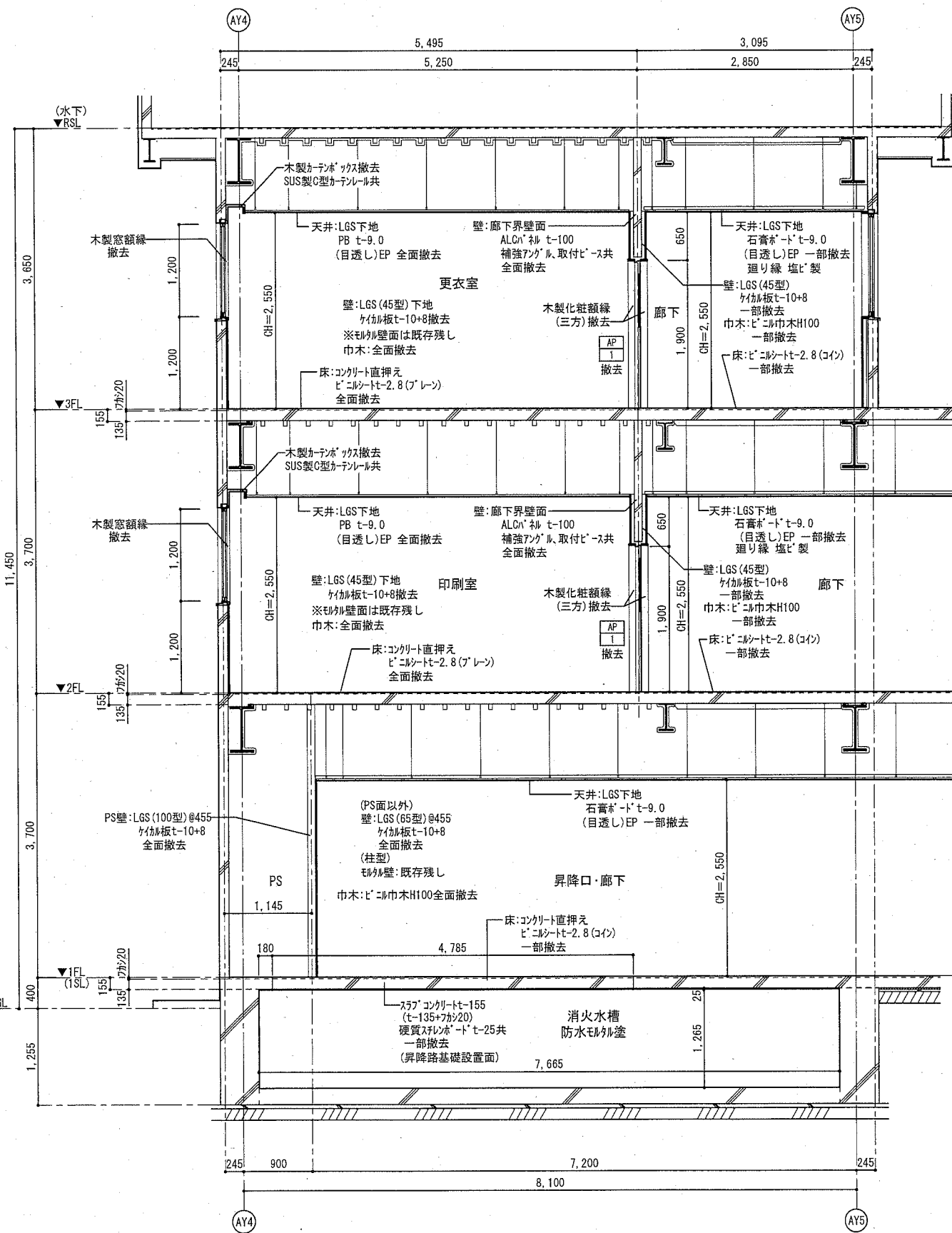
消火水槽 A-A 既存断面図 1/50



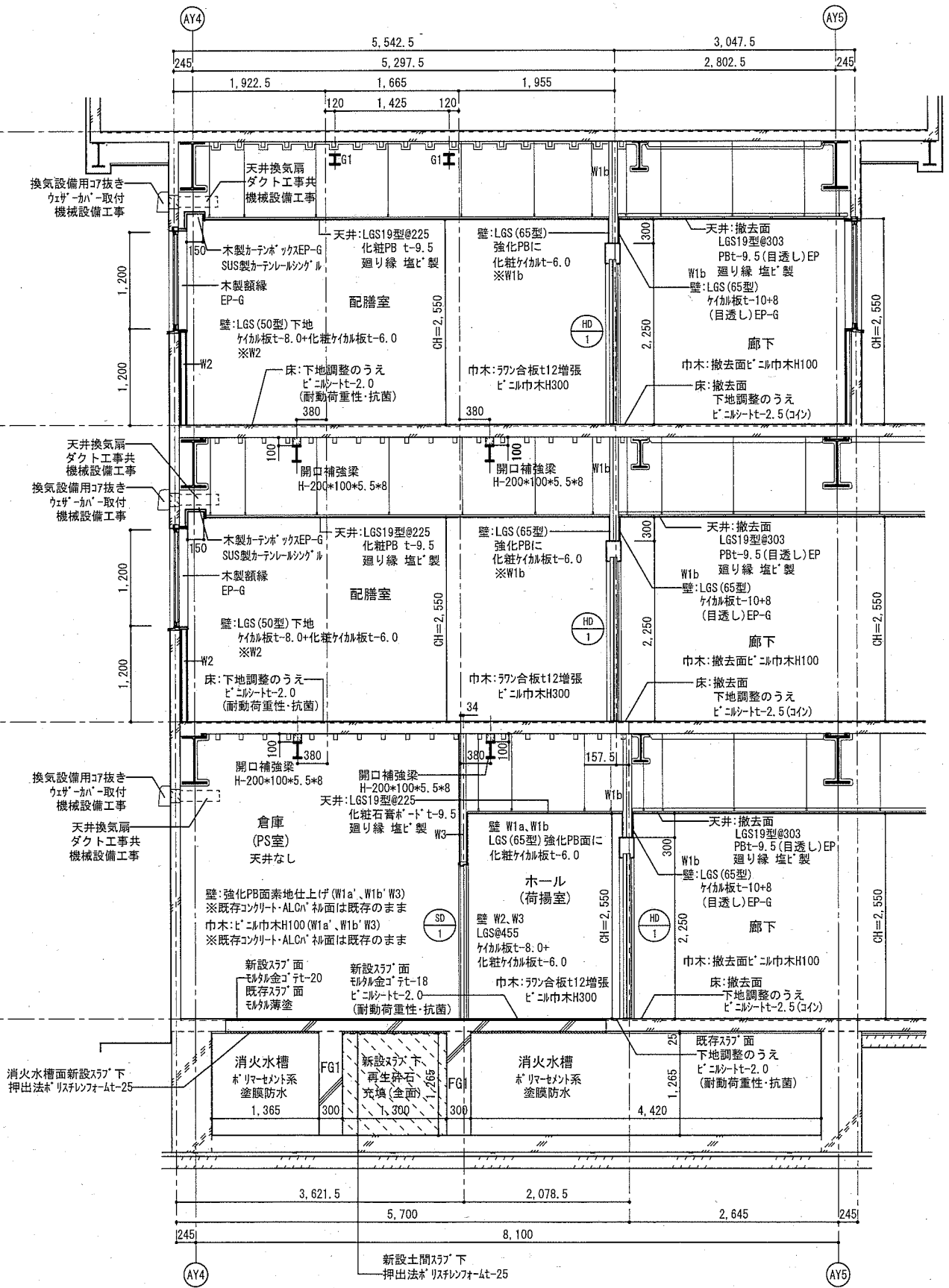
消火水槽 A-A 改修断面図 1/50



公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-23 No.
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	A棟 1階下消火水槽改修図-2 (断面図、展開図 既存・改修)			



Y方向 矩計図(既存) 1/50



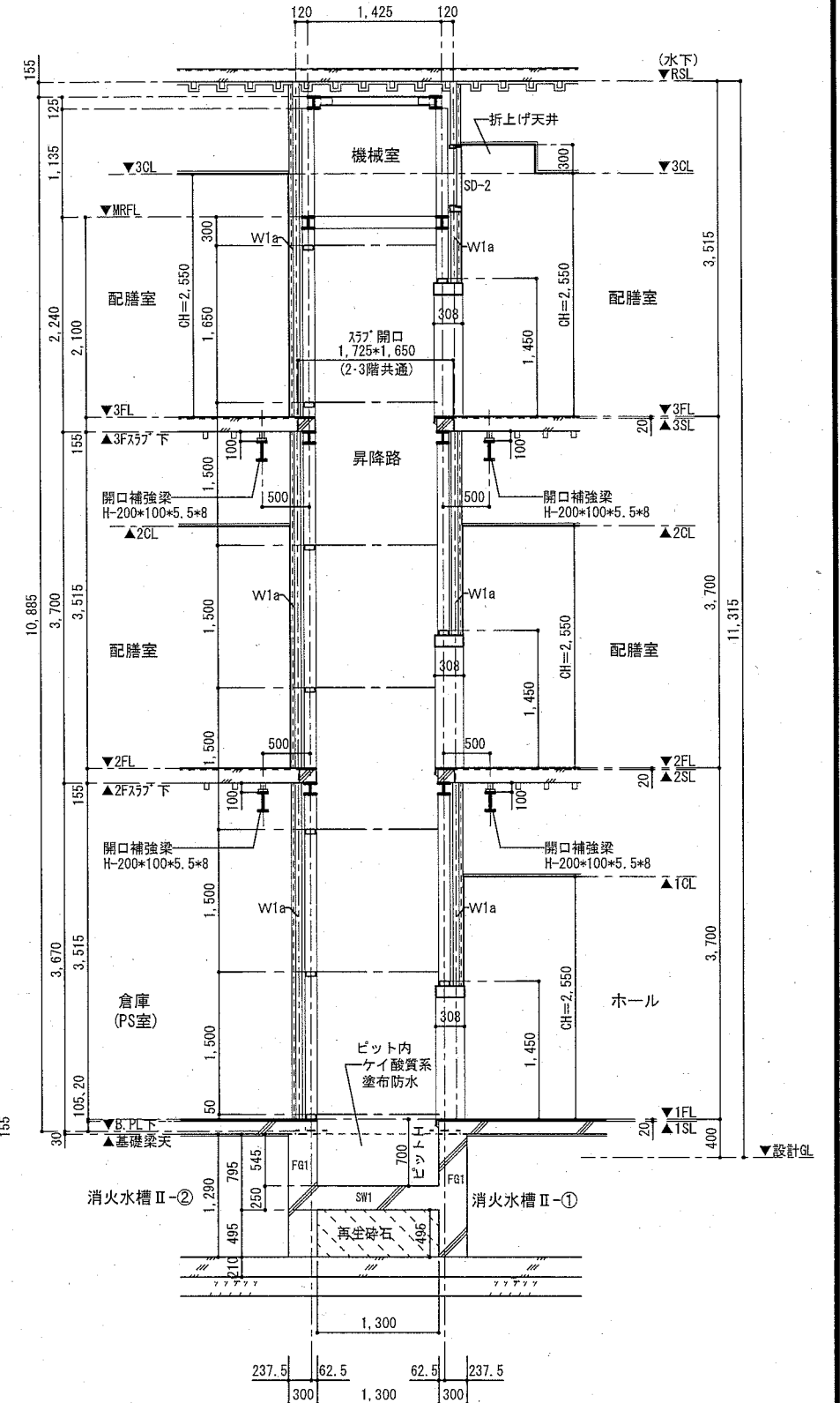
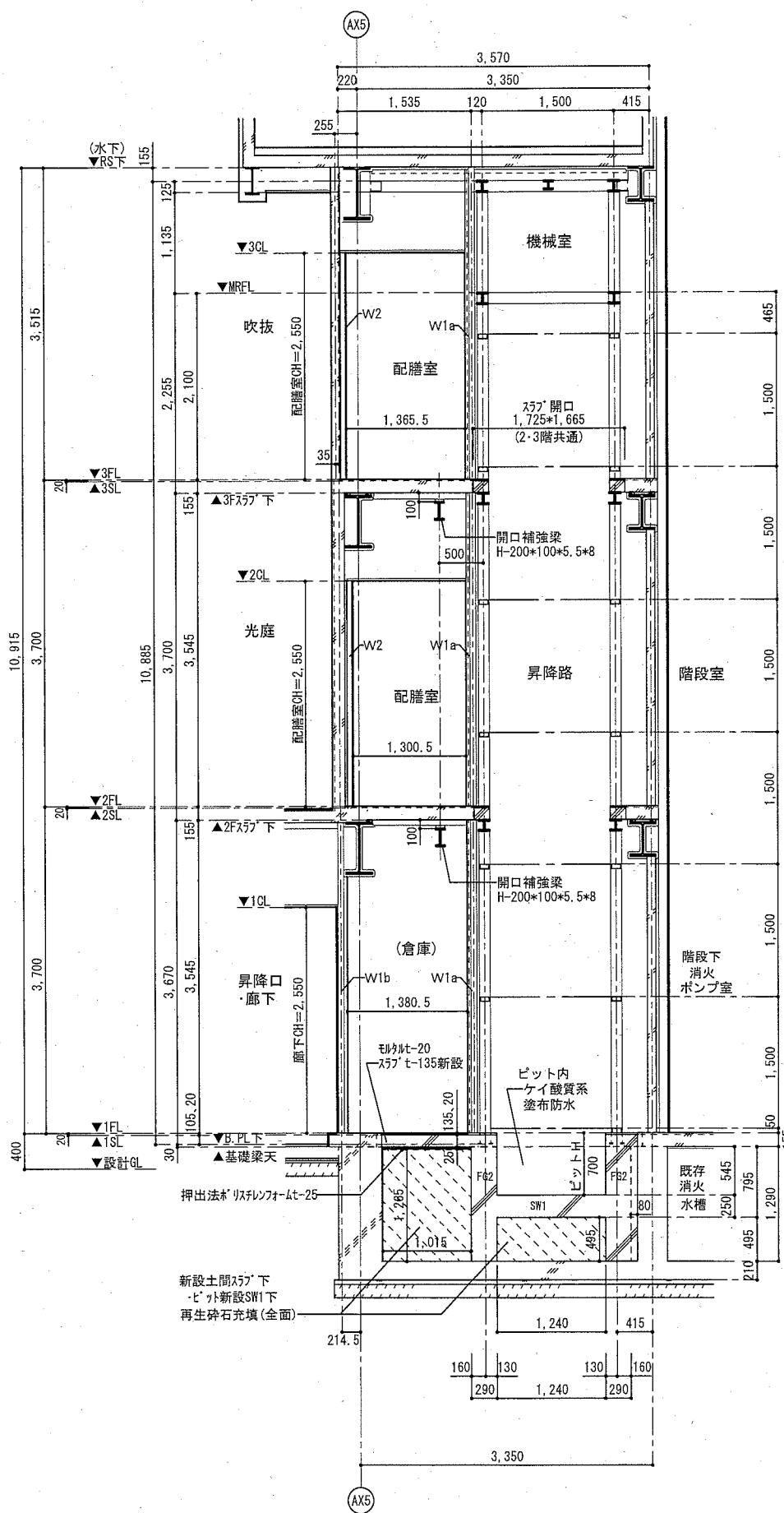
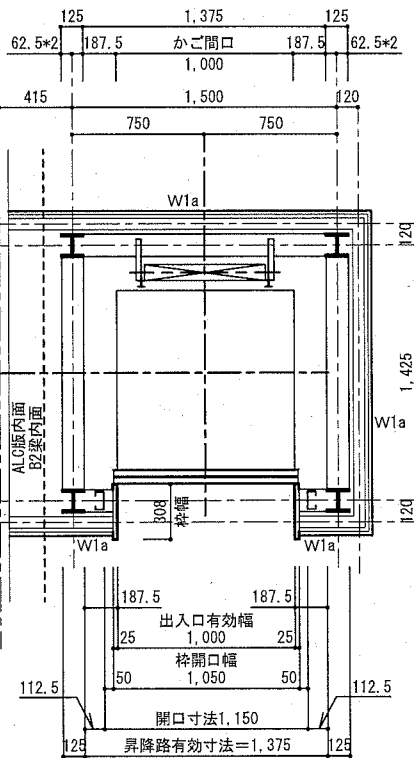
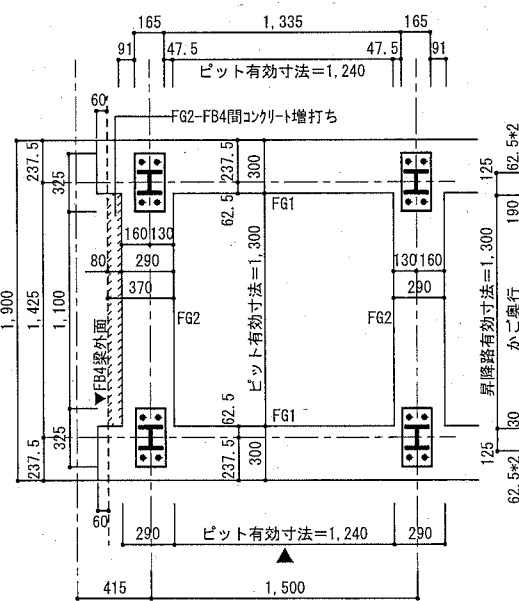
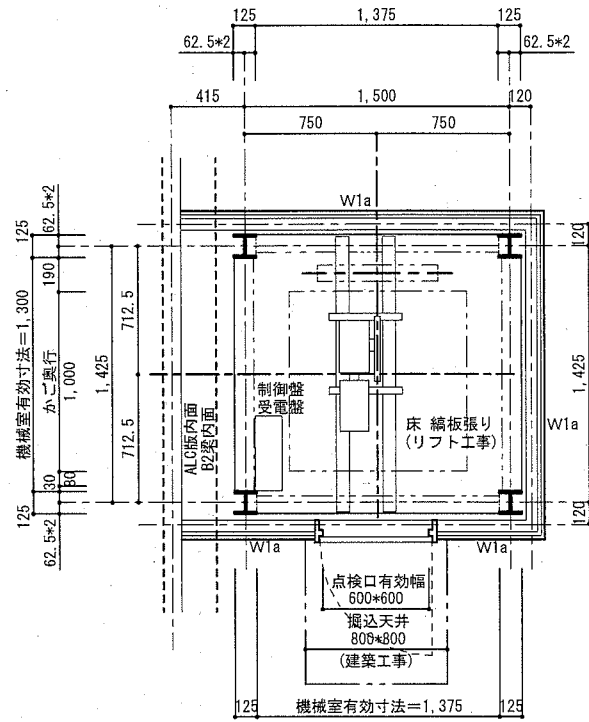
Y方向 矩計図(改修) 1/50

新設スラブコンクリート-135(砂金ゴテ-18、ビニシート-2.0仕上にて既存レベリに合わせる)
*リマセメント系塗膜防水:既存消火水槽内を全面改修する

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-24
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	A棟 1階 ホール、2・3階配膳室 矩計図(既存・改修)			No.

(建築工事)
 機械室点検口
 防火戸・施錠付
 立柱4ヶ所、敷居受け材、機械台受梁
 H-125x125x6.5x9
 5kN揚重用ビーム
 H-100x100x6x8

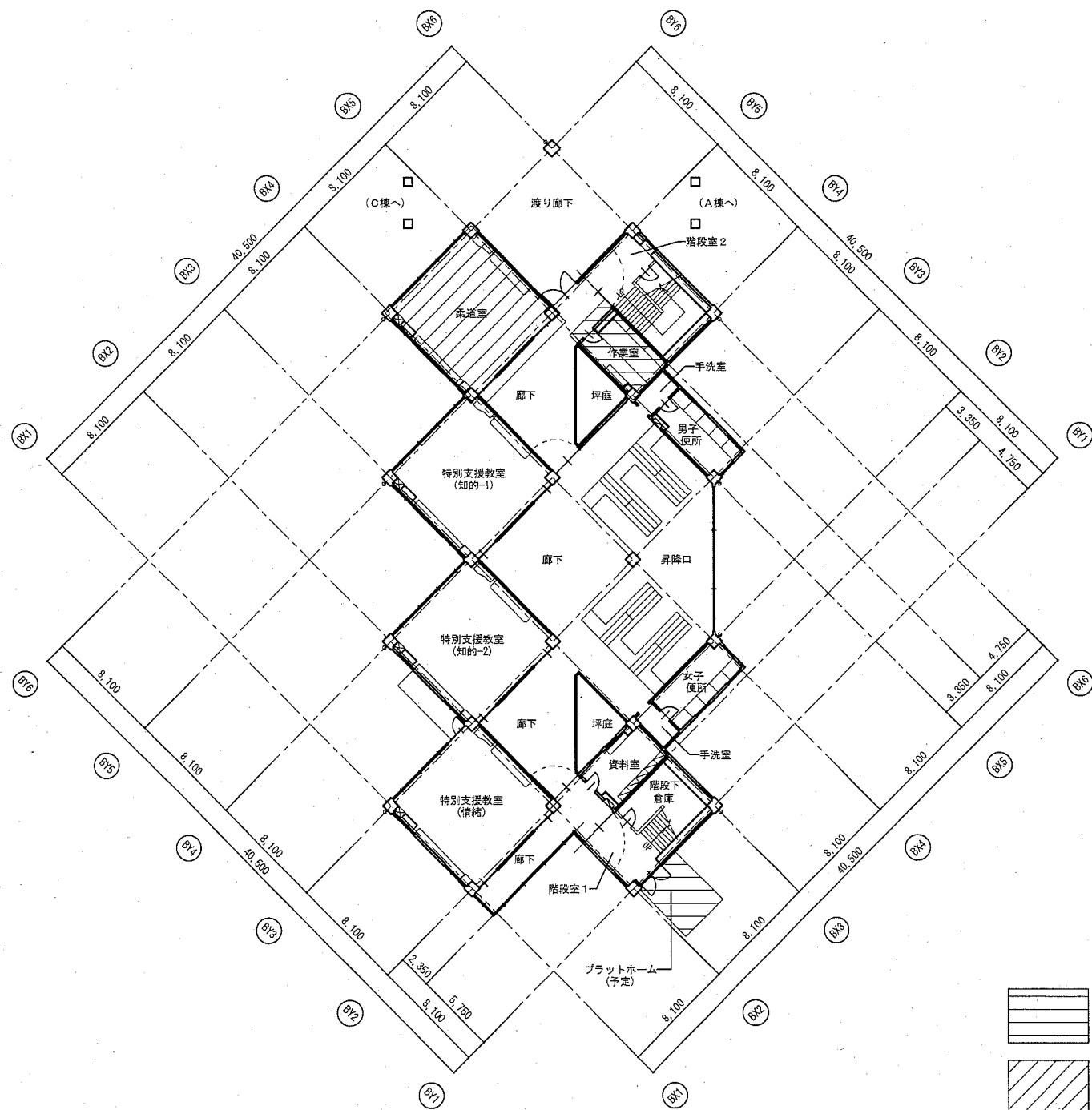
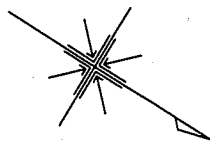
(建築工事)
 柱
 H-125x125x6.5x9 4本
 スラブ接合材
 H-125x125x6.5x9
 敷居受け材
 H-125x125x6.5x9
 枠止め材
 C-100x50x20x3.2
 レール受材
 C-100x50x20x3.2



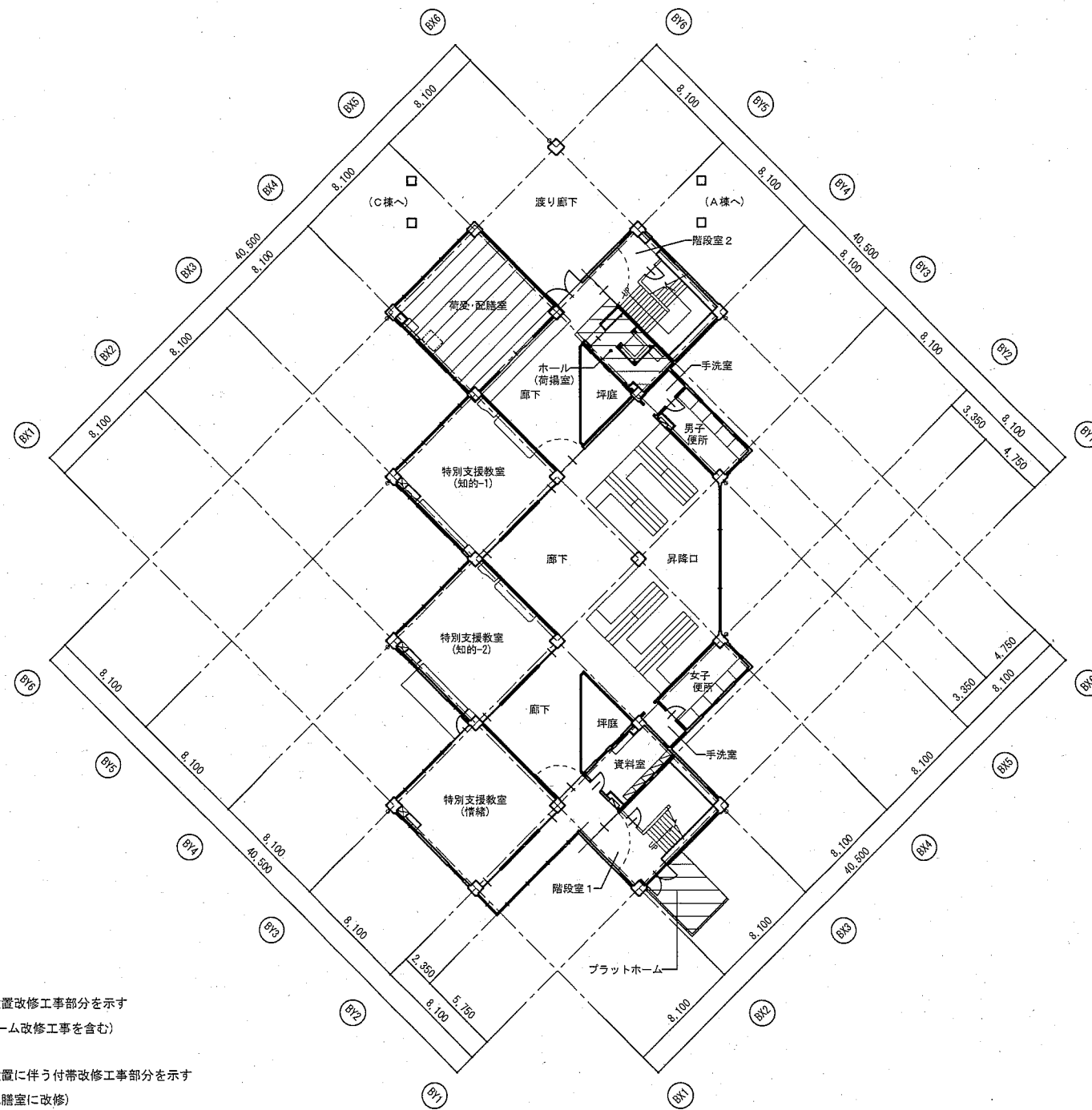
内部仕上表(日棟)									
階	既存改修	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考
1階	既存	柔道室	スラブコンクリート-135 ※一部撤去 モルタル-35、フローリング-15 ※全面撤去 出入口側式台:木床組、フローリング-15 H120 ※全面撤去	木製(70x24)H100 ※全面撤去	コンクリート面:モルタル-20、EP-G ※既存残し 廊下: LGS(100型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G ※全面撤去 上記以外: LGS(65型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G ※全面撤去 掲示壁: 上記-ド面にフッ合板t-5.5、掲示カス ※全面撤去 掲示壁見切縁: 70x25x25SOP ※全面撤去	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0(目透し)EP ※全面撤去	塩ビ製	2,900	撤去: AP-2、窓ガラス(AW-1一部撤去、AW-2全面撤去、AW-2'一部撤去)、木製額縁(AW-1、AW-2 2ヶ所) 木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共 AW-1、AW-2、AW-2'、木製棚、木製教壇、木製流し、黒板A、黒板B、掲示壁A、掲示壁B、掲示壁C、鋼製ツカ- #5、鋼製掃除用具入、天井吊りロープクリン、柔道畳(t-60 21畳)
	改修	荷受・配膳室	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コ-135新設 モルタル-48、ビニシート-2.0 昇降路、PS、ライニング内はモルタル-48	フッ合板t-12増張 ビニ巾木H300	W1b: LGS(65型)、強化石膏ボード面に化粧ケイカル板t-6.0 W2: LGS(65型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 ライニング: LGS(50型)@455、フッ合板面に化粧ケイカル板t-6.0 W4(AW-1 既存柱側面): 木下地、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 木下地: 70x20+40程度@300以内	LGS19型@225、化粧石膏ボード-t-9.5	塩ビ製	2,750	新設: AD-1、AP-1(更衣スペース仕切壁)、木製額縁、木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共(AW-1、AW-2' 廊下側) ライニング甲板、SUS製流し台、70x25製天井吊りロープクリン #2、室名札 改修: AW-1(一部70x25製t-3.0新設、ガラス交換)、AW-2(70x25製t-3.0 全面新設)、AW-2'(70x25製t-3.0 一部新設)
	既存	作業室	スラブコンクリート-155(135+70x20) ※一部撤去 踏台: 木床組、フローリング-15 ※全面撤去 踏み台以外: ビニシート-2.8(グリーン) ※全面撤去	コンクリート壁面 ビニ巾木H100 ボード壁面 木製巾木(70x24)H100SOP ※全面撤去	コンクリート壁面:モルタル-20、EP-G ※既存のまま 廊下室内側面: LGS(65型)@455、ケイカル板t-10+8(片面)EP-G ※全面撤去 PS壁面: LGS(65型)@455、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 上記以外の室内-ド壁: LGS(45x25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0(目透し)EP ※全面撤去	塩ビ製	2,550	撤去: AP-1(木製額縁 両面、SUS製寄附金物共)、木製額縁(AW-3 #2)、70x25製天井吊りロープクリン、木製流し、木製机 鋼製棚A #2、鋼製棚B、室名札
	改修	ホール(荷揚室)	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コ-135新設 モルタル-18、ビニシート-2.0 昇降路、PS、ライニング内はモルタル-18 上記以外 下地調整のうえビニシート-2.0	フッ合板t-12増張 ビニ巾木H300	W1a: LGS(65型)、強化石膏ボード面に化粧ケイカル板t-6.0 W2: LGS(50型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 ライニング: LGS(50型)@455、フッ合板面に化粧ケイカル板t-6.0	LGS19型@225、化粧石膏ボード-t-9.5	塩ビ製	2,550	新設: AD-2、木製額縁 #2、室名札
	既存	廊下	スラブコンクリート-155(135+70x20) ※一部撤去 ※建具取付面(スラブコンクリート撤去面) コンクリート直押え、ビニシート-2.8(グリーン) ※一部撤去	ビニ巾木H100 ※一部撤去 配膳室改修面	廊下側面: LGS(65型-100型)@455、ケイカル板t-10+8(両面)EP-G ※全面撤去 既存建具周囲:モルタル-20、EP-G ※一部撤去	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0(目透し)EP ※一部撤去	塩ビ製	2,550	撤去: 掲示壁D
	改修		スラブコンクリート面 モルタル-17.5、ビニシート-2.5 上記以外 下地調整のうえビニシート-2.5	ビニ巾木H100 ※撤去面、W5新設面	W1b、W5: LGS(65型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G 既存建具撤去:モルタル-20、EP-G 新規廊下面(既存モルタル面): 下地調整のうえEP-G	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.5(目透し)EP ※撤去面新設	塩ビ製	2,550	新設: 掲示板(70x25 既製品)*2
2階	既存	英・数資料室	スラブコンクリート-155(135+70x20) ※一部撤去 踏台: 木床組、フローリング-15 ※全面撤去 踏み台以外: ビニシート-2.8(グリーン) ※全面撤去	コンクリート壁面 ビニ巾木H100 ボード壁面 木製巾木(70x24)H100SOP ※全面撤去	コンクリート壁面:モルタル-20、EP-G ※既存のまま ボード壁面: LGS(45x25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 PS壁面: LGS(65型)@455、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 廊下界壁面: ALON #100(補強アングル L-65x65*6、取付アングル #1-ス共) ※全面撤去	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0(目透し)EP ※全面撤去	塩ビ製	2,550	撤去: AP-1(木製額縁 両面、SUS製寄附金物共)、木製額縁、木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共、木製流し 鋼製棚A #2、鋼製棚B、鋼製掃除用具入、70x25製天井吊りロープクリン、室名札
	改修	配膳室	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コ-135新設 モルタル-18、ビニシート-2.0 昇降路、PS、ライニング内はモルタル-18 上記以外 下地調整のうえビニシート-2.0	フッ合板t-12増張 ビニ巾木H300	W1a、W1b: LGS(65型)、強化石膏ボード面に化粧ケイカル板t-6.0 W2: LGS(50型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 ライニング: LGS(50型)@455、フッ合板面に化粧ケイカル板t-6.0	LGS19型@225、化粧石膏ボード-t-9.5	塩ビ製	2,550	新設: HD-2、木製額縁、木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共、ライニング甲板、SUS製流し台、室名札
3・4階	既存	更衣室	スラブコンクリート-155(135+70x20) ※一部撤去 踏台: 木床組、フローリング-15 ※全面撤去 踏み台以外: ビニシート-2.8(グリーン) ※全面撤去	コンクリート壁面 ビニ巾木H100 ボード壁面 木製巾木(70x24)H100SOP ※全面撤去	コンクリート壁面:モルタル-20、EP-G ※既存のまま ボード壁面: LGS(45x25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 PS壁面: LGS(65型)@455、ケイカル板t-10+8EP-G ※全面撤去 廊下界壁面: ALON #100(補強アングル L-65x65*6、取付アングル #1-ス共) ※全面撤去	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0(目透し)EP ※全面撤去	塩ビ製	2,550	撤去: AP-1(木製額縁 両面、SUS製寄附金物共)、木製額縁、木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共、木製流し 鋼製棚A #2、鋼製棚B、鋼製掃除用具入、70x25製天井吊りロープクリン、室名札
	改修	配膳室	スラブコンクリート撤去面:スラブコンクリート木コ-135新設 モルタル-18、ビニシート-2.0 昇降路、PS、ライニング内はモルタル-18 上記以外 下地調整のうえビニシート-2.0	フッ合板t-12増張 ビニ巾木H300	W1a、W1b: LGS(65型)、強化石膏ボード面に化粧ケイカル板t-6.0 W2: LGS(50型)@455、ケイカル板t-8.0+化粧ケイカル板t-6.0 ライニング: LGS(50型)@455、フッ合板面に化粧ケイカル板t-6.0	LGS19型@225、化粧石膏ボード-t-9.5	塩ビ製	2,550	新設: HD-2、木製額縁、木製カーテンボックス(SUS製C型カーテンレール)共、ライニング甲板、SUS製流し台、室名札
2~4階	既存	廊下	スラブコンクリート-155(135+70x20) ※一部撤去 ※建具取付面(スラブコンクリート撤去面) コンクリート直押え、ビニシート-2.8(グリーン) ※一部撤去	ビニ巾木H100 ※一部撤去 配膳室改修面	LGS(45x25)@300、ケイカル板t-10+8EP-G ※一部撤去 配膳室改修面	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0(目透し)EP ※一部撤去	塩ビ製	2,550	
	改修		モルタル-17.5、ビニシート-2.5 一部 下地調整のうえビニシート-2.5	W1bケイカル板面にビニ巾木H100	W1b面: LGS(65型)@455、ケイカル板10+8(目透し)EP-G	撤去面: LGS19型@303、石膏ボード-t-9.5(目透し)EP	塩ビ製	2,550	
注記	<p>・新設土間スラブコンクリート下:再生砕石t-175、防湿シート-0.15、押出法ホリスチンフォーム敷t-25</p> <p>・ビニシート-2.0仕様: 耐動荷重性・抗菌</p> <p>・ビニシート-2.5仕様: コイン</p> <p>・床下地調整材: リマセメントベスト塗</p> <p>・EP-G: つや有合成樹脂エポキシ樹脂塗、EP: 合成樹脂エポキシ樹脂塗</p> <p>木部 新規面: 工程A種 下地調整RA種、塗替え面: 工程B種 下地調整RB種</p> <p>モルタル・石膏ボード面: 新規面・塗替え面共 工程B種 下地調整RB種</p> <p>ケイカル板面: 新規面・塗替え面共 工程B種 下地調整RB種</p> <p>・木製カーテンボックス塗装: 見掛けのみEP-G</p> <p>・W1a: 壁穴区画壁・防火上主要な間仕切壁(耐火1時間認定)仕様は詳細図による</p> <p>・W1b: 防火上主要な間仕切壁(耐火1時間認定)仕様は詳細図による</p> <p>・W2、W2'、W4、W5、ライニング: 仕様は詳細図による</p> <p>・化粧ケイカル板のジョイント・コーナ部は70x25製ジョイナーを使用</p> <p>・掲示板: 既製品(70x25)</p> <p>・新規点検口(天井): 450x450 31ヶ所</p> <p>・天井下地開口補強: 450x450 31ヶ所、150x1235 20ヶ所</p> <p>・押出法ホリスチンフォーム: 2種b t-25</p> <p>・既存ケイカル板(t-8、t-10): 70x25含有成形板</p>								

外部仕上表		参考資料
プラットホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上 立上りコンクリート面: 打放し補修、床コンクリート: 金コテ仕上(水勾配) ・荷卸角部欠止め: L-65x65*6 垂鉛メッキ(打込み) ・既存アルミ製開きドアをカバー工法より改修する ・周囲舗装: インターロッキング舗装をアスファルト舗装に改修 	

※その他工事についてはA-57図参照



Ｂ棟 1階既存平面図 1/300



Ｂ棟 1階改修平面図 1/300

- 小荷物昇降設備設置改修工事部分を示す
(外部プラットフォーム改修工事を含む)
- 小荷物昇降設備設置に伴う付帯改修工事部分を示す
(柔道室を荷受・配膳室に改修)

公共建築課長 主査等 担当者

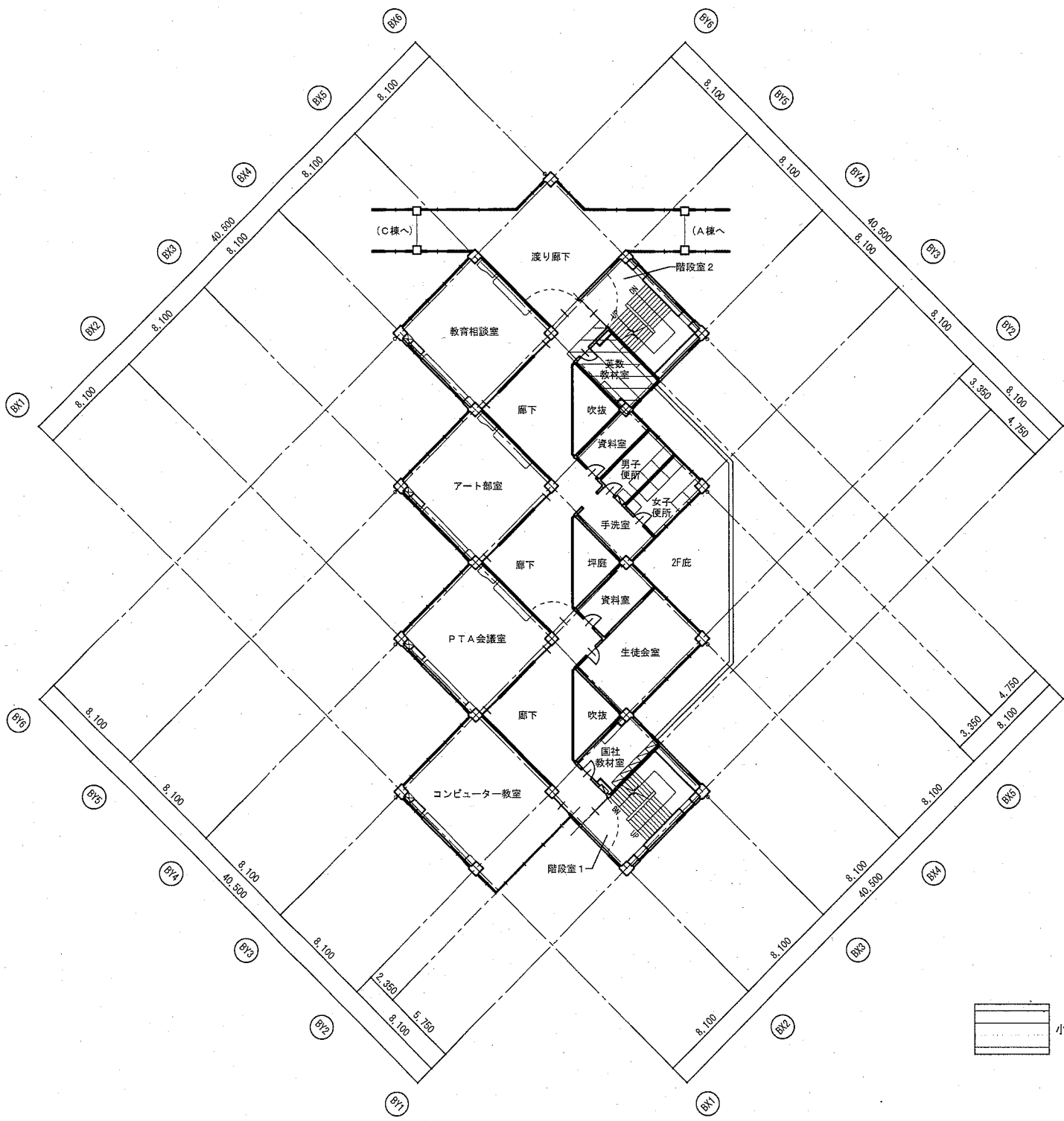
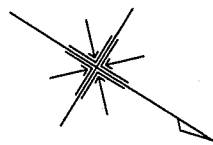


横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

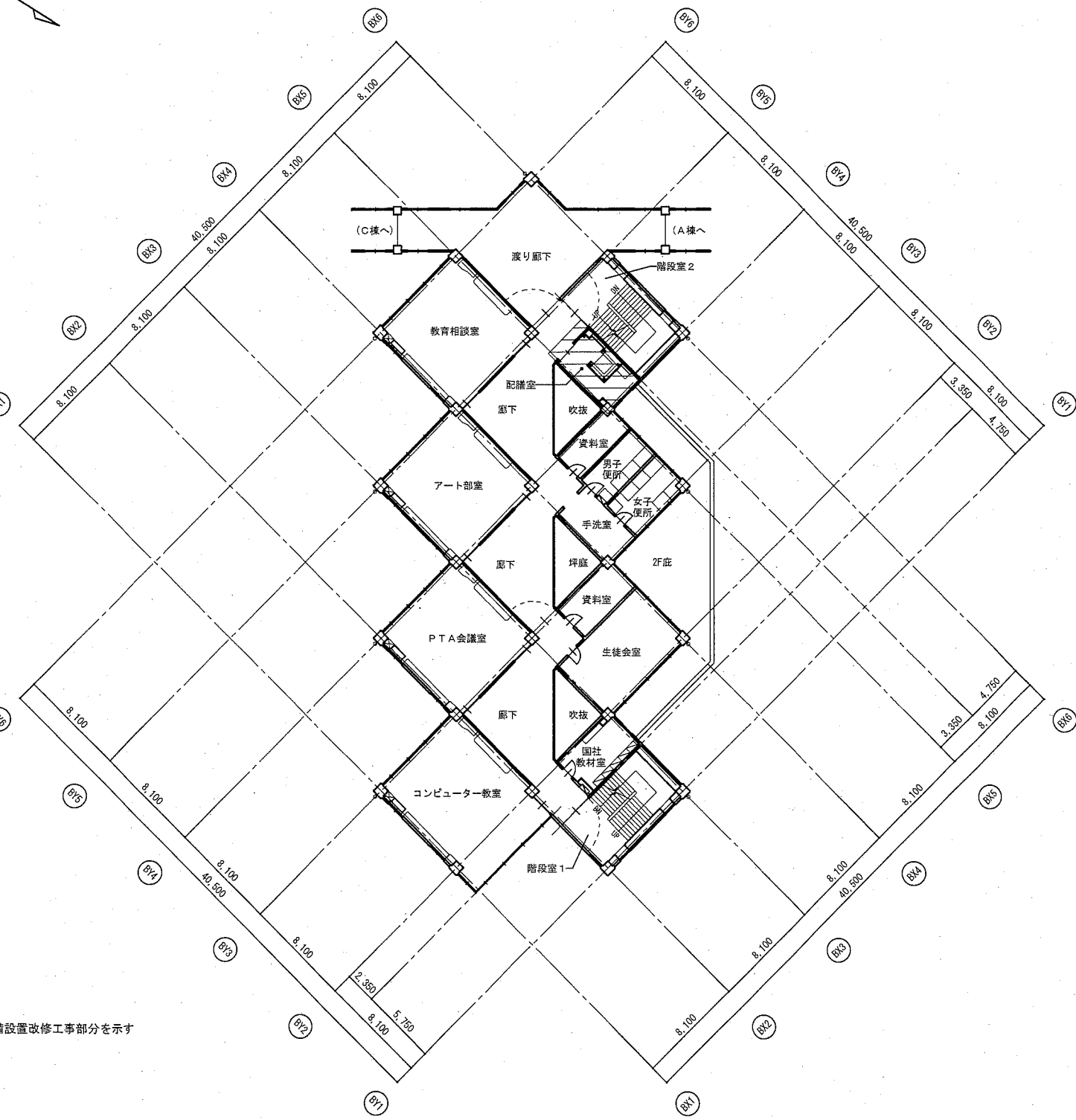
工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 B棟 1階平面図(既存・改修)

縮尺
1/300

A - 27
No.

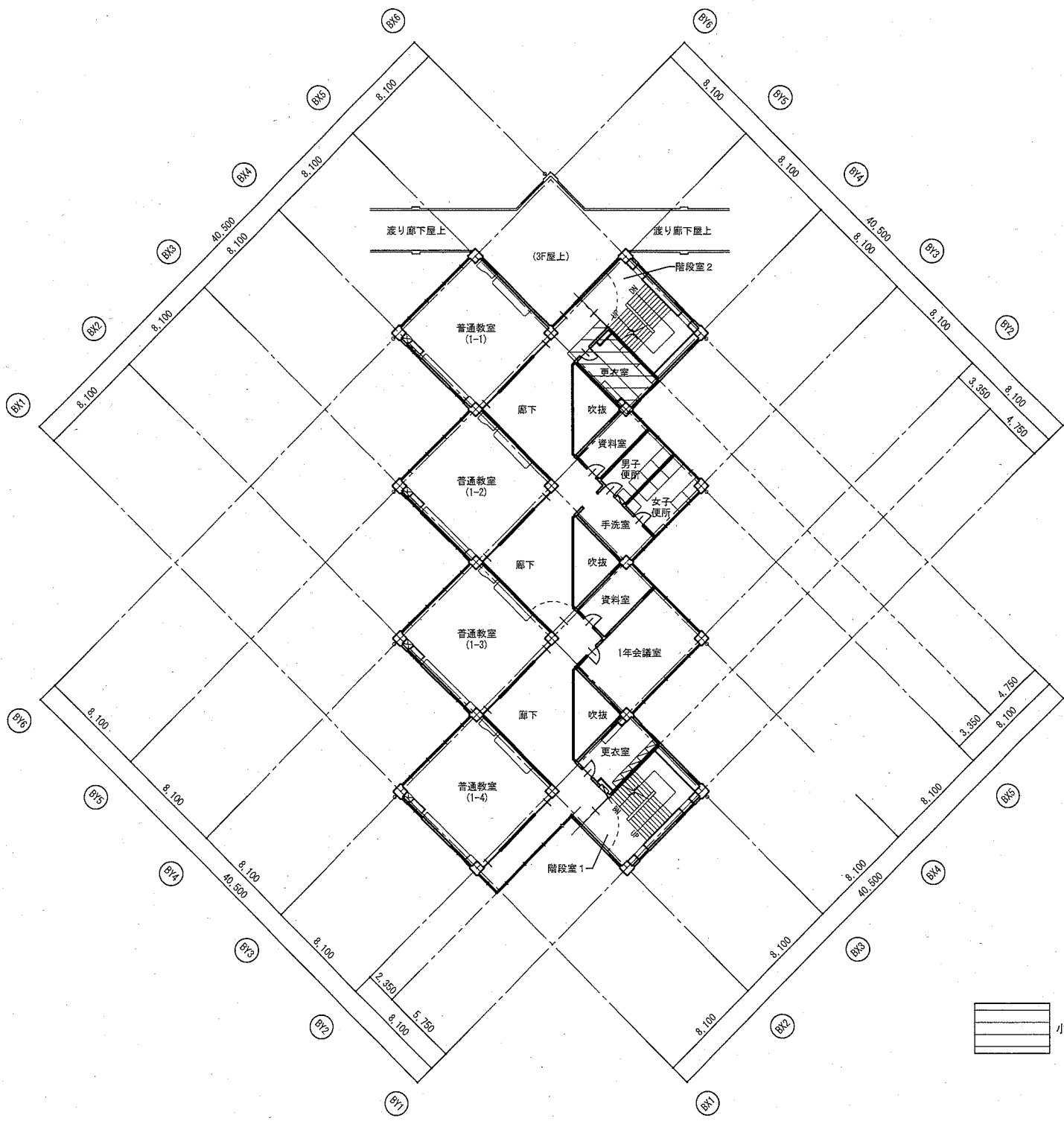
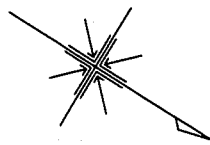


B棟 2階既存平面図 1/300

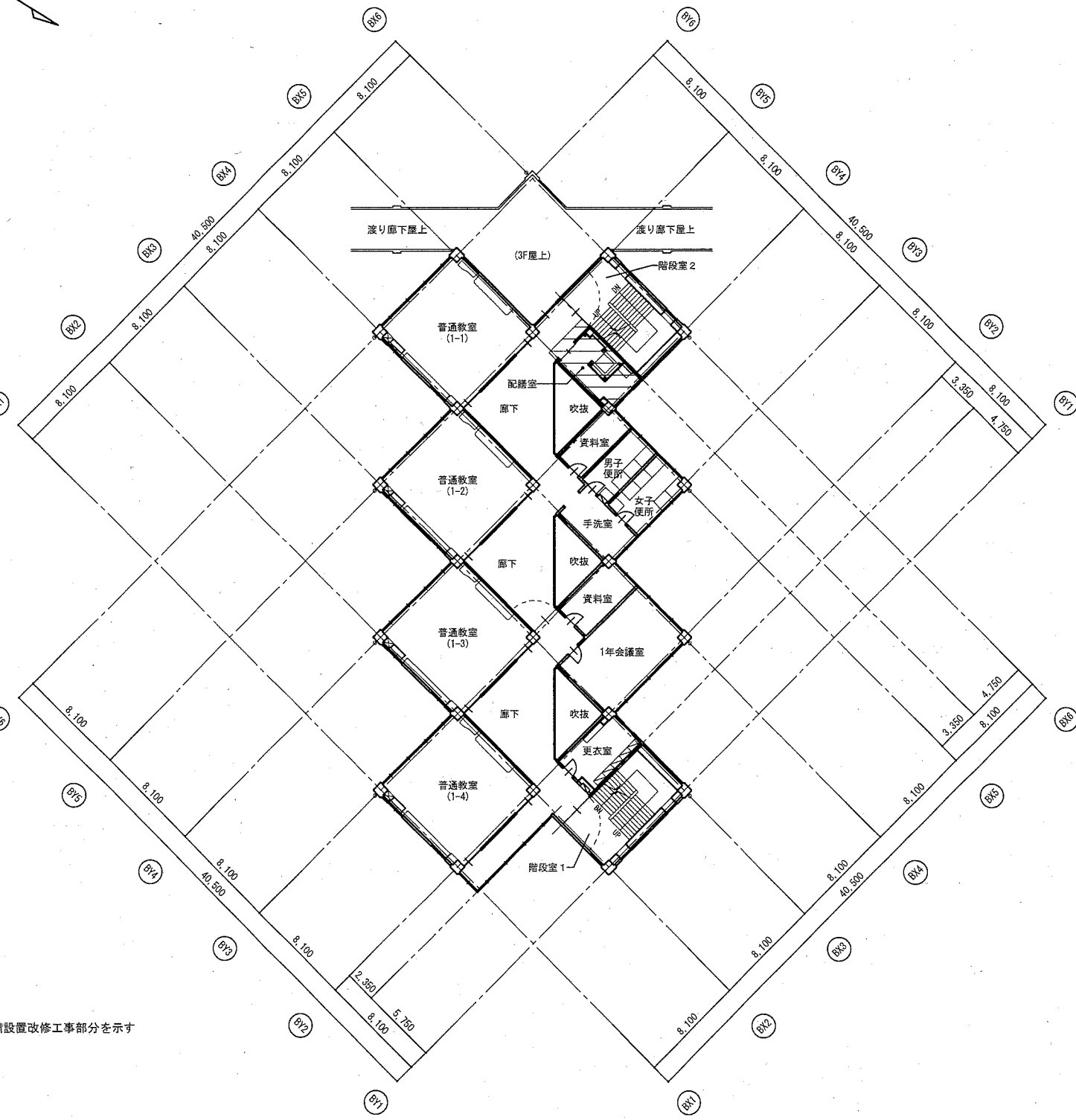


B棟 2階改修面図 1/300

小荷物昇降設備設置改修工事部分を示す



B棟 3階既存平面図 1/300



B棟 3階改修平面図 1/300

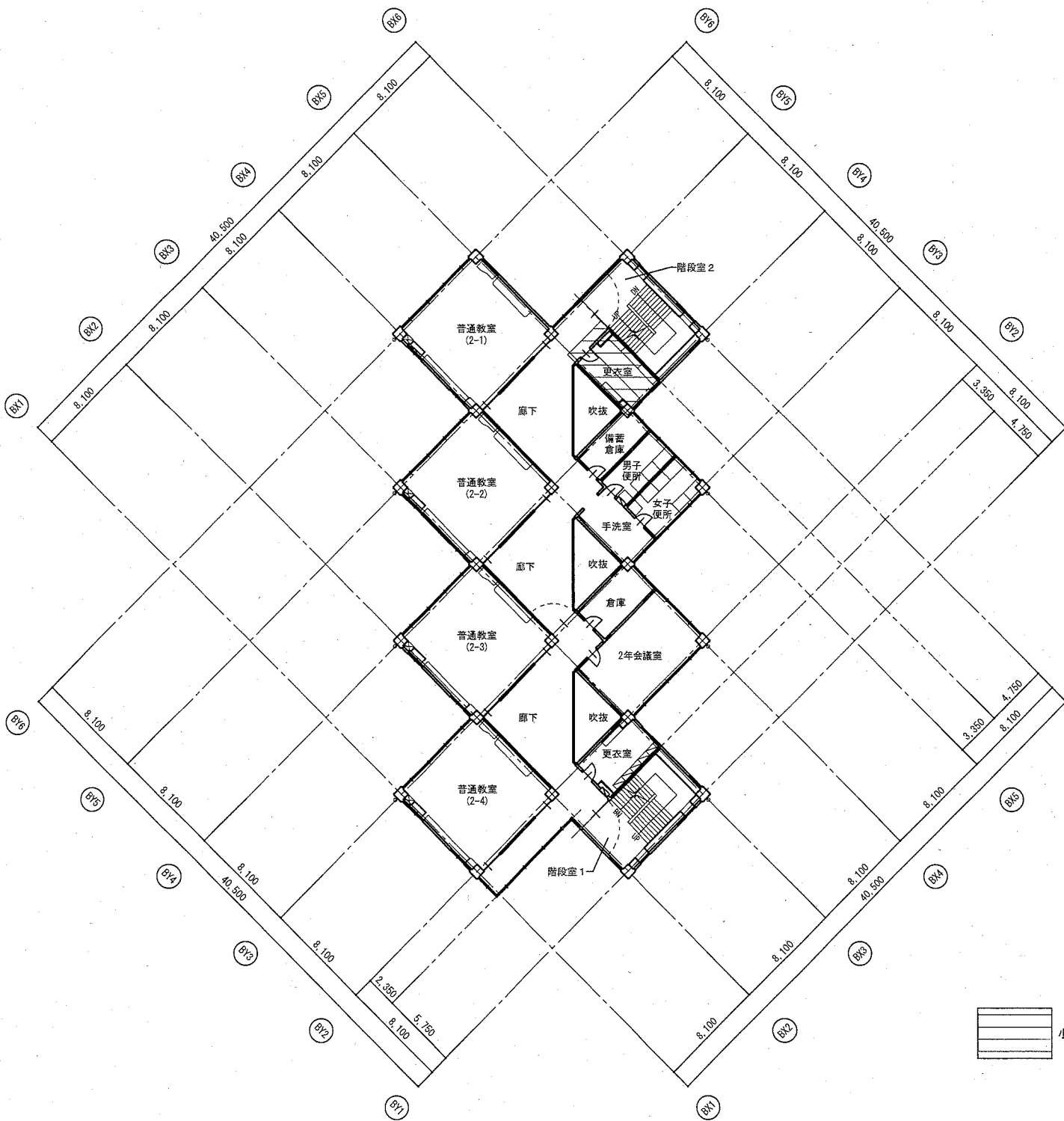
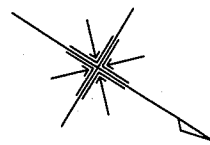
公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

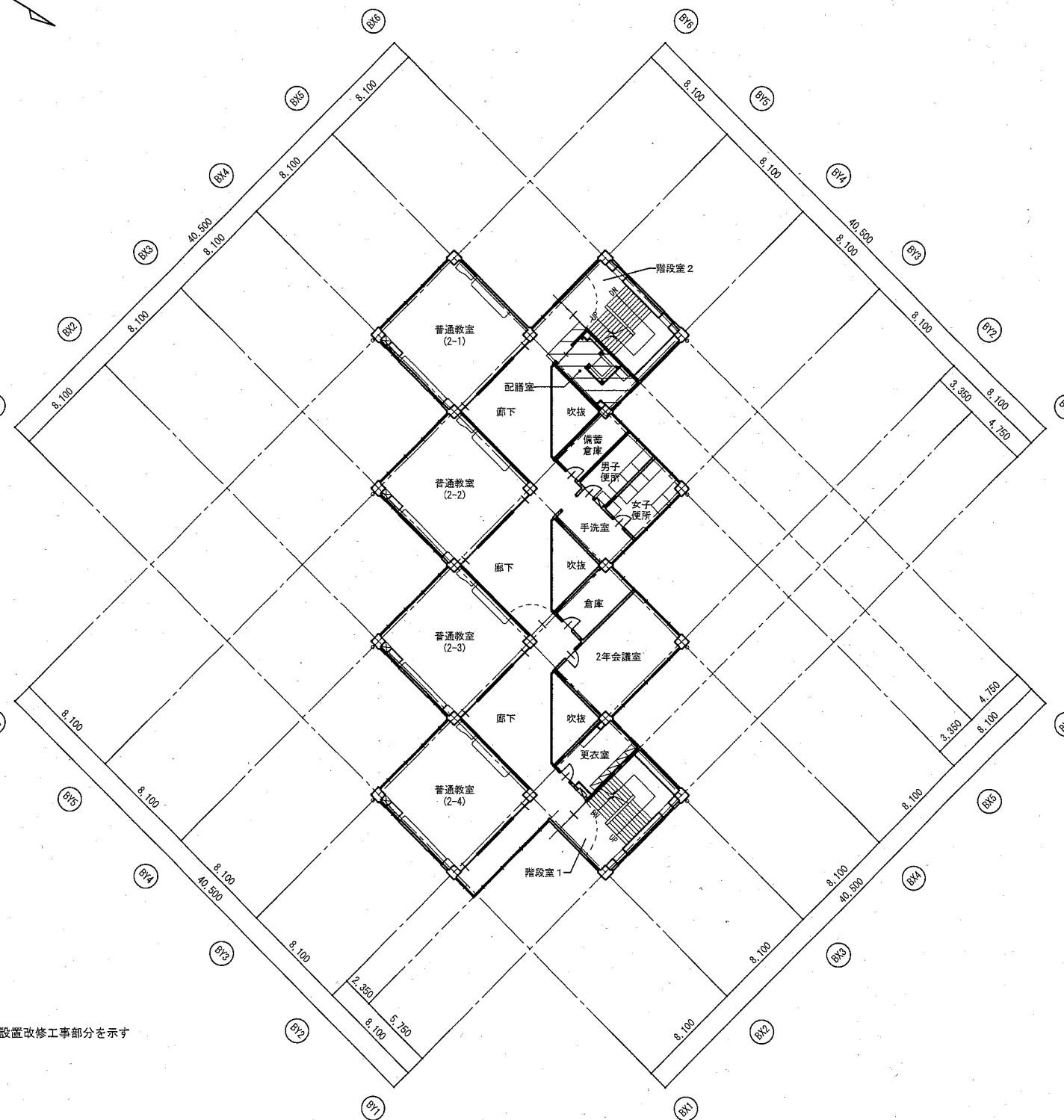
工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 長沢中学校 B棟 3階平面図(既存・改修)

縮尺
1/300

A - 29
No.



Ｂ棟 4階既存平面図 1/300



小荷物昇降設備設置改修工事部分を示す

Ｂ棟 4階改修平面図 1/300

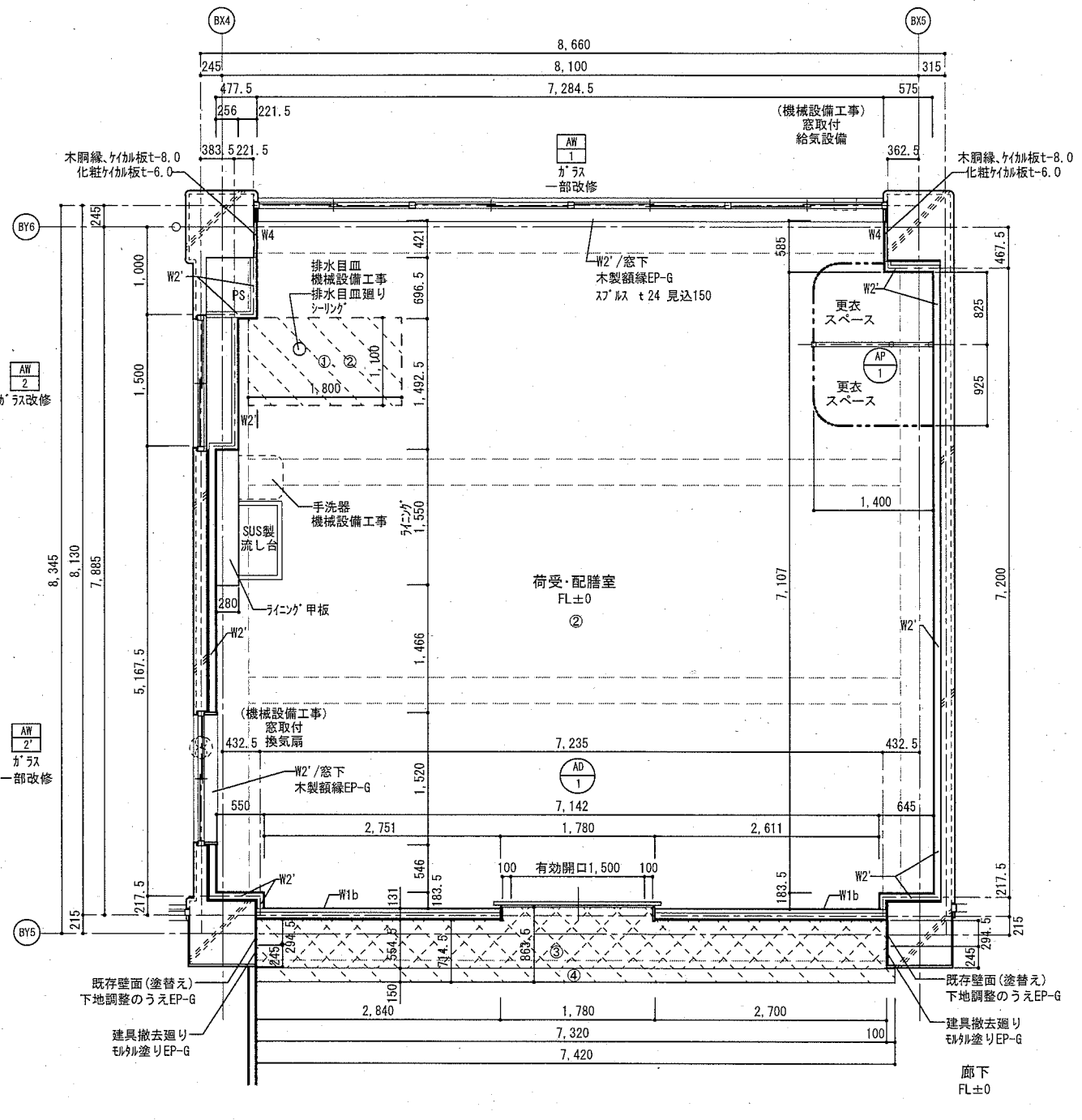
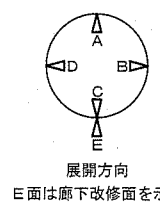
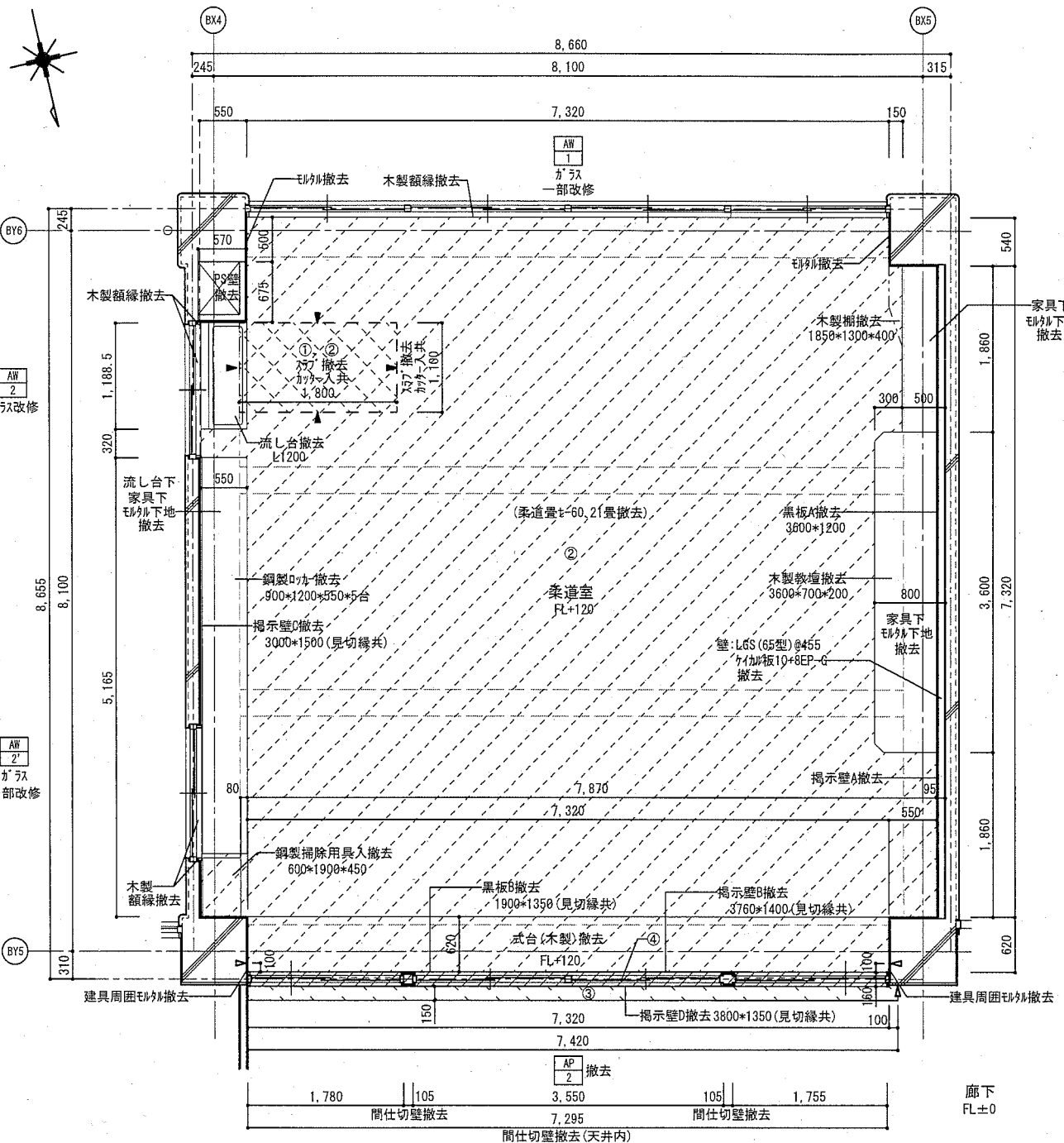
公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 長沢中学校 B棟 4階平面図(既存・改修)

縮尺
1/300

A - 30
No.



部位	仕上
床	モルタル-35、フローリング、プロケット-15 OSW フローリング面に柔道畳t-60 式台フローリング面に木床組、フローリングボードt-15、OSW
巾木	木製巾木フタt-24(H100)EP-G
壁	モルタル面・モルタル(金コ)EP-G ボード面:LGS(65型)下地、ケイカル板10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)Pbt-9.0(目透し)EP 廻縁:塩ビ製

部位	仕上
床	ビニルシート-2.8(コイソ) コンクリート面に直張
巾木	RC面:モルタル金コ、ビニル巾木(H100) ボード面:ビニル巾木(H100)
壁	RC面:モルタル金コEP-G ボード面:LGS(100型)下地、ケイカル板10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)Pbt-9.0(目透し)EP 廻縁:塩ビ製

①	コンクリートスラブ t-135撤去
②	モルタル下地 t-35、フローリング、プロケット-15撤去
③	ビニルシート-2.8(コイソ)撤去
④	間仕切壁・建具周囲モルタル撤去

コンクリートスラブ撤去面は断熱材、捨コン、砕石共に撤去する
 教壇、流し台等のモルタル下地も撤去する

▼ コンクリートカッター
 ▼ モルタルカッター

※ケイカル板(t-8、t-10):7x7x1含有成形板

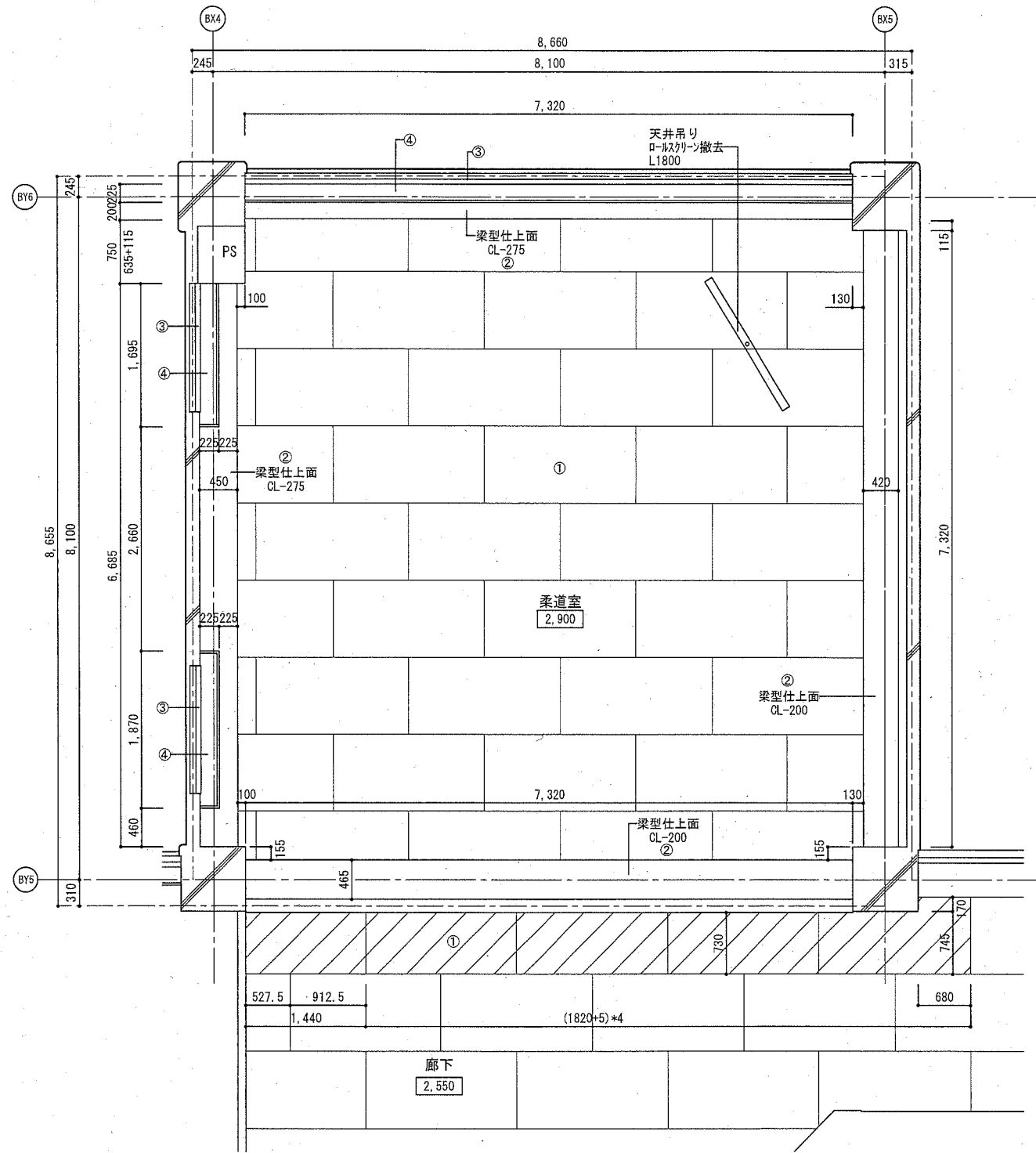
名称	規格・寸法	撤去
鋼製ロッカ	W900D550H1200	5
鋼製掃除用具入	W600D450H1900	1
天井吊りロールスクリーン	L1800	1
木製流し台	L1200	1
木製棚	W1850D400H1300	1
木製教壇	W3600D700H200	1
黒板A(7x3製枠)	W3600H1200	1
黒板B(7x3製枠)	W1900H1350	1

部位	仕上
床	モルタル-48(金コ)、ビニルシート-2.0(耐荷重性・抗菌)
巾木	フタ合板t-12増強、ビニル巾木(H300)
壁	W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板t-6.0 W2'面:LGS(65型)下地、ケイカル板t-8.0、化粧ケイカル板t-6.0
天井	LGS(19型)化粧石膏ボード 廻縁:塩ビ製
備考	SUS製流し台、7x3製天井吊りカーテンレールx2

部位	仕上
床	下地撤去面:モルタル-47.5、ビニルシート-2.5(コイソ) 仕上撤去面:下地調整のうえビニルシート-2.5(コイソ)
巾木	モルタル撤去面:モルタル金コ、ビニル巾木(H100) ※新規廊下下面共 W1b面:ケイカル板面にビニル巾木(H100)
壁	モルタル撤去面:モルタル(金コ)EP-G 新規廊下下面:下地調整のうえEP-G W1b面:ケイカル板t-10+8(目透し)EP-G
天井	撤去面:LGS下地、Pbt-9.5(目透し)EP

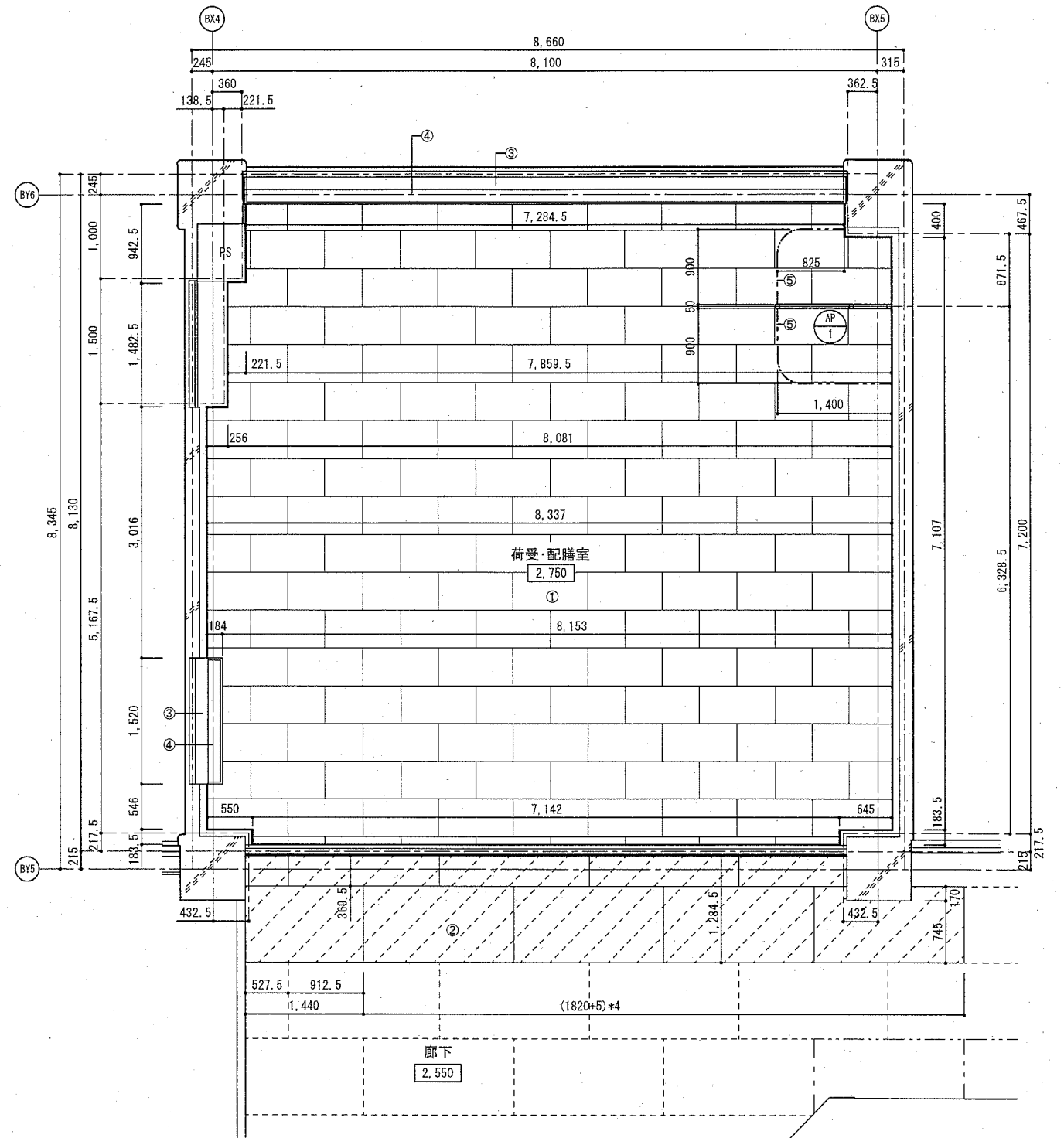
①	スラブコンクリート復旧
②	モルタル-48、ビニルシート-2.0
③	モルタル-47.5、ビニルシート-2.5
④	下地調整のうえビニルシート-2.5

コンクリートスラブ復旧面は断熱材、砕石共に復旧する
 ビニルシート-2.0:耐荷重性・抗菌
 ビニルシート-2.5:コイソ
 下地調整:ボリマーメントペースト



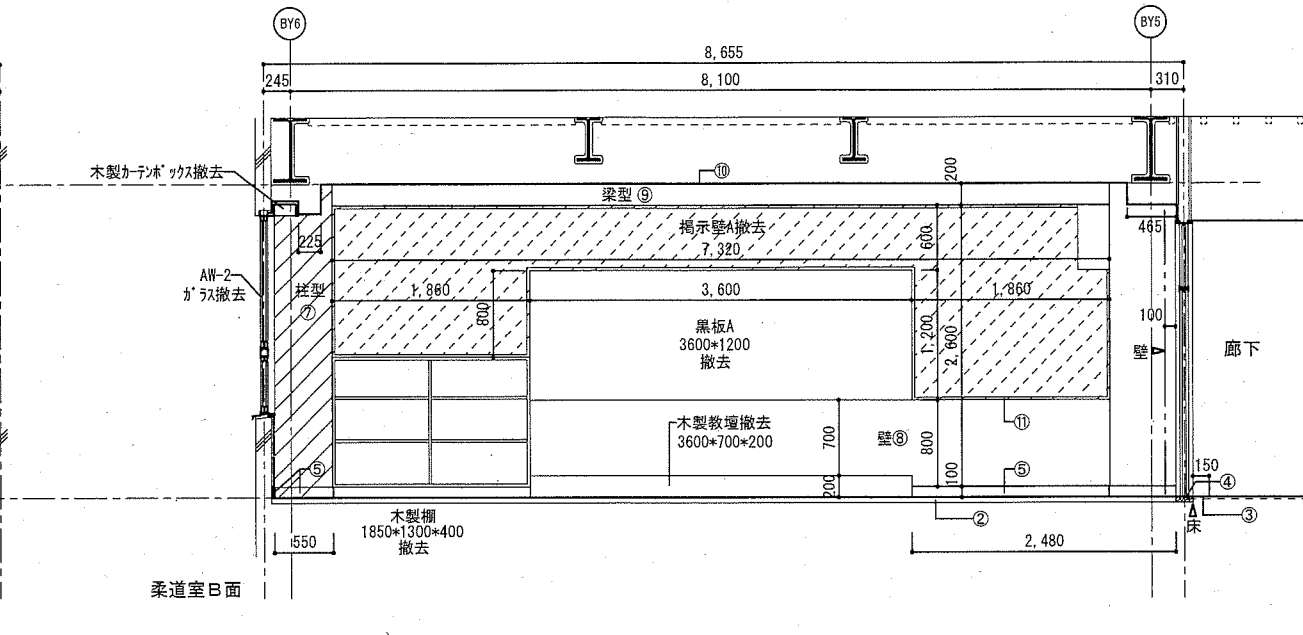
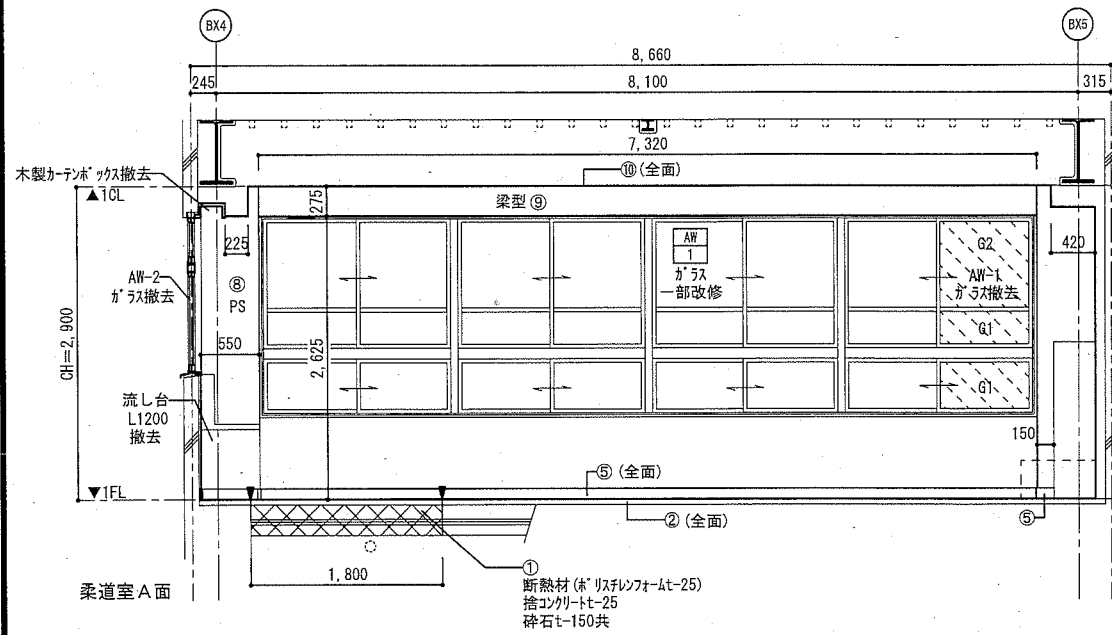
B棟 1階 荷受・配膳室 既存天井伏図 1/50

天井仕上 撤去内容	
①	LGS(19型)@303、Pbt-9.0(目透し)EP
②	LGS(19型)@303、Pbt-9.0(突合せ)EP ※梁型
③	木製額縁 7mm×24 見込60
④	木製カーテンボックス(7mm×24)、SUS製C型カーテンレール(シングル)
廊下はハッチ部分を撤去する	



B棟 1階 荷受・配膳室 改修天井伏図 1/50

天井仕上 改修内容	
①	LGS(19型)@225、化粧Pbt-9.5
②	LGS(19型)@303、Pbt-9.5(目透し)EP
③	木製額縁(スチール)EP-G
④	木製カーテンボックス(スチール)EP-G、SUS製C型カーテンレール(シングル)
⑤	7mm製天井吊りカーテンレール(Rコーナー付)
廻縁:塩ビ製	
廊下はハッチ部分を新設復旧する	

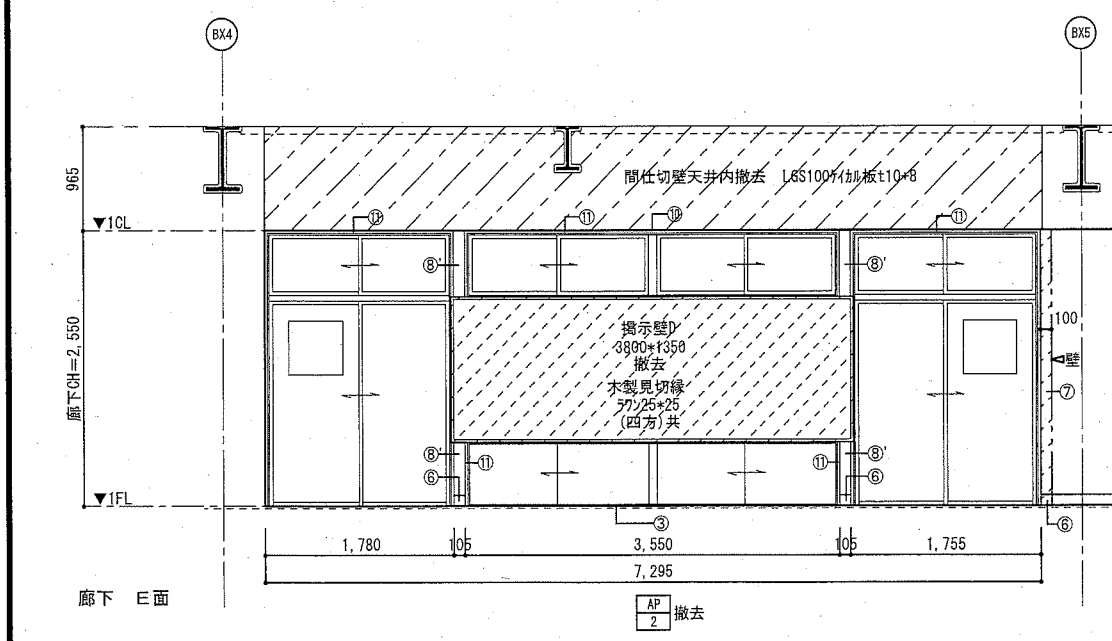
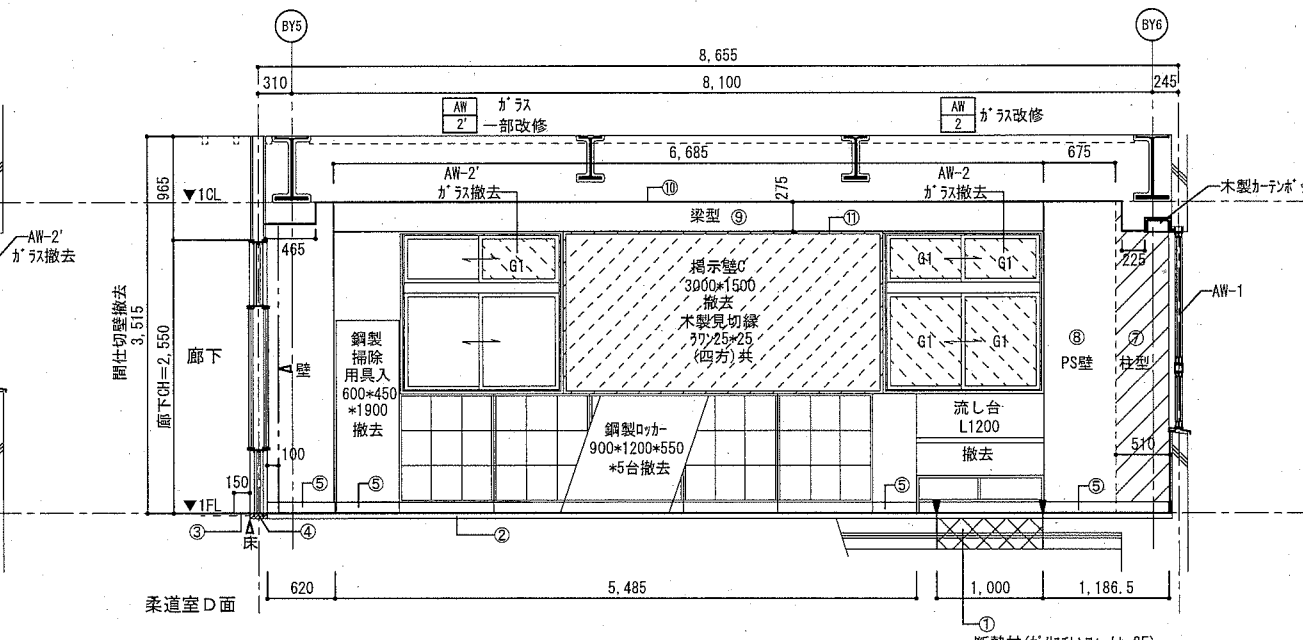
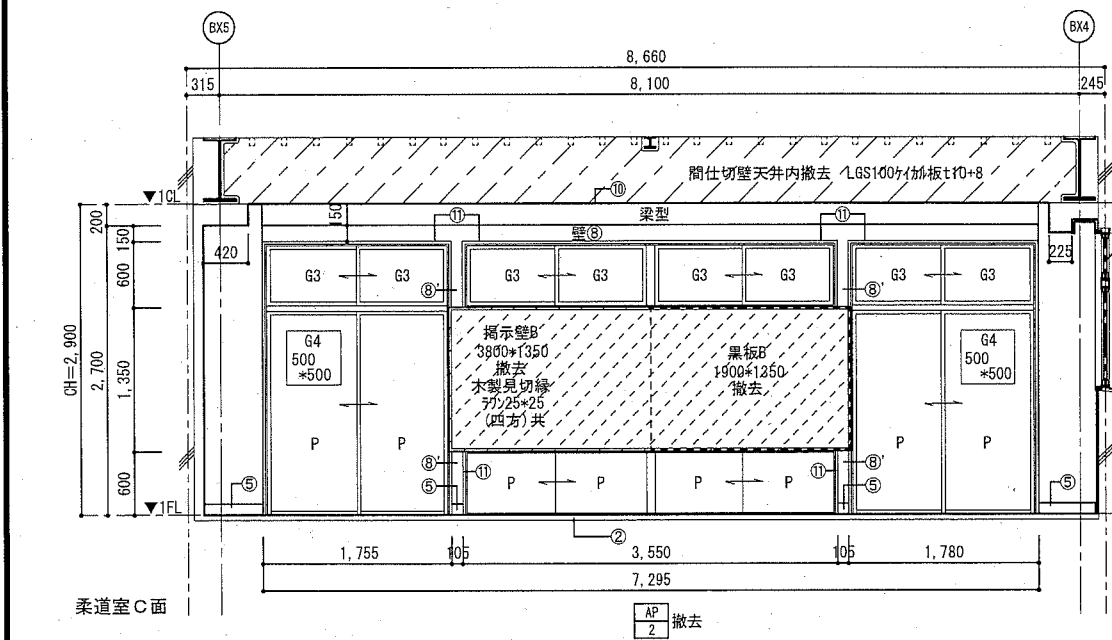


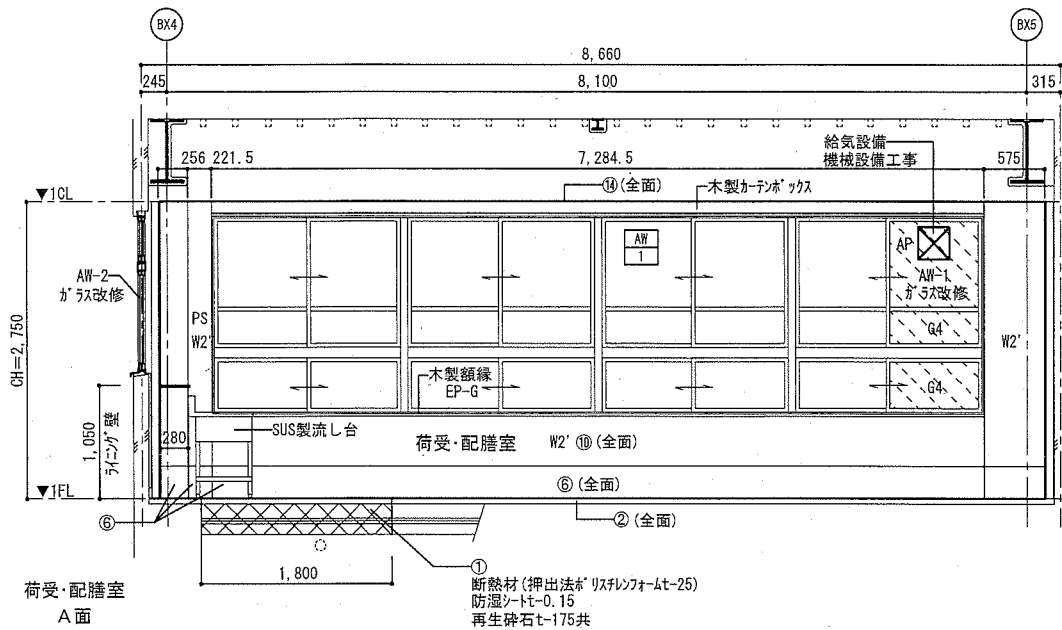
撤去内容	
①	コンクリートスラブ t-135 撤去
②	床 モルタル下地 t-35, フローリング プロック t-15 撤去
③	床 ビニルシート t-2.8 (4イ) 撤去
④	床 建具周囲モルタル撤去
⑤	巾木 木製 (70x24 H100) 撤去
⑥	巾木 ビニル巾木 (H100) 撤去
⑦	壁 モルタル撤去
⑧	壁 LGS下地, ケイカル板 t-10+8 撤去
⑨	壁 ケイカル板 t-10+8 撤去
⑩	梁型 LGS (19型@303) 下地, Pbt-9.0 撤去
⑪	天井 LGS (19型@303), Pbt-9.0
⑫	見切縁 (25x25) 撤去

木製カーテンボックス: 70x24H120 (SUS製C型カーテンル/シングル)
天井吊りロープスクリン

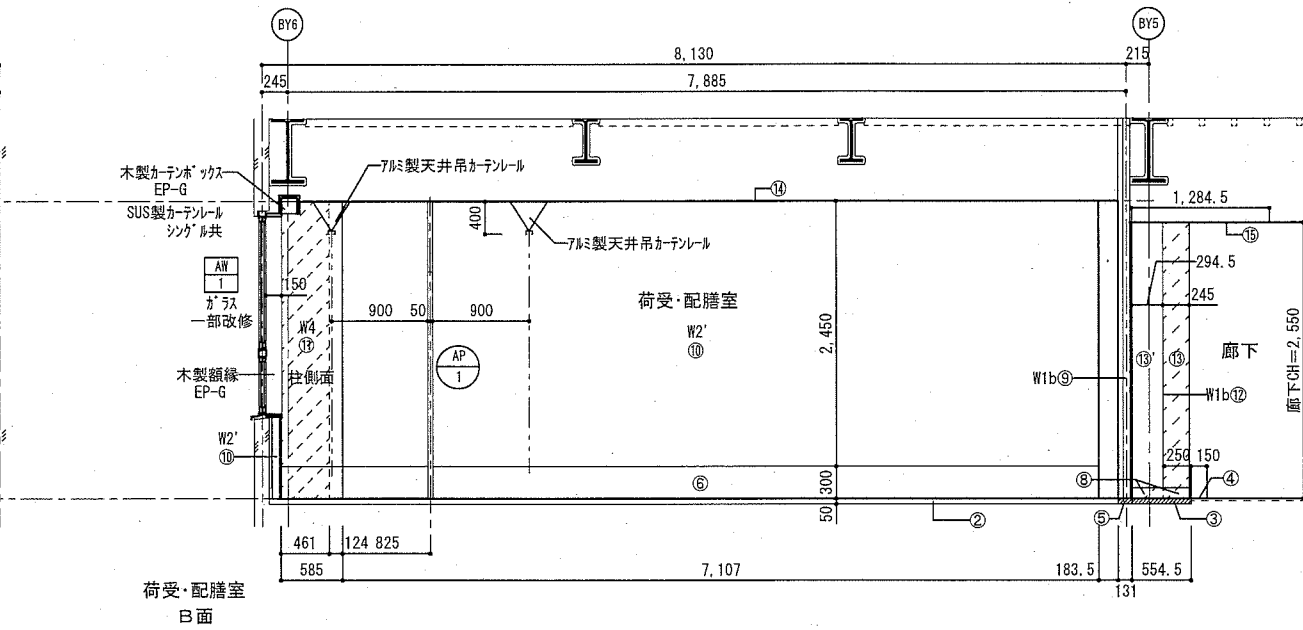
▼コンクリートカッター G1: 透明ガラス t-3.0
▼モルタルカッター G2: 型板ガラス t-4.0
G3: 7ミ入透明ガラス t-6.8
G4: 7ミ入型板ガラス t-6.8
P: 珪酸化セラミック (ペーパードコップ)

*ケイカル板 (t-8, t-10): 7x8' スト含有成形板

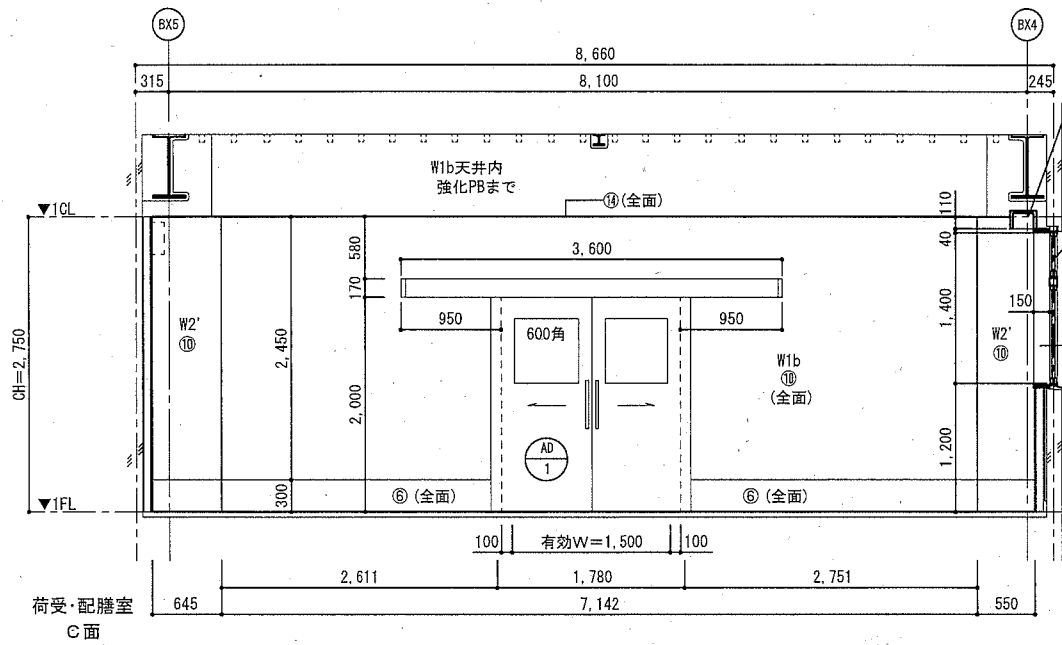




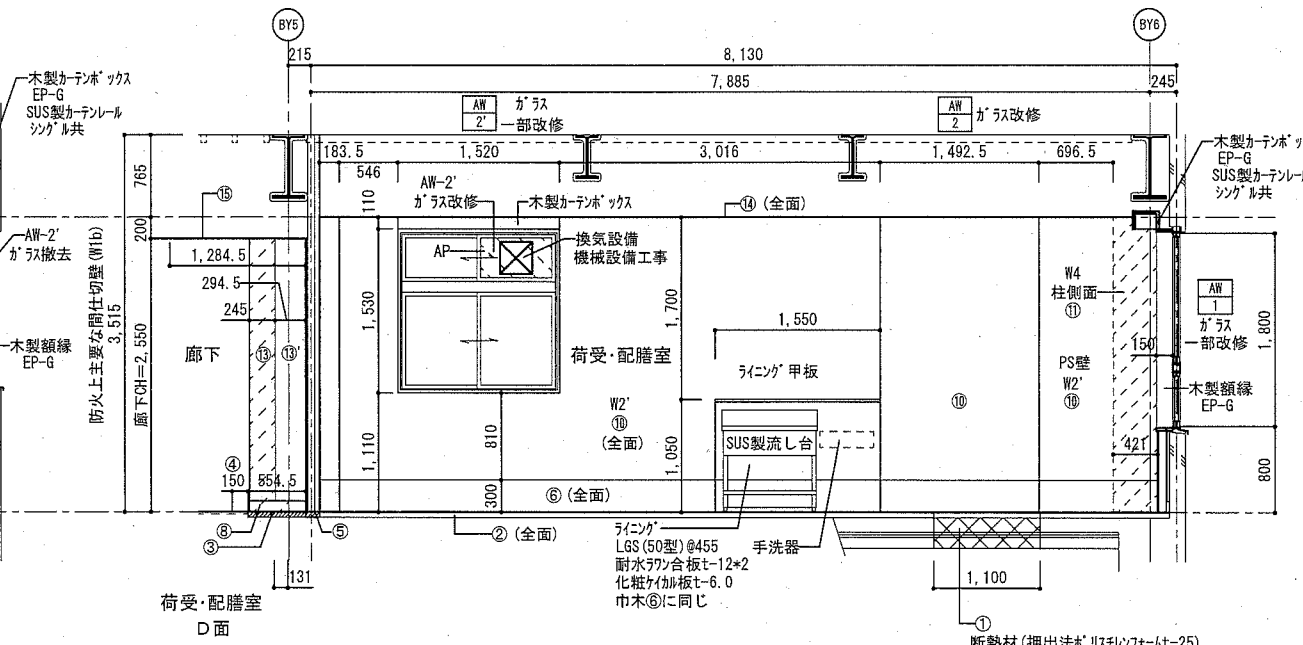
荷受・配膳室
A面



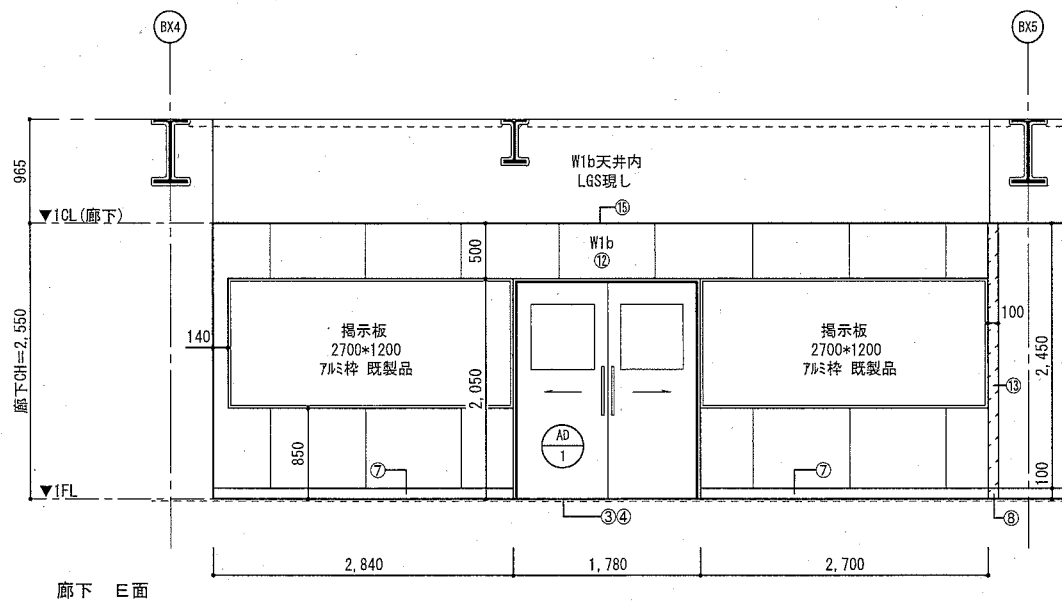
荷受・配膳室
B面



荷受・配膳室
C面



荷受・配膳室
D面

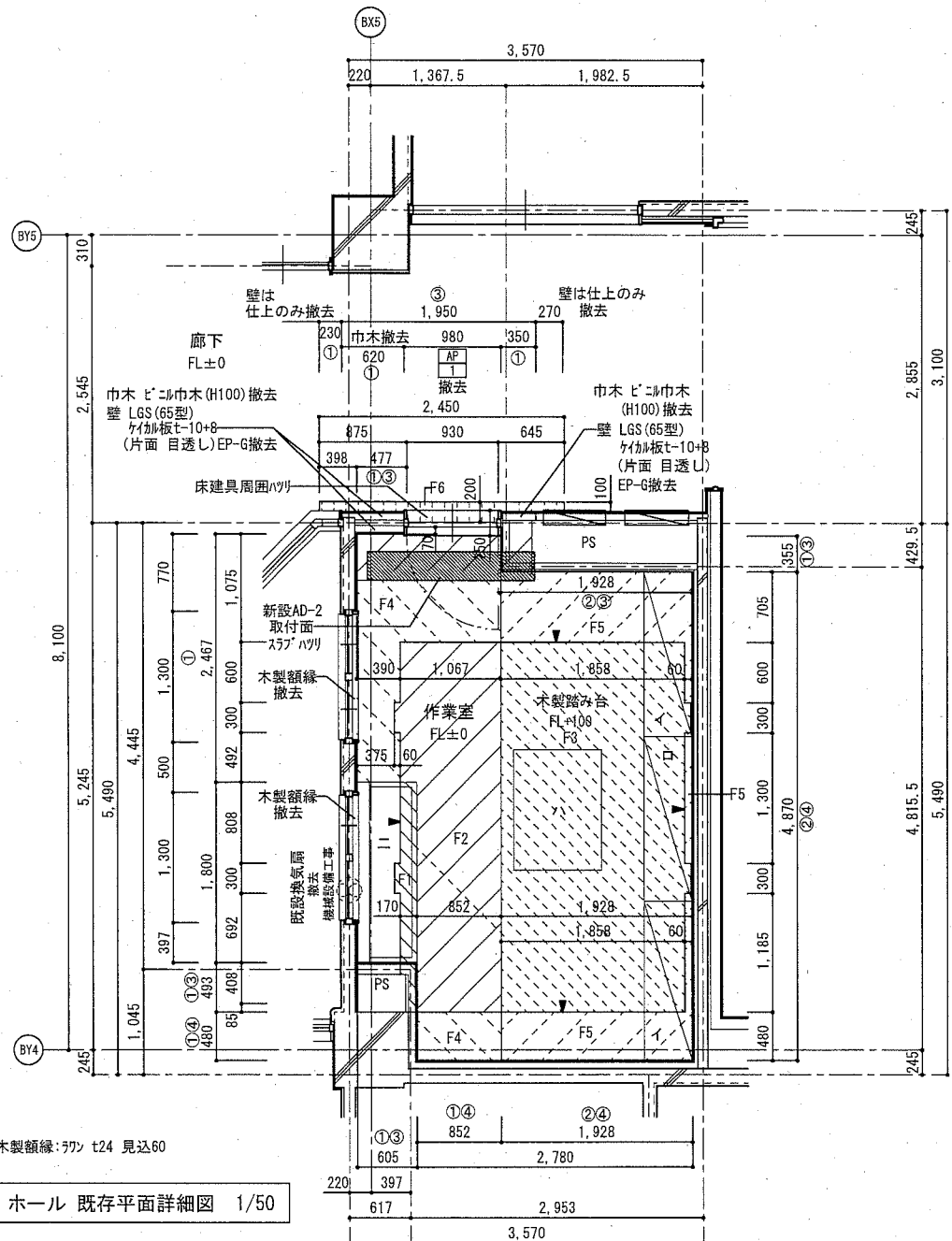
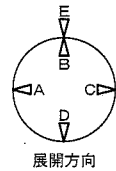


廊下
E面

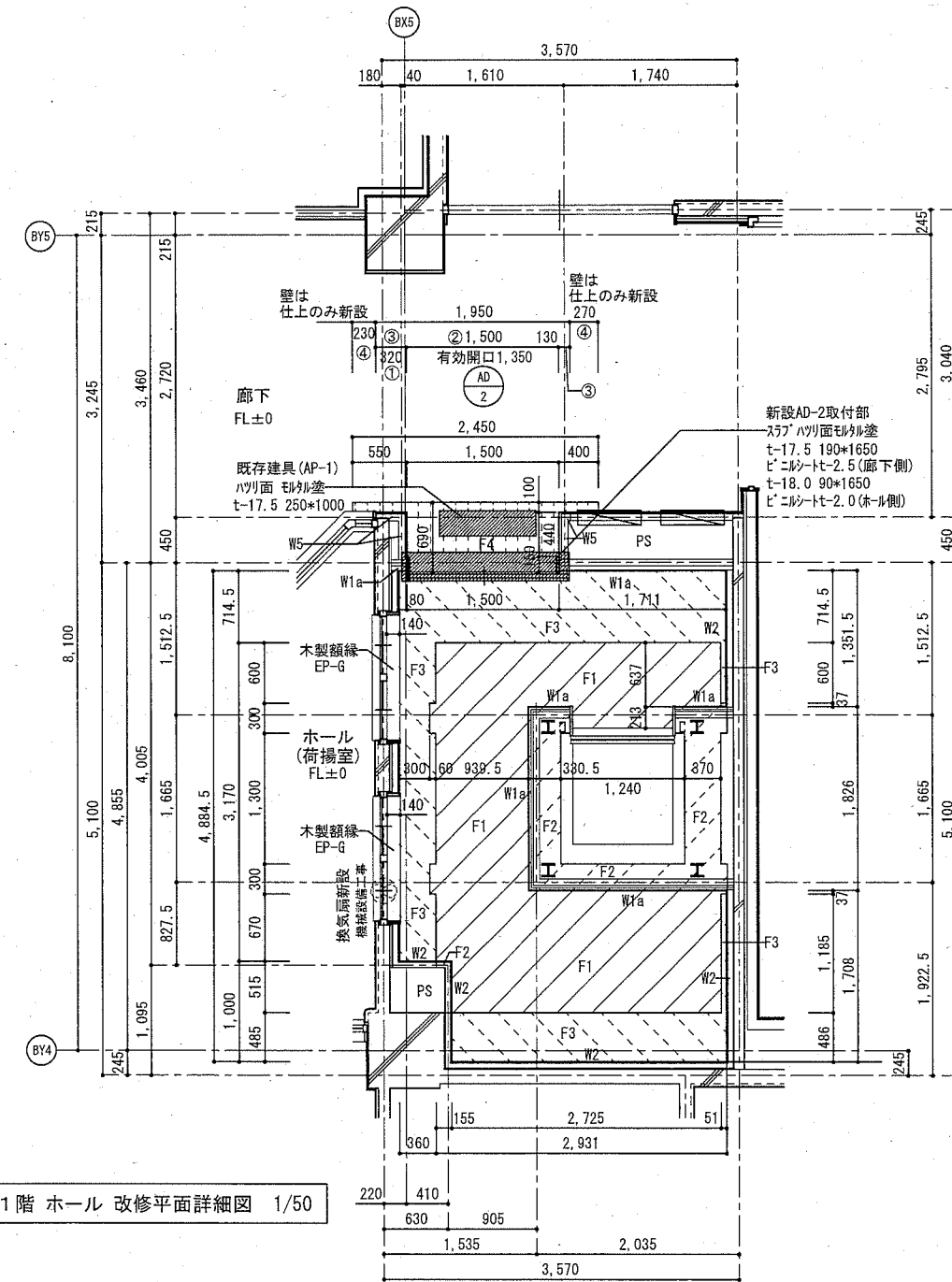
改修内容	
床	① コンクリートスラブ t=135 復旧
	② モルタル t=48、ビニシート t=2.0
	③ モルタル t=47.5、ビニシート t=2.5 (コウ)
	④ 下地調整のうえビニシート t=2.5 (コウ)
	⑤ モルタル (金コ)
中木	⑥ ラワン合板 t=12.0 増張り、ビニ巾木 H300 (改修室側)
	⑦ ビニ巾木 H100 (廊下側) 'ド' 面
	⑧ モルタル塗、ビニ巾木 (H100) 復旧
壁	⑨ W1b 'ド' 面に化粧ケイカル板 t=6.0 (改修室側)
	⑩ W2' LGS (65型@455)、ケイカル板 t=8.0、化粧ケイカル板 t=6.0
	⑪ 柱側面 木脚線、ケイカル板 t=8.0、化粧ケイカル板 t=6.0
	⑫ W1b LGS (65型@455)、ケイカル板 t=10+8 (目透し) EP-G (廊下側)
	⑬ モルタル t=20、EP-G (廊下側)
	⑭ 下地調整のうえ EP-G (新規廊下側 既存モルタル壁 塗替え)
天井	⑮ 天井 LGS (19型@225)、化粧PB t=9.5 (改修室側)
	⑯ 天井 LGS (19型@303)、PB t=9.5 (目透し) EP (廊下)

木製カーテンボックス: スチール t=24、144*198*144 (SUS製C型カーテンレール/シングル)
 コンクリートスラブ 復旧面は断熱材、砕石共に復旧する
 ビニシート t=2.0: 耐動荷重性・抗菌
 ビニシート t=2.5: コウ
 下地調整: ガリマシート ベースト

E面は廊下改修面を示す



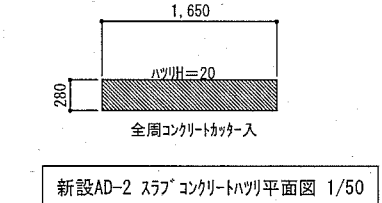
B棟 1階 ホール 既存平面詳細図 1/50



B棟 1階 ホール 改修平面詳細図 1/50

作業室 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155(135+増打ち20)直仕上 踏み台:木床組、フローリング t-15 OSW 上記以外:ビニルシート-2.8(グリーン)
巾木	踏み台面:木製巾木 t-24 (H100) OP 上記以外:ビニル巾木 (H100)
壁	モルタル面:モルタル(金コ)EP-G ホ-ド'面:LGS下地、ケガキ板 t-10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)Pbt-9.0(目透し)EP 廻縁:塩ビ製

床撤去凡例・内容	
F1	土間スラブ(直仕上)撤去
F2	土間スラブ、ビニルシート-2.8(グリーン)撤去
F3	土間スラブ(直仕上) 木製踏み台(木床組、フローリング t-15共)撤去
F4	ビニルシート-2.8(グリーン)撤去
F5	木製踏み台(木床組、フローリング t-15共)撤去
F6	ビニルシート-2.8(コイ)撤去



廊下 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155(135+増打ち20)直仕上 ビニルシート-2.8(コイ)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	ホ-ド'面:LGS下地、ケガキ板 t-10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)Pbt-9.0(目透し)EP 廻縁:塩ビ製

巾木・壁 撤去内容	
巾木	① ビニル巾木 (H100) 撤去 ② 木製巾木 (フローリング t-24 H100) 撤去
壁	③ LGS(65型)下地、ケガキ板 t-10+8 撤去 ④ LGS(45型)下地、ケガキ板 t-10+8 撤去

棚類 撤去内容			
記号	名称	規格・寸法	数量
イ	鋼製棚A	W1510D450H1710	2
ロ	鋼製棚B	W1810D450H1710	1
ハ	木製机	W900*1200H800	1
ニ	木製流し台	L1800	1

ホール(荷揚室) 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	スラブ撤去面:モルタル-18、ビニルシート-2.0(耐荷重性・抗菌) 同上面(昇降路、PS内):モルタルコテ-18 既存スラブ面:下地調整のうえビニルシート-2.0(耐荷重性・抗菌)
巾木	5ツ合板 t-12.0増張、ビニル巾木 (H300)
壁	W1a面:強化石膏ホ-ド'面に化粧ケガキ板 t-6.0 W2面:LGS(50型)下地、ケガキ板 t-8.0、化粧ケガキ板 t-6.0
天井	LGS(19型)化粧石膏ホ-ド' 廻縁:塩ビ製

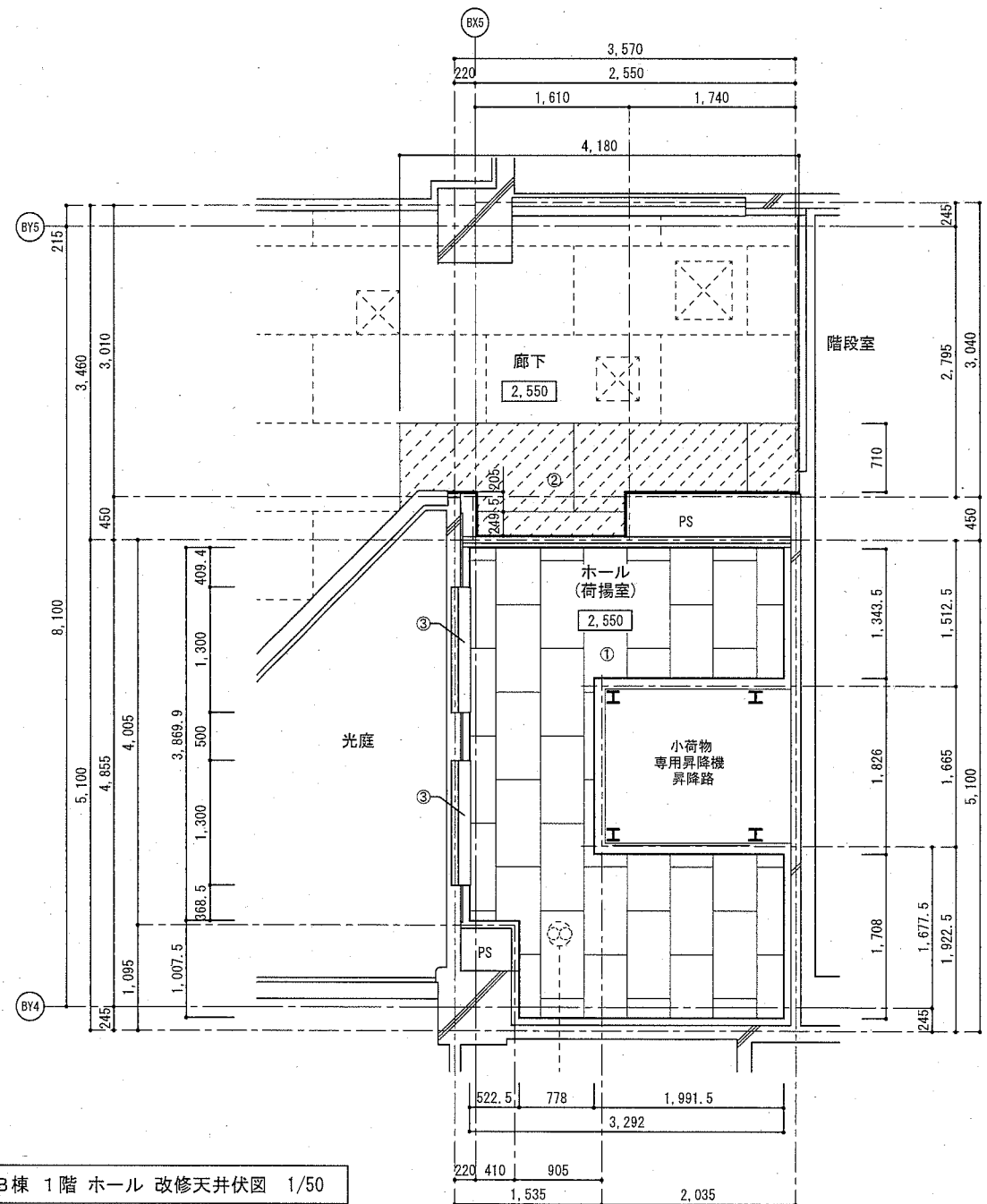
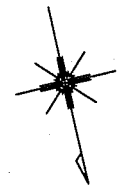
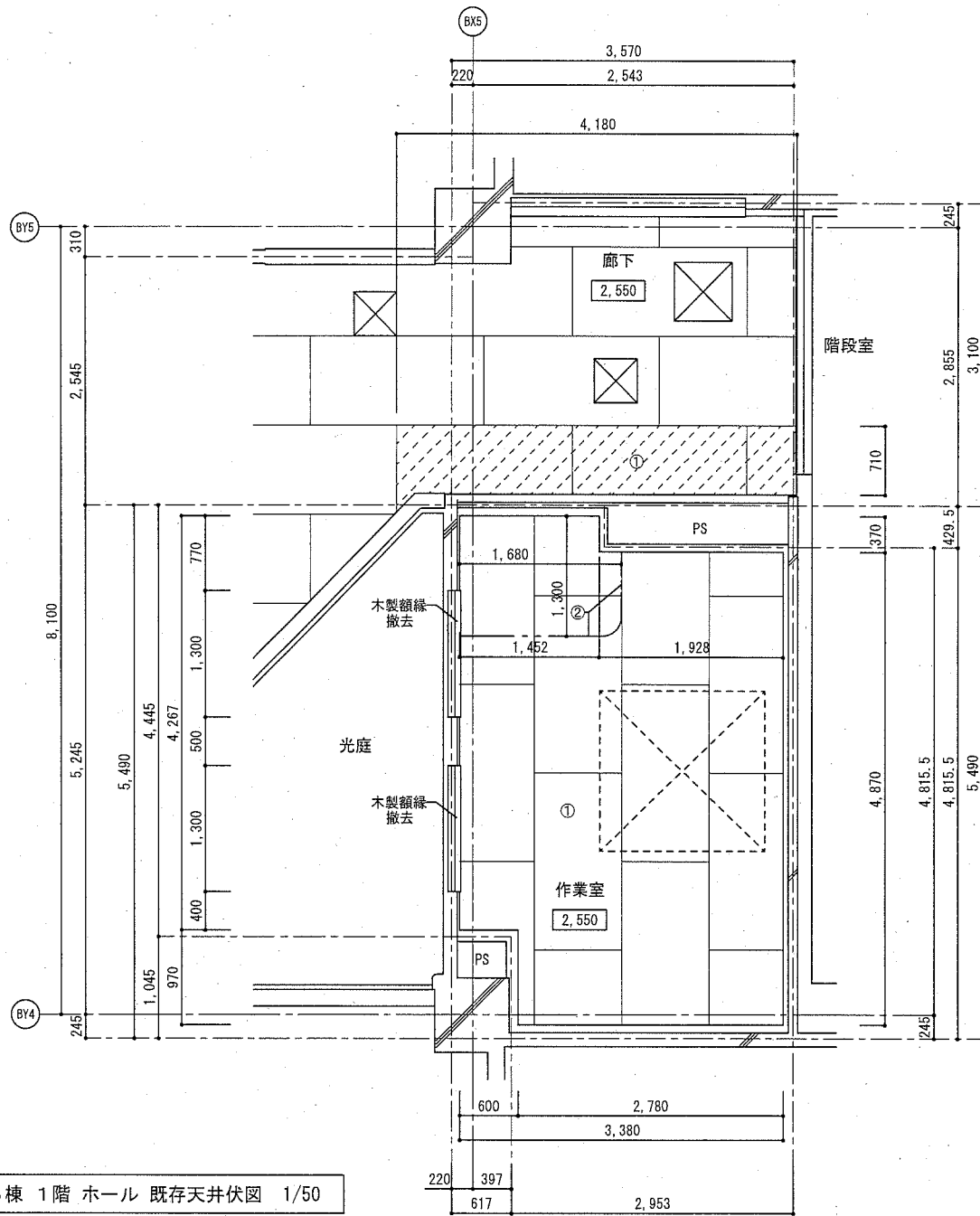
床改修凡例・内容	
F1	土間スラブ t-135新設復旧、モルタルコテ-18、ビニルシート-2.0新設
F2	昇降路、PS内 土間スラブ t-135新設復旧、モルタルコテ-18
F3	下地調整のうえビニルシート-2.0新設
F4	下地調整のうえビニルシート-2.5新設

コンクリートスラブ 復旧面は新熱材、防湿シート、砕石共に復旧する
ビニルシート-2.0:耐荷重性・抗菌
ビニルシート-2.5:コイ
下地調整:ホ-リメントペ-スト塗

廊下 改修内部仕上表 撤去面を新設復旧	
部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート-2.5(コイ) 建具撤去面:モルタル-20、ビニルシート-2.5(コイ)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	W5面:ケガキ板 t-10+8(目透し)EP-G
天井	LGS(19型)下地、Pbt-9.5(目透し)EP

廊下面 改修内容	
巾木	① ビニル巾木 H100
壁	② W1a面:LGS(65型@455)面にケガキ板 t-10+8(目透し)EP-G ③ W5面:LGS(65型@455)面にケガキ板 t-10+8(目透し)EP-G ④ W5面:既存LGS面にケガキ板 t-10+8(目透し)EP-Gのみ新設復旧
木製窓廻縁:スラブ t-24見込140、室名札	

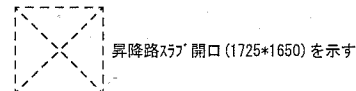
※ケガキ板(t-8、t-10):7x7xス含有成形板



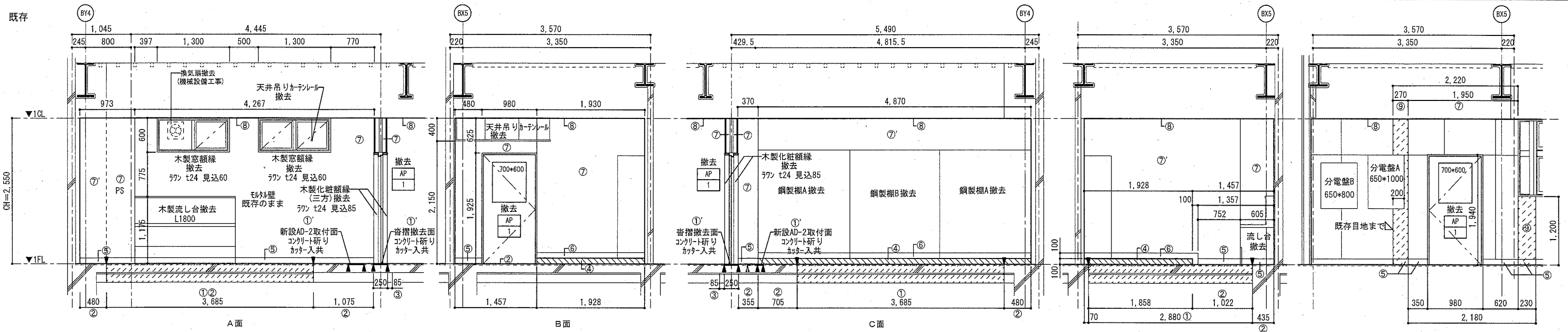
B棟 1階 ホール 既存天井伏図 1/50

B棟 1階 ホール 改修天井伏図 1/50

天井仕上・撤去内容凡例	
①	LGS19型@303、石膏板・ト・t-9.0
②	天井吊り7mm製カテナール
備考	作業室は全面撤去 廊下はハッチ部の天井撤去 木製額縁:57mm×24見込60 撤去

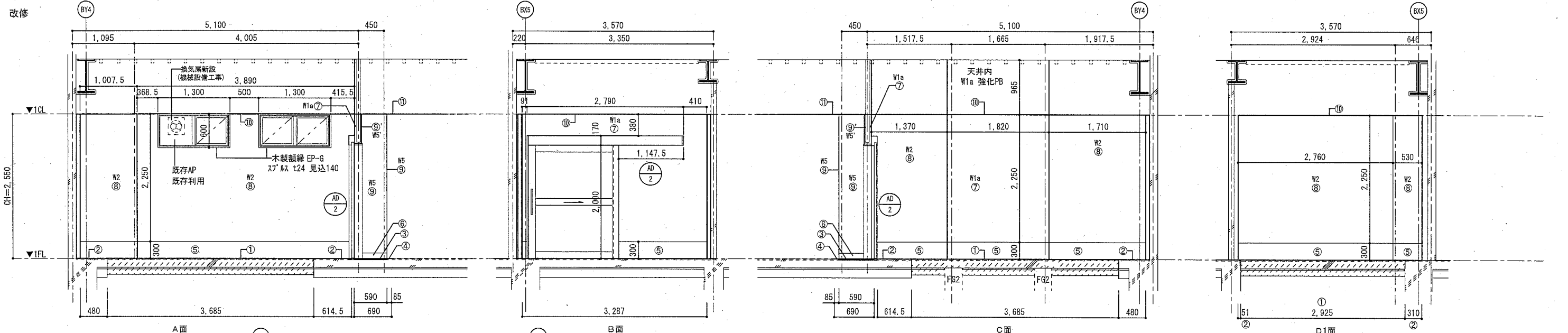


天井改修内容・凡例	
①	LGS (19型)@225、化粧石膏板・ト・t-9.5 珪藻土製
②	撤去面:LGS19型@303、石膏板・ト・t-9.5、EP 珪藻土製
③	木製額縁EP-G
備考	天井点検口(450角)新設(位置は監督員との協議による決定する) 木製額縁:57mm×24 見込140



撤去内容	床		巾木		備考
	①	②	⑤	⑥	
①	コンクリートスラブ t-155 (t-135+7か20) 撤去	②	⑤	⑥	土間スラブコンクリート下撤去面は以下も共に撤去する 断熱材(硬質スチレンフォーム t-25) 防湿シート t-0.15、捨コン t-25、砕石 t-150 ⑨点線ワチ部分はケイカル板(t-10+8)のみ撤去(LGS(45型)下地残し) ※ケイカル板(t-8, t-10):7ス+1ス含有成形板
②	コンクリートスラブ t-20 研り(ワチ面)	③	⑦	⑧	
③	ビニシート t-2.8 (グリーン) 撤去	④	⑦	⑧	
④	ビニシート t-2.8 (コイ) 撤去	⑤	⑦	⑧	
⑤	木床組、フローリング t-15 撤去	⑥	⑦	⑧	

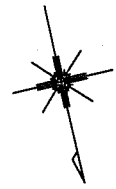
B棟 1階 ホール(荷揚室) 既存展開図 1/50



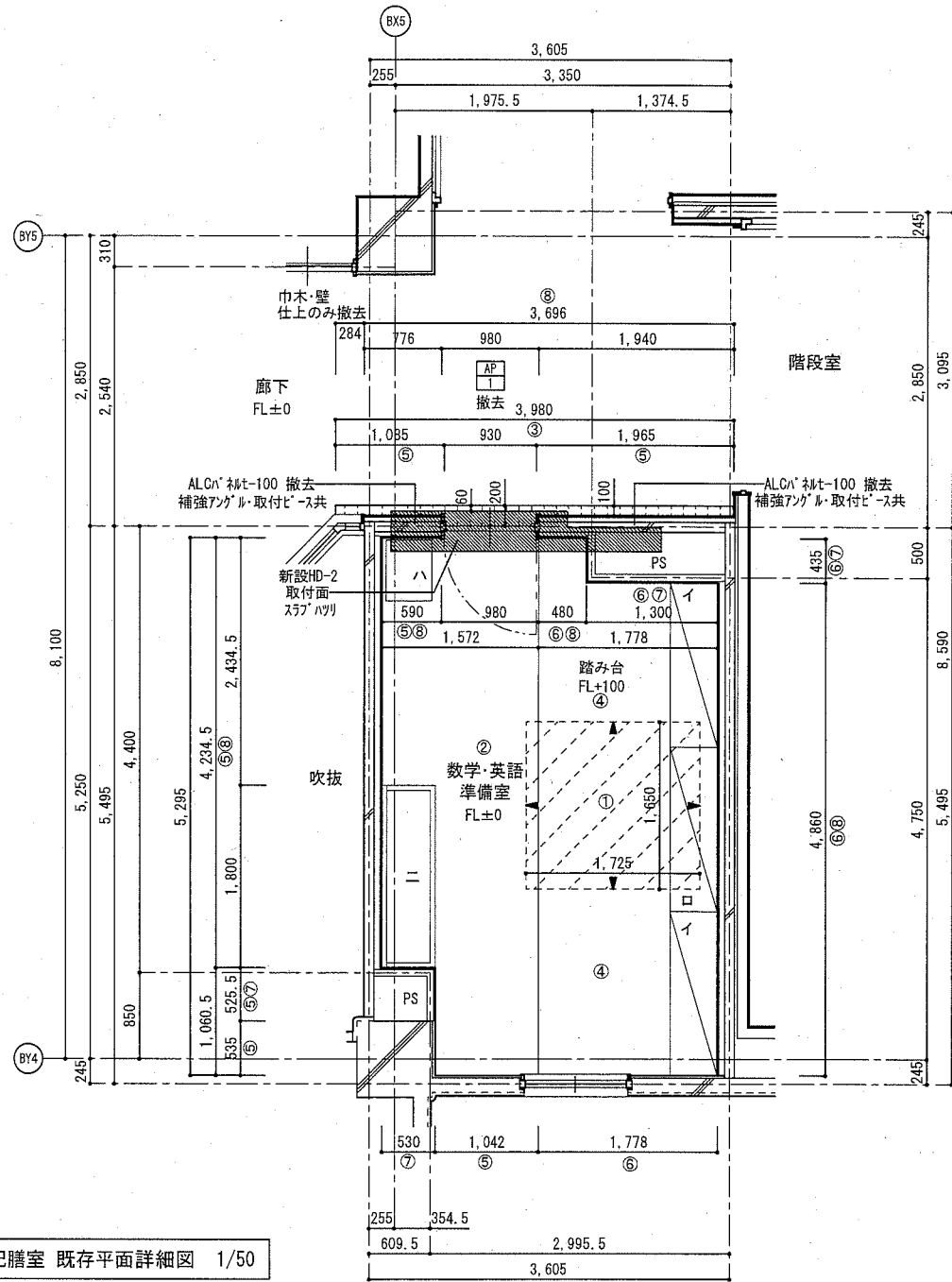
改修内容	
床	① コンクリートスラブ t-135 復旧 モルタル t-20、ビニシート t-2.0
	② 下地調整のうえビニシート t-2.0
	③ モルタル t-20、ビニシート t-2.5
	④ 下地調整のうえビニシート t-2.5
巾木	⑤ ワチ合板 t-12.0 増張り、ビニ巾木 H300 (配膳室側)
	⑥ ビニ巾木 H100
壁	⑦ W1a面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0
	⑧ W2面:LGS(50型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0
	⑨ W5(廊下)面:LGS(65型@455)面にケイカル板 t-10+8(目透し) EP-G
	⑩ W5'(W1a廊下)面:LGS(65型@455)面にケイカル板 t-10+8(目透し) EP-G
天井	⑪ LGS(19型@225)化粧石膏ボード t-9.5 (配膳室側)
	⑫ LGS(19型@303)石膏ボード t-9.5 (目透し) EP(廊下側)

⑨点線ワチ部分はケイカル板(t-10+8 目透し EP-G)のみ新設復旧
 木製窓額縁:スラット t-24 見込140
 室名札
 ビニシート t-2.0:耐動荷重性・抗菌、ビニシート t-2.5:コイ
 下地調整:キヤセメントベ-ト塗

B棟 1階 ホール(荷揚室) 改修展開図 1/50



■面は廊下改修面を示す



B棟 2階 配膳室 既存平面詳細図 1/50

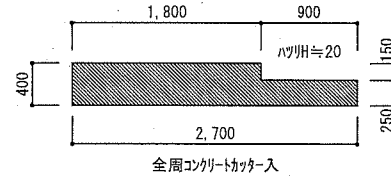
数学・英語準備室 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155(135+増打ち20)直押え 踏み台:木床組、70-リング t-15 OSW 上記以外:ビニルシート-2.8(7-レン)
巾木	踏み台面:木製巾木 t-24 (H100) OP 上記以外:ビニル巾木 (H100)
壁	モルタル面:モルタル(金コ) EP-G ボード面:LGS下地、ケイカル板 t-10+8(目透し) EP-G
天井	LGS(19型)Pb t-9.0(目透し) EP 廻縁:塩ビ製

廊下 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155(135+増打ち20)直押え ビニルシート-2.8(コイン)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	ボード面:LGS下地、ケイカル板 t-10+8(目透し) EP-G
天井	LGS(19型)Pb t-9.0(目透し) EP 廻縁:塩ビ製

撤去内容	
床	① コンクリートスラブ t-155(135+増打ち20) 撤去(型枠デッキプレート共) ② ビニルシート-2.8(7-レン) 撤去 ③ ビニルシート-2.8(コイン) 一部撤去 ④ 木製踏み台(木床組、70-リング t-15撤去) 撤去
巾木	⑤ ビニル巾木 (H100) 撤去 ⑥ 木製巾木(70-リング t-24 H100) 撤去
壁	⑦ LGS(65型)下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ⑧ LGS(45型)下地、ケイカル板 t-10+8 撤去
天井	LGS下地、石膏ボード t-9.0 撤去

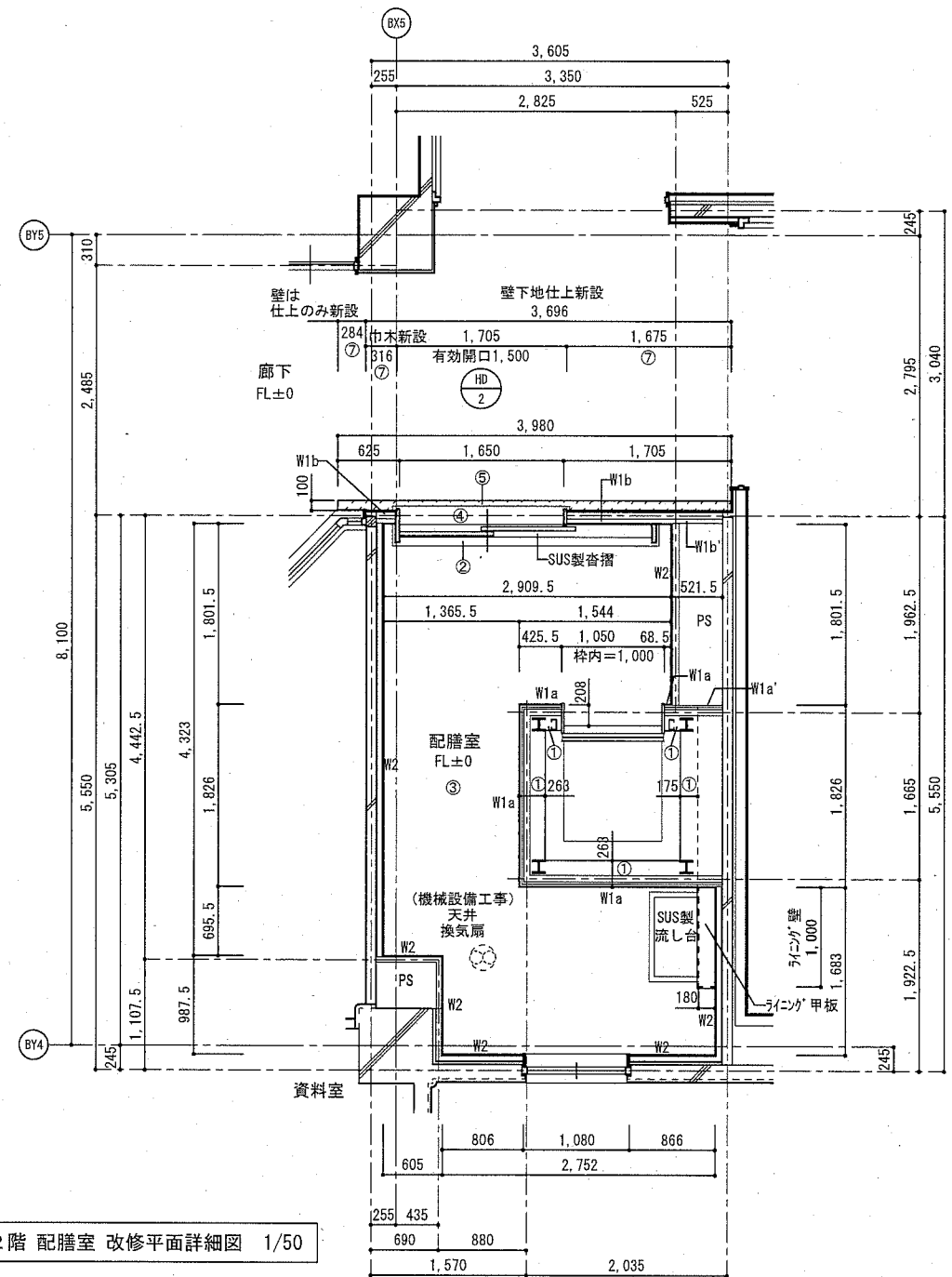
AP-1(雀籠共)撤去、木製カーテンボックス撤去
LGS45型(45*25、横張@303)
木製廻縁:70 t24 見込60
※ケイカル板(t-8、t-10):75%含有成形板

▼コンクリートカッター AP 7&Mマシナリ



新設HD-2 スラブ コンクリートハツリ平面図 1/50

棚類 撤去内容			
記号	名称	規格・寸法	数量
イ	鋼製棚A	W1510D450H1710	2
ロ	鋼製棚B	W1810D450H1710	1
ハ	鋼製掃除用具入	W600D450H1900	1
ニ	木製流し台	L1800	1



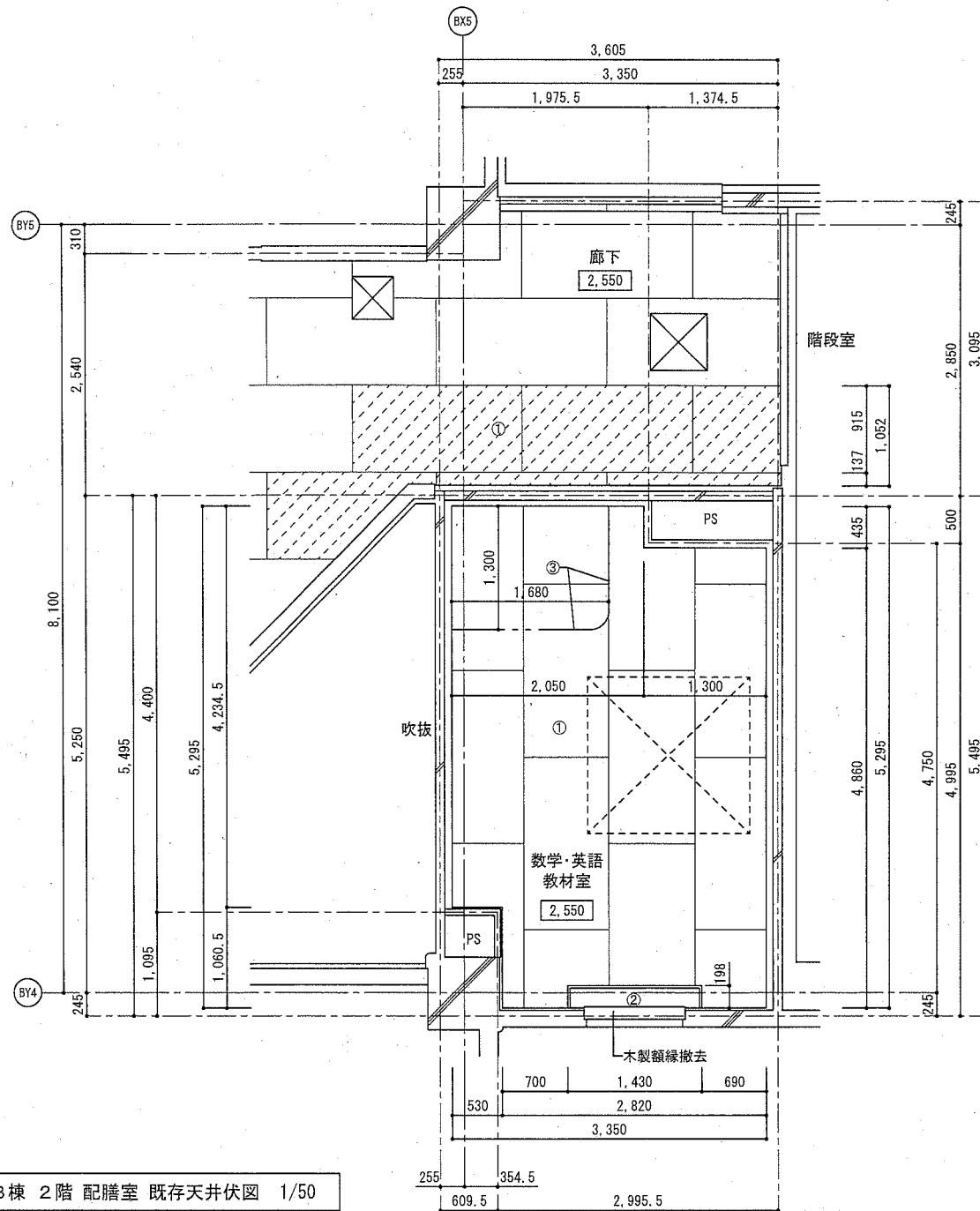
B棟 2階 配膳室 改修平面詳細図 1/50

配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	昇降路内:モルタル t-18 既存スラブ面:下地調整のうえビニルシート-2.0(耐荷重性・抗菌)
巾木	70-リング t-12.0増強、ビニル巾木 (H300)
壁	W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0 W1a'、W1b'面:強化石膏ボード面 素地仕上 W2面:LGS(50型)下地、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0
天井	LGS(19型)化粧石膏ボード 廻縁:塩ビ製

廊下 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート-2.5(コイン) 建具撤去面:モルタル t-20、ビニルシート-2.5(コイン)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	W1b面:ケイカル板 t-10+8(目透し) EP-G
天井	撤去面:LGS下地、石膏ボード t-9.5(目透し) EP

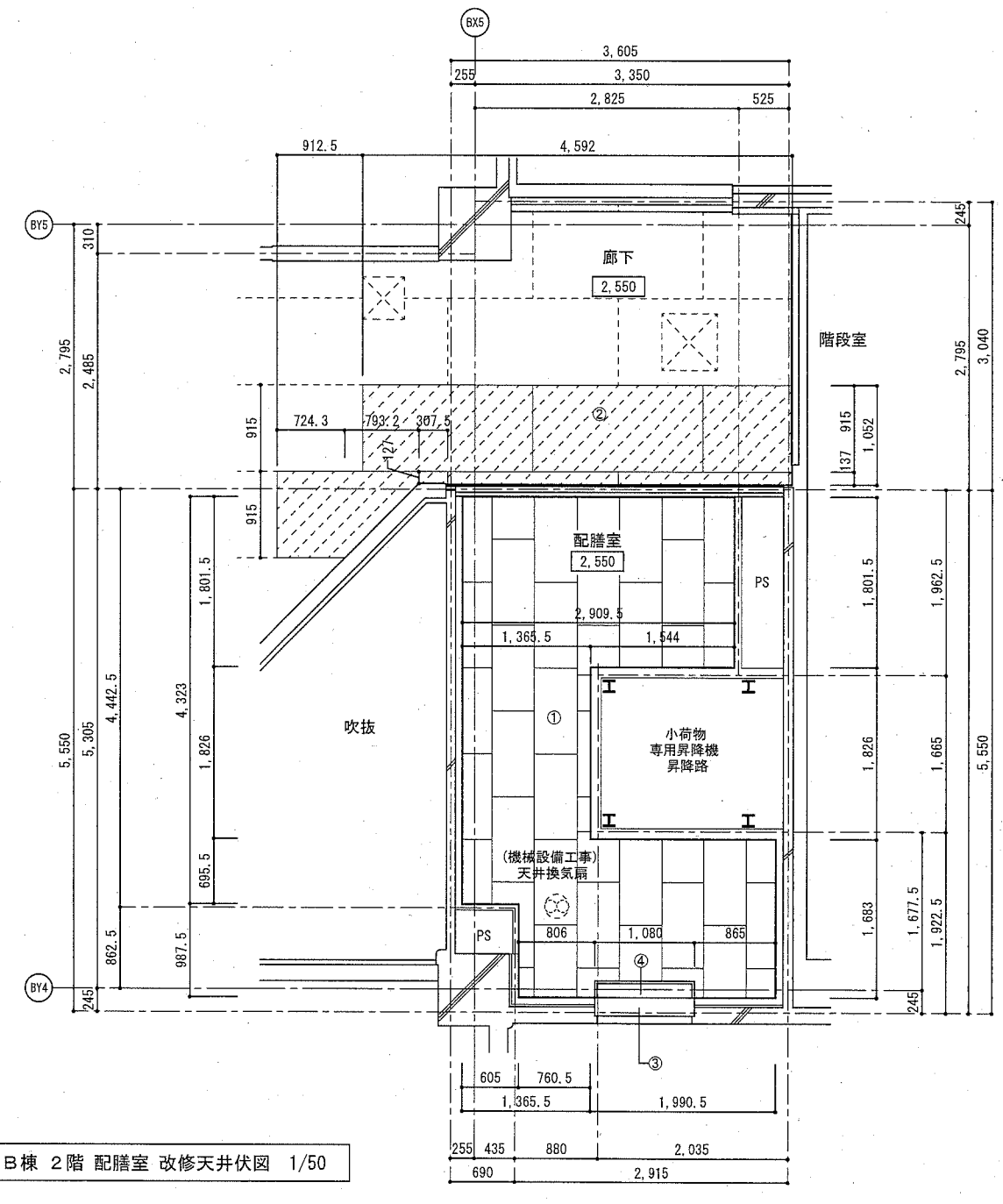
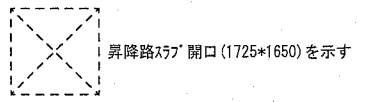
改修内容	
床	① コンクリートスラブ t-135復旧 モルタル t-18 ② モルタル t-20、ビニルシート-2.0 ③ 下地調整のうえビニルシート-2.0 ④ モルタル t-20、ビニルシート-2.5 ⑤ 下地調整のうえビニルシート-2.5
巾木	⑥ 70-リング t-12.0増強、ビニル巾木 H300(配膳室側) ⑦ ビニル巾木 H100
壁	⑧ W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0 ⑨ W1a'、W1b'面:強化石膏ボード面 素地仕上 ⑩ W2面:LGS(50型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0 ⑪ W1b(廊下)面:LGS(65型@455)面にケイカル板 t-10+8(目透し) EP-G
天井	LGS(19型@225)化粧石膏ボード t-9.5(目透し) EP(配膳室側) LGS(19型@303)石膏ボード t-9.5(目透し) EP(廊下側)

木製カーテンボックス:スラブ t-24、コ型194*198*144(SUS製C型カーテンレール/シンク)
木製廻縁:スラブ t-24見込140
室名札
ビニルシート-2.0:耐荷重性・抗菌、ビニルシート-2.5:コイン
下地調整:ボーマセメントペースト塗



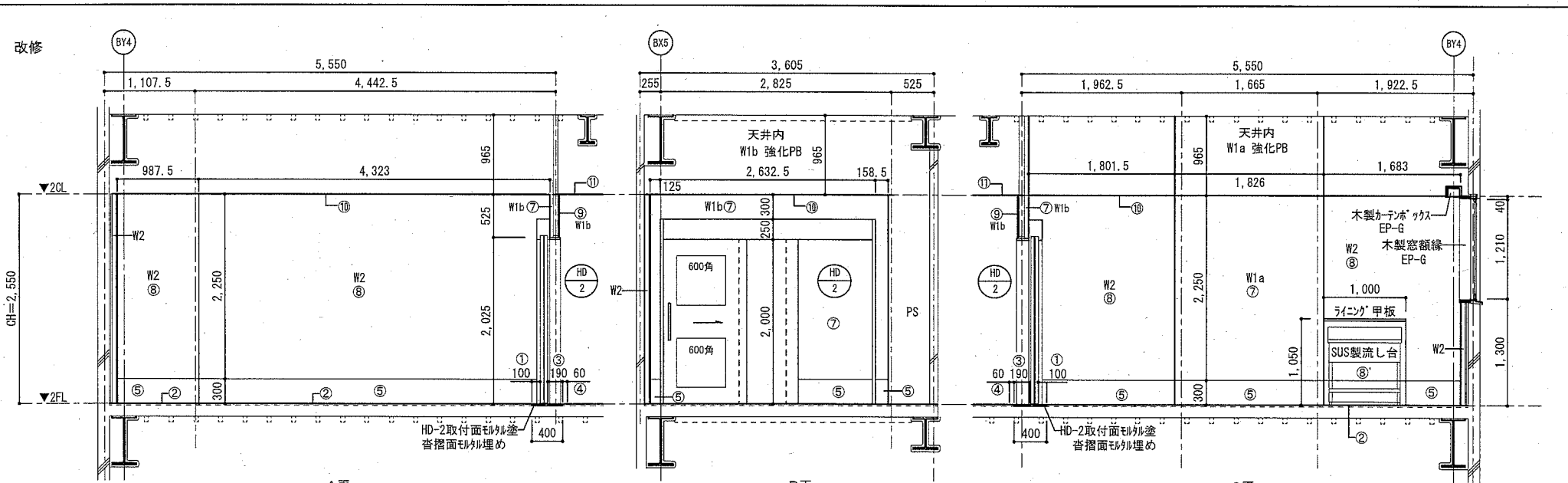
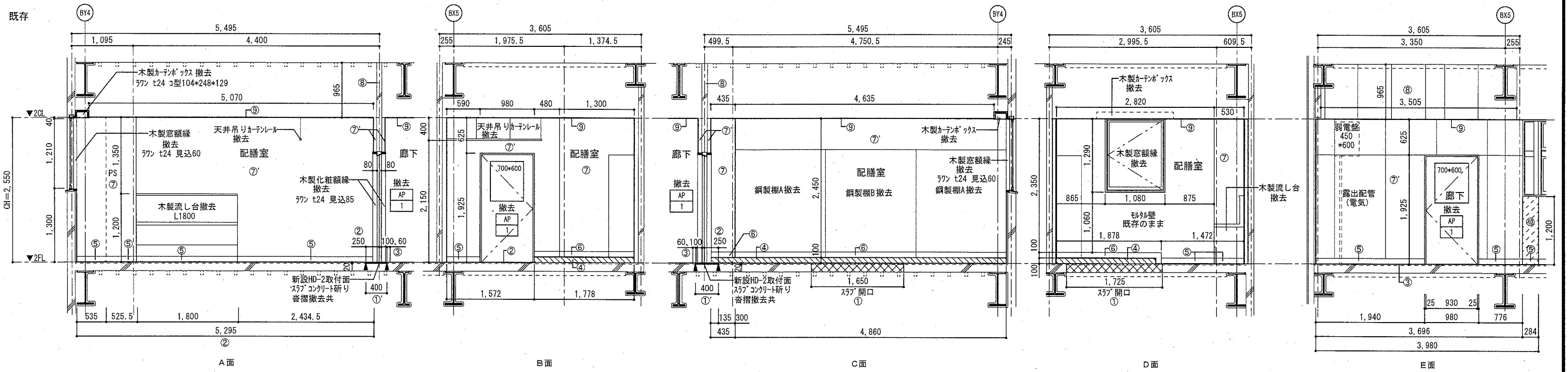
B棟 2階 配膳室 既存天井伏図 1/50

天井仕上・撤去内容凡例	
①	LGS19型@303、石膏板・t-9.0
②	木製カーテンボックス撤去
③	天井吊り材製カーテン撤去
備考	数学・英語教材室は全面撤去 廊下はハッチ部の天井撤去 木製窓額縁：ワゴン24見込60 木製カーテンボックス：ワゴン コ型 104*248*129



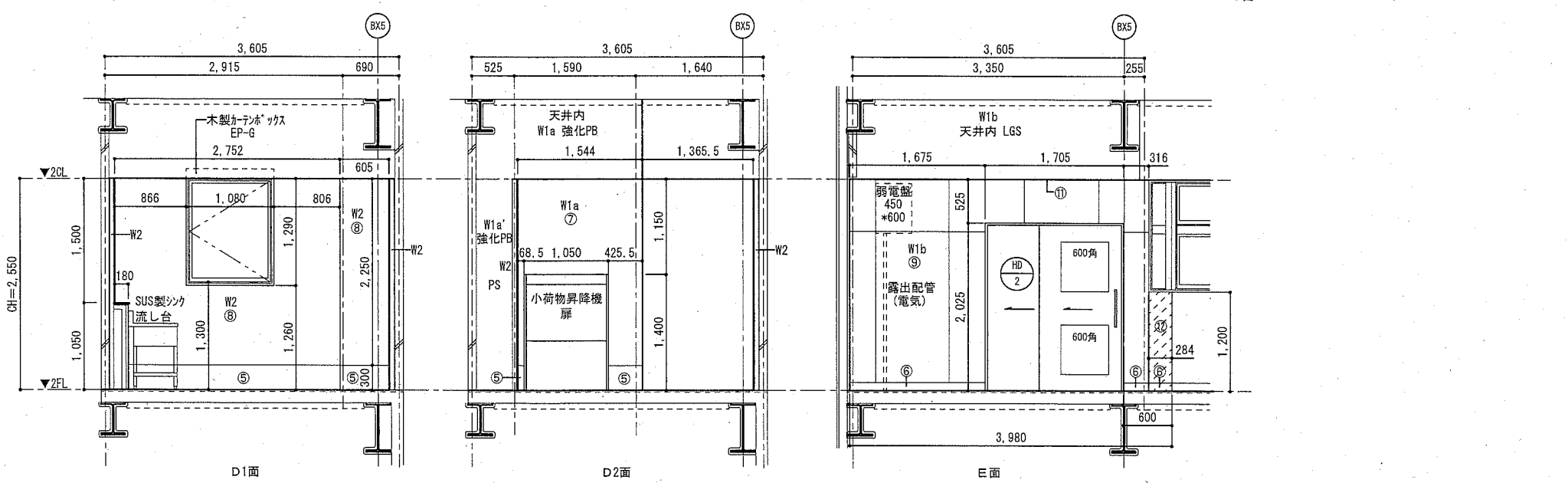
B棟 2階 配膳室 改修天井伏図 1/50

天井改修内容・凡例	
①	LGS(19型)@225、化粧石膏板・t-9.5 廻縁 塩ビ製
②	撤去面：LGS19型@303、石膏板・t-9.5、EP 廻縁 塩ビ製
③	木製額縁EP-G
④	木製カーテンボックスEP-G(SUS製カーテンレール シングル共)
備考	天井点検口(450角)新設(位置は監督員との協議による決定する) 木製額縁：スリット24 見込140 木製カーテンボックス：スリット24 コ型 194*198*144 塗装は見掛けのみEP-G



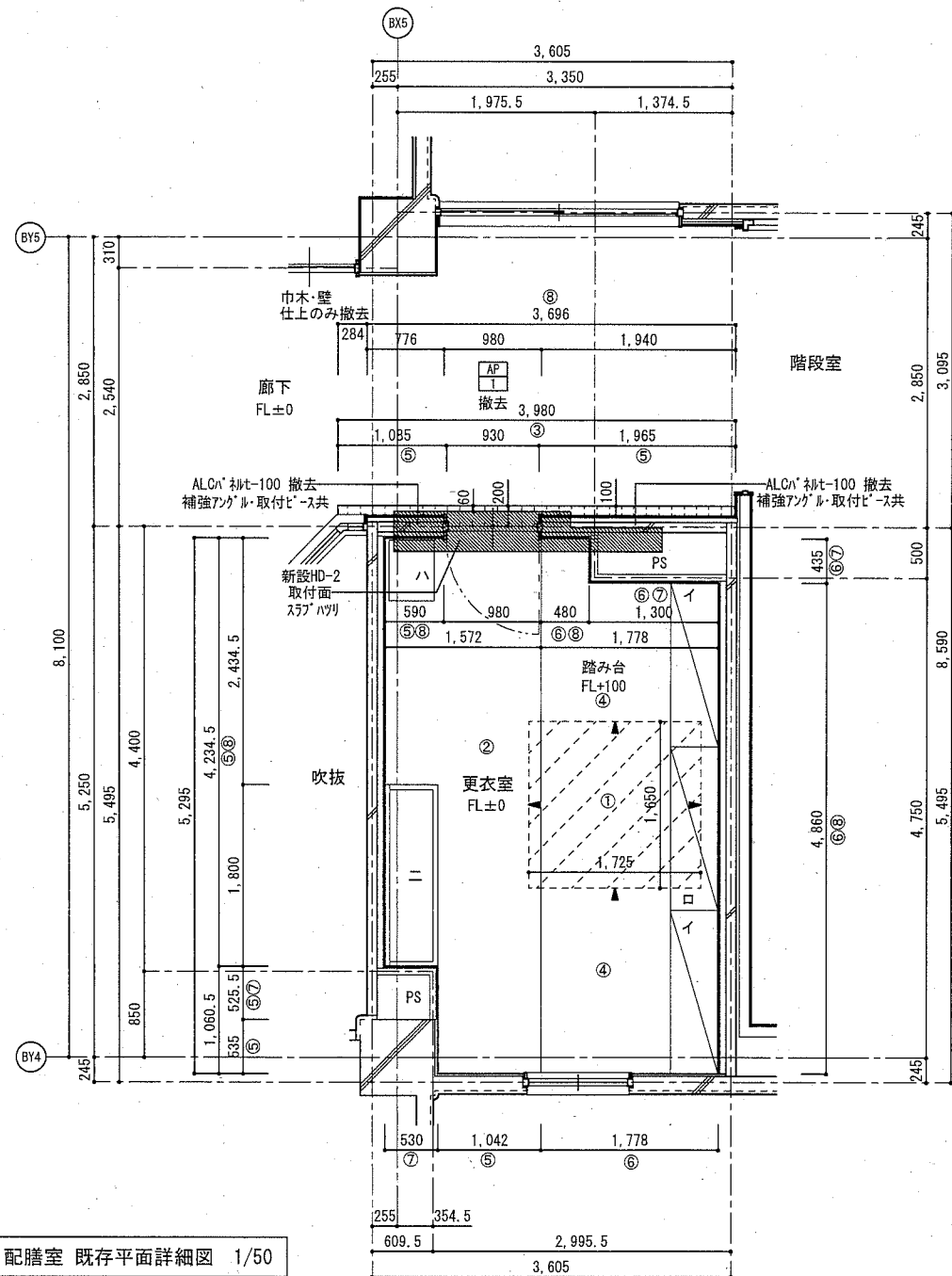
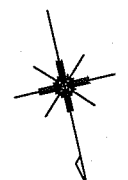
撤去内容	
床	① コンクリートスラブ t-155 (t-135+フカ20) 撤去
	①' コンクリートスラブ t-20 研り (フカ面)
	② ビニシート t-2.8 (ブレーン) 撤去
	③ ビニシート t-2.8 (コイン) 撤去
	④ 木床組、フローリング t-15 撤去
巾木	⑤ ビニ巾木 (H100) 撤去
	⑥ 木製巾木 (70x24 H100) 撤去
壁	⑦ LGS (65型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ※PS面
	⑦' LGS (45型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ※上記以外
	⑧ ALCA' 板 t-100 撤去 補強アングル (L-65*65*6) 共
天井	⑨ LGS下地、PBT-9.0 撤去
AP-1 (省摺共) 撤去、木製窓額縁撤去、木製カーテンボックス撤去	
70x70 天井吊りカテナール撤去	
LGS45型 (45*25、@303)	
⑩ 点線ハチ部分はケイカル板 (t-10、t-8) のみ撤去	
	▼ コンクリートカッター
	■ アルミパネーション

Ｂ棟 ２階 配膳室 既存展開図 1/50



改修内容	
床	① 珪藻土 t-20、ビニシート t-2.0
	② 下地調整のうえビニシート t-2.0
	③ 珪藻土 t-20、ビニシート t-2.5
	④ 下地調整のうえビニシート t-2.5
巾木	⑤ ラワン合板 t-12.0 増張り、ビニ巾木 H300 (配膳室側)
	⑥ ビニ巾木 H100
壁	⑦ W1a、W1b 面：強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0
	⑧ W2 面：LGS (50型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0
	⑧' ライニング：LGS (50型@455)、耐水ラワン合板 t-12.0 化粧ケイカル板 t-6.0
	⑨ W1b (廊下) 面：LGS (65型@455) 面にケイカル板 t-10+8 (目透し)、EP-G
天井	⑩ LGS (19型@225) 化粧石膏ボード t-9.5 (配膳室側)
	⑩' LGS (19型@303) 石膏ボード t-9.5 (目透し) EP (廊下側)
⑩② 点線ハチ部分はケイカル板 (t-10+8 目透し EP-G) のみ新設 旧	
木製カーテンボックス：スラブ t-24、コ型 194*198*144 (SUS製 G型カテナール/シングル)	
木製窓額縁：スラブ t-24 見込 140	
室名札	
ビニシート t-2.0：耐動荷重性・抗菌、ビニシート t-2.5：コイン	
下地調整：ホリヤセメントペースト塗	

Ｂ棟 ２階 配膳室 改修展開図 1/50



B棟 3・4階 配膳室 既存平面詳細図 1/50

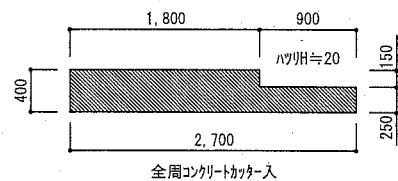
更衣室 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155 (135+増打ち20) 直押え 踏み台:木製組、70-リング t-15 OSW 上記以外:ビニルシート-2.8 (7'レン)
巾木	踏み台面:木製巾木 t-24 (H100) DP 上記以外:ビニル巾木 (H100)
壁	巾木面:モルタル(金コ) EP-G ボート面:LGS下地、ケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	LGS (19型) Pbt-9.0 (目透し) EP 廻縁:塩ビ製

廊下 既存内部仕上表	
部位	仕上
床	下地:コンクリートスラブ t-155 (135+増打ち20) 直押え ビニルシート-2.8 (コイン)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	ボート面:LGS下地、ケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	LGS (19型) Pbt-9.0 (目透し) EP 廻縁:塩ビ製

撤去内容	
床	① コンクリートスラブ t-155 (135+増打ち20) 撤去 (型枠デッキプレート共) ② ビニルシート-2.8 (7'レン) 撤去 ③ ビニルシート-2.8 (コイン) 一部撤去 ④ 木製踏み台 (木床組、70-リング t-15撤去) 撤去
巾木	⑤ ビニル巾木 (H100) 撤去 ⑥ 木製巾木 (70-リング t-24 H100) 撤去
壁	⑦ LGS (65型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ⑧ LGS (45型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去
天井	LGS下地、石膏ボード t-9.0 撤去

AP-1 (省槽共) 撤去、木製カテナボックス撤去
LGS45型 (45*25、横張@303)
木製廻縁:70 t-24 見込60
※ケイカル板 (t-8、t-10):7mm ス含有成形板

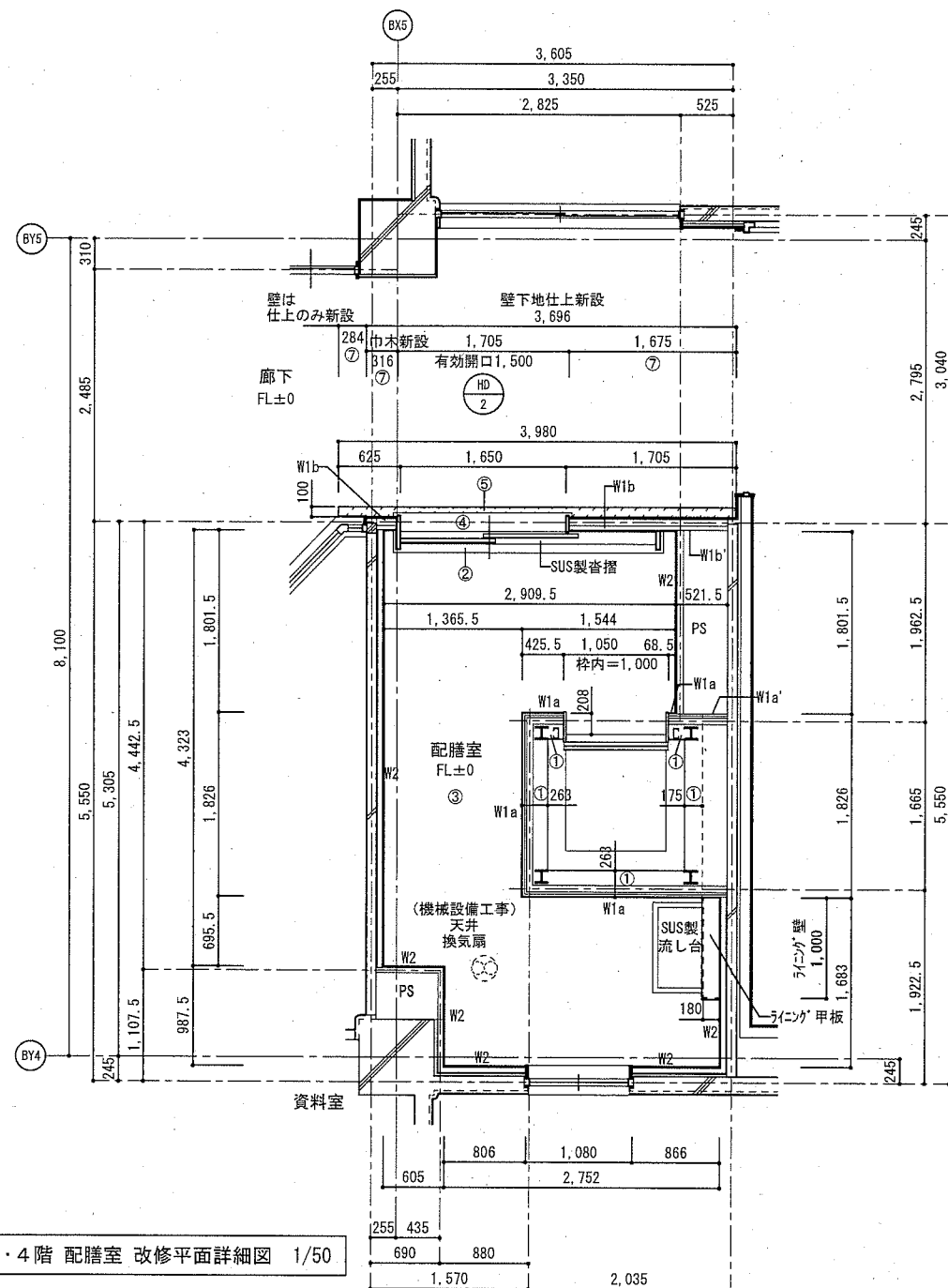
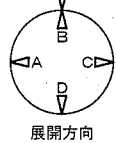
▼ コンクリートカッター



新設HD-2 スラブ コンクリートスラブ平面図 1/50

棚類 撤去内容			
記号	名称	規格・寸法	数量
イ	鋼製棚A	W1510D450H1710	2
ロ	鋼製棚B	W1810D450H1710	1
ハ	鋼製掃除用具入	W600D450H1900	1
ニ	木製流し台	L1800	1

E面は廊下改修面を示す



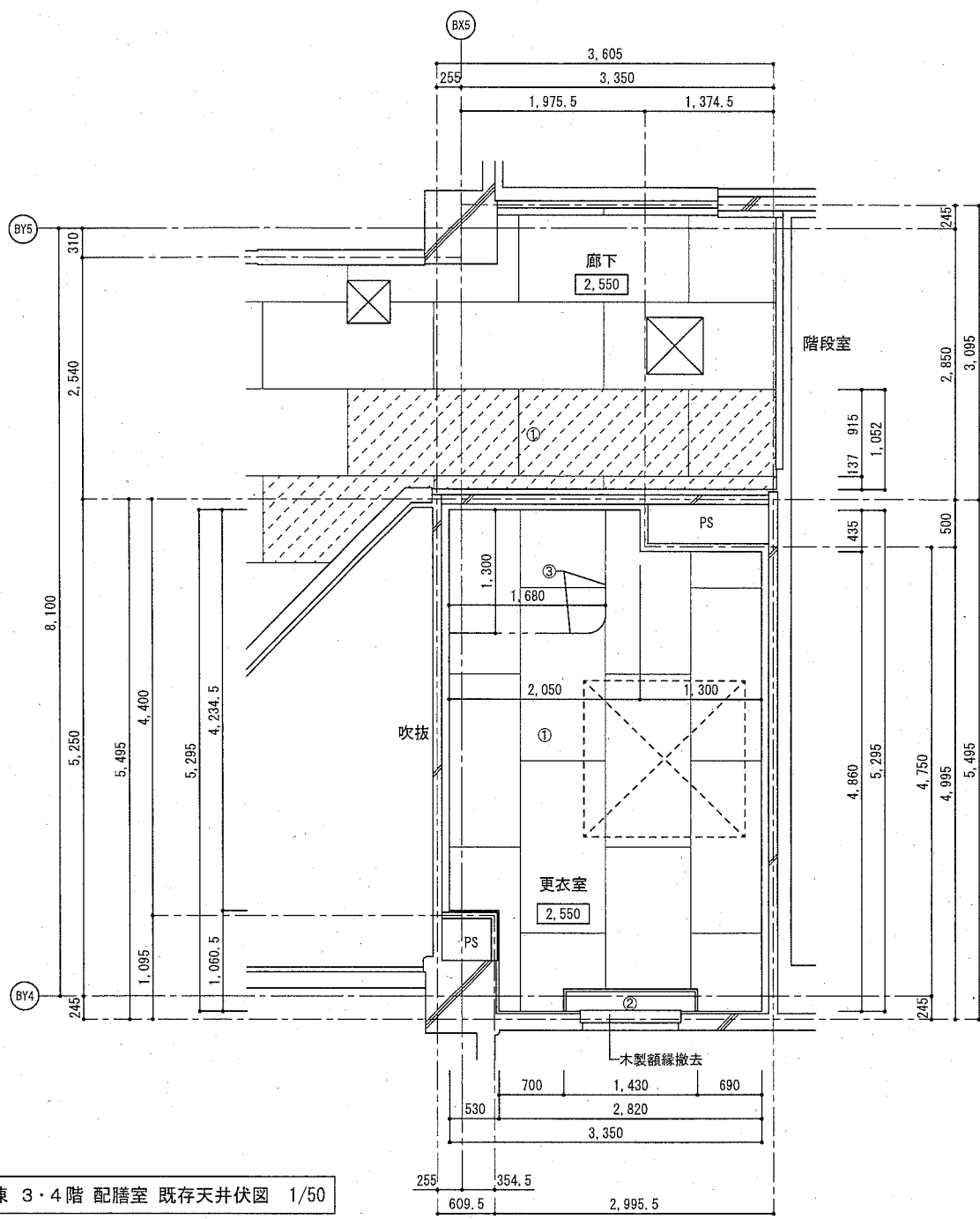
B棟 3・4階 配膳室 改修平面詳細図 1/50

配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	昇降路内:モルタル t-18 既存スラブ面:下地調整のうえビニルシート-2.0 (耐荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板 t-12.0 増張り、ビニル巾木 (H300)
壁	W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0 W1a'、W1b'面:強化石膏ボード面 素地仕上 W2面:LGS (50型) 下地、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0
天井	LGS (19型) 化粧石膏ボード 廻縁:塩ビ製

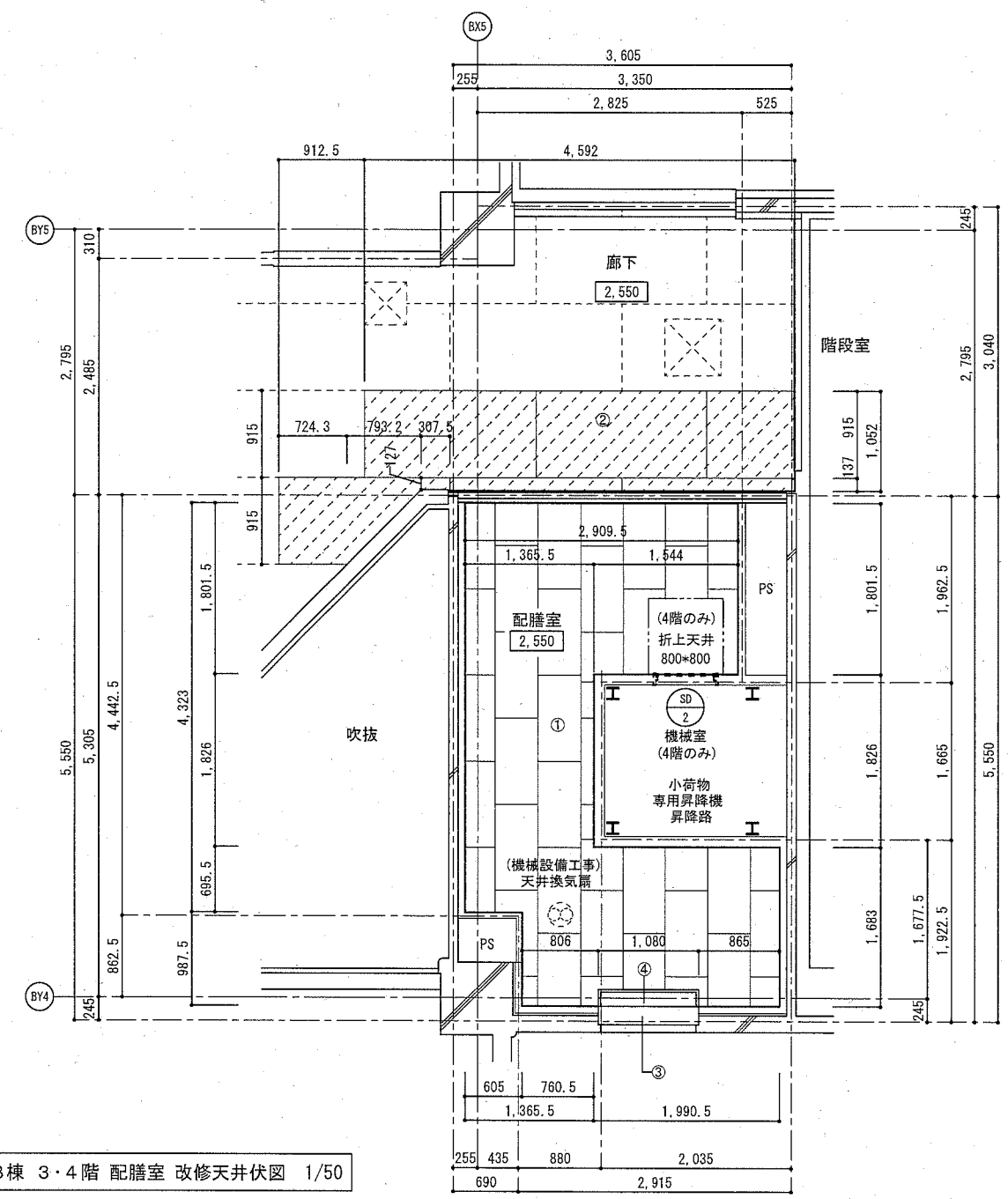
廊下 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	下地調整のうえビニルシート-2.5 (コイン) 建具撤去面:モルタル t-20、ビニルシート-2.5 (コイン)
巾木	ビニル巾木 (H100)
壁	W1b面:ケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	撤去面:LGS下地、石膏ボード t-9.5 (目透し) EP

改修内容	
床	① コンクリートスラブ t-135 復旧 モルタル t-18 ② モルタル t-20、ビニルシート-2.0 ③ 下地調整のうえビニルシート-2.0 ④ モルタル t-20、ビニルシート-2.5 ⑤ 下地調整のうえビニルシート-2.5
巾木	⑥ ラワン合板 t-12.0 増張り、ビニル巾木 H300 (配膳室側) ⑦ ビニル巾木 H100
壁	⑧ W1a、W1b面:強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0 ⑨ W1a'、W1b'面:強化石膏ボード面 素地仕上 ⑩ W2面:LGS (50型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0 ⑪ W1b (廊下) 面:LGS (65型@455) 面にケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	LGS (19型@225) 化粧石膏ボード t-9.5 (配膳室側) LGS (19型@303) 石膏ボード t-9.5 (目透し) EP (廊下側)

木製カテナボックス:スラブ t-24、コ型194*198*144 (SUS製C型カテナボックス/シンク)
木製廻縁:スラブ t-24 見込140
壁名札
ビニルシート-2.0:耐荷重性・抗菌、ビニルシート-2.5:コイン
下地調整:ボルトレス t-20

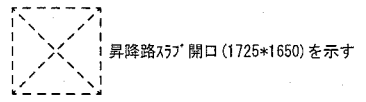


B棟 3・4階 配膳室 既存天井伏図 1/50

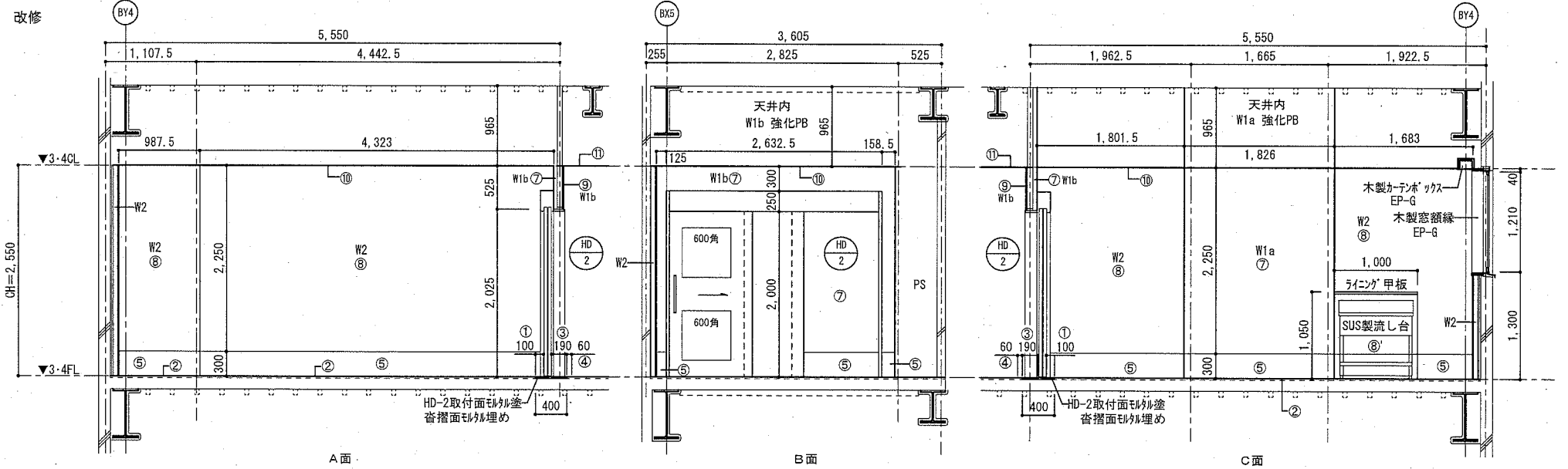
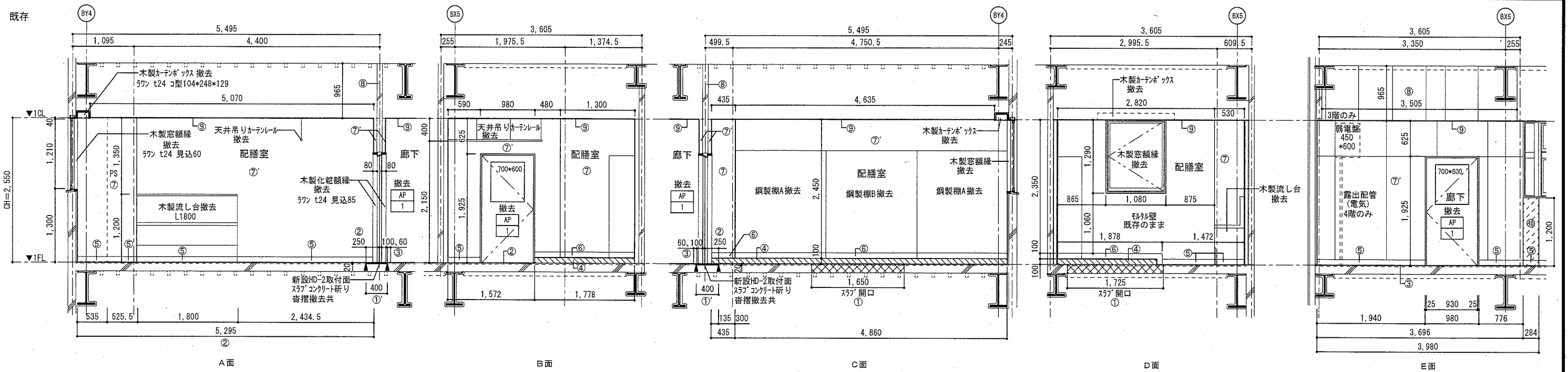


B棟 3・4階 配膳室 改修天井伏図 1/50

天井仕上・撤去内容凡例	
①	LGS19型@303、石膏ボード-t-9.0
②	木製カーテンボックス撤去
③	天井吊り70mm製カーテンレール撤去
備考	更衣室は全面撤去 廊下はハッチ部の天井撤去 木製窓額縁:70mm×24見込60 木製カーテンボックス:ワンコ型 104*248*129

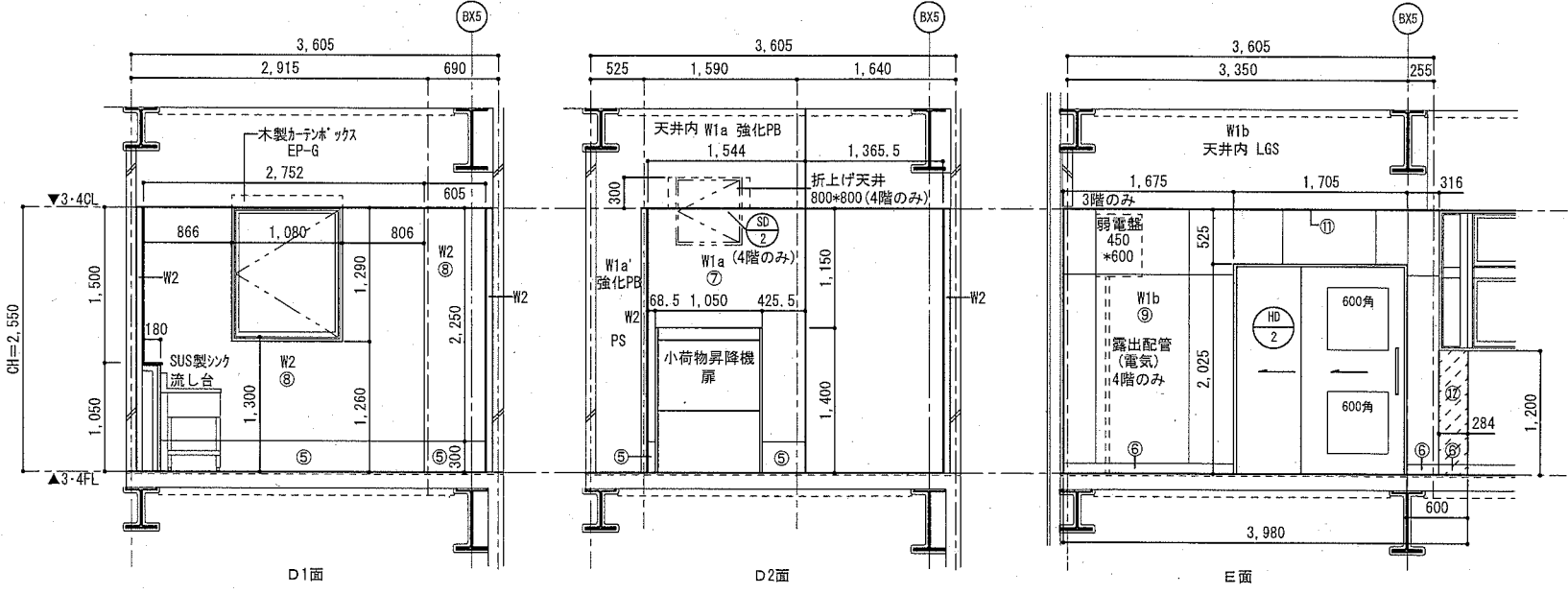


天井改修内容・凡例	
①	LGS(19型)@225、化粧石膏ボード-t-9.5 廻縁 塩ビ製
②	撤去面:LGS19型@303、石膏ボード-t-9.5、EP 廻縁 塩ビ製
③	木製額縁EP-G
④	木製カーテンボックスEP-G(SUS製カーテンレール シング共)
備考	天井点検口(450角)新設(位置は監督員との協議による決定する) 木製額縁:スチール24 見込140 木製カーテンボックス:スチール-t-24 コ型 194*198*144 塗装は見掛けのみEP-G



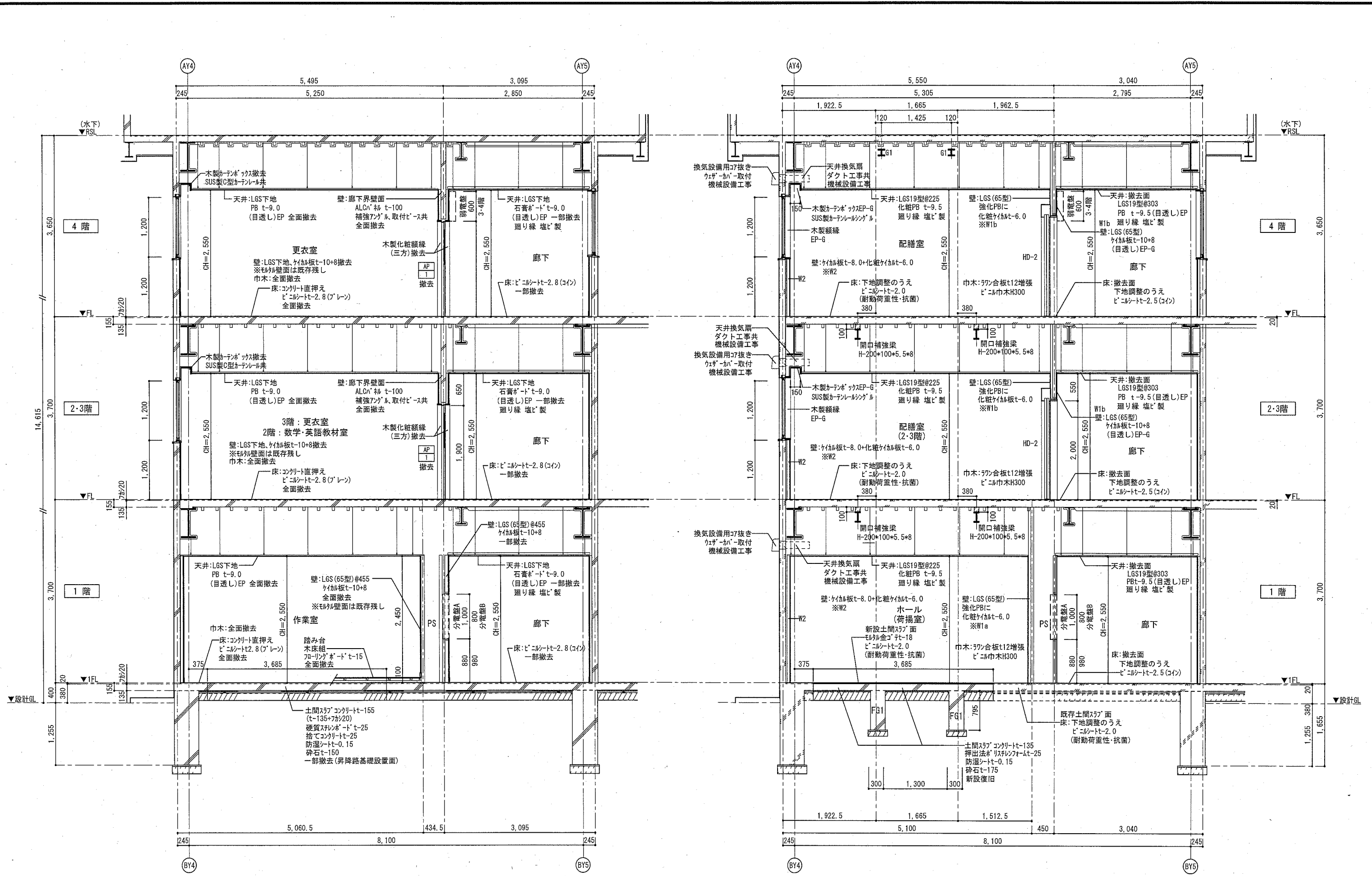
撤去内容	
床	① コンクリートスラブ t-155 (t-135+フカ20) 撤去
	①' コンクリートスラブ t-20 所り (フカ面)
	② ビニルシート-2.8 (7'レーン) 撤去
	③ ビニルシート-2.8 (コイン) 撤去
	④ 木床組、フローリング t-15 撤去
巾木	⑤ ビニル巾木 (H100) 撤去
	⑥ 木製巾木 (フカ-24 H100) 撤去
壁	⑦ LGS (65型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ※PS面
	⑦' LGS (45型) 下地、ケイカル板 t-10+8 撤去 ※上記以外
	⑧ ALCA' 補土-100 撤去 補強アングル (L-65*65*6) 共
天井	⑨ LGS下地、PBT-9.0 撤去
AP-1 (音響共) 撤去、木製窓額線撤去、木製カーテンボックス撤去	
7'木製天井吊りカーテンレール撤去	
LGS45型 (45*25、@303)	
⑩点線ハッチ部分はケイカル板 (t-10、t-8) のみ撤去	

B棟 3・4階 配膳室 既存展開図 1/50



改修内容	
床	① モルタル t-20、ビニルシート t-2.0
	② 下地調整のうえビニルシート t-2.0
	③ モルタル t-20、ビニルシート t-2.5
	④ 下地調整のうえビニルシート t-2.5
巾木	⑤ フック合板 t-12.0 増張り、ビニル巾木 H300 (配膳室側)
	⑥ ビニル巾木 H100
壁	⑦ W1a、W1b面: 強化石膏ボード面に化粧ケイカル板 t-6.0
	⑧ W2面: LGS (50型@455)、ケイカル板 t-8.0、化粧ケイカル板 t-6.0
	⑧' ライニング: LGS (50型@455)、耐水フック合板 t-12*2、化粧ケイカル板 t-6.0
	⑨ W1b (廊下) 面: LGS (65型@455) 面にケイカル板 t-10+8 (目透し) EP-G
天井	⑩ LGS (19型@225) 化粧石膏ボード t-9.5 (配膳室側)
	⑩' LGS (19型@303) 石膏ボード t-9.5 (目透し) EP (廊下側)

B棟 3・4階 配膳室 改修展開図 1/50

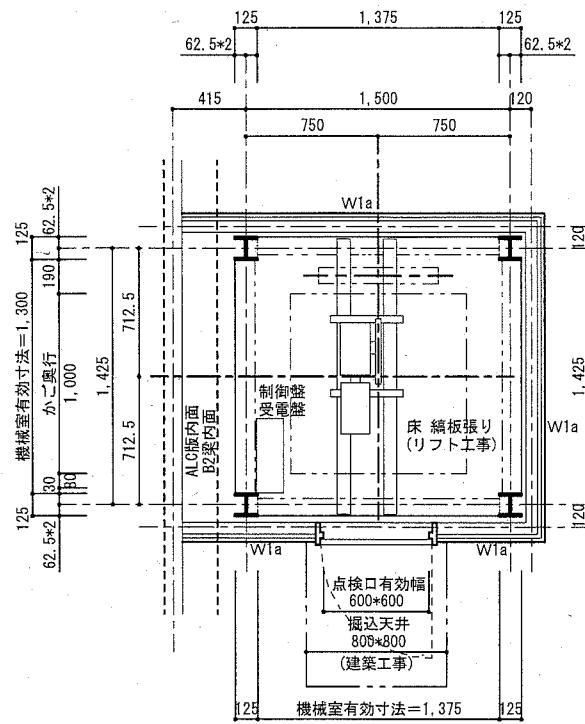


Y方向 矩計図(既存) 1/50

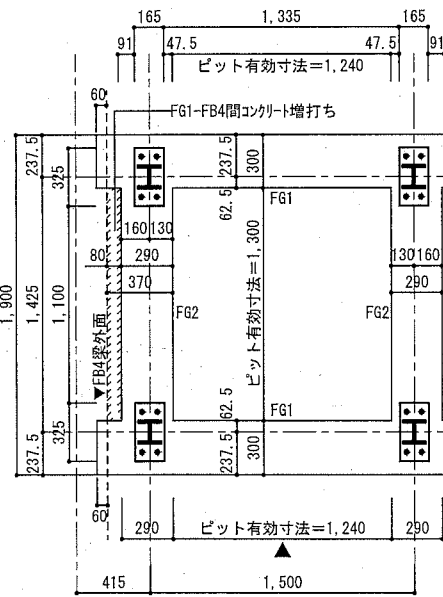
Y方向 矩計図(改修) 1/50

(建築工事)
機械室点検口
防火戸・施錠付
立柱4ヶ所・敷居受け材・機械台受梁
H-125x125x6.5x9
5kN揚重用ビーム
H-100x100x6x8

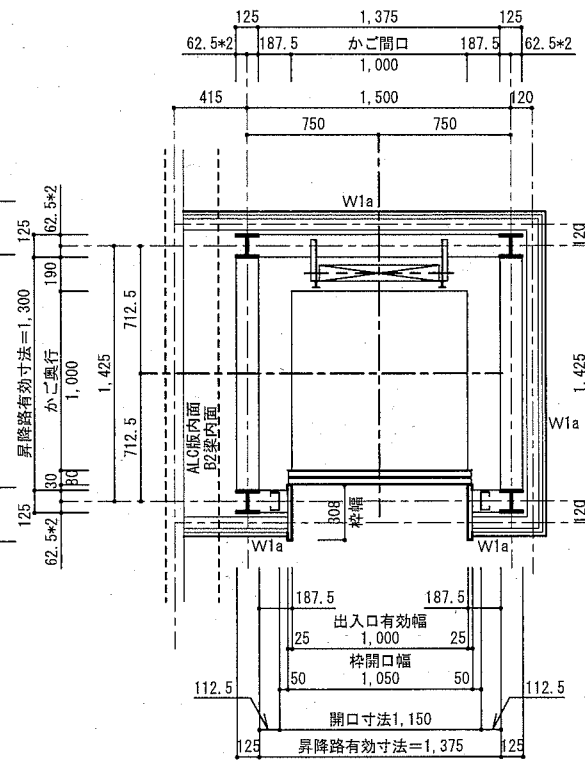
(建築工事)
柱
H-125x125x6.5x9 4本
スラブ接合材
H-125x125x6.5x9
敷居受け材
H-125x125x6.5x9
枠止め材
C-100x50x20x3.2
レール受材
C-100x50x20x3.2



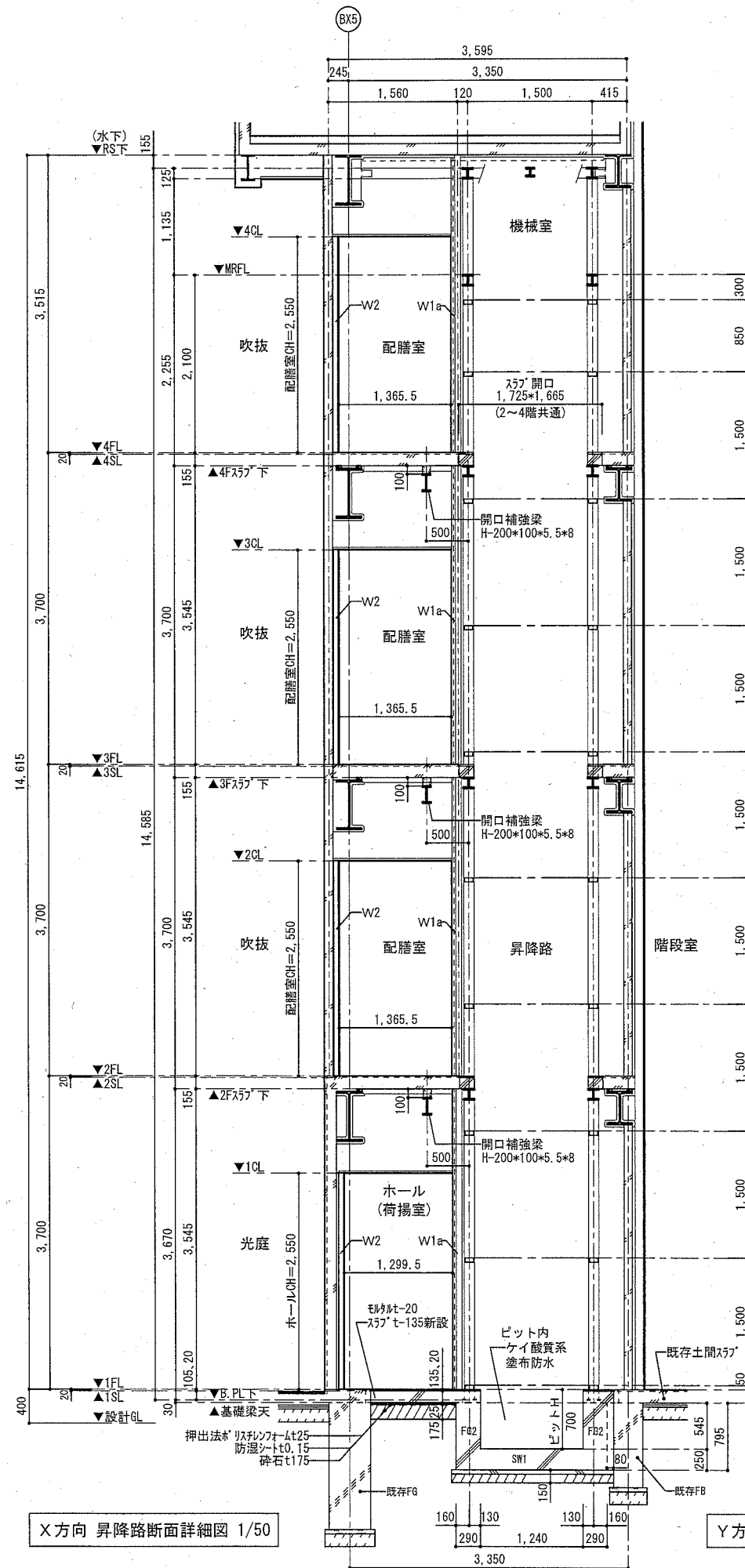
機械室平面図 S=1/30



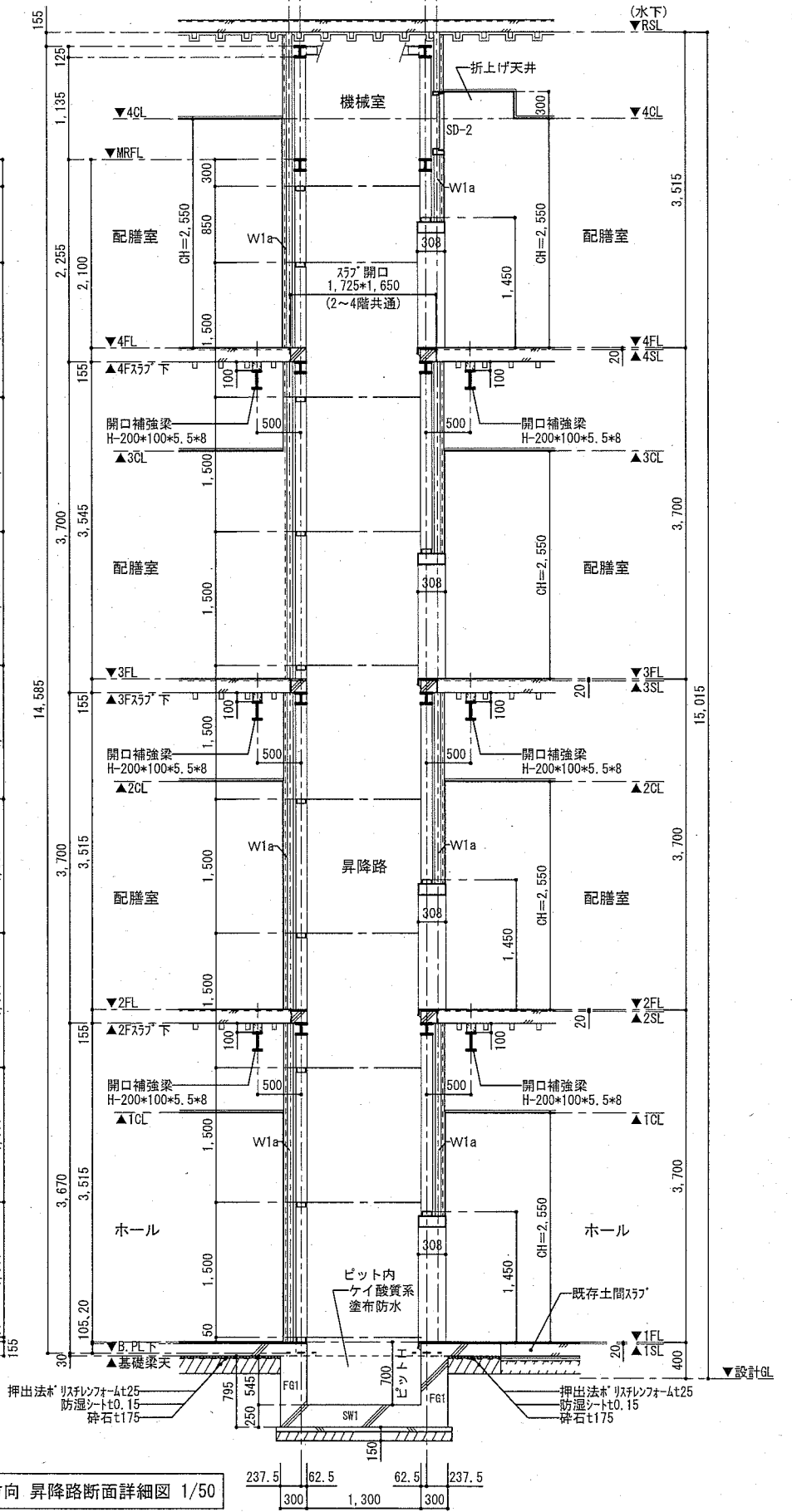
昇降路平面図 S=1/30



昇降路平面図 S=1/30



X方向 昇降路断面詳細図 1/50



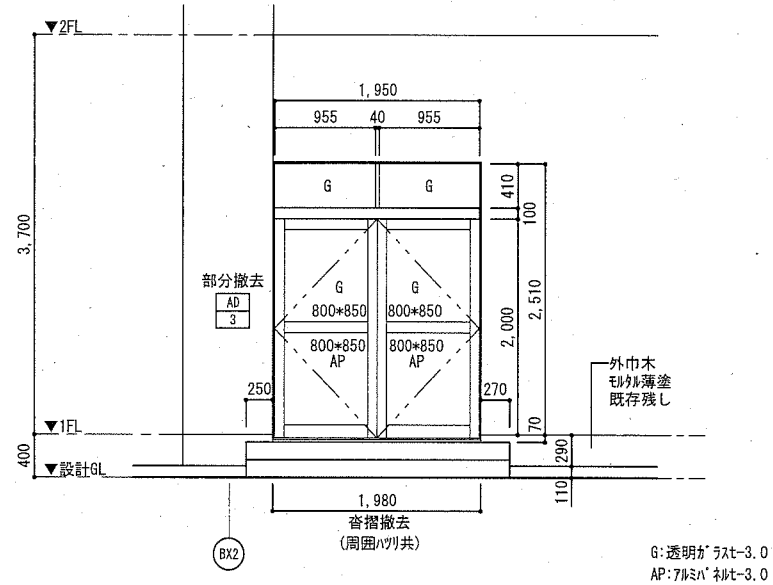
Y方向 昇降路断面詳細図 1/50

公共建築課長 主査等 担当者

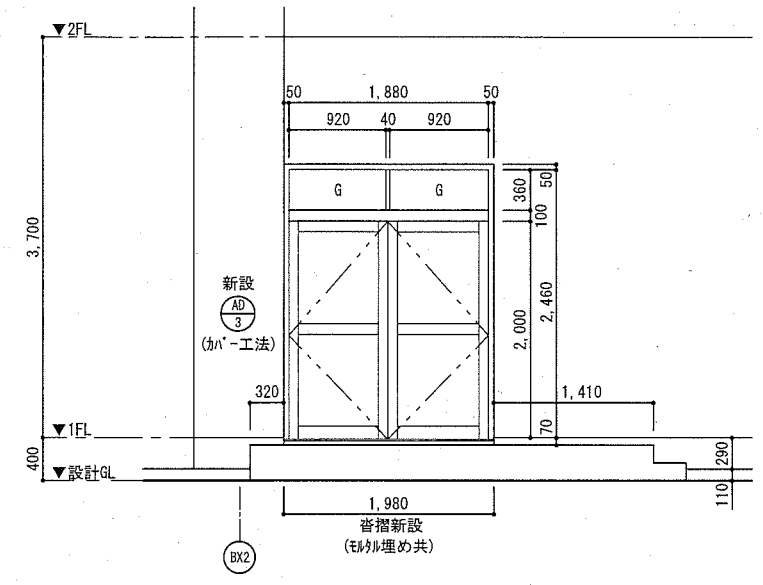
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 B棟 昇降路 平面・断面詳細図

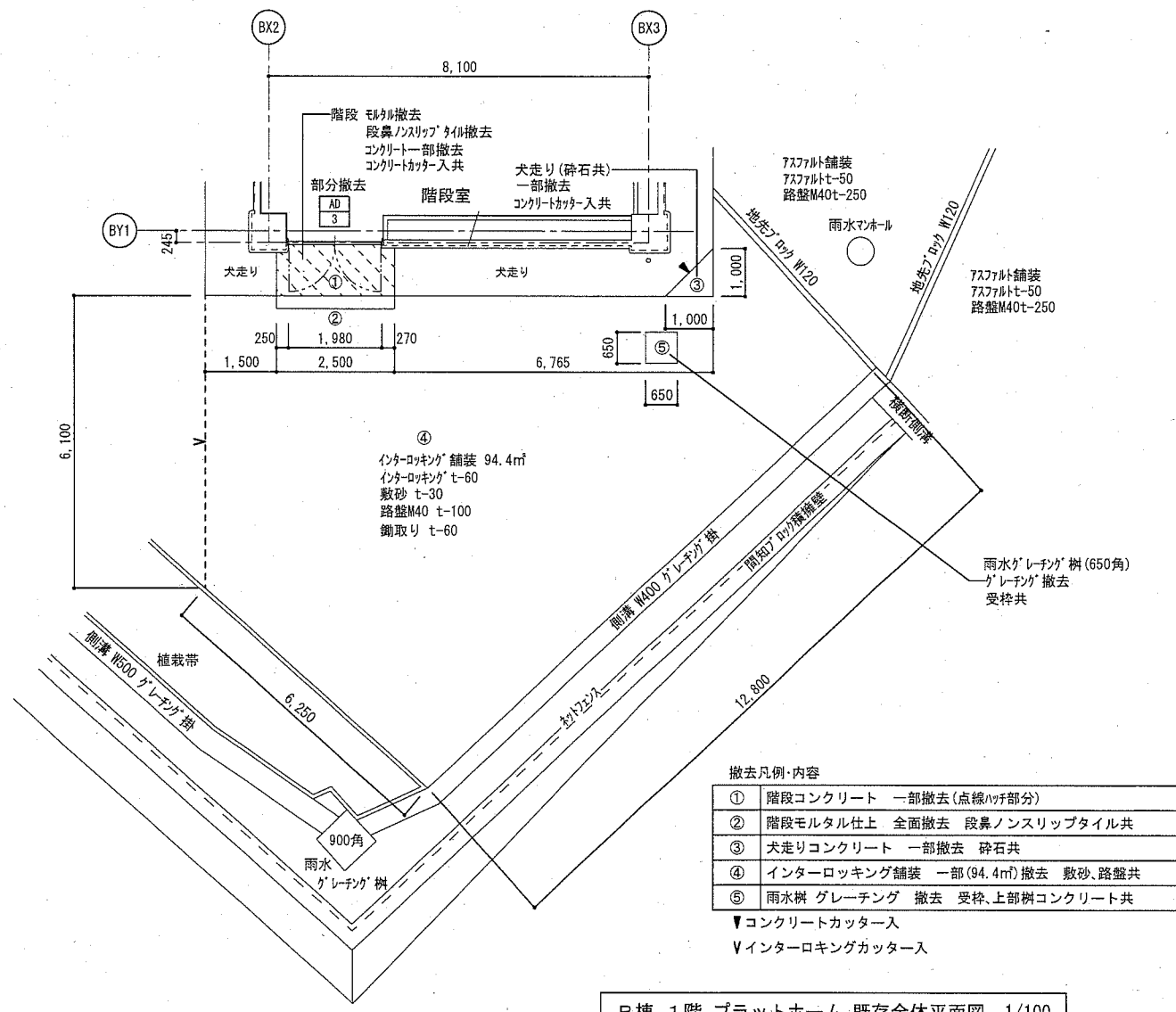
縮尺 1/30, 1/50
A-45
No.



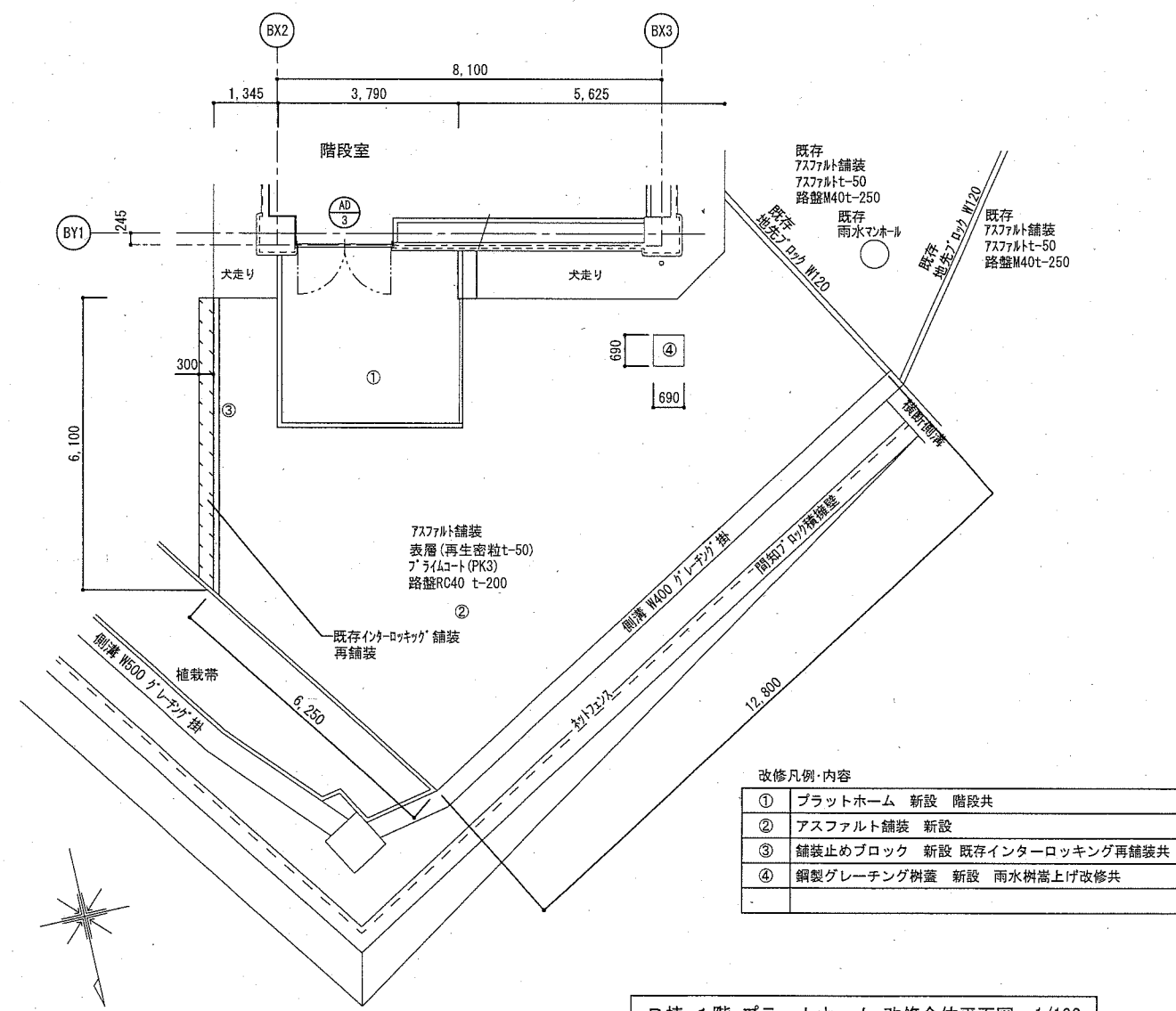
B棟 1階 プラットホーム 既存正面図 1/50



B棟 1階 プラットホーム 改修正面図 1/50



B棟 1階 プラットホーム 既存全体平面図 1/100



B棟 1階 プラットホーム 改修全体平面図 1/100

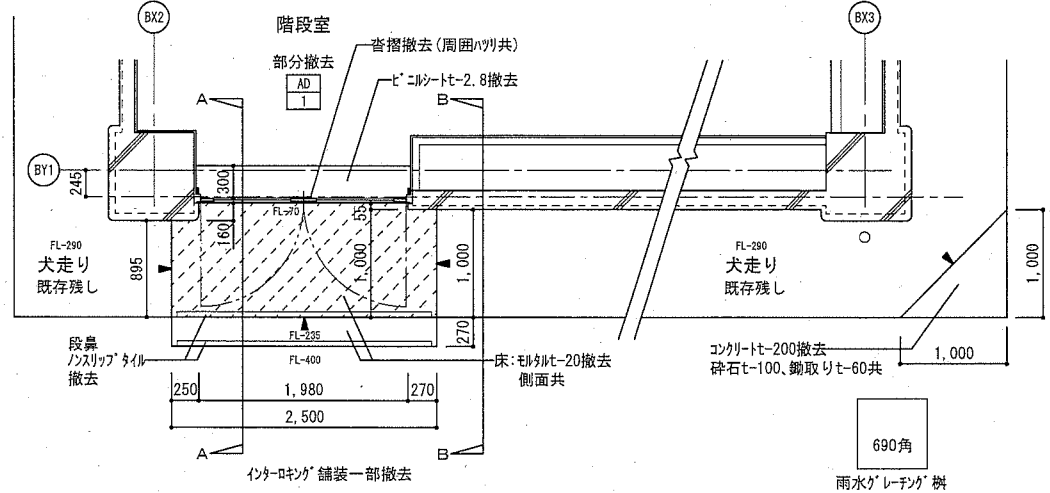
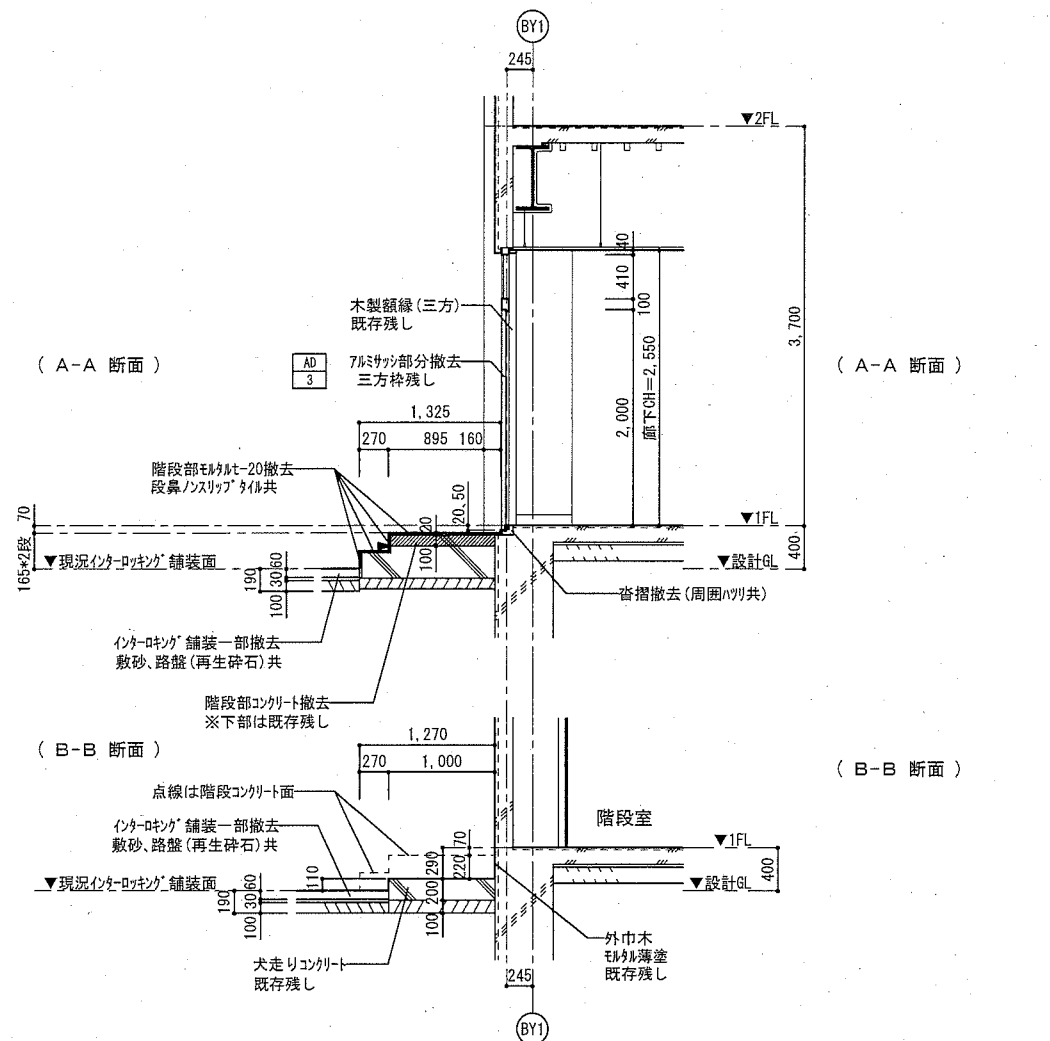
撤去凡例・内容

①	階段コンクリート 一部撤去(点線ハッチ部分)
②	階段モルタル仕上 全面撤去 段鼻ノンスリップ共
③	犬走りコンクリート 一部撤去 碎石共
④	インターロッキング舗装 一部(94.4㎡)撤去 敷砂、路盤共
⑤	雨水樹 グレーチング 撤去 受枠、上部樹コンクリート共

▼コンクリートカッター入
Vインターロッキングカッター入

改修凡例・内容

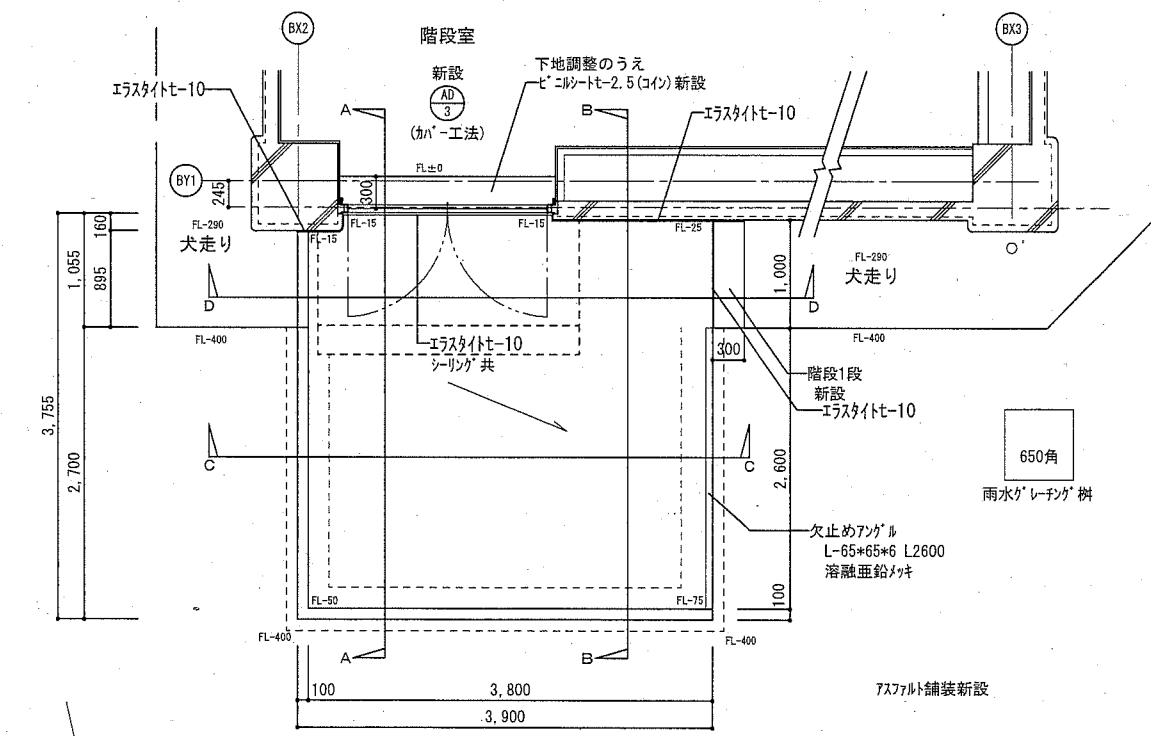
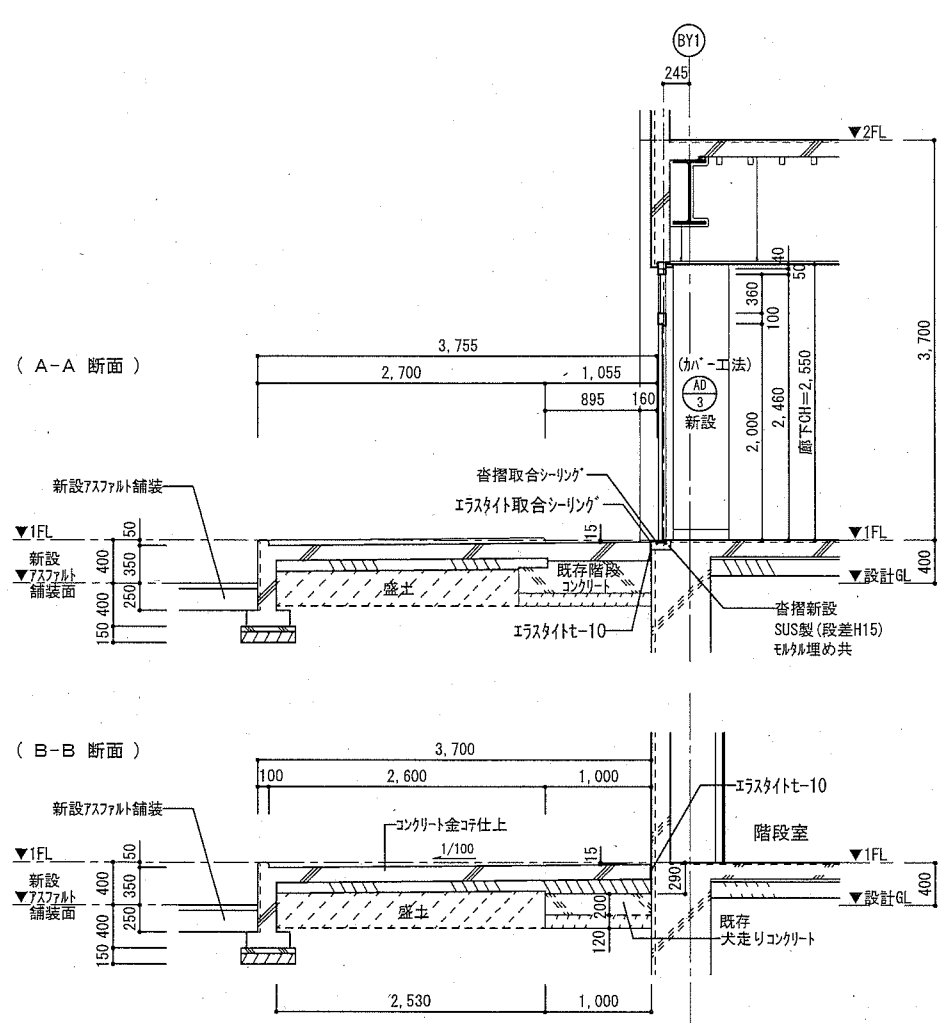
①	プラットホーム 新設 階段共
②	アスファルト舗装 新設
③	舗装止めブロック 新設 既存インターロッキング再舗装共
④	鋼製グレーチング樹蓋 新設 雨水樹嵩上げ改修共



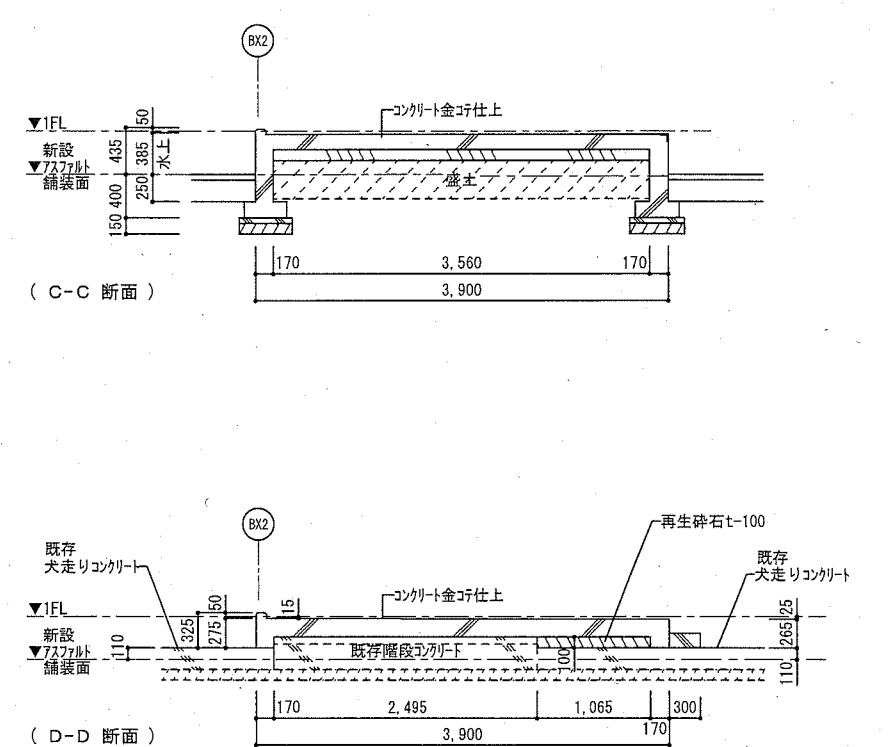
点線ハッチ部分:階段部コンクリート撤去面を示す
既AW-3は、三方枠残し透明ガラスt-3.0も撤去する

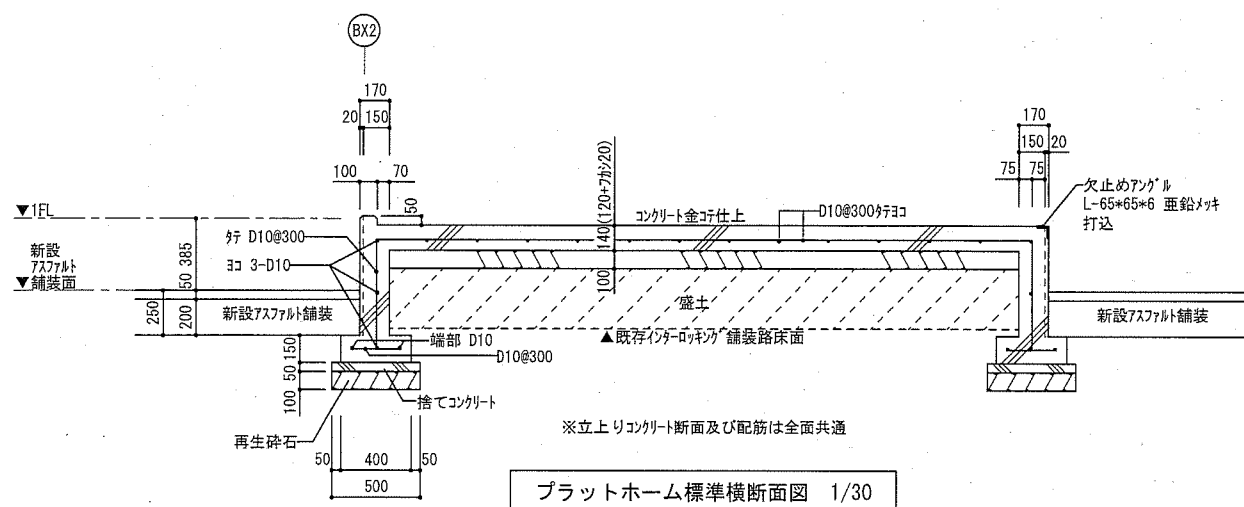
Ｂ棟 1階 プラットホーム 既存詳細図 1/50

▼コンクリートカッター入

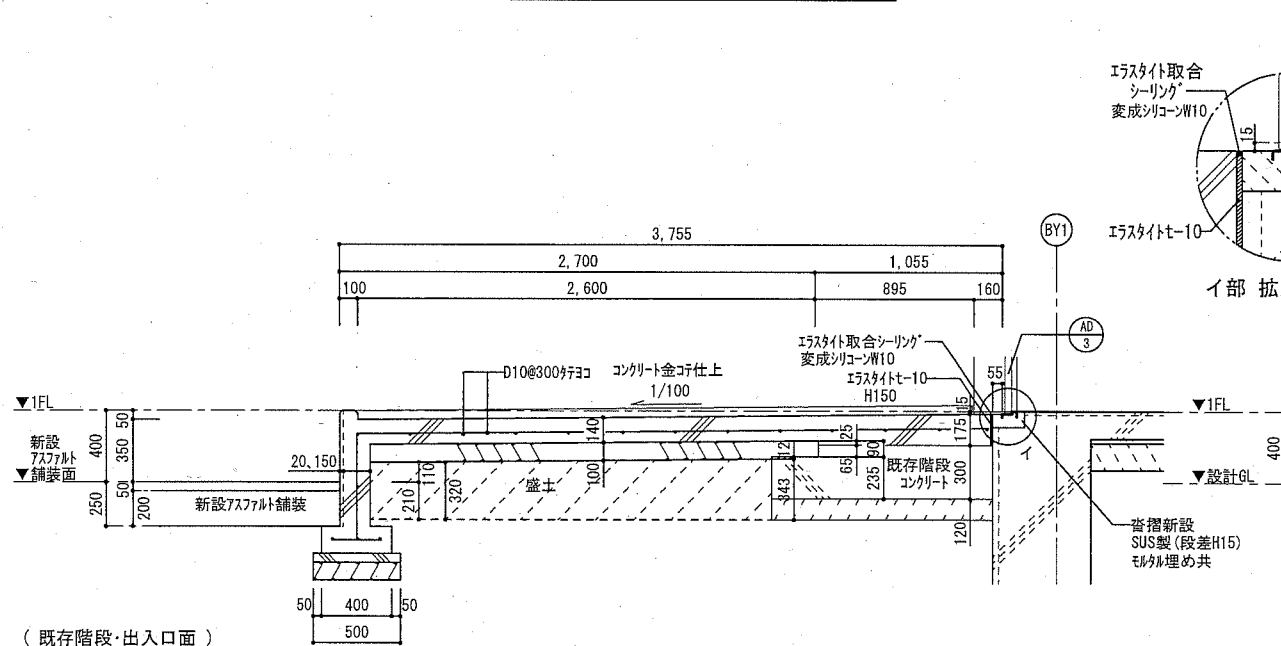


Ｂ棟 1階 プラットホーム 改修詳細図 1/50

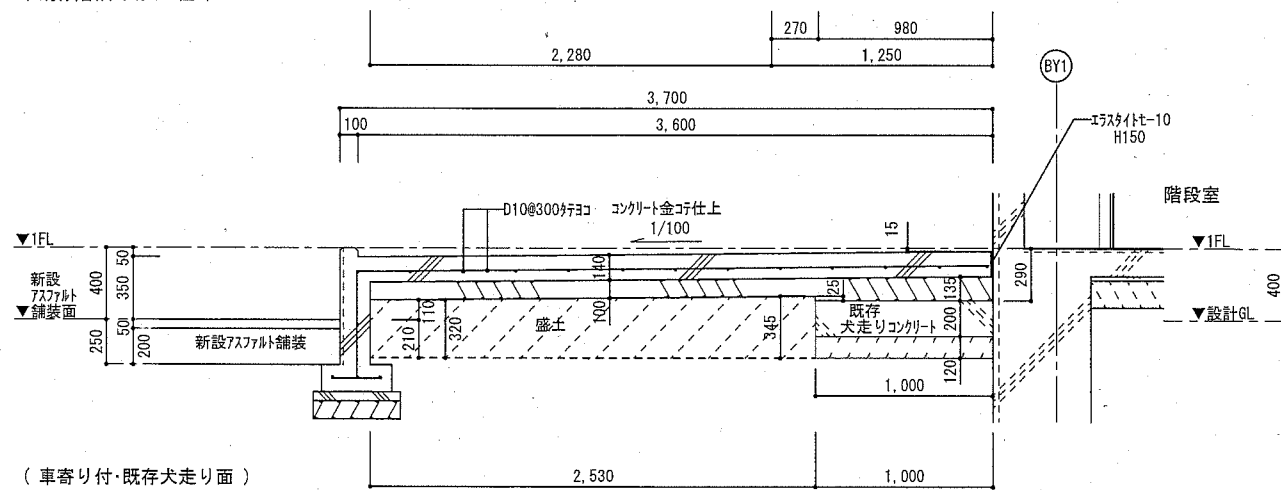




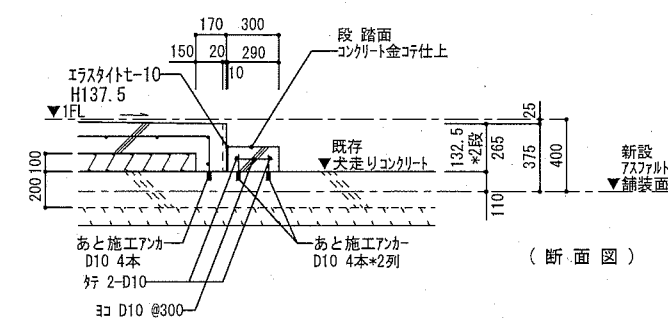
プラットホーム標準横断面図 1/30



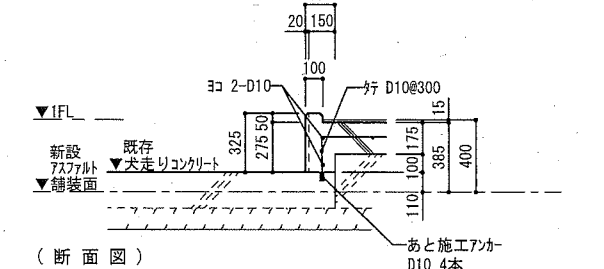
プラットホーム縦断面図 1/30



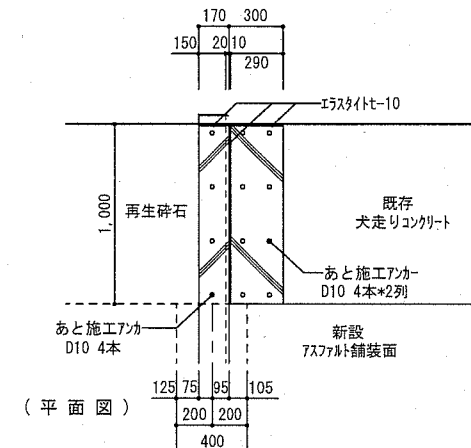
階段部詳細図 1/30



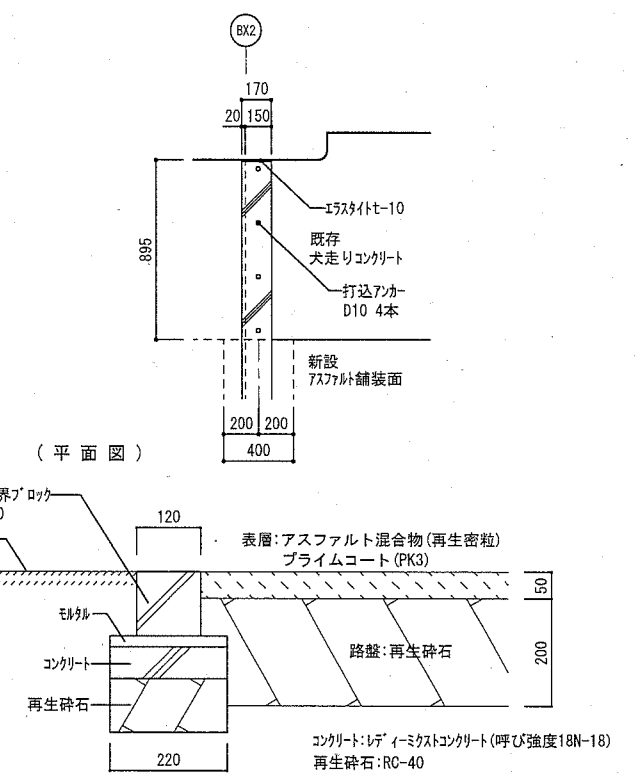
BX2通り側 端部詳細図 1/30



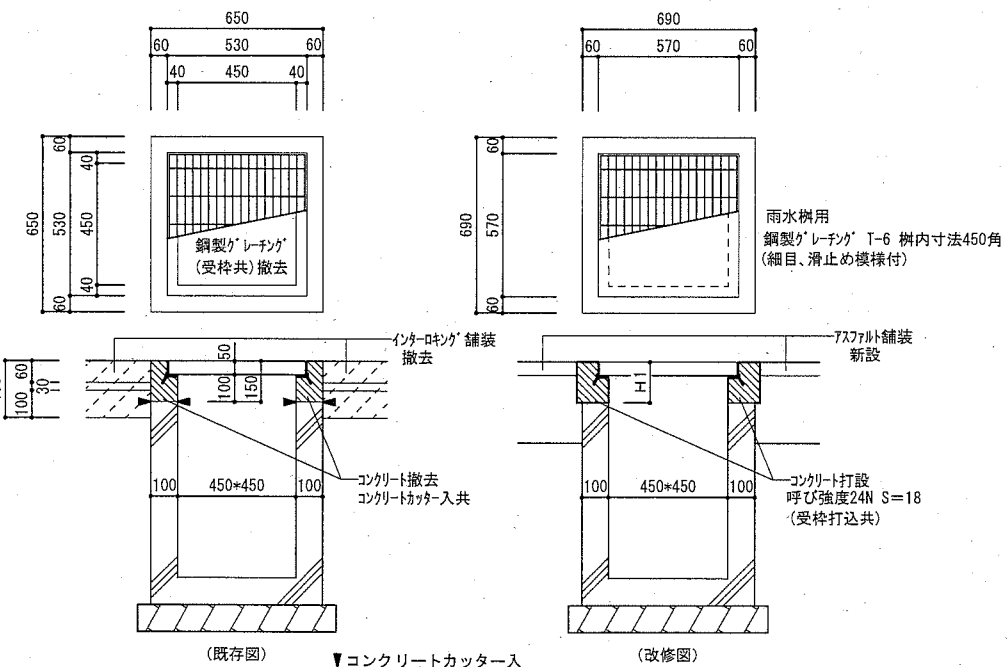
イ部拡大図 1/10



既存インターロッキング再舗装 1/10



舗装止めブロック、アスファルト舗装 1/10



雨水枡グレーチング改修図 1/20

- 共通事項
- 盛土：発生土
 - 埋戻し：発生土
 - 砕石：再生砕石(RC-40)
 - コンクリート：レディミクストコンクリート
 - コンクリート強度：捨てコンクリート呼び強度18N スラング18 躯体コンクリート呼び強度24N スラング18
 - 使用鉄筋：SD295A(D10)
 - あと施工アンカ：金属拡張系(D10用 下向き)

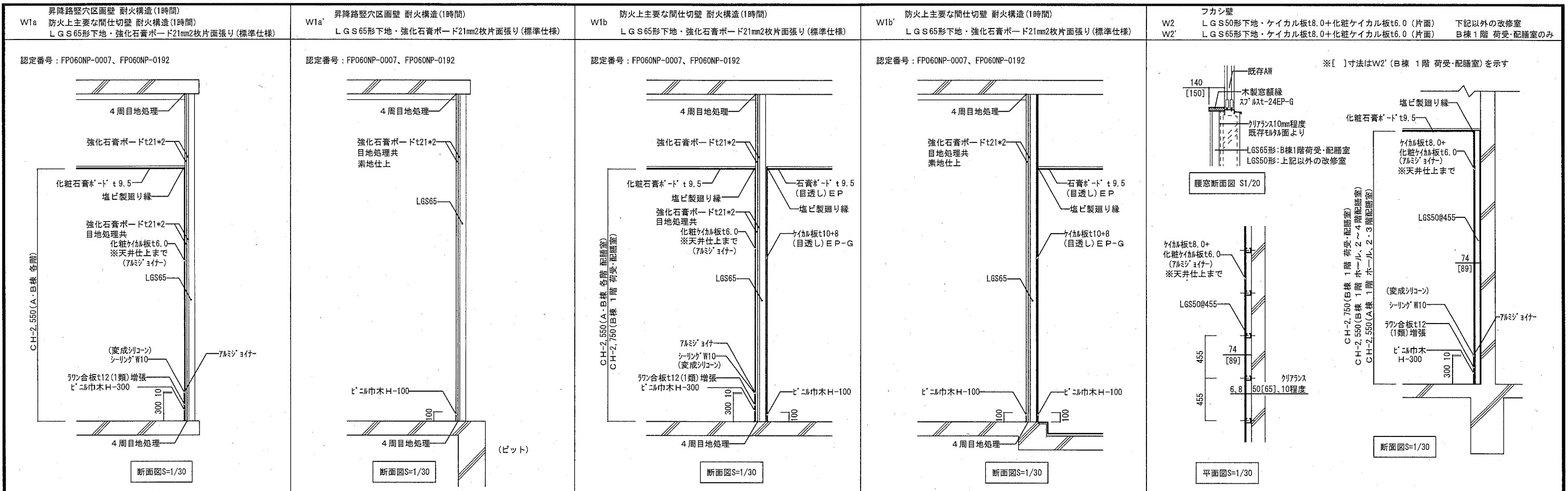
※H1=150を設計寸法とし、新設するアスファルト舗装面の高さに合わせる
※新設するアスファルト舗装面のレベル計画は監督員の承認を得ること

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2 年 2 月			

工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称	B棟 1階 プラットホーム詳細図-3 (雑詳細図)

縮尺	
図示	A-48
No.	

記号・種別・数量	AD-1 外付け両引きハンガー戸 1か所	AD-2 外付け片引きハンガー戸 1か所	AD-3 ランファミIX付両開き戸 1か所	HD-1 片面戸袋付二重引きハンガー戸 3か所	HD-2 外付け二重引きハンガー戸 3か所	
図面						
寸法	3,600 (有効W=1,500)	2,945 (有効W=1,350)	1,960	2,552.5 (有効-1,500)	2,552.5 (有効-1,500)	
取付場所・数量	B棟 1階: 荷受・配膳室	B棟 1階: ホール(荷揚室)	B棟 1階 階段室(プラットホーム)	A棟 1階 ホール(荷揚室)*1.2-3階 配膳室*2	B棟 2~4階 配膳室	
材質・仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	軽量スチール 焼付塗装	軽量スチール 焼付塗装	
取付金物	引戸錠、押し棒、付属金物一式 7M製額縁(内外共)	引戸錠、押し棒、戸当り、付属金物一式 7M製額縁(内外共)	レバーハンドル錠、ドアチェック(ストッパー付)、SUS丁番3ヶ所 フランス落し(上下)、SUS製番指(段差H15タイプ)、戸当り(ワック付)、その他付属金物一式	引戸錠、押し棒、床見切(SUS製W100) 額入り窓(600角)、7M製額縁(600角)	引戸錠、押し棒、床見切(SUS製W100) 額入り窓(600角)、7M製額縁(600角)	
備考	セミオート、額入りフラッシュ戸タイプ窓	手動扉戸タイプ	既存は三方枠以外は撤去し、カバー工法により新設する	連動自閉装置(フロントストッパー付) 7M製額縁(G:開口率30%以上、防虫網(SUS製24メッシュ 室内側取付) 扉下部:モリ等によりほこり対策をする 戸袋取付面 廊下側	連動自閉装置(フロントストッパー付) 7M製額縁(G:開口率30%以上、防虫網(SUS製24メッシュ 室内側取付) 扉下部:モリ等によりほこり対策をする 取付面 配膳室側	
記号・種別	SD-1 片開き戸 1か所	SD-2 片開き戸 2か所	AP-1 ランマ開放仕切壁	AW-1 (既存) ガラス改修 1か所	AW-2 (既存 PS側) ガラス改修 1か所	AW-2' (既存 廊下側) ガラス改修 1か所
図面						
寸法	800	600	1,425	7,240	1,440	1,440
取付場所・数量	A棟 1階: ホール(荷揚室)	A棟 3階: 配膳室、B棟 4階: 配膳室	B棟 1階: 荷受・配膳室	B棟 1階: 荷受・配膳室	B棟 1階: 荷受・配膳室	B棟 1階: 荷受・配膳室
材質・仕上	スチール製(t-1.6) 焼付塗装	スチール製(t-1.6) 焼付塗装	アルミパーテーション	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
取付金物	レバーハンドル錠、SUS丁番(3ヶ所) SUS製番指、戸当り、ドアチェック(ストッパー付) 付属金物一式	自閉式、鍵付	柱 アルミ(シルバー) パネル t-32 焼付塗装仕上	アルミパネル切欠き加工		アルミパネル切欠き加工
備考		特定防火設備		ハッチ部のガラス面を改修する	ハッチ部のガラス面を改修する	ハッチ部のガラス面を改修する
記号・種別	壁点検口 7か所					
図面		撤去ガラス面凡例 A: 網入り透明ガラス t6.8 (シーリング 共) B: 透明ガラス t3.0 C: 型板ガラス t4.0 D: アルミパネル t=3.0 改修ガラス面凡例 イ: 合せガラス(透明) t3.0+透明フィルム t30mil+透明ガラス t3.0 ロ: 網入り型板ガラス t6.8 (シーリング 共) ハ: アルミパネル t=5.0 ニ: アルミパネル t=3.0				
取付場所・数量	A・B棟 各階 PS壁面					
種類・材質・仕上	点検口(アルミ製額縁タイプ)					
取付金物	鍵付					
備考	仕上げは壁と同じにする					



昇降路壁区画壁 耐火構造(1時間)
W1a 防火上主要な間仕切壁 耐火構造(1時間)
LGS65形下地・強化石膏ボード21mm2枚片面張り(標準仕様)

昇降路壁区画壁 耐火構造(1時間)
W1a' LGS65形下地・強化石膏ボード21mm2枚片面張り(標準仕様)

防火上主要な間仕切壁 耐火構造(1時間)
W1b LGS65形下地・強化石膏ボード21mm2枚片面張り(標準仕様)

防火上主要な間仕切壁 耐火構造(1時間)
W1b' LGS65形下地・強化石膏ボード21mm2枚片面張り(標準仕様)

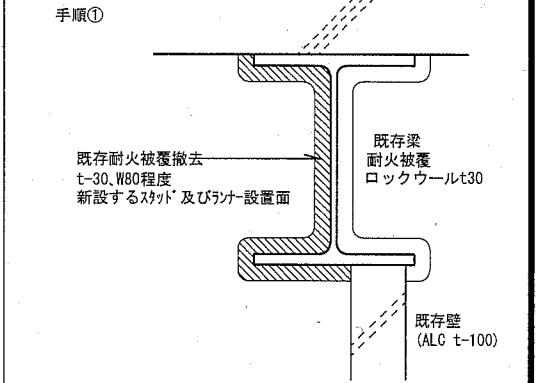
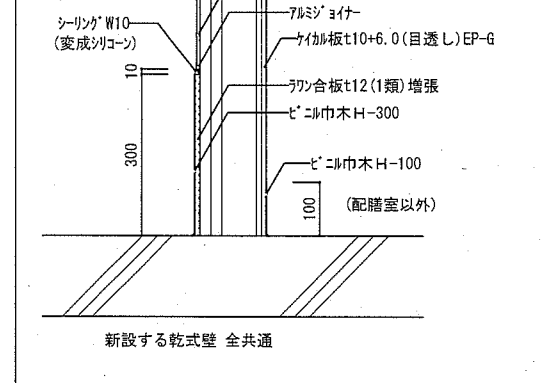
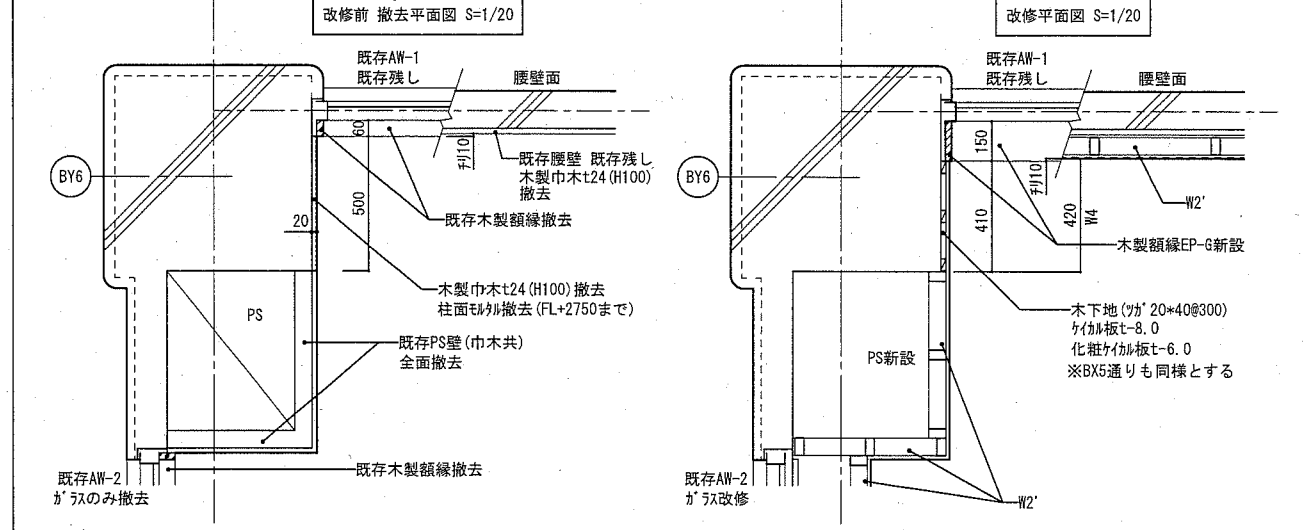
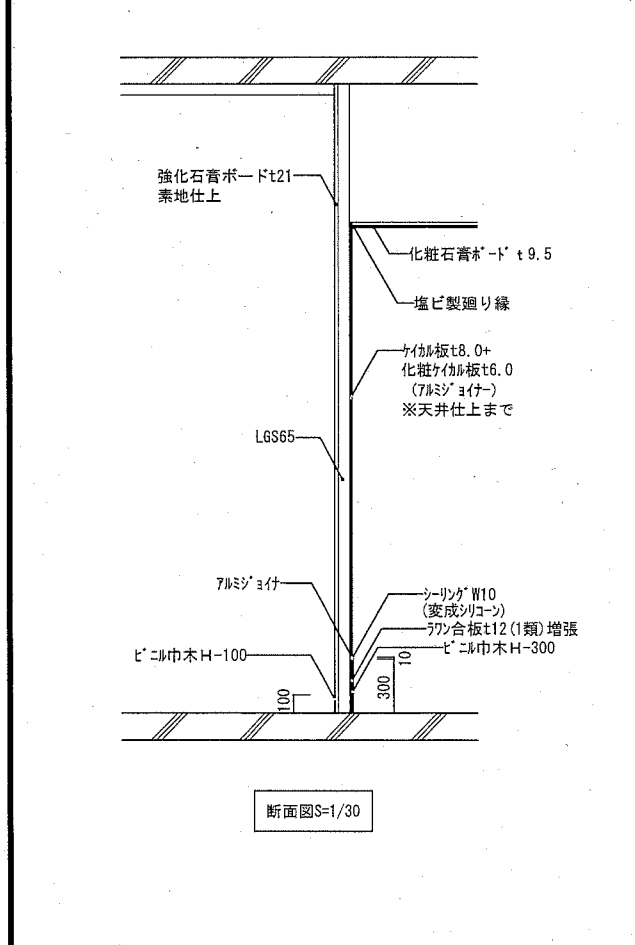
フカシ壁
W2 LGS50形下地・ケイカル板t8.0+化粧ケイカル板t6.0(片面) 下記以外の改修室
W2' LGS65形下地・ケイカル板t8.0+化粧ケイカル板t6.0(片面) B棟1階 荷受・配膳室のみ

間仕切壁
W3 LGS65形下地 ケイカル板t8.0mm+化粧ケイカル板t6.0(片面)
強化石膏ボード21mm(片面)

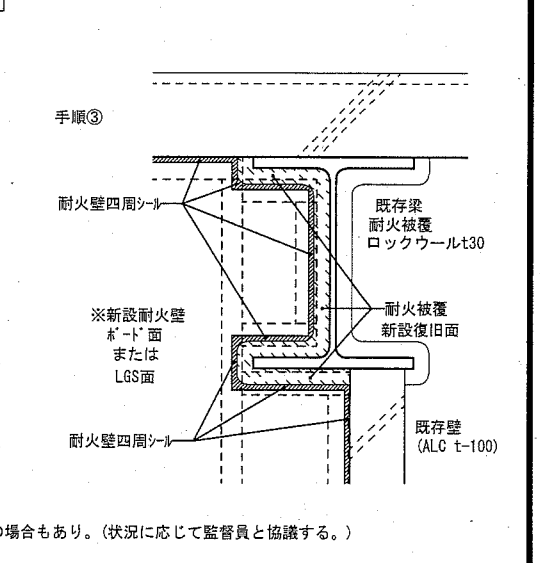
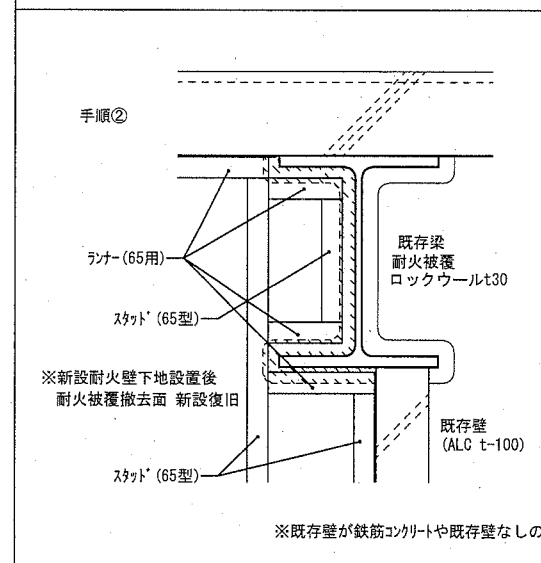
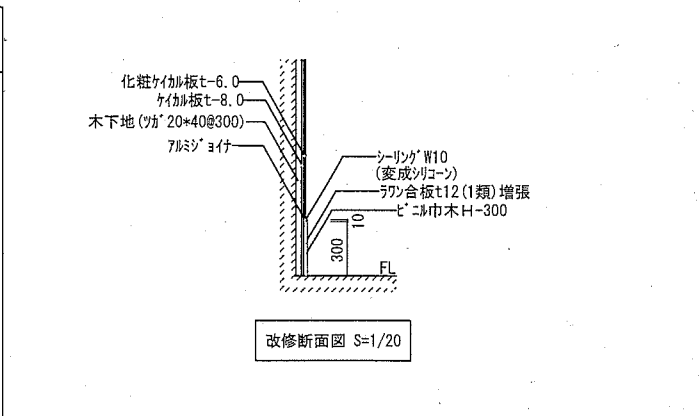
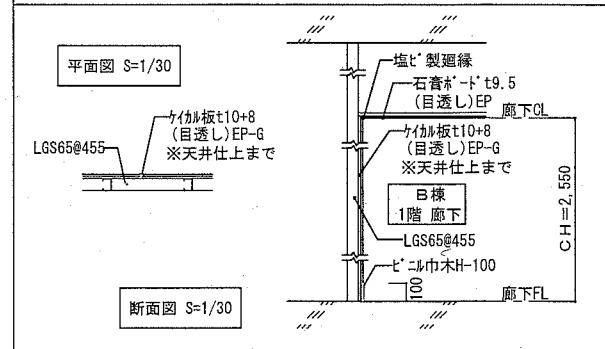
B棟1階 荷受・配膳室 BX4-BX5, BY4通り柱面 仕上壁
W4 木下地・ケイカル板t8.0mm+化粧ケイカル板t6.0(片面)

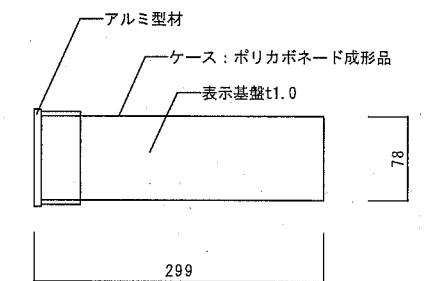
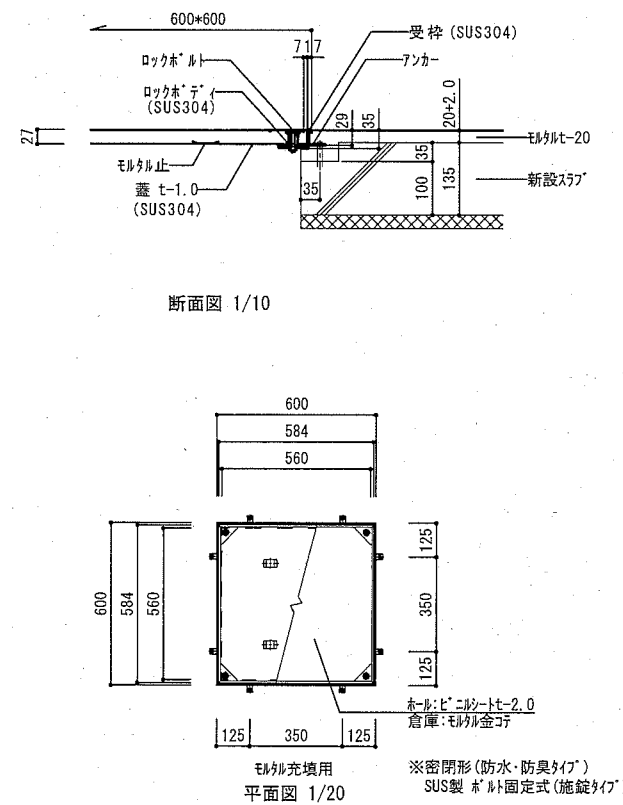
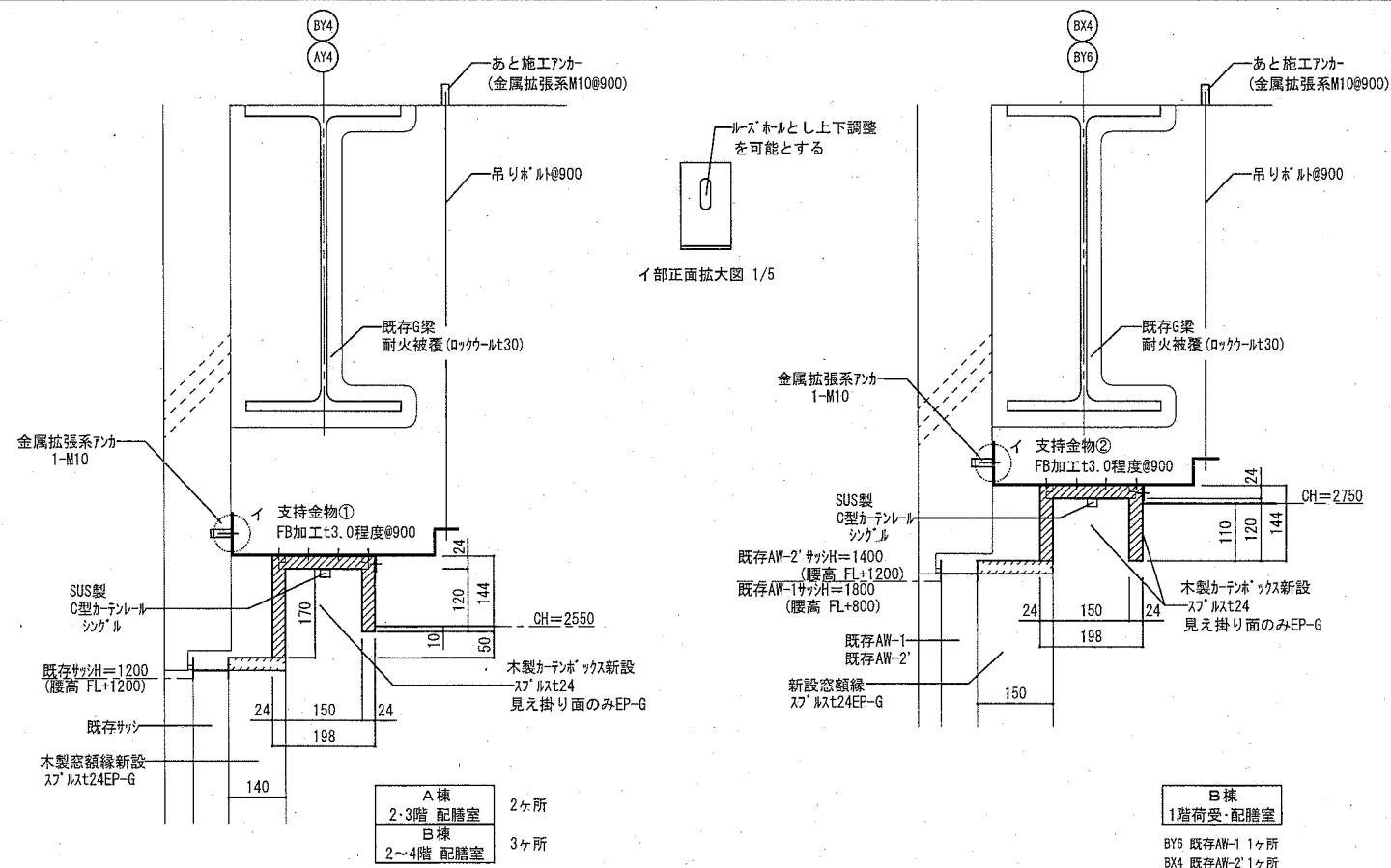
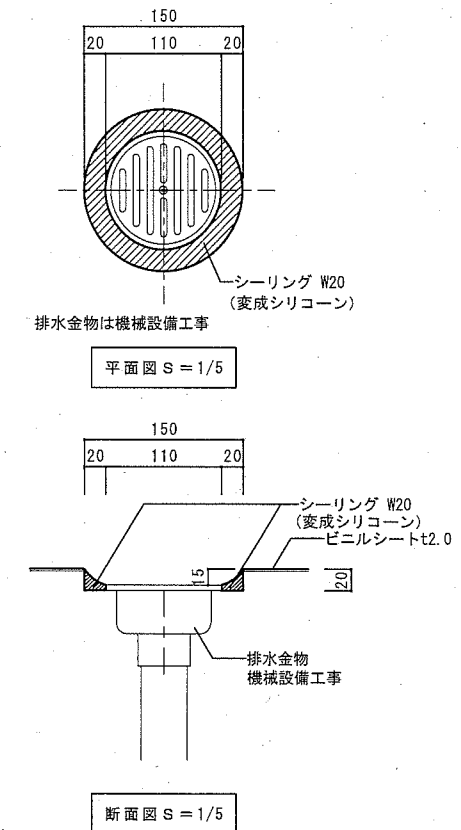
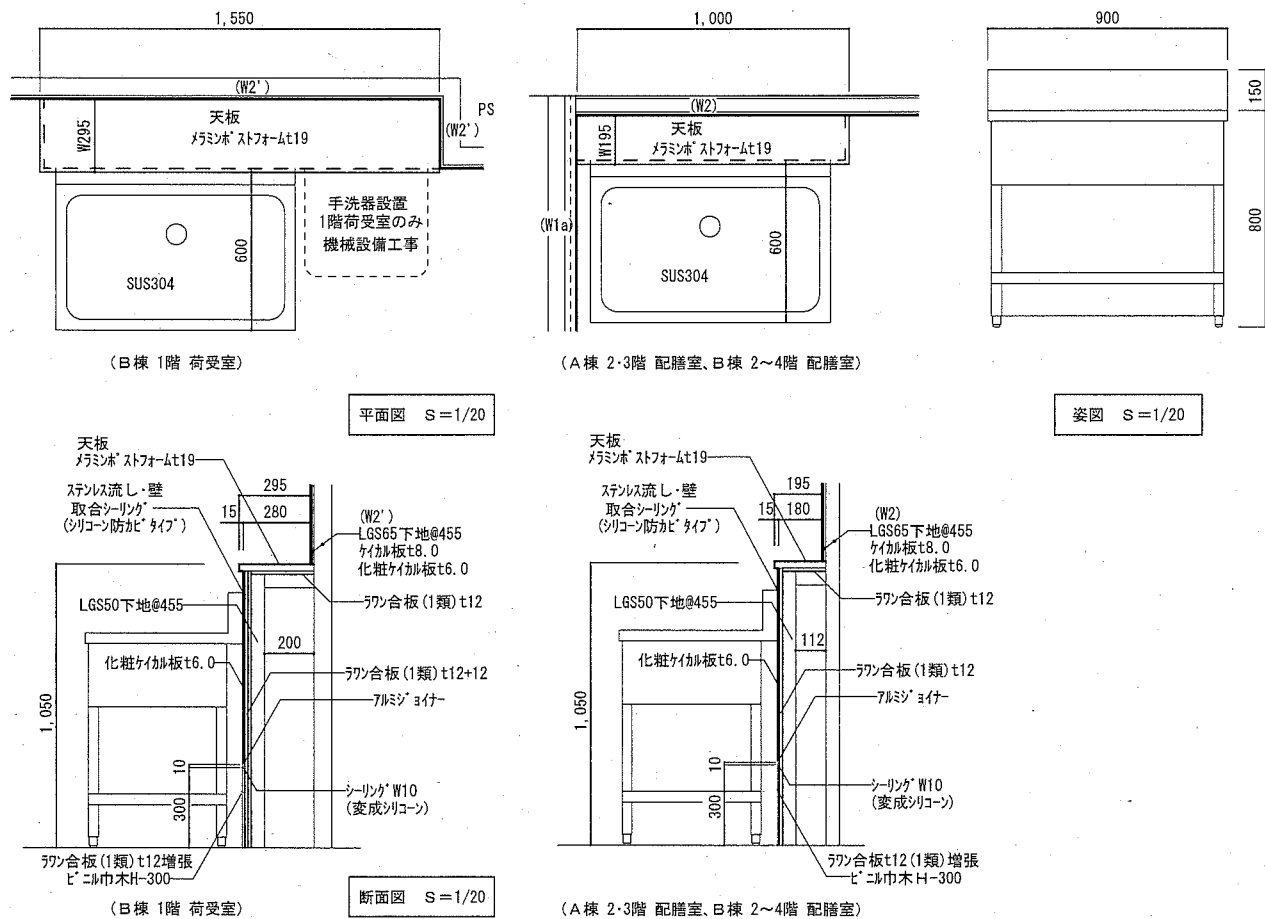
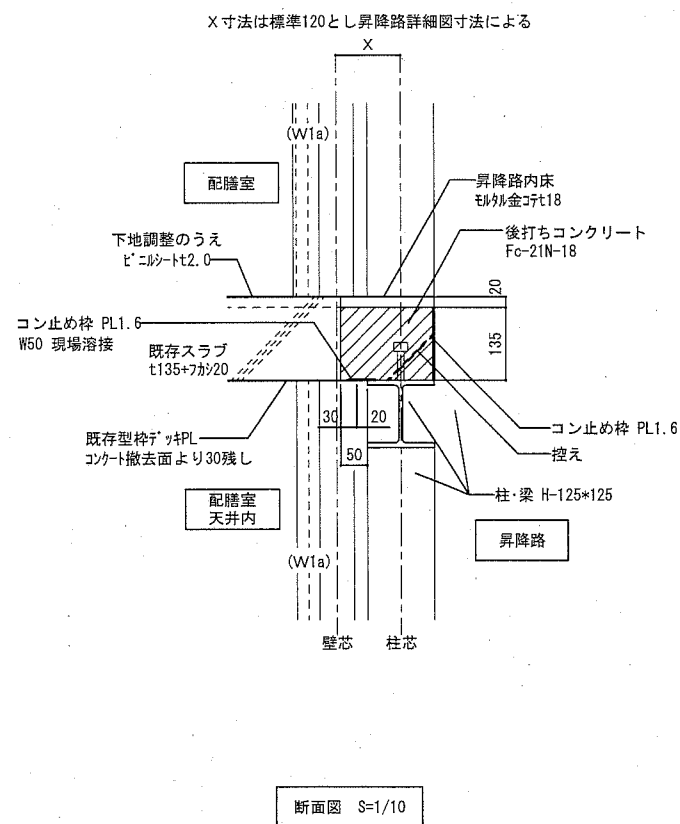
中木廻り標準断面図 S=1/10

乾式耐火壁 既存梁廻り標準納まり図 S=1/10



B棟1階 廊下 仕上壁
W5 LGS65形下地・ケイカル板t10.0mm+8.0mm(片面)





スイング式 室名札
両面表示 印刷 共

階	部屋名	A棟	B棟	計
1階	荷受・配膳室	—	1	1ヶ所
	ホール	1	1	2ヶ所
2階	配膳室	1	1	2ヶ所
3階	配膳室	1	1	2ヶ所
4階	配膳室	—	1	1ヶ所

※密閉形(防水・防臭タイプ)
SUS製ボルト固定式(施錠タイプ)

既存梁面耐火被覆撤去凡例

- 既存ALC壁撤去面・乾式耐火間仕切壁新設面既存梁面耐火被覆撤去位置
- 補強梁設置面(中間階)・昇降路鉄骨設置面(最上階) 既存G梁面耐火被覆撤去位置
- 補強梁設置面(中間階)・昇降路鉄骨設置面(最上階) 既存B梁面耐火被覆撤去位置

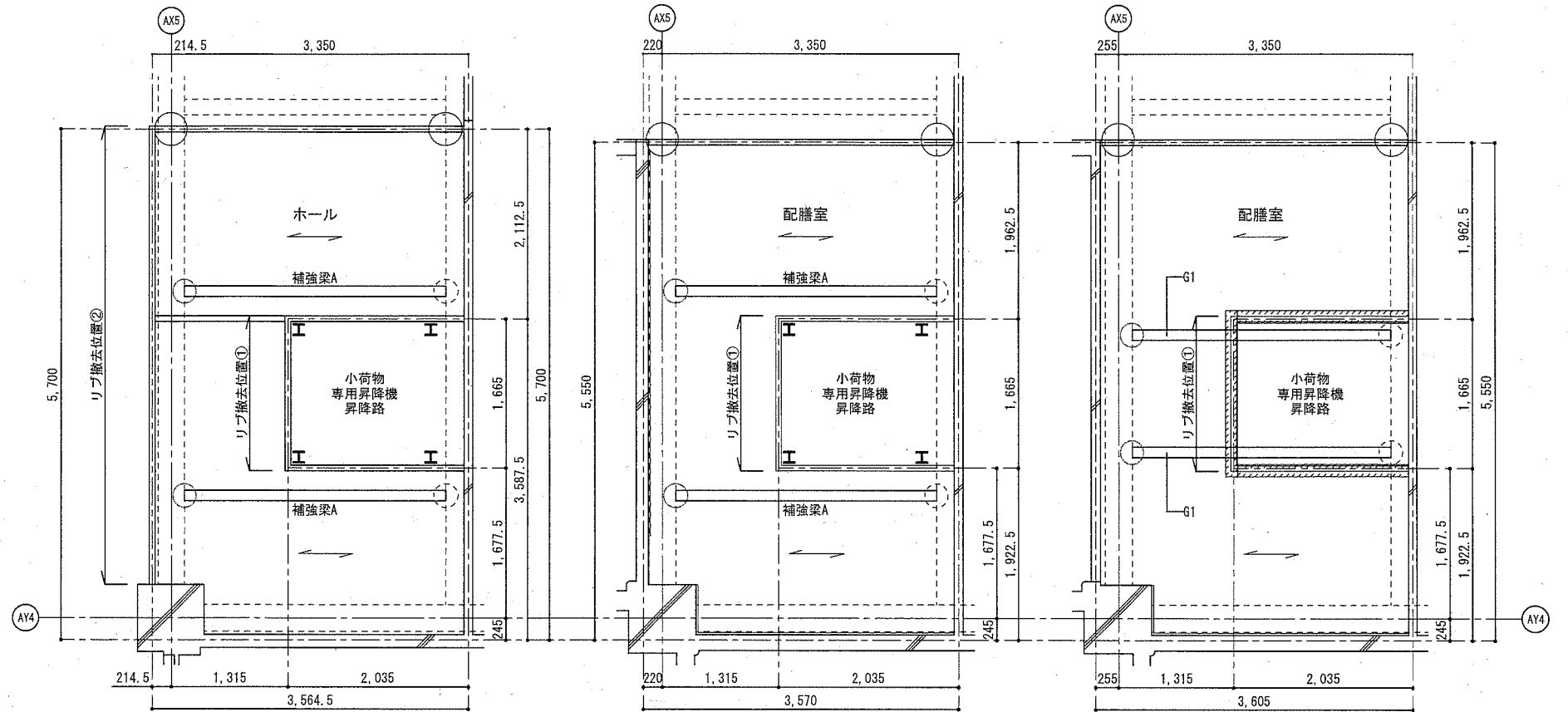
※ 撤去下耐火被覆は新規設置後適法となるよう復旧すること

既存型枠「下梁リ」撤去凡例

- リブ撤去位置① A・B棟各階配膳室(ホール含む) 昇降路W1a設置面(617)
- リブ撤去位置② A棟1階ホール W1b・W1b' 設置面(1817)
- リブ撤去位置③ B棟1階荷受・配膳室 W1b設置面(2517)

その他撤去凡例

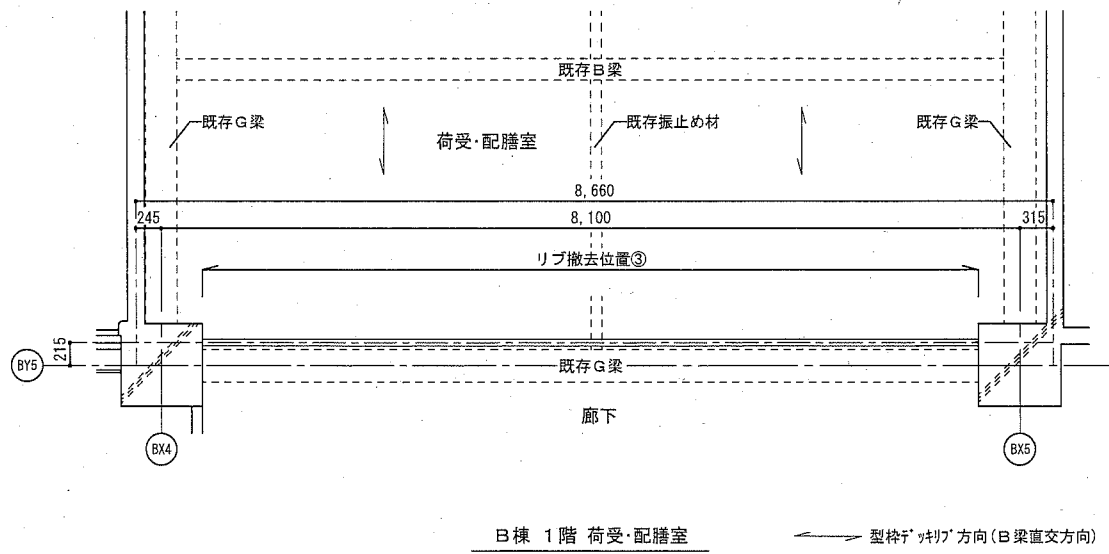
- ▨ 最上階断熱材(ロックウール吹付 t=30)撤去範囲
- ※ 断熱材は撤去のみとする



A棟 1階 ホール

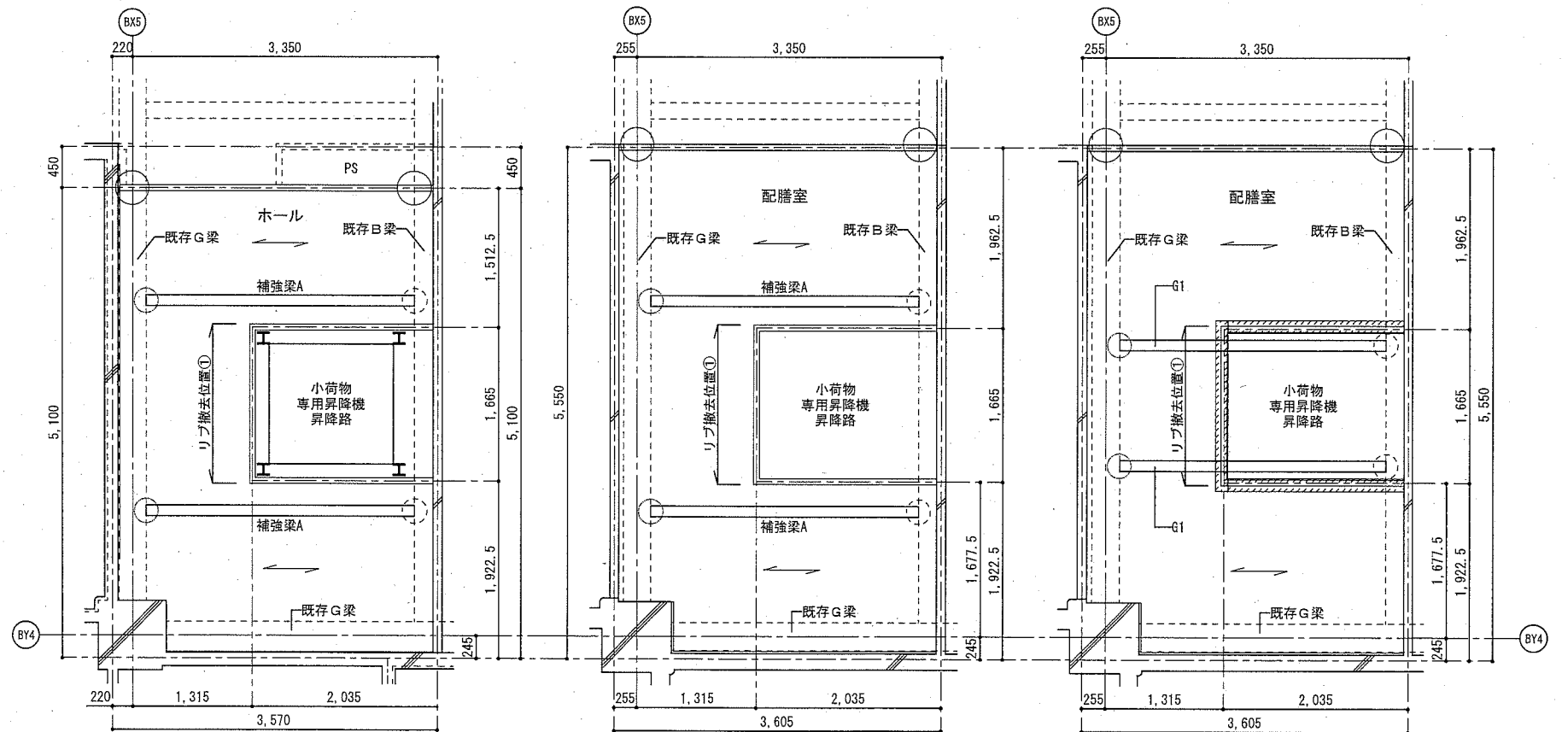
A棟 2階 配膳室

A棟 4階 配膳室



B棟 1階 荷受・配膳室

型枠「下梁リ」方向(B梁直交方向)



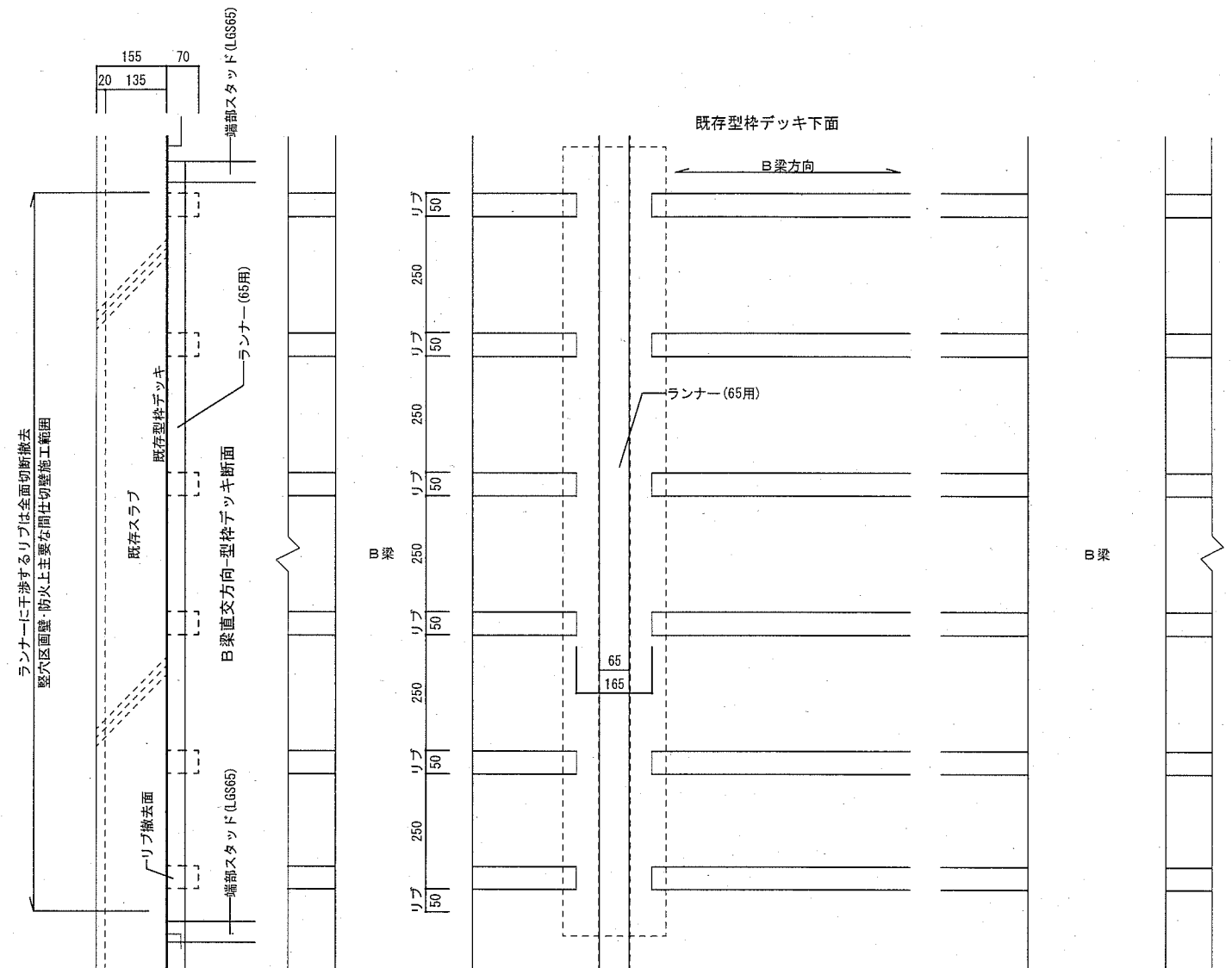
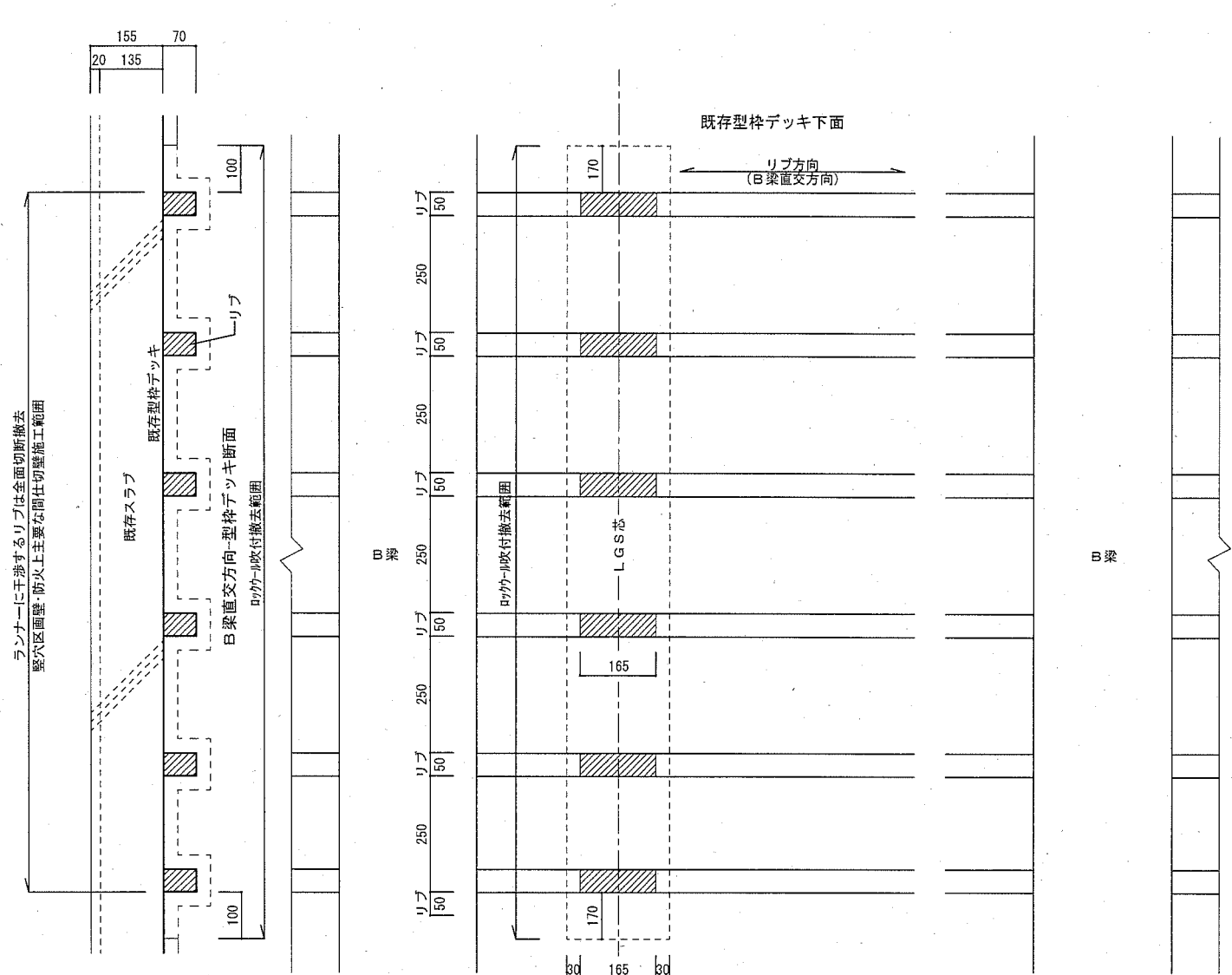
B棟 1階 ホール

B棟 2・3階 配膳室

B棟 4階 配膳室

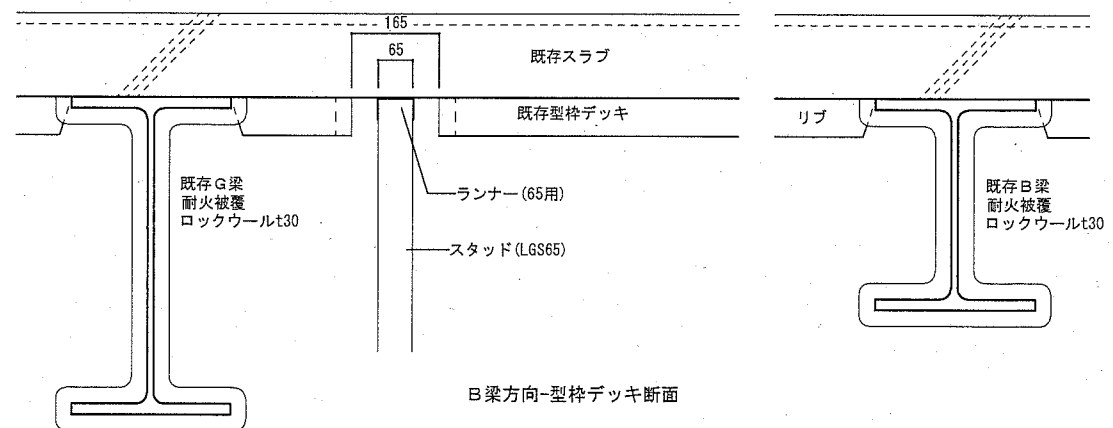
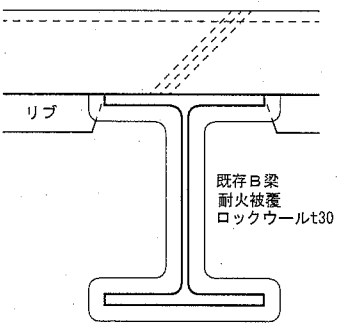
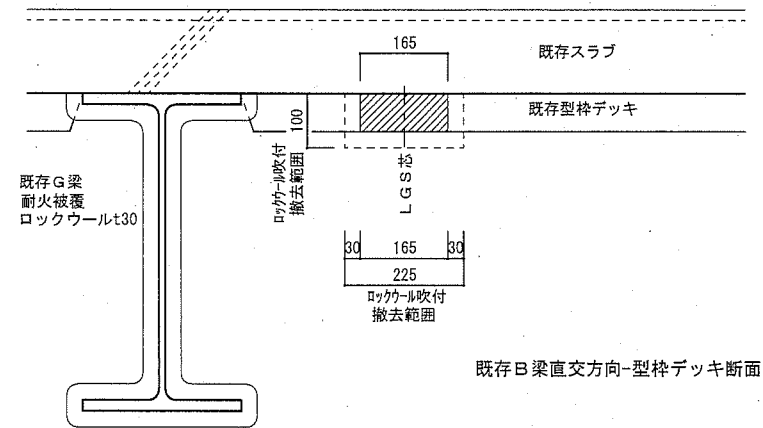
型枠「下梁リ」撤去位置図、梁耐火被覆撤去復旧位置図 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺		
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	雑詳細図-3(型枠「下梁リ」撤去、ロックウール吹付撤去位置キープラン図)	図示	A-52	
							No.	



ハッチは既存型枠デッキリブ切断撤去面を示す
 リブ切断面の小口(バリ)は極力なくすよう心掛ける
 点線はR階既存ロックウール吹付撤去面を示す

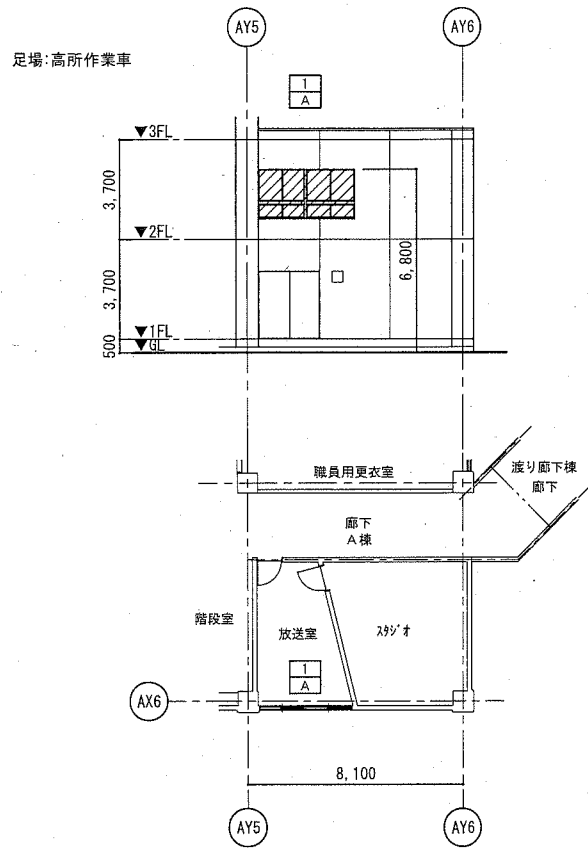
点線内の撤去したR階の既存ロックウール吹付面は新設復旧しない



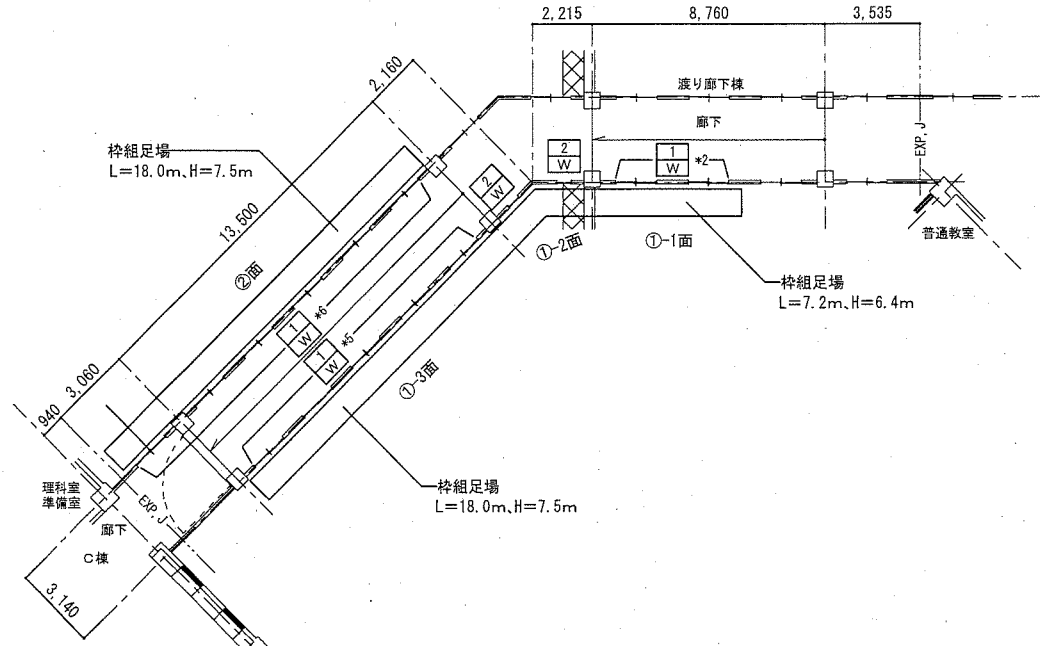
撤去断面図 1/10

改修断面図 1/10

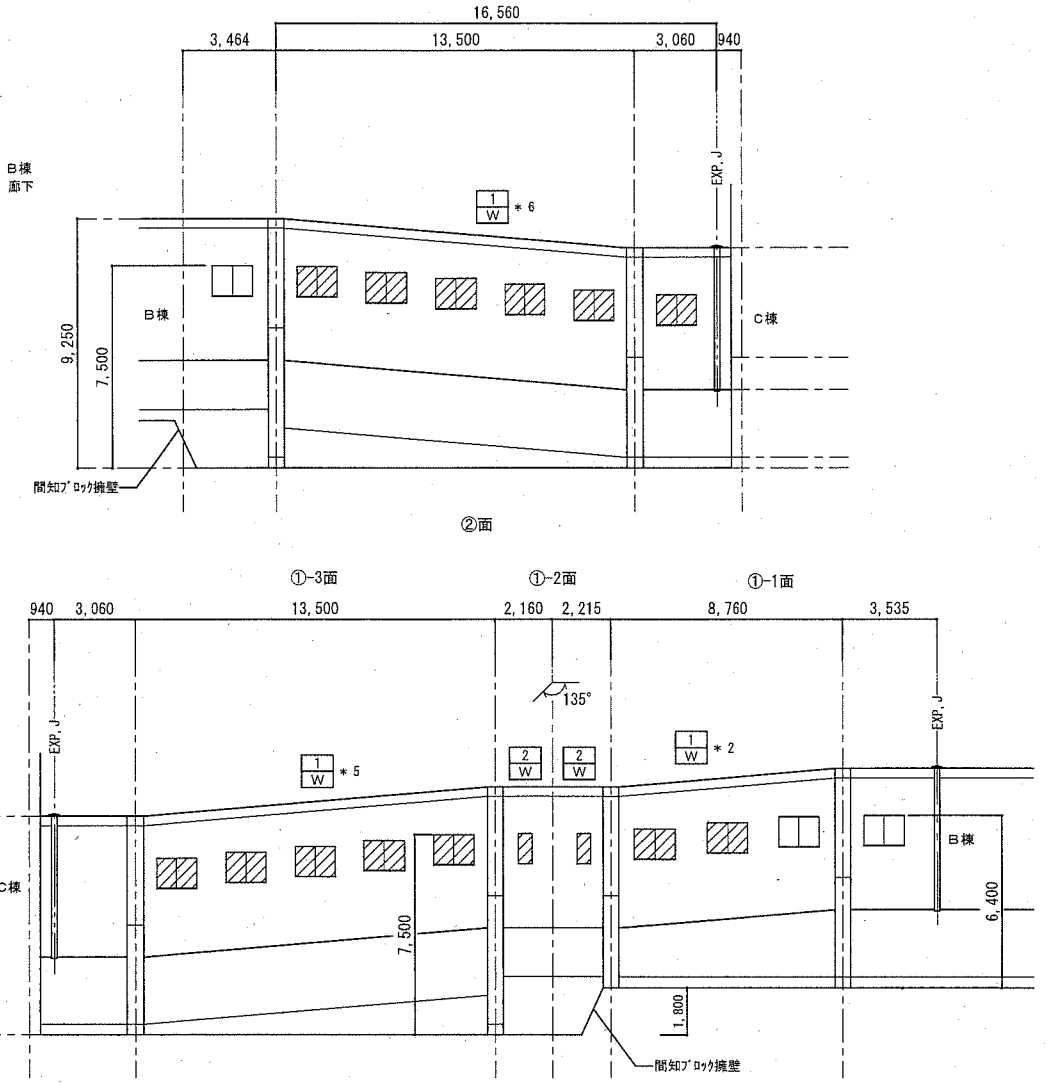
※R階はリブ撤去に先立ち、ロックウール吹付(t30)を撤去する
 撤去幅はリブ撤去幅+30以上、撤去長さは撤去する最初のリブ外面
 ~最後尾リブ外面よりそれぞれ+170を目安とする



A棟 2階 放送室 ガラス改修図 1/200

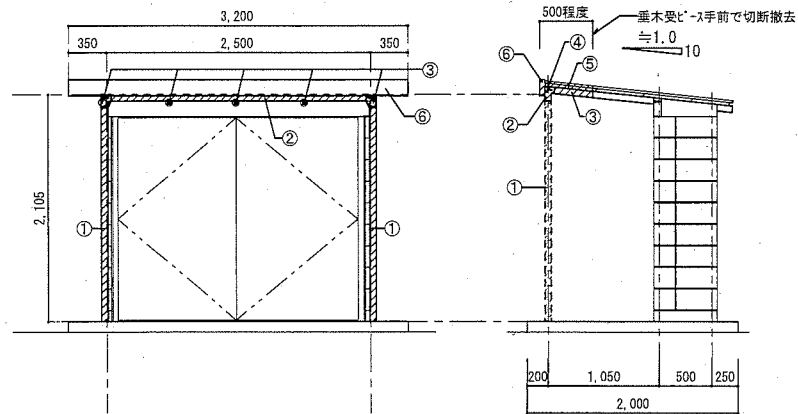


渡り廊下棟 2階 ガラス改修図 1/200



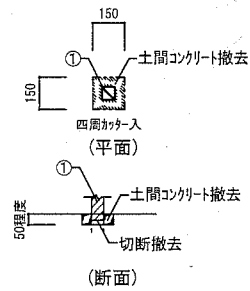
1		透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8
		$(0.50 + 1.20) \times 1.70 \times 2 = 5.7800$ 5.7800 × 1 5.780 m ²
山側 6 道路側 7 計 13		透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8
		$1.50 \times 1.10 = 1.6500$ 1.6500 × 13 21.450 m ²
2		透明 t 3.0 → 網入り透明 t 6.8
		$0.515 \times 1.10 = 0.5665$ 0.5665 × 2 1.133 m ²

既存透明ガラス t=3.0mm撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)

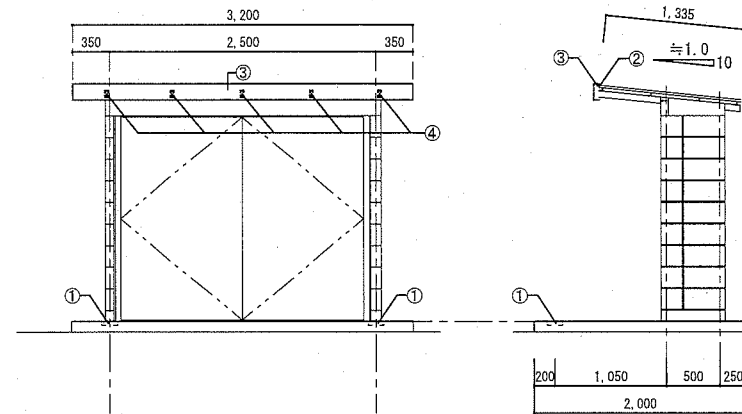


撤去正面図 1/50

撤去断面図 1/50

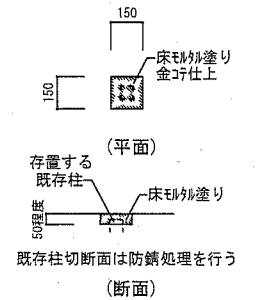


柱脚部撤去要領図(参考図) 1/25



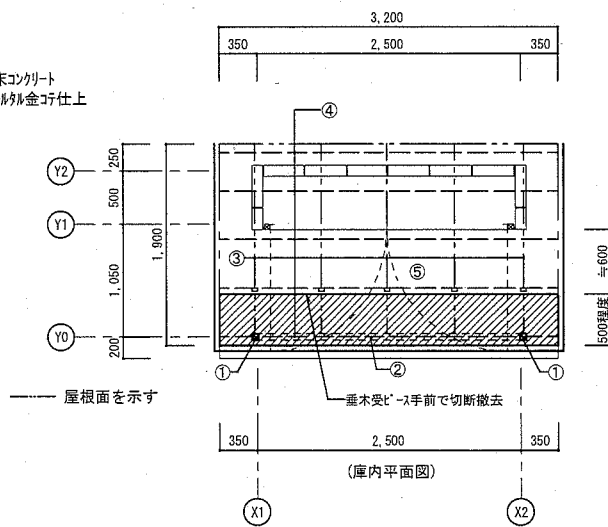
改修正面図 1/50

改修断面図 1/50



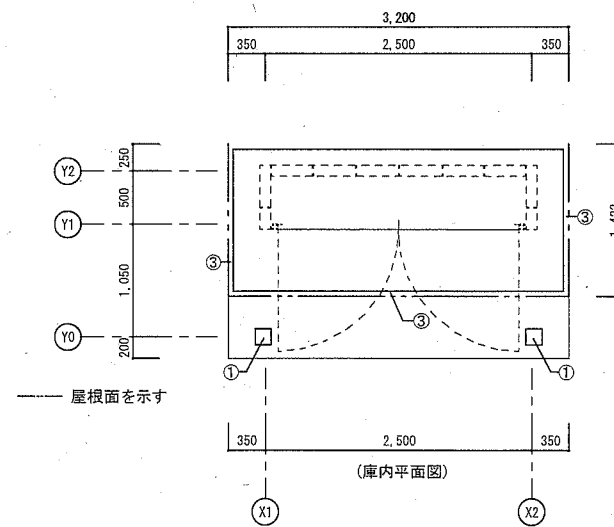
柱脚部撤去要領図(参考図) 1/25

床コンクリート
モルタル金コシ仕上



撤去平面図 1/50

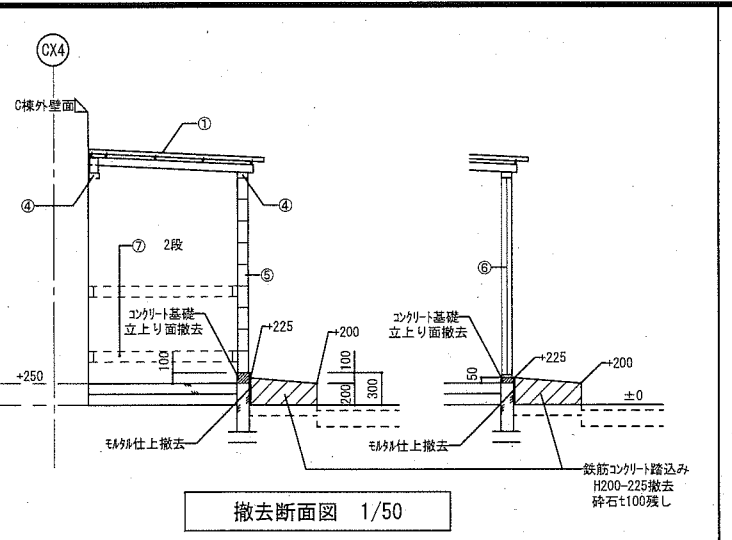
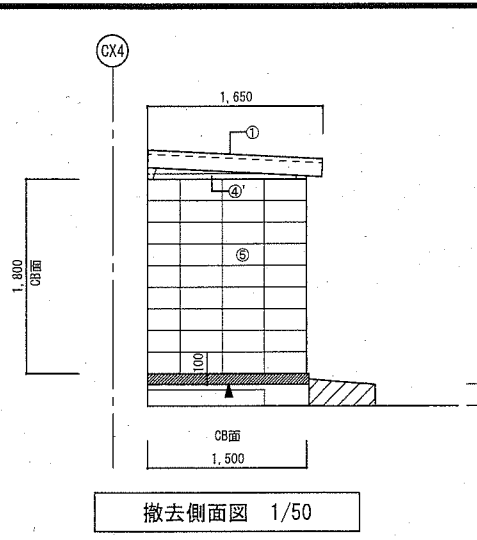
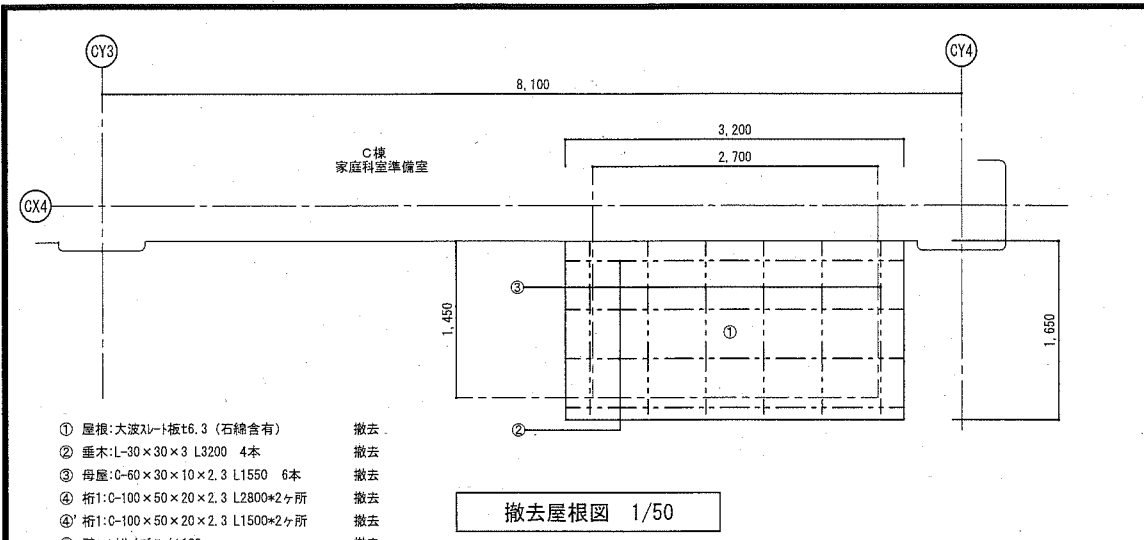
記号	部材	仕様	仕上	撤去内容
①	柱	□-60*60*2.3		撤去 撤去部分GPL・キルト共
②	桁	□-60*60*2.3	SOP塗装	撤去
③	母屋	C-60*30*10*2.3		一部撤去 撤去部分母屋ビス・キルト共
④	垂木	L-30*30*3		一部撤去 撤去部分垂木ビス・キルト共
⑤	屋根	小波か-鉄板	塗装品	一部撤去
⑥	幕板	か-鉄板	塗装品	全面撤去 W120 前面・両側面の三方
その他	垂木ビス:L-30*30(L=50) SOP塗装 石油庫の屋根及び屋根下地を一部切断撤去する 柱脚部の撤去は土間コンクリートも一部撤去する(か-入共) 石油庫本体は既存のままとする			



改修平面図 1/50

記号	部材	改修内容
①	土間	床モルタル塗り 柱撤去面 金コシ
②	屋根	錆止め塗料塗り 切断面 防錆処理
③	屋根	幕板新設 か-か M リン鋼板 t0.35W120 前面、両側面の三方新設復旧
④	母屋	錆止め塗料 切断面 防錆処理
その他		

石油庫 屋根改修図

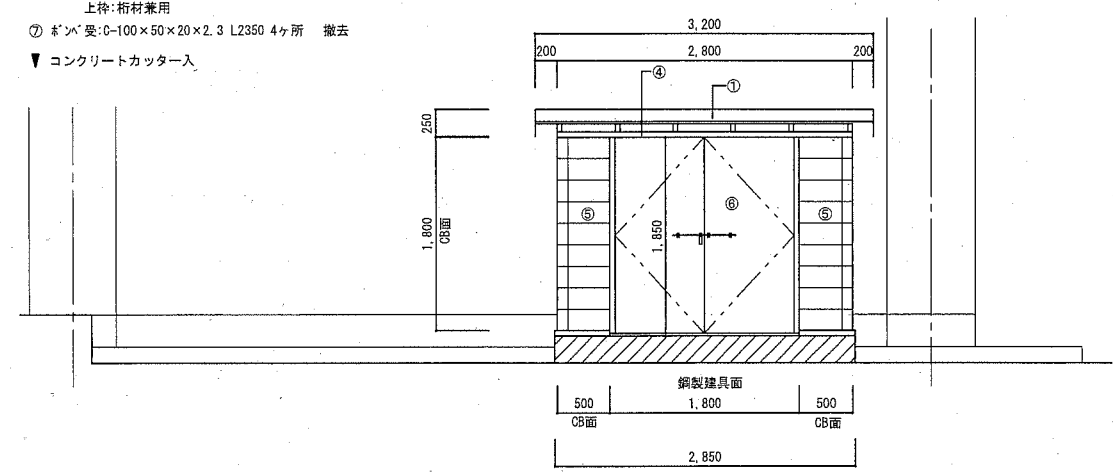


- ① 屋根:大波ルーフ板t6.3 (石綿含有) 撤去
- ② 垂木:L-30×30×3 L3200 4本 撤去
- ③ 母屋:C-60×30×10×2.3 L1550 6本 撤去
- ④ 桁1:C-100×50×20×2.3 L2800*2ヶ所 撤去
- ⑤ 桁2:C-100×50×20×2.3 L1500*2ヶ所 撤去
- ⑥ 壁:コンクリートブロック100 撤去
- ⑦ 建具:鋼製アガール戸 (W1800H1850枠共) 撤去
- 鋼板:t0.8,7mm厚:L-40×40×3
- 枠材:□-100×50×2.3
- 下枠:□-60×30×2.3
- 上枠:桁材兼用
- ⑧ 引込:受:C-100×50×20×2.3 L2350 4ヶ所 撤去
- ▼ コンクリートカッター入

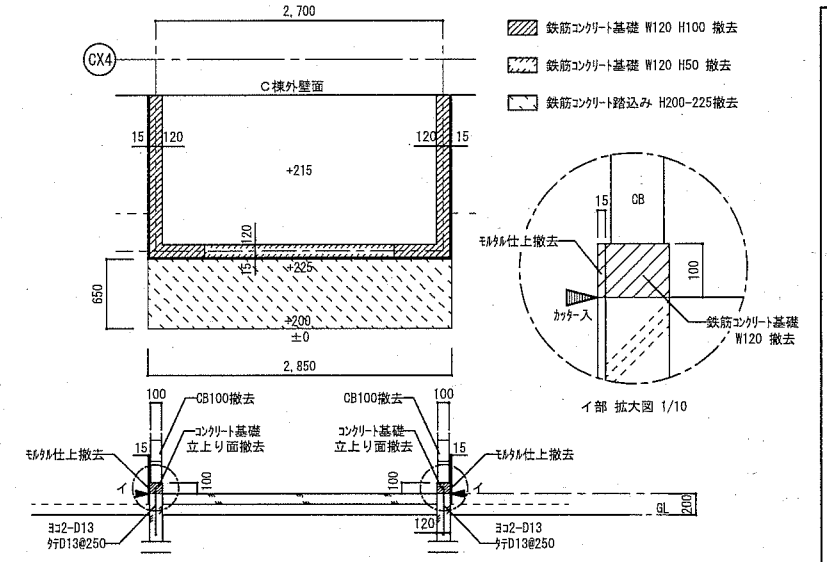
撤去屋根図 1/50

撤去側面図 1/50

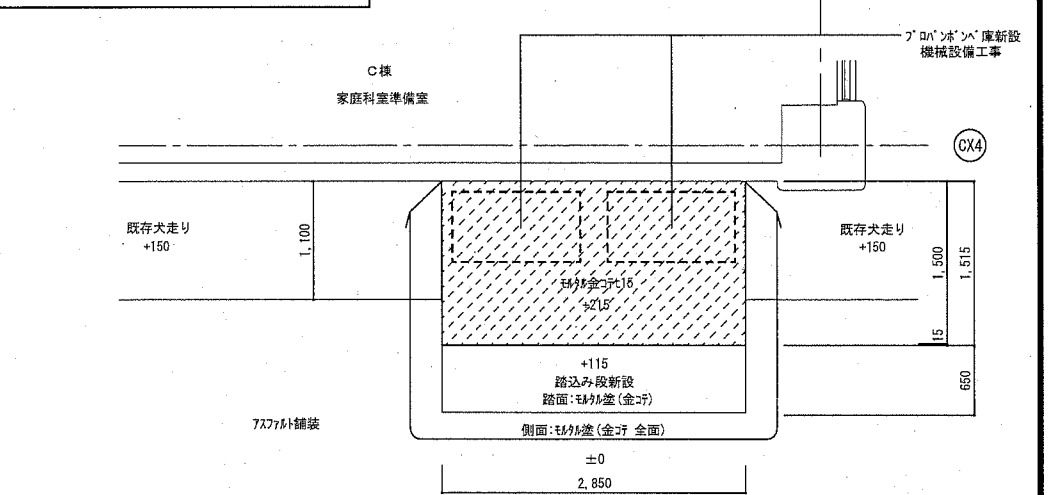
撤去断面図 1/50



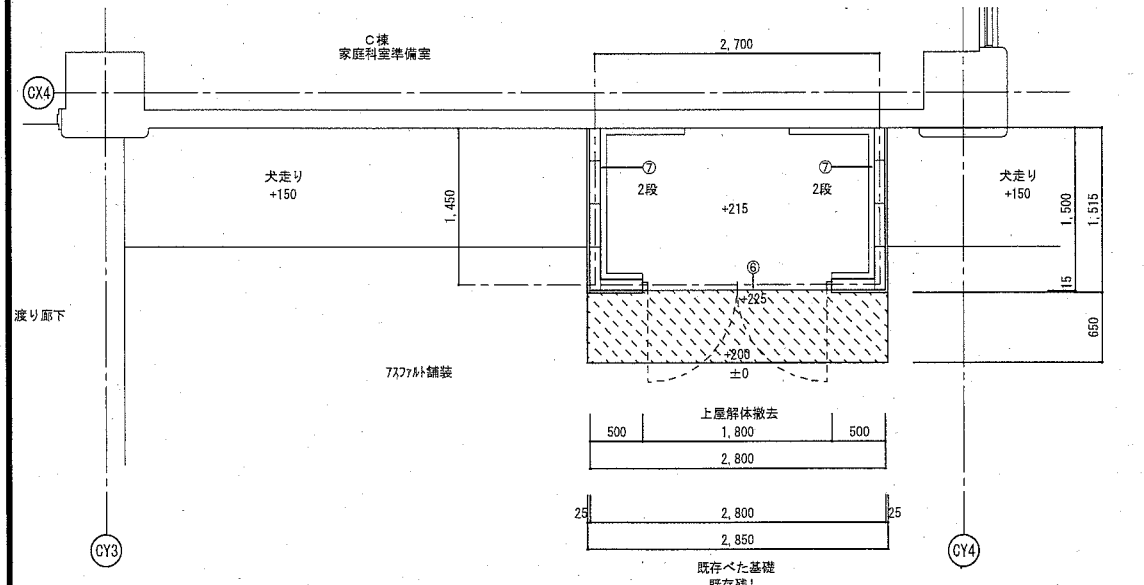
撤去正面図 1/50



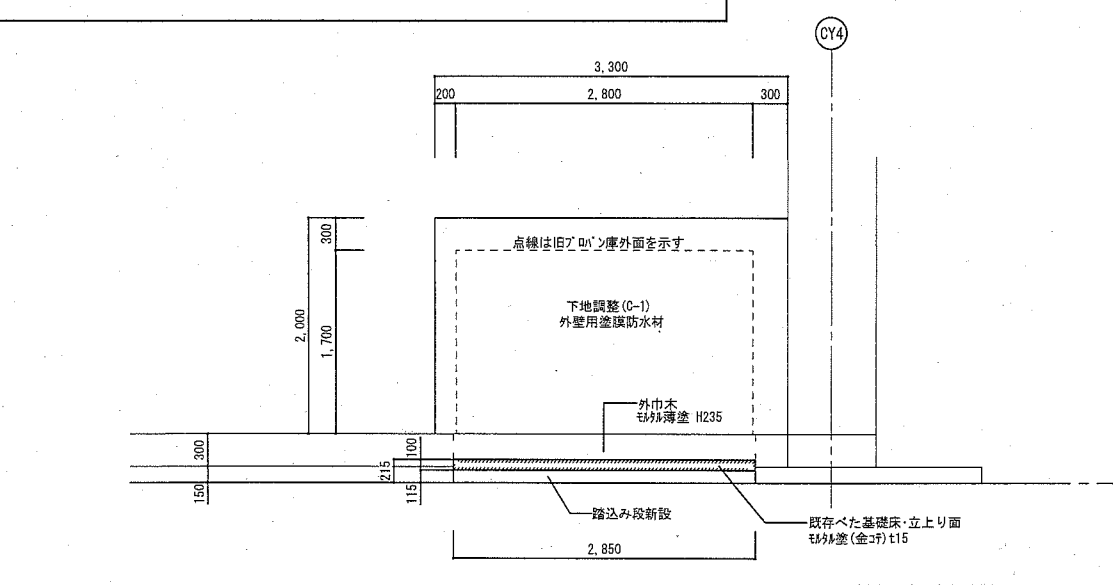
撤去基礎図 1/50



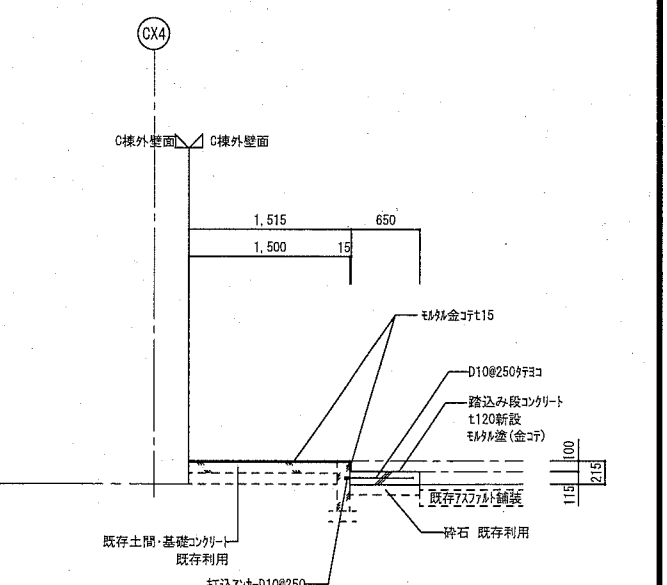
改修基礎図 1/50



撤去平面図 1/50



改修正面図 1/50



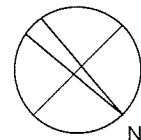
改修断面図 1/50

公共建築課長	主査等	担当者

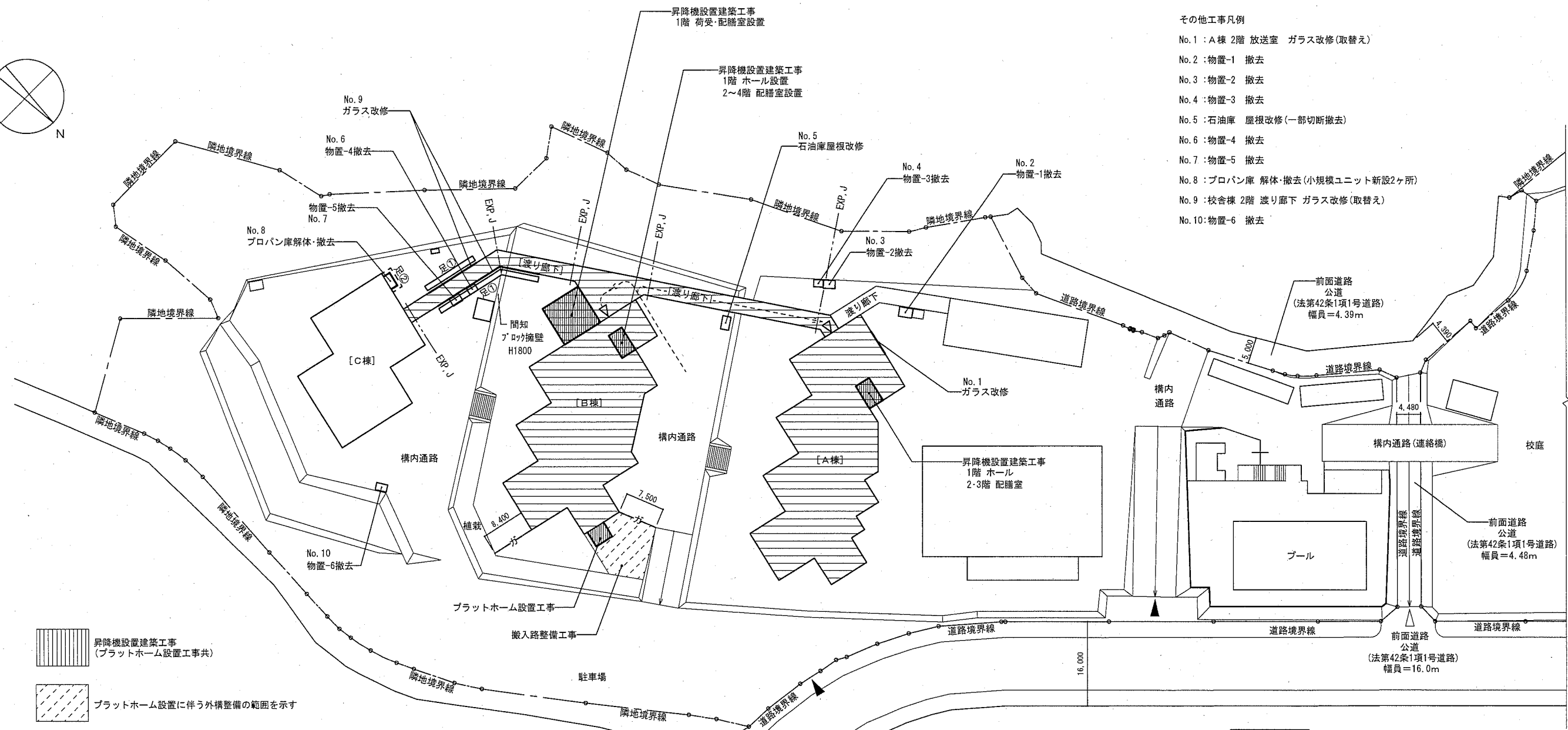
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 その他工事 プロパン庫 撤去・改修図

縮尺	A-56
1/50	No.



- その他工事凡例
- No.1 : A棟 2階 放送室 ガラス改修(取替え)
 - No.2 : 物置-1 撤去
 - No.3 : 物置-2 撤去
 - No.4 : 物置-3 撤去
 - No.5 : 石油庫 屋根改修(一部切断撤去)
 - No.6 : 物置-4 撤去
 - No.7 : 物置-5 撤去
 - No.8 : プロパン庫 解体・撤去(小規模ユニット新設2ヶ所)
 - No.9 : 校舎棟 2階 渡り廊下 ガラス改修(取替え)
 - No.10 : 物置-6 撤去



- 昇降機設置建築工事 (プラトホーム設置工事共)
- プラトホーム設置に伴う外構整備の範囲を示す

- 仮設計画凡例
- ガードフェンス
 - ▽ 工事関係者出入口
 - 足① 足① 枠組足場(900枠 手摺り先行) No.9渡り廊下ガラス改修工事
 - 足② 足② 単管一本足場(H3275) No.8プロパン庫解体・撤去工事

その他事項

- ・工事期間中は▲印の公道と裏門出入口を工事用として使用することを原則とする
- ・学校の了解が得られた場合のみ正門からの出入及び工事を認める
- ・この場合は、事前に学校の了解を得ること、また工事への十分な安全対策を図ること
- ・当該出入口のスロープの先は特別支援教室があるため安全対策を十分に配慮すること
- ・仮囲い及び内部仮設間仕切りの出入口は鍵付とする
- ・工事期間中は必要に応じて仮囲い及び内部仮設間仕切りの盛り替えを行う

※仮設計画については参考図とする

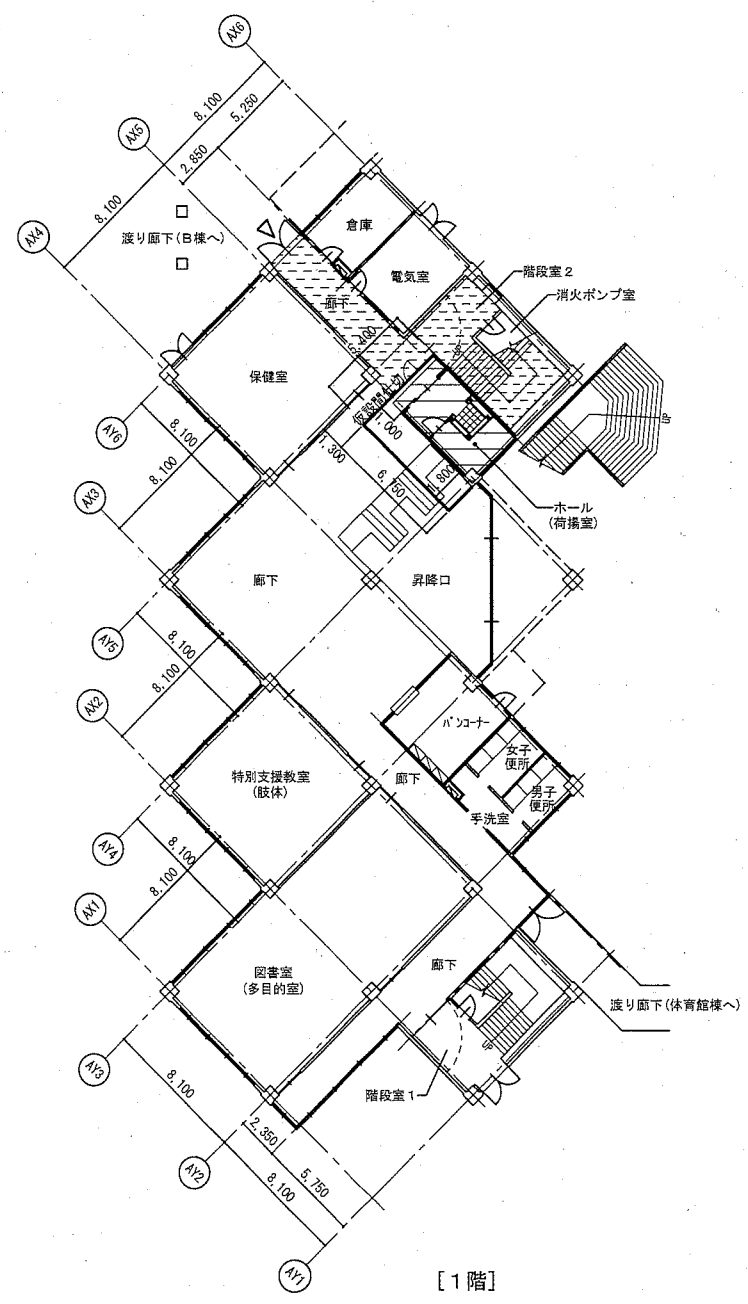
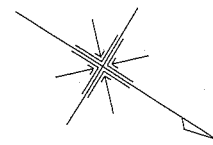
その他建築工事 (既存建物改修工事)

- ・外部建具のガラス改修を行う。(A棟 2階放送室、渡り廊下棟 2階廊下)
- ・鋼製物置(既製品 6ヶ所)の撤去を行う。
- ・B棟に隣接する石油庫の屋根改修を行う。
- ・C棟のプロパン庫を解体撤去し、ユニット型のプロパン庫を新設(2ヶ所)し切離し改修をする。プロパン庫解体撤去は建築工事、新設のプロパン庫の設置は機械設備工事とする。

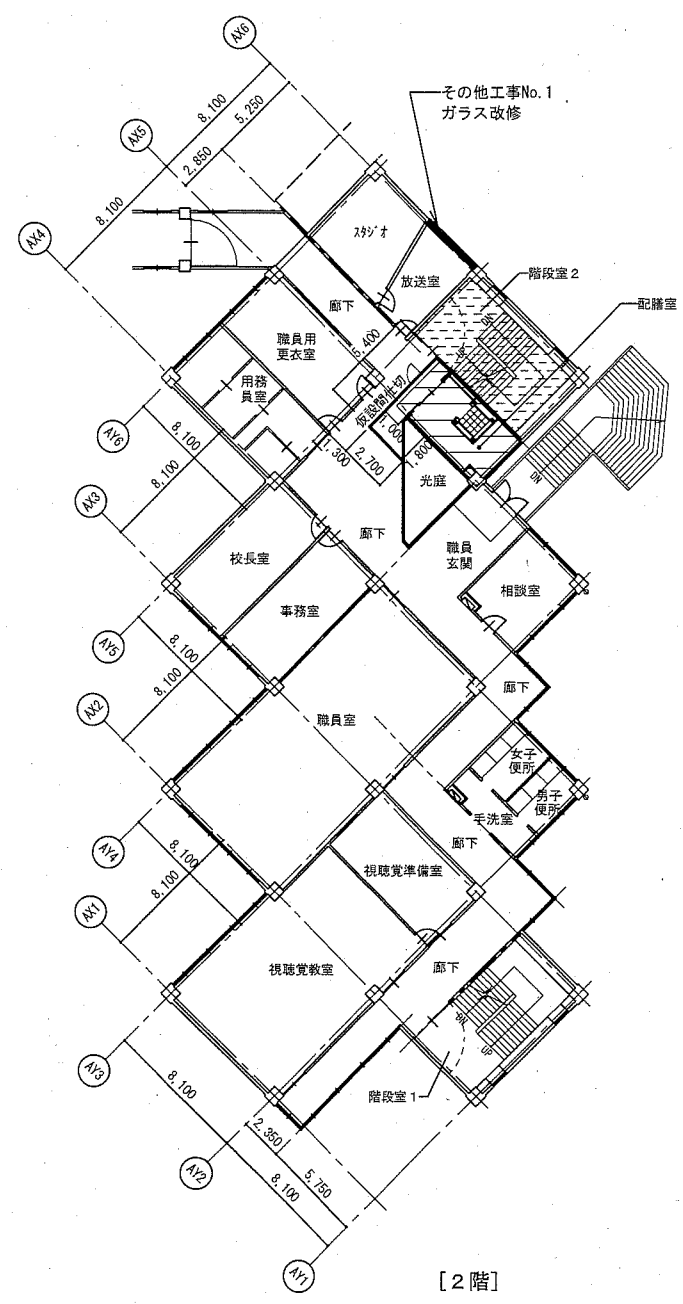
その他工事配置図 1/600

小荷物専用昇降機設置棟を示す

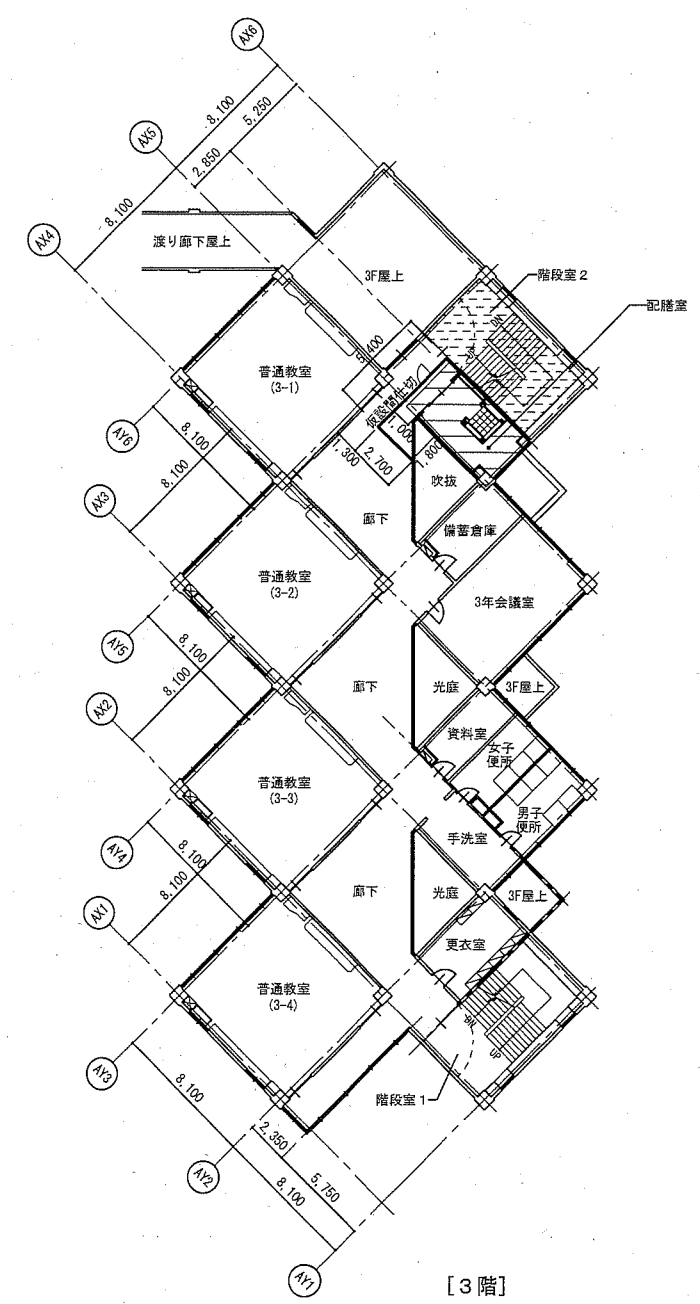
鋼製物置別面積表 (単位 m ²) ※構造は全てS造、階数は全て1階				
番号	建物名称・大きさ	建築面積	延床面積	最高高さ
No. 2	物置-1 W2600×D1800×H2200	4.73 m ²	4.73 m ²	2.49 m
No. 3	物置-2 W2200×D1600×H2000	3.41 m ²	3.41 m ²	2.21 m
No. 4	物置-3 W1800×D1400×H2000	2.47 m ²	2.47 m ²	2.13 m
No. 6	物置-4 W1800×D1400×H2000	2.47 m ²	2.47 m ²	2.20 m
No. 7	物置-5 W2200×D1600×H2000	3.20 m ²	3.20 m ²	2.24 m
No. 10	物置-6 W2200×D1400×H2000	3.01 m ²	3.01 m ²	2.18 m



[1階]



[2階]



[3階]

A棟 仮設平面図 1/300

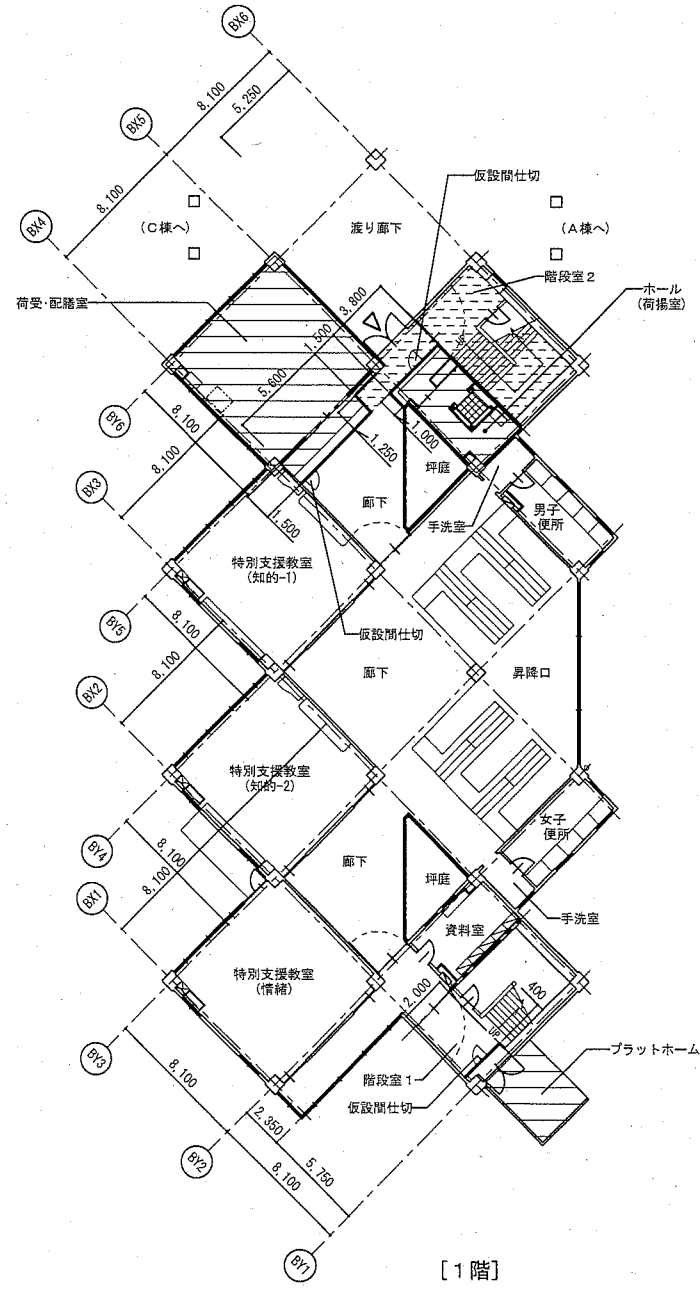
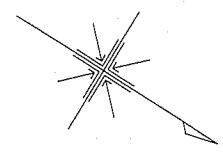
仮設計画凡例

- 小荷物昇降設備設置改修工事部分を示す
(B棟1階荷受・配膳室、ホール、2~4階配膳室)
- 階段養生(1階廊下 一部含む)
- 改修室 シャフト内足場 (1.72m×1.65m H11.60m)
- 仮設間仕切(B種)
- 工事関係者出入口

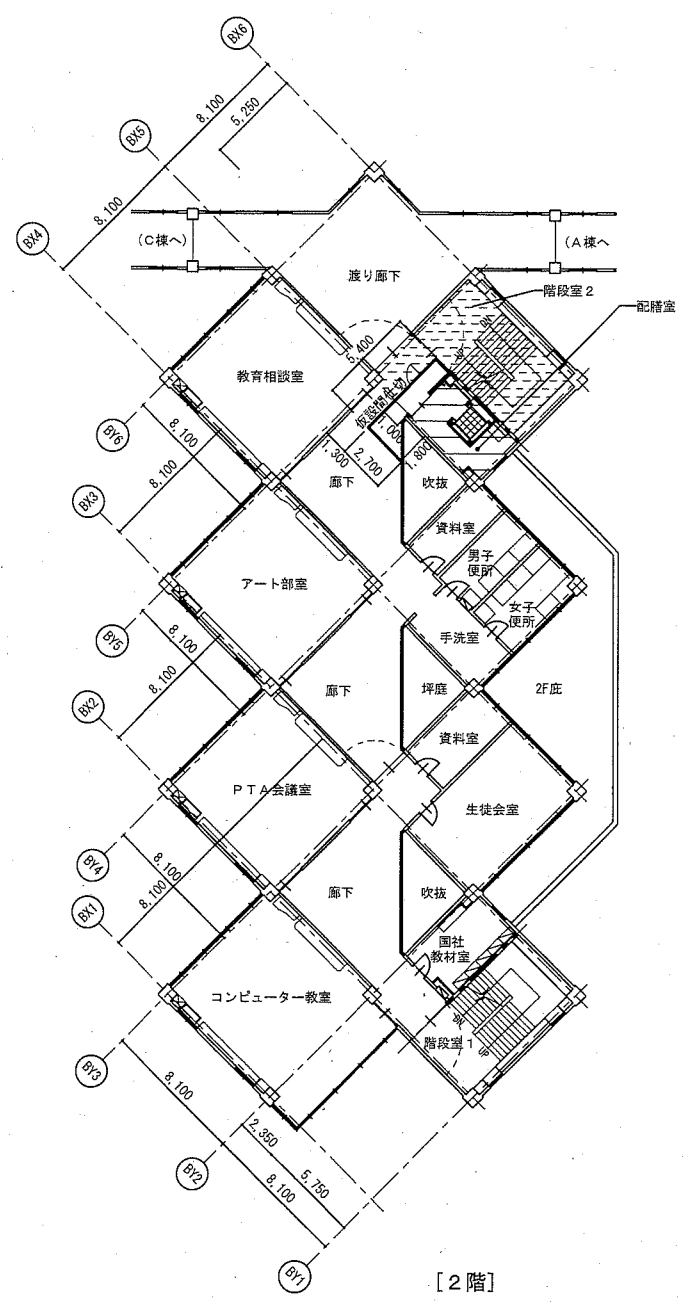
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 令和 2年 2月

工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称	長沢中学校 仮設計画図-2 (A棟 各階平面図) 参考図

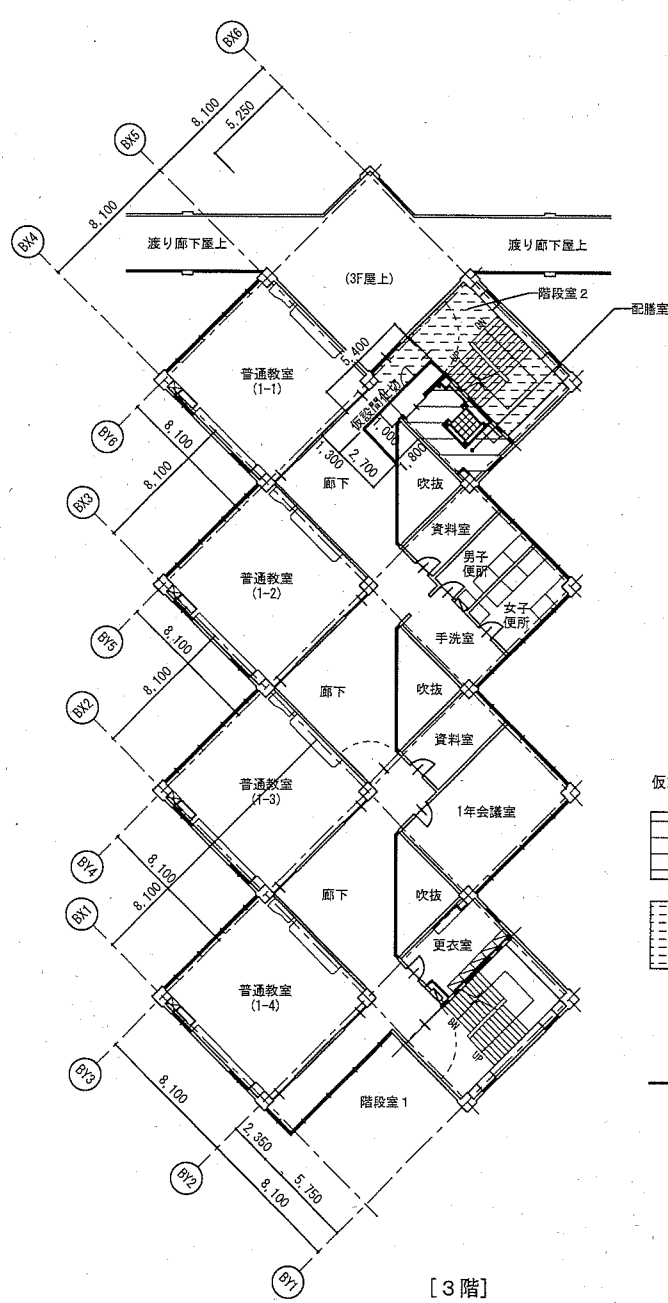
縮尺	1/300	No.	A-58
----	-------	-----	------



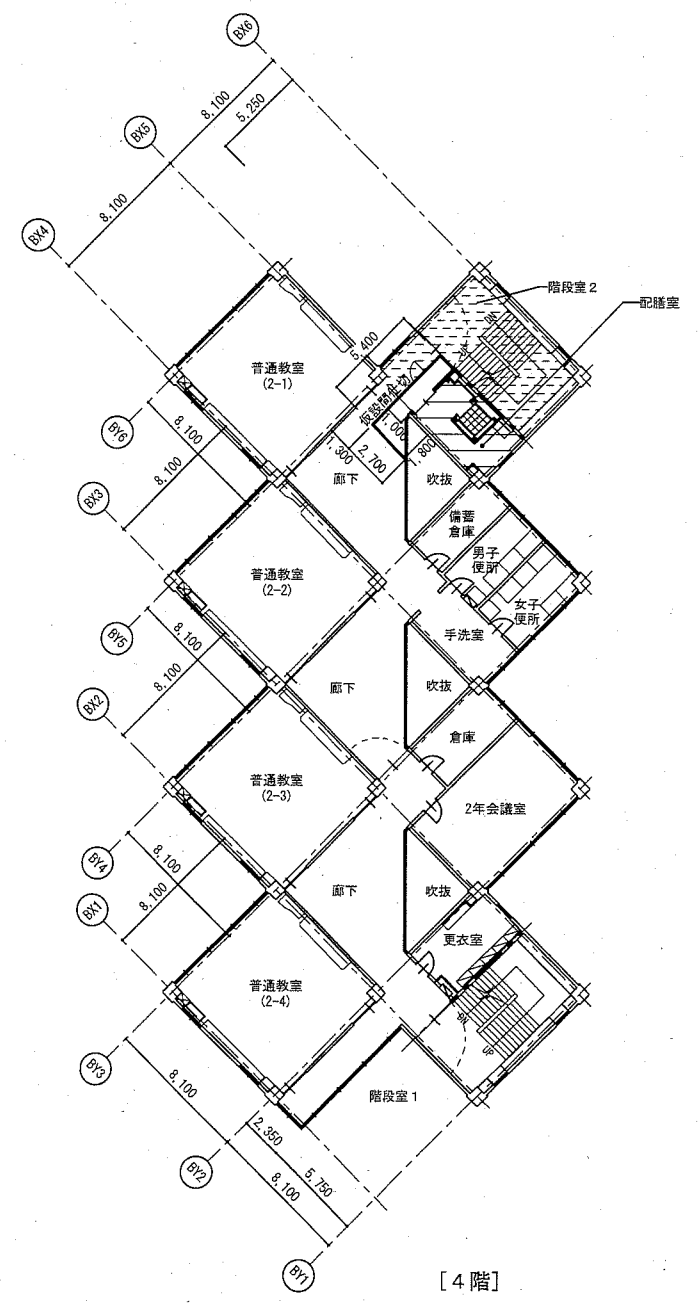
[1階]



[2階]



[3階]



[4階]

- 仮設計画凡例
- 小荷物昇降設備設置改修工事部分を示す
 - 階段養生(廊下養生含む)
 - 改修室 シャフト内足場 (1.72m*1.65m H15.30m)
 - 仮設間仕切 (B種)
 - 工事関係者出入口

B棟 仮設平面図 1/300

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は●印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
建築場所 神奈川県横浜市長沢5丁目1-1
(2) 工事種別
(3) 構造設計一級建築士の関与
(4) 構造種別
(5) 階数
(6) 主要用途
(7) 屋上付属物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 構造計算ルート

2. 使用構造材料

Table with columns for material type (Concrete, Steel, etc.), specifications, and notes. Includes details for concrete strength and steel reinforcement.

3. 地盤・地盤説明書

Table for ground investigation results, including soil type, depth, and test results. Includes a grid for soil data and a section for ground improvement.

4. 地業工事

Table for ground improvement work, including foundation types, soil improvement methods, and construction details.

5. 鉄筋コンクリート工事・施工方法等計画書

Table for reinforcement concrete work, including concrete strength, reinforcement details, and construction methods.

Table for reinforcement details, including bar size, spacing, and construction notes.

6. 鉄骨工事

Table for steel structure work, including steel type, section, and construction details.

7. 設備関係

Table for equipment relationships, including building equipment, structural support, and safety measures.

8. その他

Additional notes and specifications, including construction methods, safety measures, and equipment details.

9. 図面名称

Table for drawing names, including project name and drawing title.

Table for inspection items, including location, method, and results.

Table for reinforcement details, including bar size, spacing, and construction notes.

Table for steel structure work, including steel type, section, and construction details.

Table for equipment relationships, including building equipment, structural support, and safety measures.

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 - d...異形棒の呼び名に用いた数値 丸線では径 D...部材の径 R...半径
 - φ...間隔 r...半径 Q...中心線 l...部材の内寸法距離 h...部材の内法高さ
 - ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S...HOOP...補強筋 φ...直径又は丸線

2. 鉄筋加工、かぶり ※JASS6 (2003) による、

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の寸法	4d以上	6d以上 (※4d以上)	6d以上 (※4d以上)
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上			

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げの内法寸法 (R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD345A, SD295B SD345	16φ以下 D19 19φ以上 D19
	筋記以外の鉄筋	SD295A, SD295B SD345 SD390	D16以下 D19-D26 D29-D41

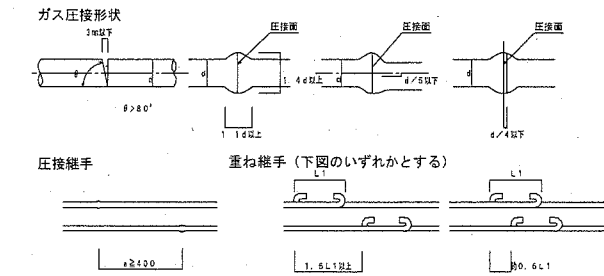
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	鉄筋の径	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下ば筋 (L3)	
帯筋	φ	10φ	10φ	10φ
あばら筋	φ	10φ	10φ	10φ
スパイラル筋	φ	10φ	10φ	10φ
筋記以外の鉄筋	φ	10φ	10φ	10φ

(注) 計算上の定着長さ、計算上の重ね継手長さ、(ルート1)、その他構造計算を要しない構造建築物の場合は、定着長さの定着の定着は40φとする。

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

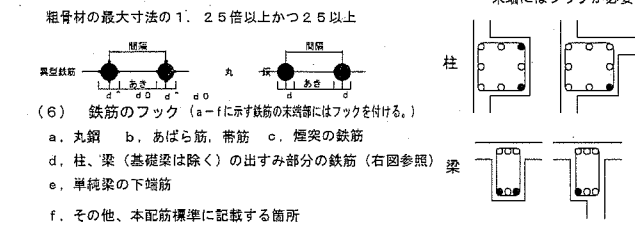


(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部	単位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	底面スラブ	30	20
	側面スラブ	40	30
土に接する部分	底面	40	30
	側面	50	40
柱・壁・スラブ・耐力壁	底面	50	40
	側面	70	50

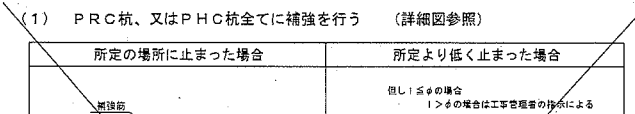
※ 柱基礎の場合のかぶり厚さは柱径と等しくする。

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

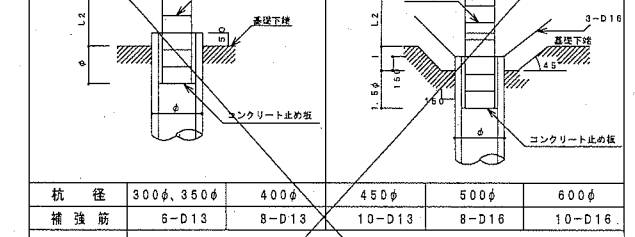


4. 基礎

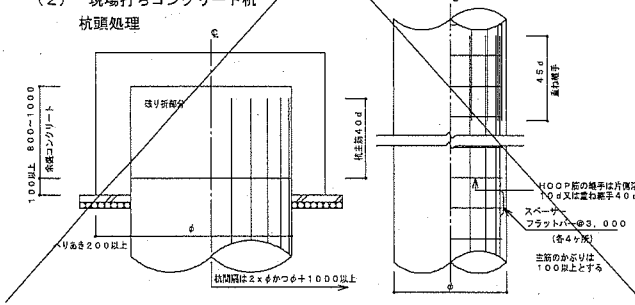
(1) 直接基礎



(2) 杭基礎

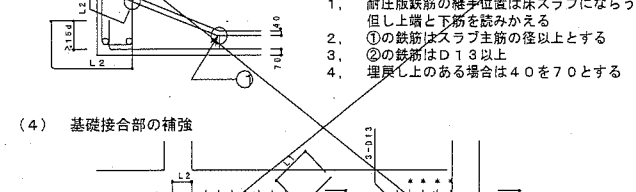


(3) 基礎

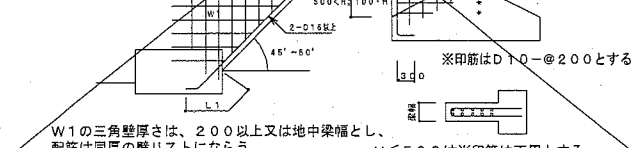


5. 地中梁

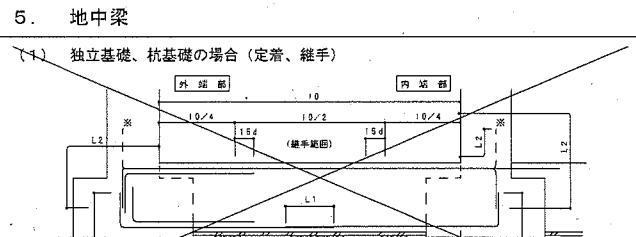
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



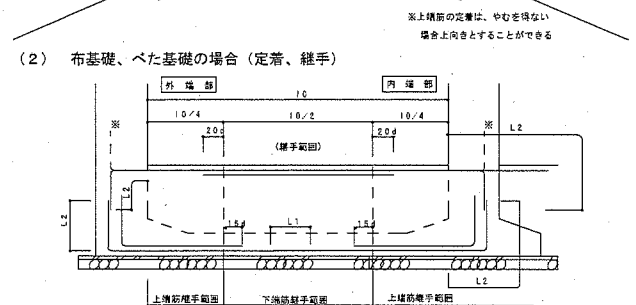
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



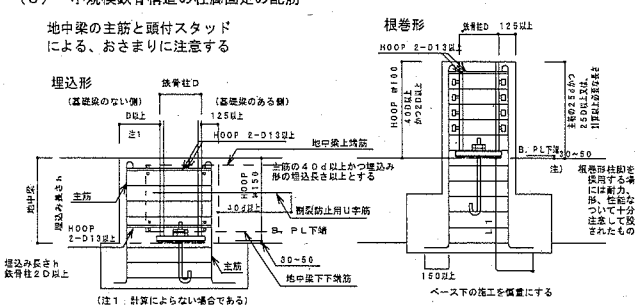
(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

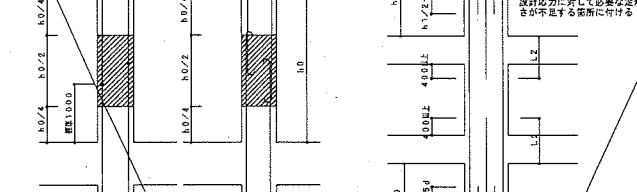


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

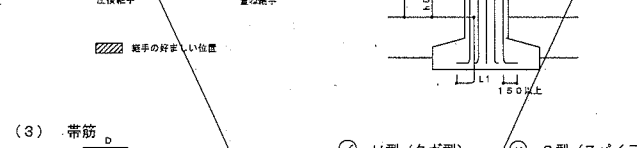


6. 柱

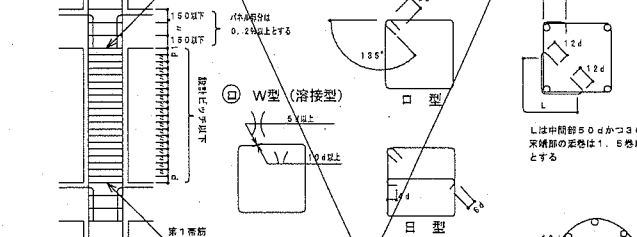
(1) 柱主筋の継手



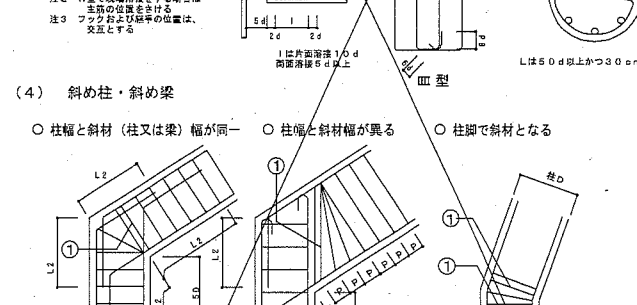
(2) 柱主筋の定着



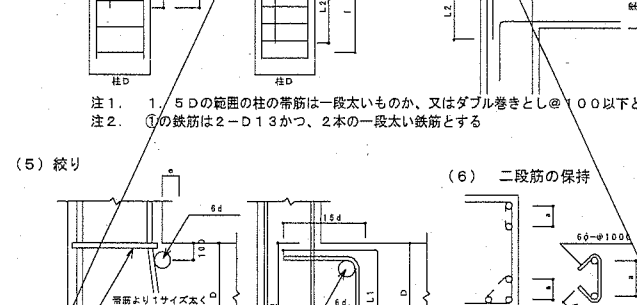
(3) 帯筋



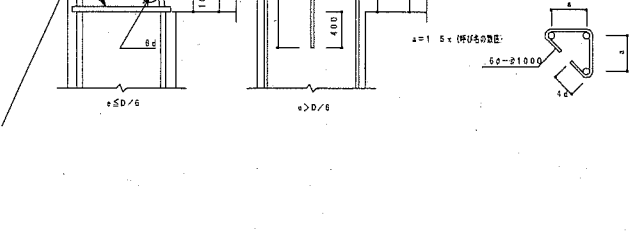
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞リ



(6) 二筋筋の保持



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)

(5) 幅止め筋の本数、加工

幅筋	D<600 不要
	600≦D<900 2-D10(9φ) 1本
	900≦D<1200 4-D10(9φ) 2本
	1200≦D D10(9φ) 800以内
幅止め筋	D10(9φ) 1000以内で割り付ける

8. 床板

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎについて)

9. 壁

(1) 梁に

(2) 柱に (平面図)

(3) 床に

(4) 壁と壁 (平面図)

(5) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

(6) 手摺、パラベット

(7) コンクリートブロック積壁

10. 柱、梁増打コンクリート補強

(1) 柱、梁

(2) 地中梁

(3) 床版、壁

(2) 梁

補強筋は、梁主筋の1段階し径(D16以上)とする。

あばら筋補強筋は、梁と両側、同じピッチとする。

腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。

D≧400の場合は補強筋を3本とする。

aは100~200の程度。

架下地増打コンクリートの場合も上層増打コンクリート補強と同様とする。

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン/10以内かつ2D以内)はさける

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100≦φ≦150	150≦φ≦250
折筋 2-D13(上下)	折筋 2-D13(上下)	折筋 2-D13(上下)
	縦筋 ST 3×D-D13-100B	縦筋 ST 3×D-D13-100B
	横筋 2-D13(上下)	横筋 2-D13(上下)
	上層筋 ST □ 1-D13	上層筋 ST □ 1-D13

(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

● 既製品を使用し 認定既製品を使用し個別検討を行う

□ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕切り部分、増築時の鉄筋継手工事を考慮して設置する)

(1) 柱、梁

(2) 地中梁

(3) 床版、壁

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
 - (a) 構造設計仕様による
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
 - (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - (c) 高張力鋼のみずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
 - (a) 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
 - (a) 溶接技能者
 - 溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z3801 (手溶接) 又は JIS Z3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
 - (b) 溶接機器
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ロ) アークエア・ガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ハ) サブマージアーク溶接機 1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
 - (c) 溶接方法
 - アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
 - セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエア・ガウジング (AAG)
 - (d) 溶接姿勢
 - 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
 - (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 - (イ) 仮付位置
 - 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
 - (f) 溶接施工
 - (イ) エンドタブ
 - I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 - II エンドタブの材質は、母材と同質とする
 - III エンドタブの長さは、MC: 35mm以上、NGC、GC: 40mm以上と特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 - IV プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
 - (ロ) 裏あて金
 - 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
 - (ハ) スクラップ 半径は30~35mmと、10mmのダブルールとする
 - 1) スクラップ工法
 - ① 厚み成形がD=160mm未満の場合のスクラップは f=2.0mmとする
 - ② ノンスクラップ工法
 - (ニ) 裏はつり
 - 規程図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける
 - (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う
 - (5) 塗装
 - コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 開長 (単位 mm)

(1) スミ肉溶接

1	7以下	8~10	11~12	14~16
8	5	7	10	12

・併し片溶接の場合はS=1とする
・tは、t₀の小さな方とする
・余盛は(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合は母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所) (注意)

② $D_1 \geq 1/3$ $1/4 \leq S \leq 1.0t$
 $t \leq 16$
 溶接姿勢 F, V
 両側に補強すみ肉溶接を付加する

(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)

③ $f = 1/4$
 $\theta = 45^\circ$
 $G = 0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
 ・両側に補強すみ肉溶接を付加する AAG

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F, V

④ $f = 1/4$
 $\theta = 45^\circ$
 $\theta = 60^\circ$
 $G = 0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
 ・両側に補強すみ肉溶接を付加する

のど厚	1mm	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
MC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NGC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
GC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ $f = 1/4$
 $\theta = 45^\circ$ (60°)
 $\theta = 60^\circ$
 $G = 0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
 ・両側に補強すみ肉溶接を付加する

t	1 < t < 19mm
溶接姿勢	F, V

⑥ $f = 1/4$
 $\theta = 45^\circ$
 $\theta = 60^\circ$
 $G = 0 \sim 2$ (裏はつり後溶接)
 ・両側に補強すみ肉溶接を付加する

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F, V

⑦ $f = 1/4$

t	35	45	55	65	75	85	95	105	115	125	135	145	155	165	175	185	195	205
G	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
L	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23

(4) フレアー溶接

K形の場合

寸法 (mm)	φ	B	S
	φ	7	4
	1.3	8	4.5
	1.6	9	5
	1.9	10	6
	2.2	11	7
	2.6	12	8

溶接記号番号を○中に記入のこと

●B O X型 (通しダイヤフラムの場合)

⑦ ※はりフランジは、通しダイヤフラムの厚み(t)の内部で溶接すること。

① ※t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

② ※t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

① ※t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (℃)
400N級鋼	JISZ 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JISZ 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		

※カバープレート付き大梁の現場溶接についての注意事項
 カバープレート付き大梁の現場溶接について従来のカバープレートを取り付けた状態で行うと鋼板の重ね合わせ目が欠陥の発生に影響している場合が多いため下記の手順で溶接及び検査を行うこと。
 本溶接→[検査] (欠陥なし) →カバープレート取り付け→カバープレート部溶接→[検査] (欠陥なし) →終了
 「突合せ継ぎ手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアル」等の参考文献を参照して施工すること。

⑦ ※カバープレート付き大梁フランジは、通しダイヤフラムの厚み(t)の内部で溶接すること。

① ※t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

鉄骨構造標準図 (2)

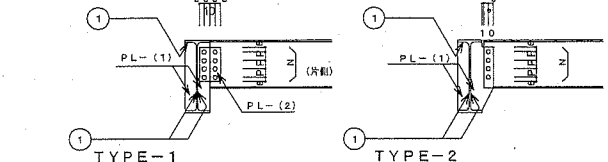
3. 継手標準図、その他

(1) ボルトピッチ (P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	50	60
M22	24	55	38	28	40	55
M24	26	60	44	30	45	70

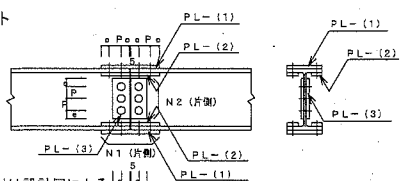
- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
断面表に依る					

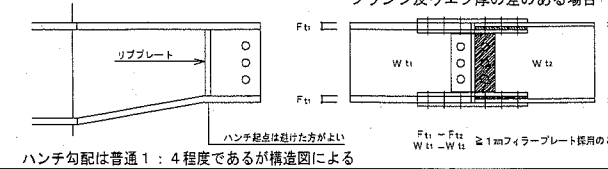
(3) 梁鋼接合継手リスト (SCSS-H97による)



[注] 端部をBHとする場合の部材は設計図による

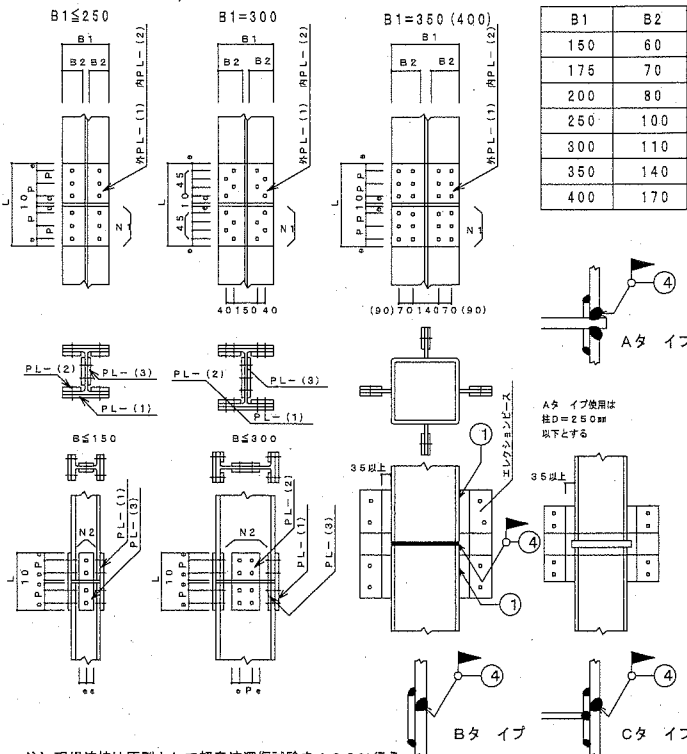
符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
断面表に依る						

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通 1 : 4 程度であるが構造図による

(5) 継手リスト (SCSS-H97による)



[注] 現場溶接は原則として超音波深探試験を100%行う

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
断面表に依る						

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする…JISA5540~5542…1982)

(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	10.8	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
調整ねじ長さ	S	100	115	125	140	150	165
取付ボルト穴径	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5
はしあき (最小)	Ø1	35	40	45	50	55	50
切板製	へりあき (最小)	Ø2	22	28	28	34	34
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9
平鋼製	へりあき (最小)	Ø2	19	25	25	32.5	37.5
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小)	Ø3	47	52	59	66	66	73
溶接長さ (最小)	l	40	50	55	60	75	85

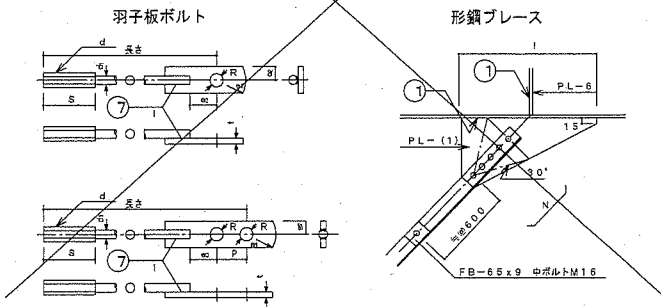
(2) 種類 JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中 8g 10.9

取付ボルト	ねじの呼び						
	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
本数	1	1	1	1	1	1	2

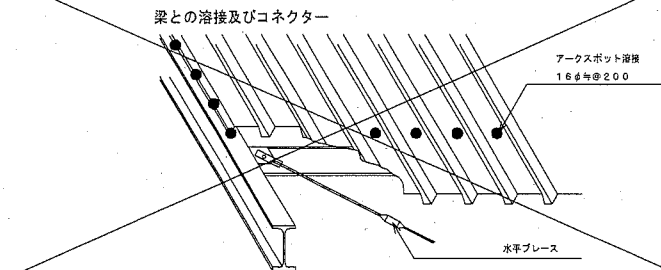
- [注] (1) Ø1, Ø2 が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支柱) 接合とする

(b) 形鋼ブレース

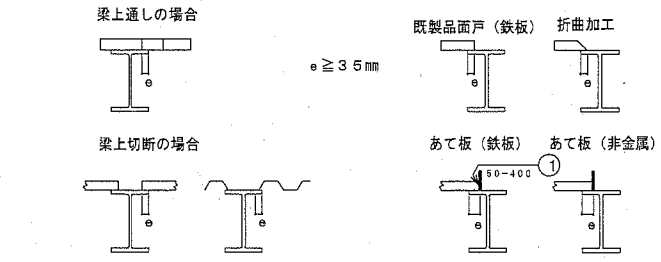
符号	部材	PL-(1)	N-径	l



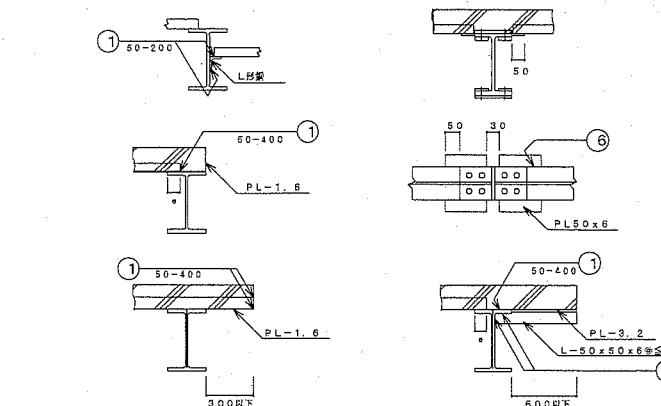
(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



受梁へのかかり寸法および端部処理

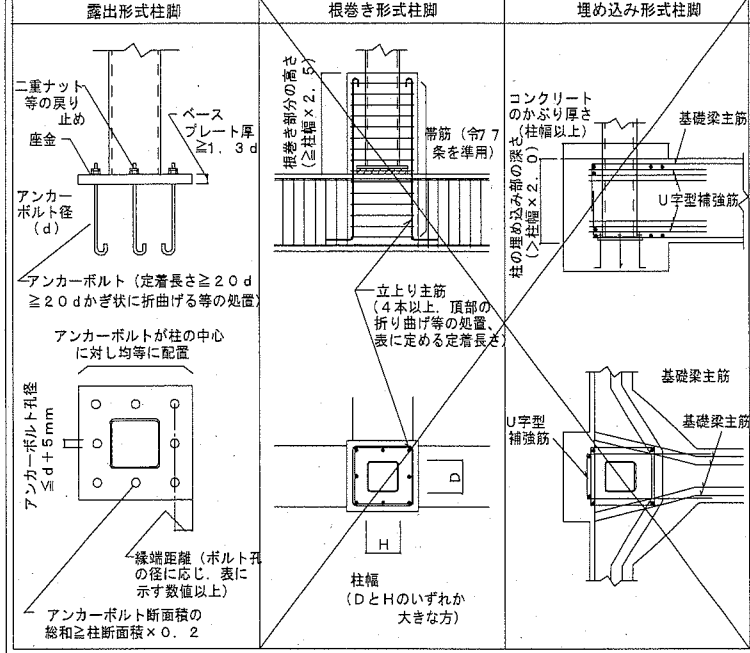


スラブ端部の補足材

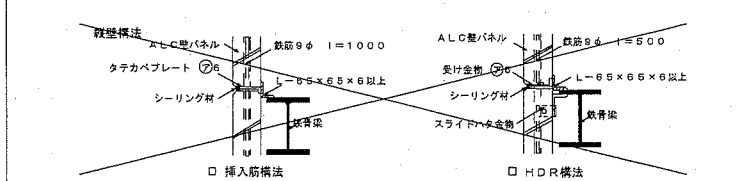


(8) 柱脚

[注] 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



(9) ALC板取付要領は、図面番号S-09 (縦壁HDR構法) 標準図による



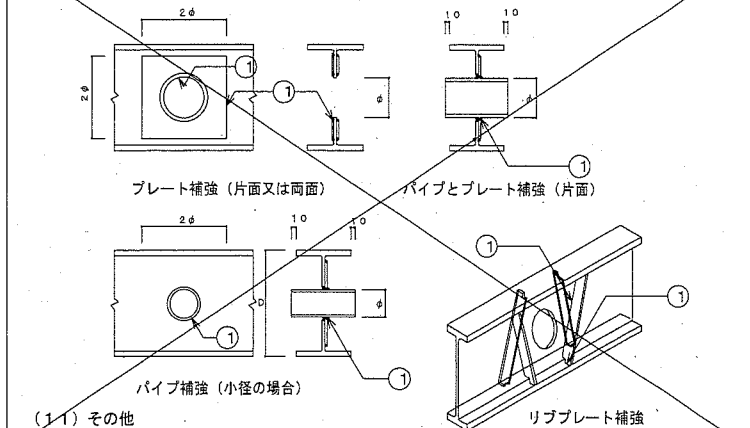
(10) 頭付きスタッド (JIS1198)

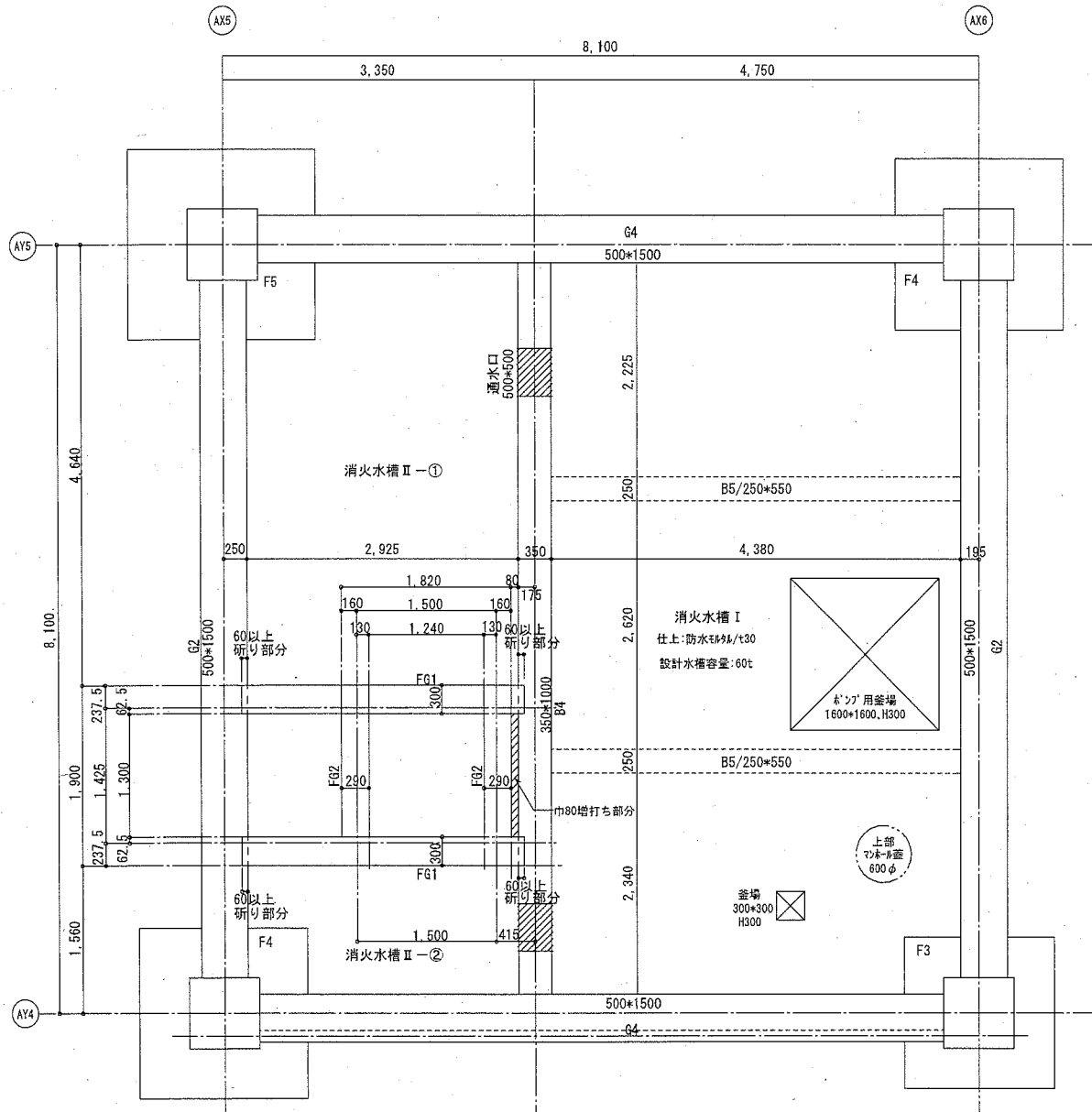
スタッド材の標準形状・寸法

形状	スタッド材				
	呼び名	軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	頭高さ T (mm)	溶接後の長さ L (mm)
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130	
	12.7	25.4	7.9		
φ16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130	
	15.8	31.7	7.9		
φ19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150	
	19.0	31.7	9.5		
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150	
	22.2	34.9	9.5		

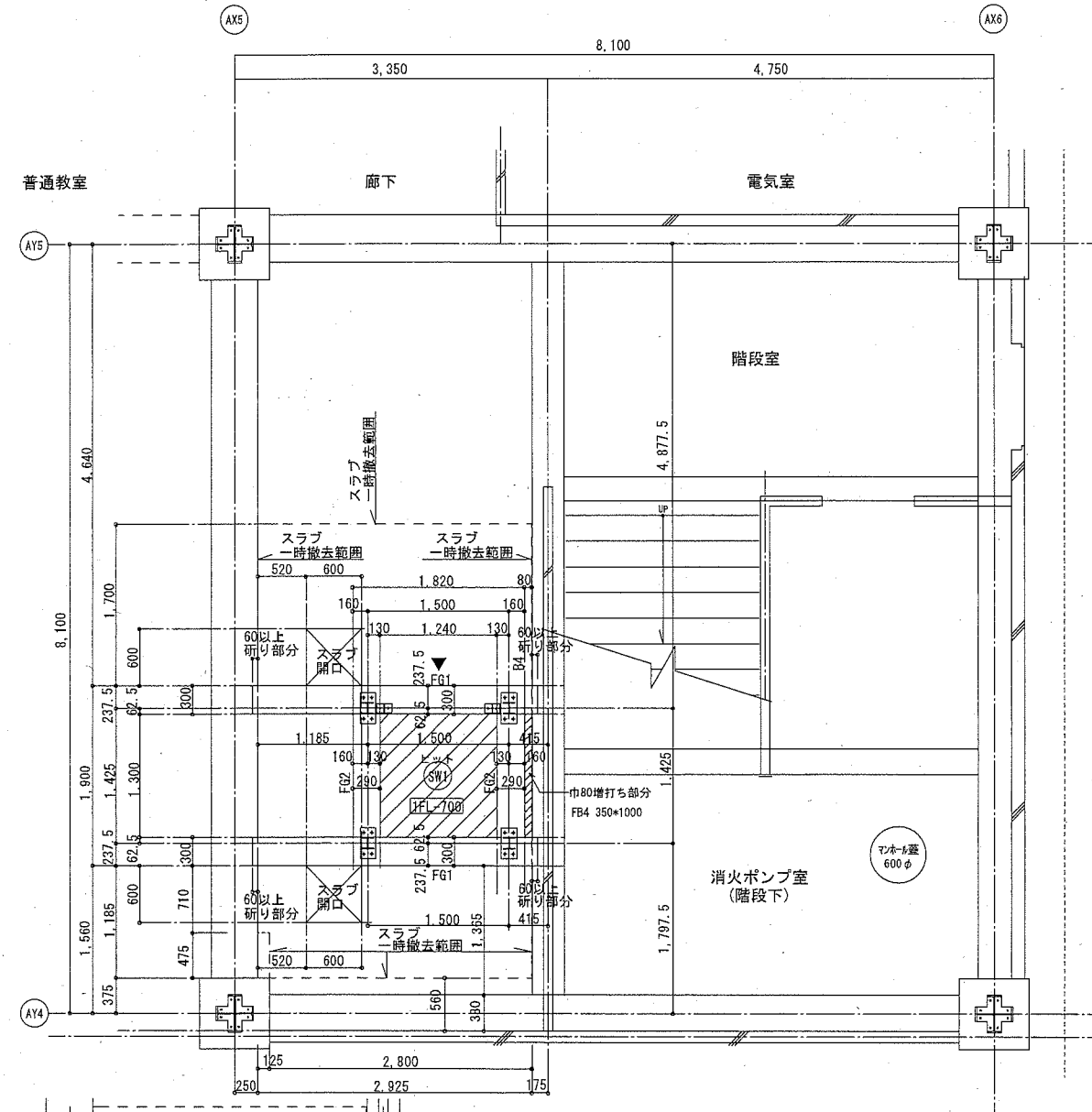
(11) 梁貫通補強 別図参照

計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。φ ≤ 0.4D
 ・梁端部 (スパンの 1/10 以内かつ 2D 以内) は避ける
 ・位置は設計監理者の承諾を受けること。

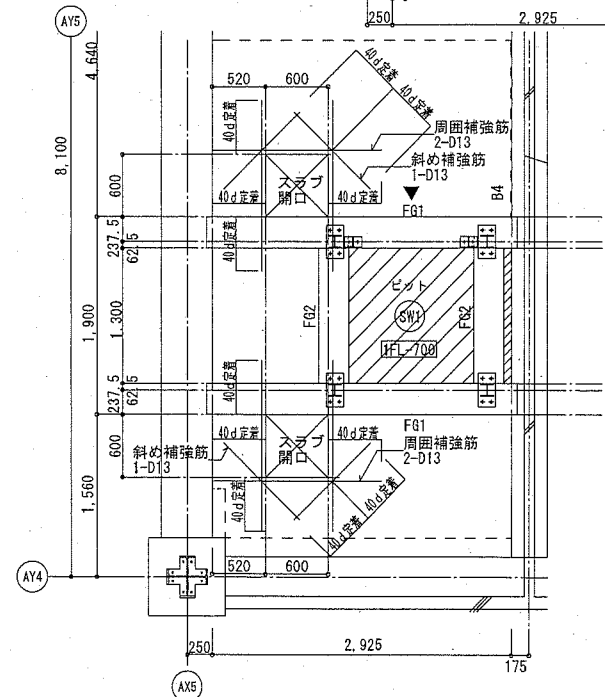




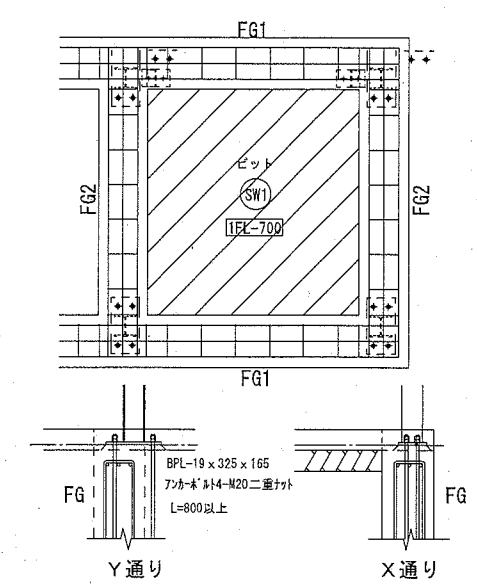
基礎床伏図 1/50
特記なき限り



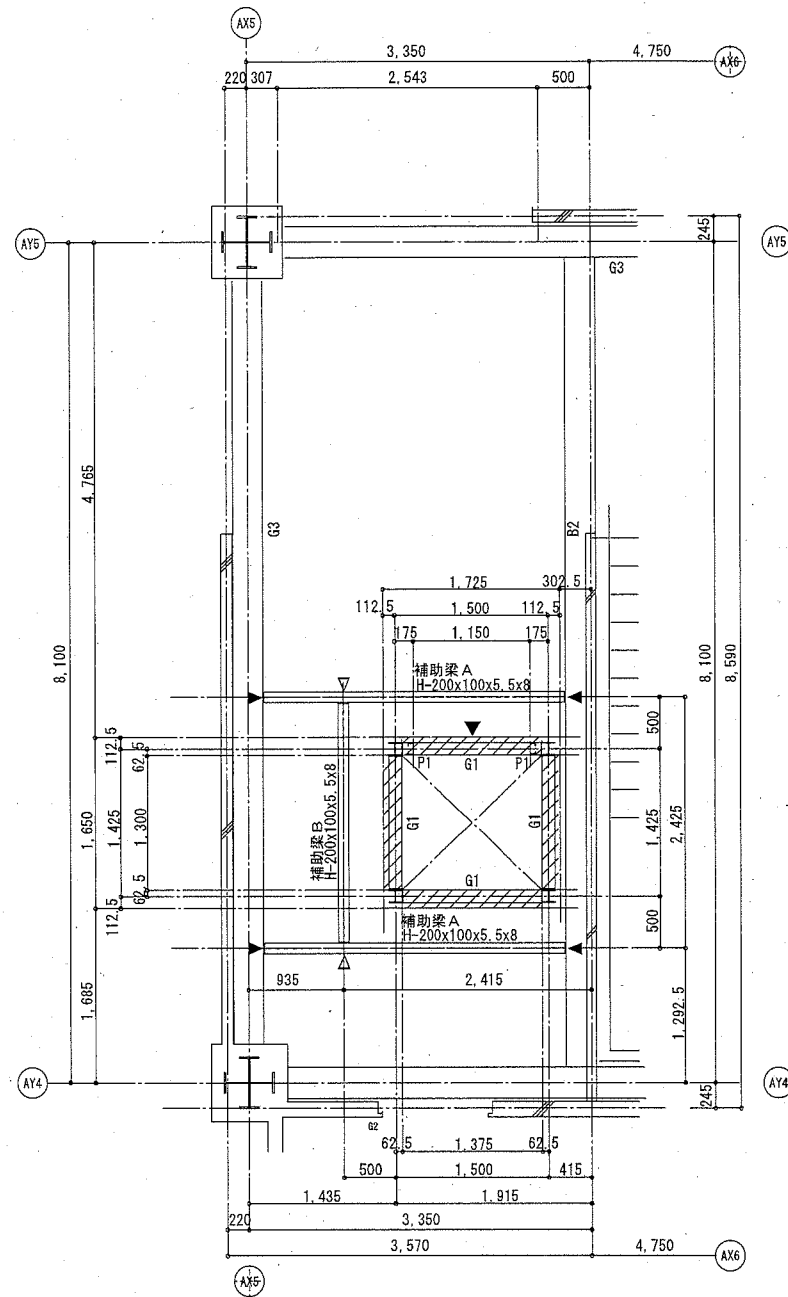
1階床伏図 1/50
特記なき限り



1階ホール スラブ開口補強配筋図 1/30



基礎梁とアンカーボルト詳細図 1/30



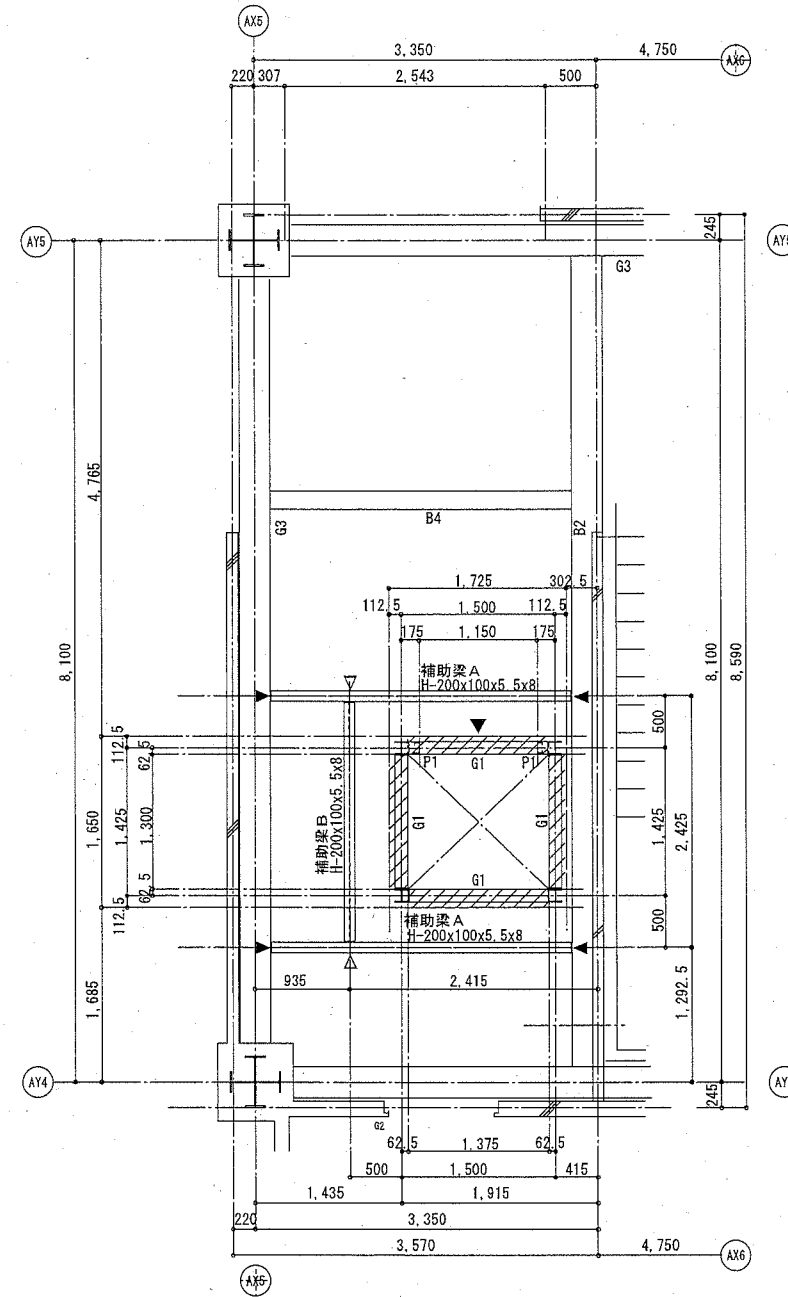
2階床伏図 1/50

特記なき限り

//// : スラブ開口部端部隙間埋め
(コンクリート打設)

▲ 既存耐火被覆撤去後
・GPL取付後補助梁設置
耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

△ : 新設補助梁接合部



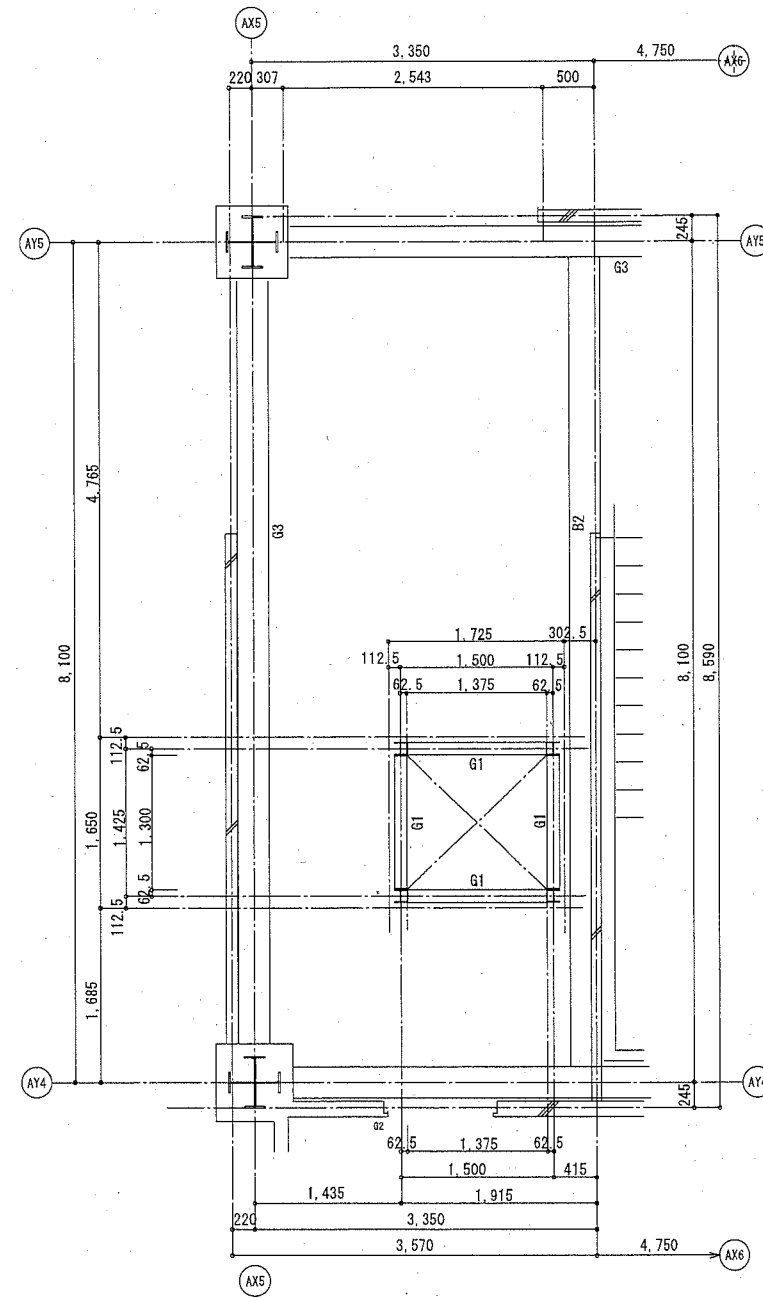
3階床伏図 1/50

特記なき限り

//// : スラブ開口部端部隙間埋め
(コンクリート打設)

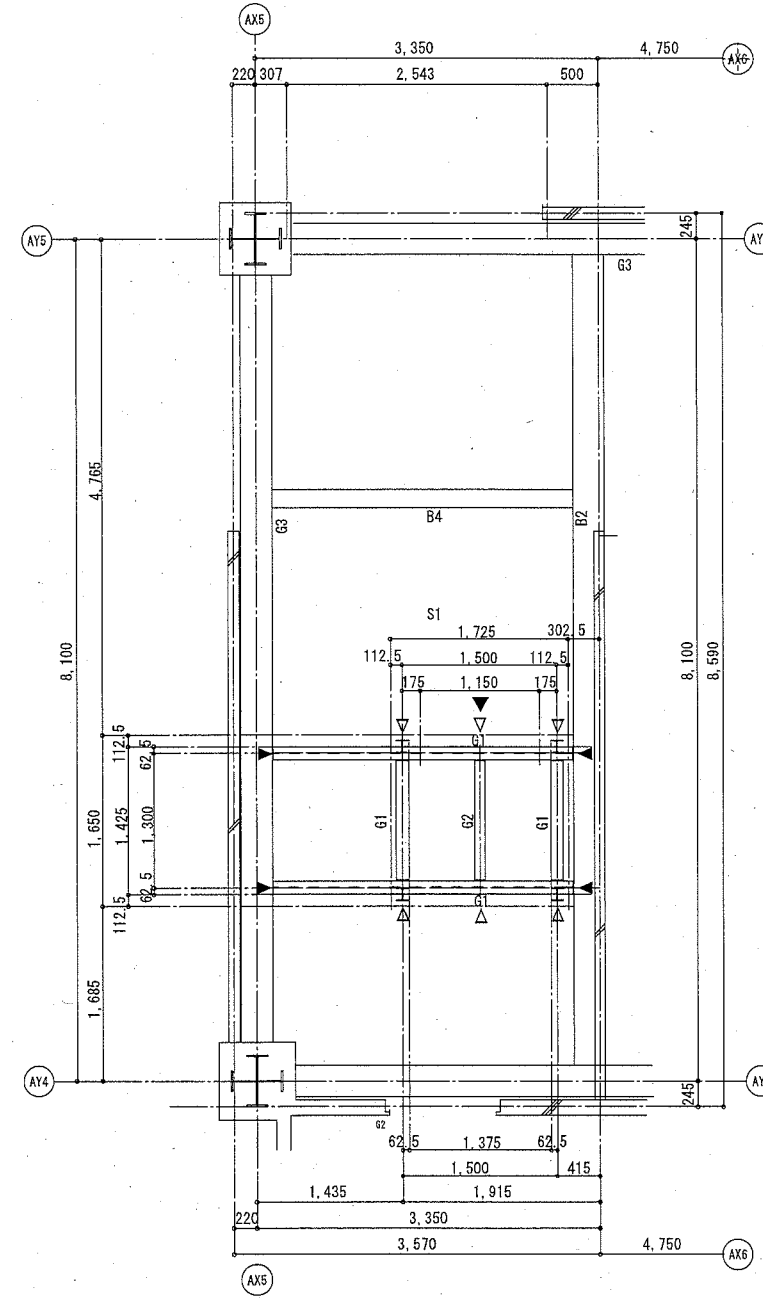
▲ 既存耐火被覆撤去後
・GPL取付後補助梁設置
耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

△ : 新設補助梁接合部



3階+2100 機械室床伏図 1/50

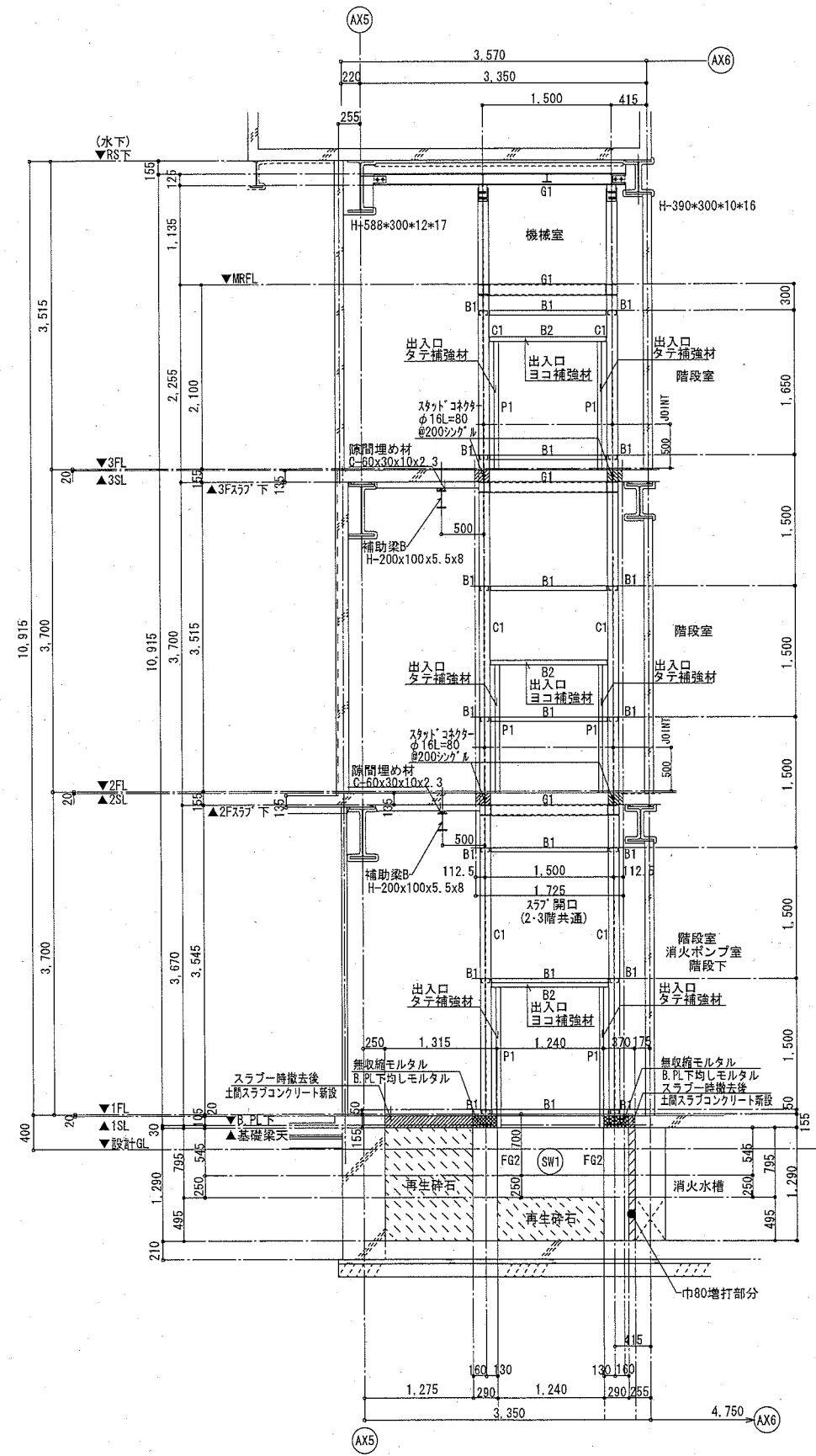
特記なき限り



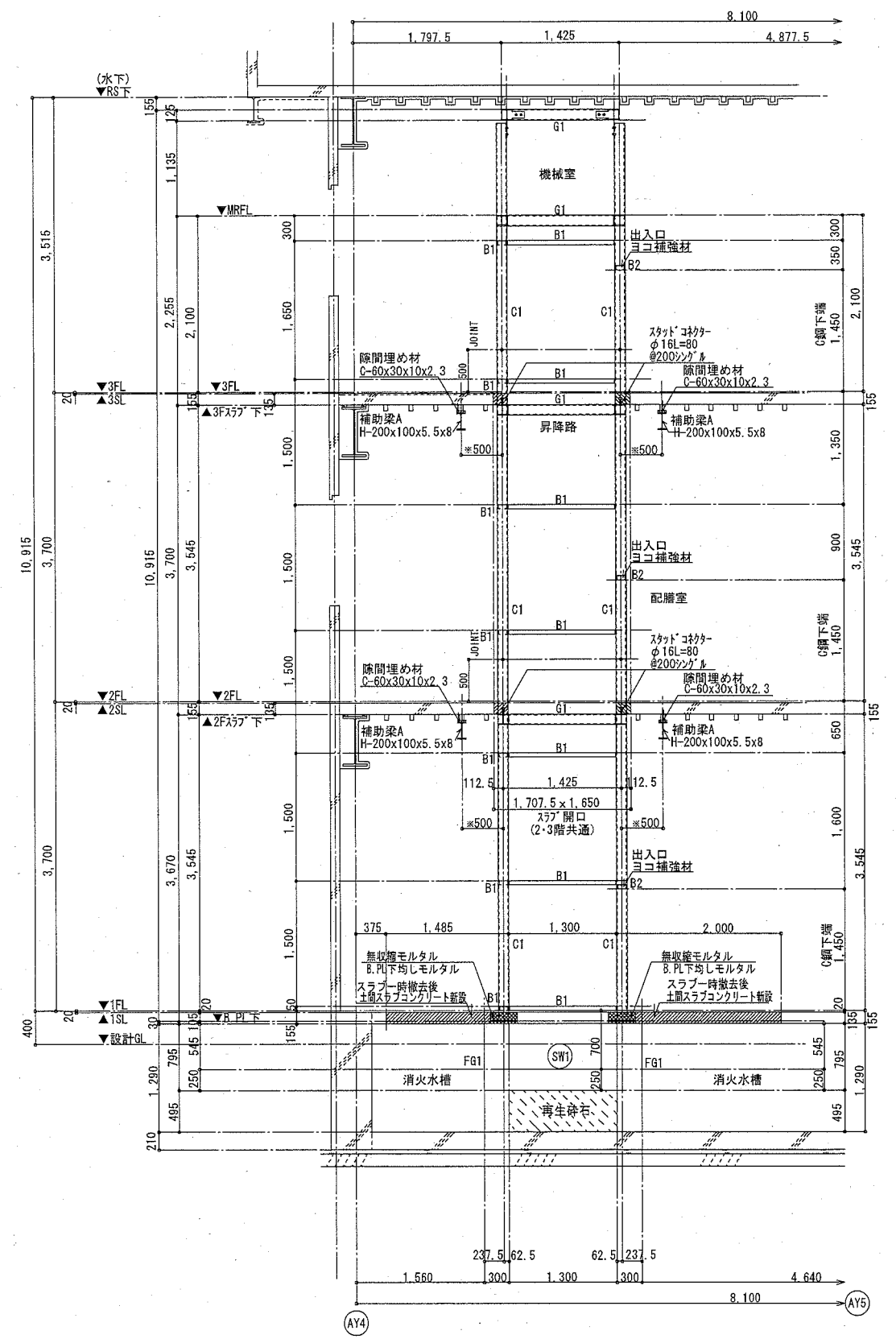
R階床伏図 1/50

特記なき限り

- 柱頭部と既存梁接続位置
- ▲ 既存耐火被覆撤去後
GPL取付後梁設置
耐火被覆撤去面専用補修材にて補修
- △ 新設梁接合部



X方向 昇降路断面詳細図 1/50



Y方向 昇降路断面詳細図 1/50

※500：補助梁AとC1柱心との寸法は500を基準とするが、現場のリブピッチにより700までを許容寸法とする。

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30

*特記なき限り、市止メ筋はD10-@1000とする
D16以下はSD295A D19以上SD346

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	300 x 1,290	290 x 1,290
上端筋	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	3-D19
あばら筋	□-D13-@200	□-D13-@200
腹筋	6-D13	6-D13

構造詳細図 鉄骨リスト 縮尺 1/30

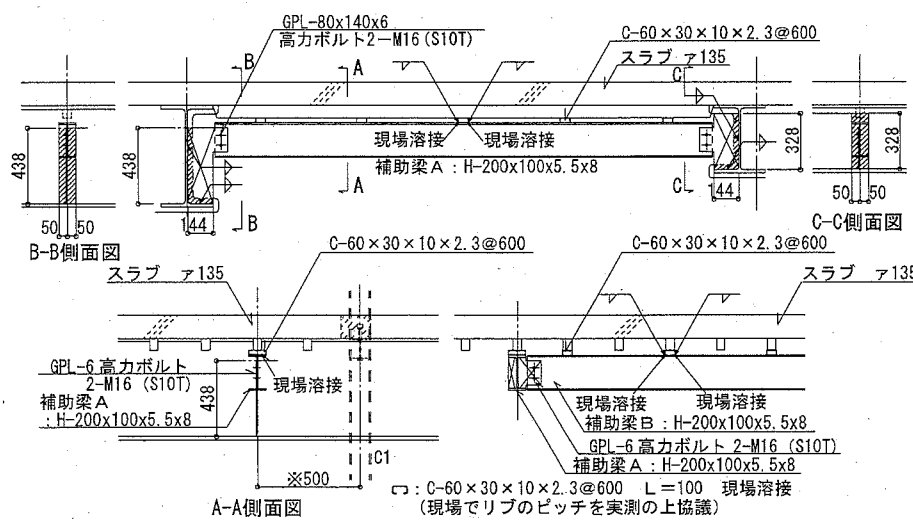
*特記なき限り
材質 SS400
使用ボルト 高力ボルト
アンカーボルト
あと施工アンカー (接着系アンカー筋) SS400

符号	C1	
位置	全断面	
全断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	<p>柱脚部 柱接合部 柱頭接合部</p> <p>PL-19x325x165 アンカーボルト L=800以上 フランク PL-9x180x125 高力ボルト 2-M16 (S10T) ウェブ 2PL-9x300x80 高力ボルト 2-M16 (S10T) 既存G3 H-588x300x12x20 既存B2 H-390x300x10x16</p>	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100x100x6x8
備考	<p>スタッドコネクター: φ16 L=80 @200シングル</p>	

構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30

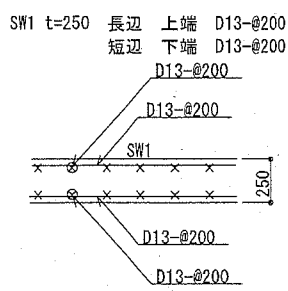
*特記なき限り
材質 SS400
使用ボルト 高力ボルト
普通ボルト
あと施工アンカー (接着系アンカー筋) SS400

記号	B1・B2	P1
位置	全断面	全断面
形状寸法		
鉄骨	B1: レール受け中間ビーム B2: 出入口ヨコ補強材	P1: 出入口タテ補強材
備考	<p>PL-9 H-125x125x6.5x9 C-100x50x20x3.2 PL-9 2-M12普通ボルト</p> <p>P1 柱頭接合部 (現場溶接) P1 柱脚接合部 (2階より上階) B2(出入口ヨコ補強材) C-100x50x20x3.2 P1(出入口タテ補強材) C-100x50x20x3.2 G1 H-125x125x6.5x9 GPL-6 2-M12 普通ボルト (工場溶接)</p> <p>1階出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー (金属拡張系)</p>	
あと施工アンカー仕様	<ol style="list-style-type: none"> 既存躯体への有効埋込み長さ l_e は、アンカー軸部の直径 d_a に応じて 8d_a 以上 (mm) (接着系アンカー筋) とする。 M16 (外径15mm) 埋込み長さ l_e (15x8) = 120mm 以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ l_e (19x8) = 152mm 以上 あと施工アンカー (接着系アンカー筋) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 d_a: 13mm 以上、22mm 以下 2. ピッチ p_a: 7.5d_a 以上、かつ 300mm 以下 3. ゲージ g_a: ダブル配置 5.5d_a 以上 4. へりあき c₁: 2.5d_a 以上 5. はしあき c₂: 5d_a 以上 	

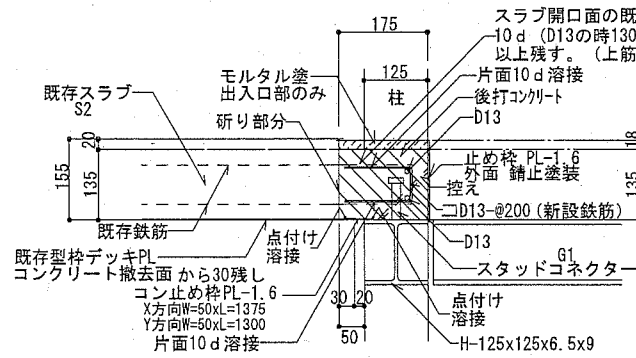


スラブ補助梁取付部 1/30
(スラブ解体前に設置のこと)

※500: 補助梁AとC1柱心との寸法は500を基準とするが、現場のリブピッチにより700までを許容寸法とする。
■: 既存耐火被覆RWt=30撤去
■: GPL取付後耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

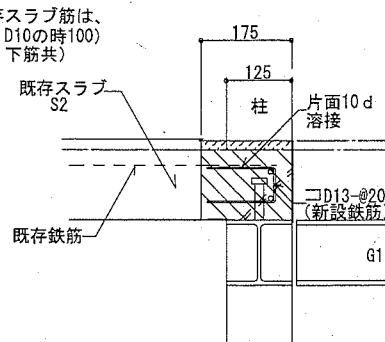


構造詳細図 SW1 1/30



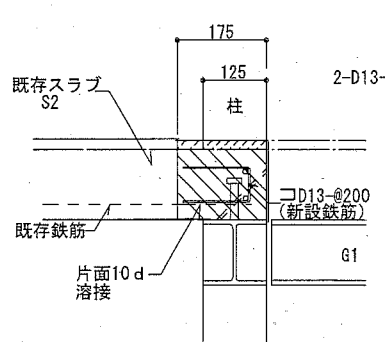
スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

※控えコ配筋は、既存配筋ピッチを優先とする。
※既存RCスラブ 上筋、下筋ある場合。



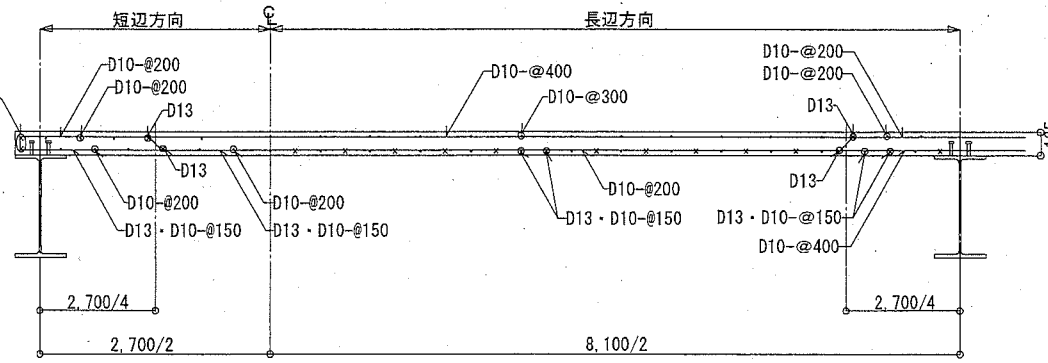
スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

※控えコ配筋は、既存配筋ピッチを優先とする。
※既存RCスラブ 上筋のみの場合。

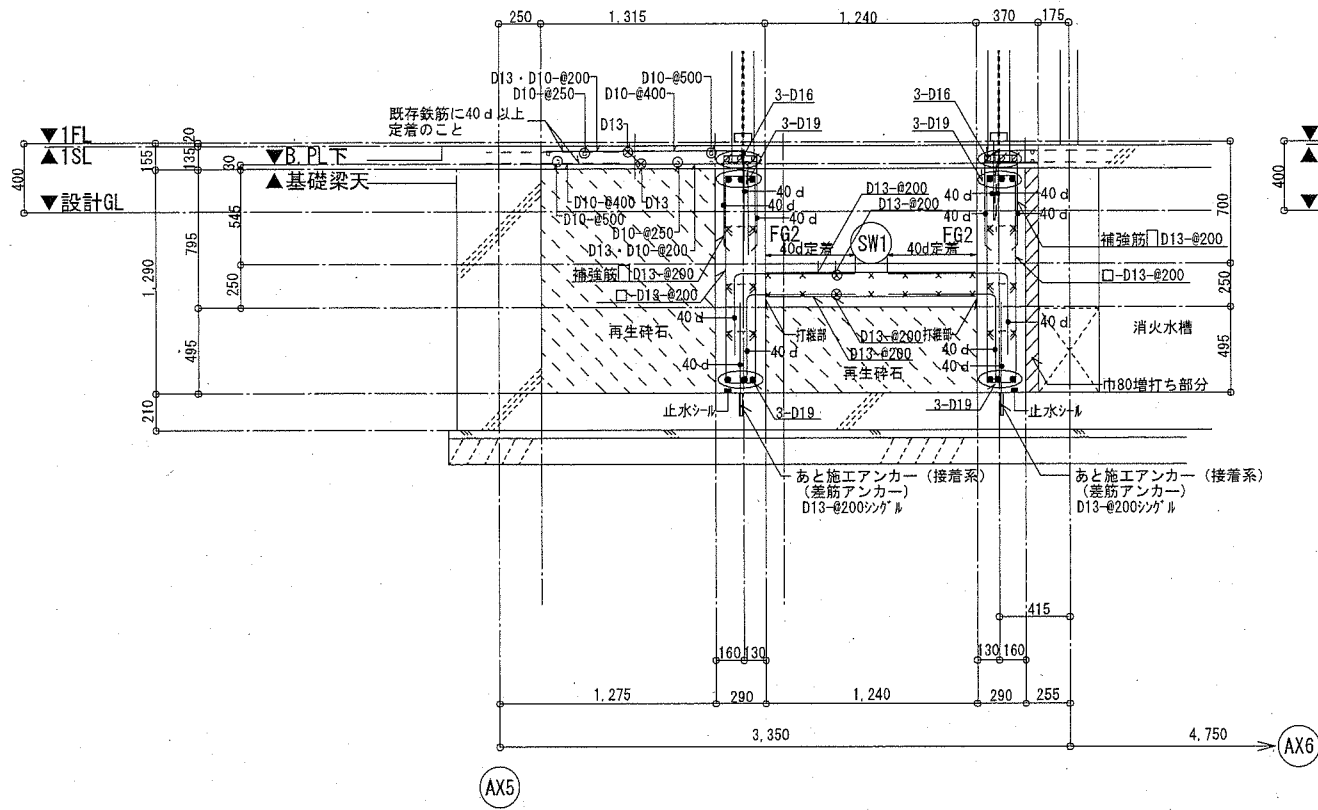


スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

※控えコ配筋は、既存配筋ピッチを優先とする。
※既存RCスラブ 下筋のみの場合。

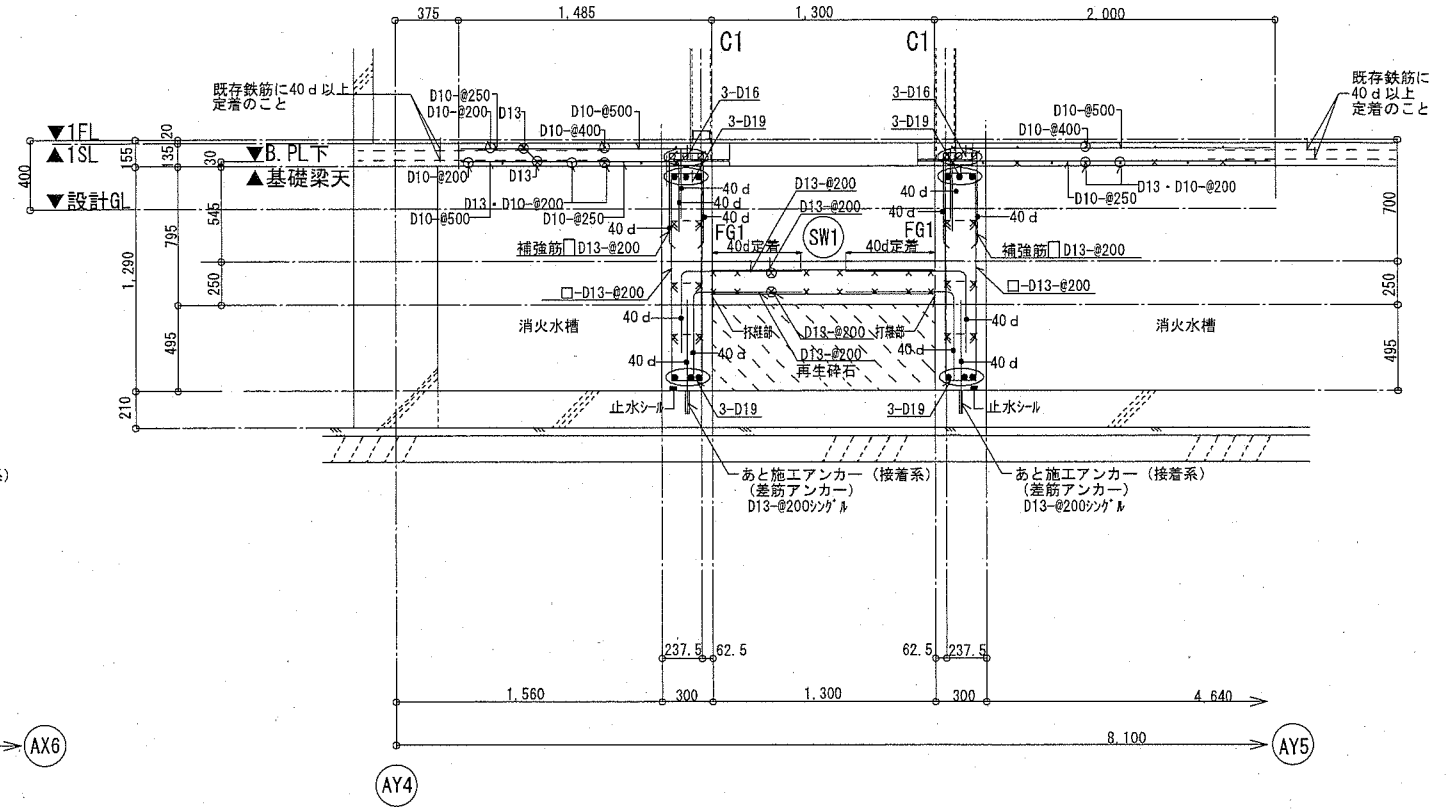


既存 S2スラブ配筋図 1/30



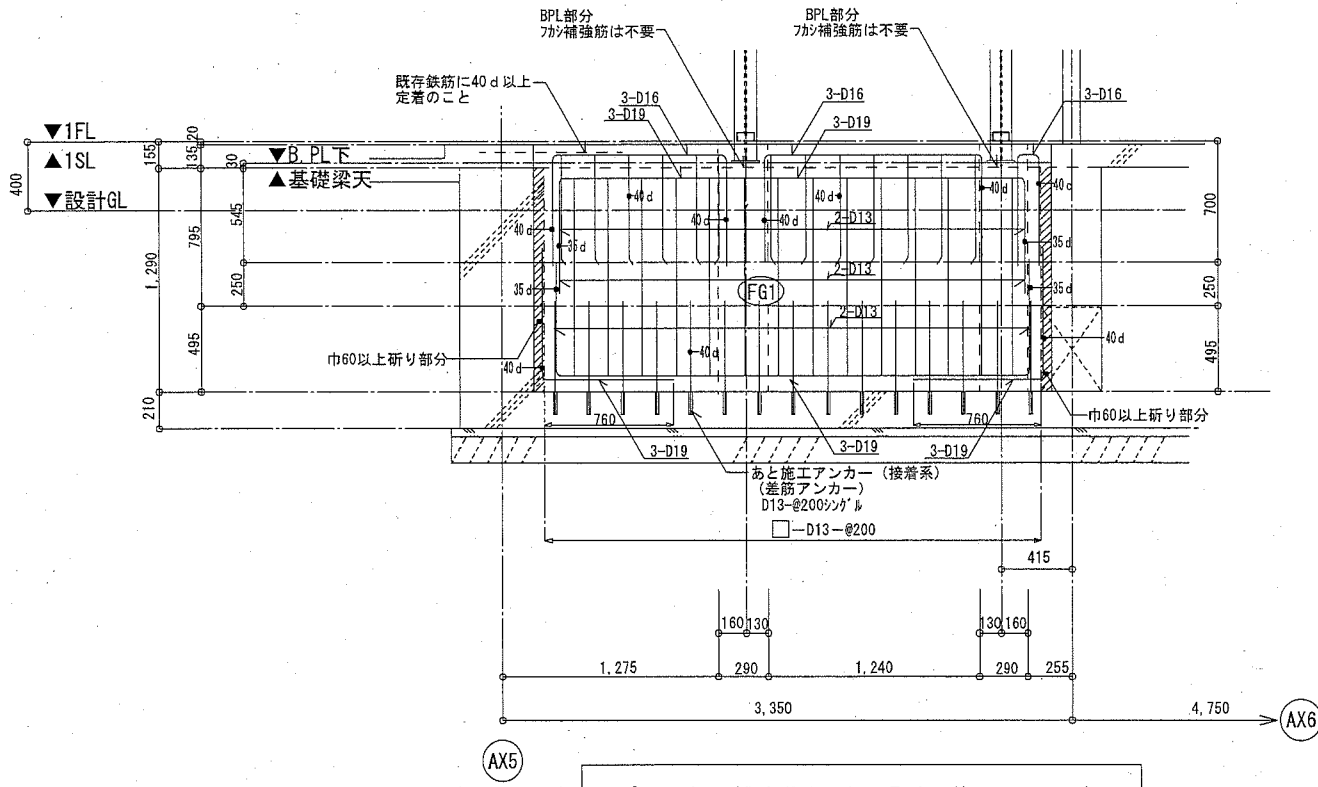
ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30

※土間スラブコンクリート配筋は、既存の配筋ピッチを優先とする。

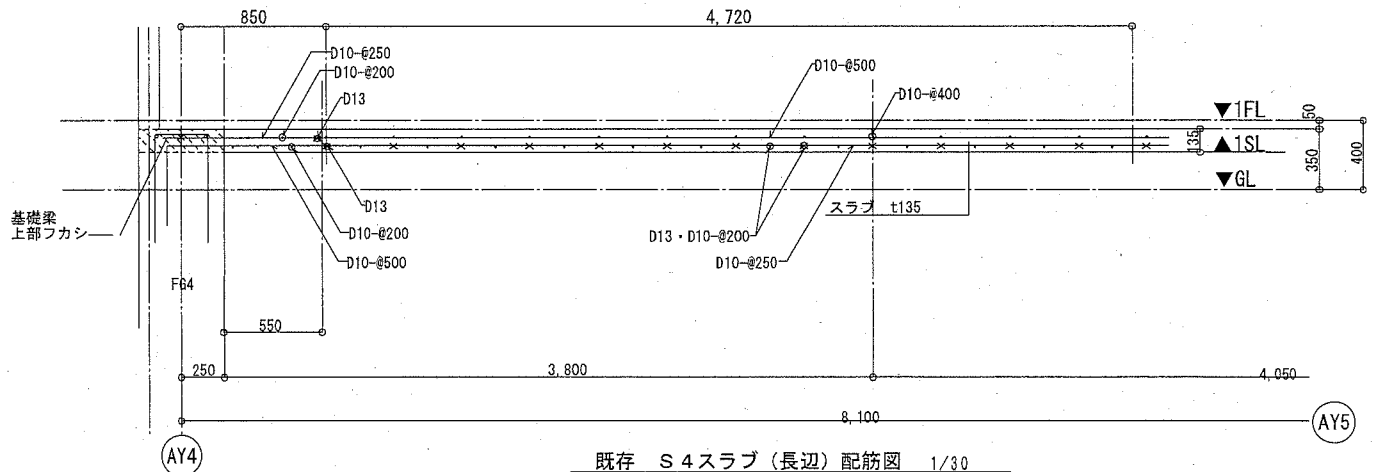


ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30

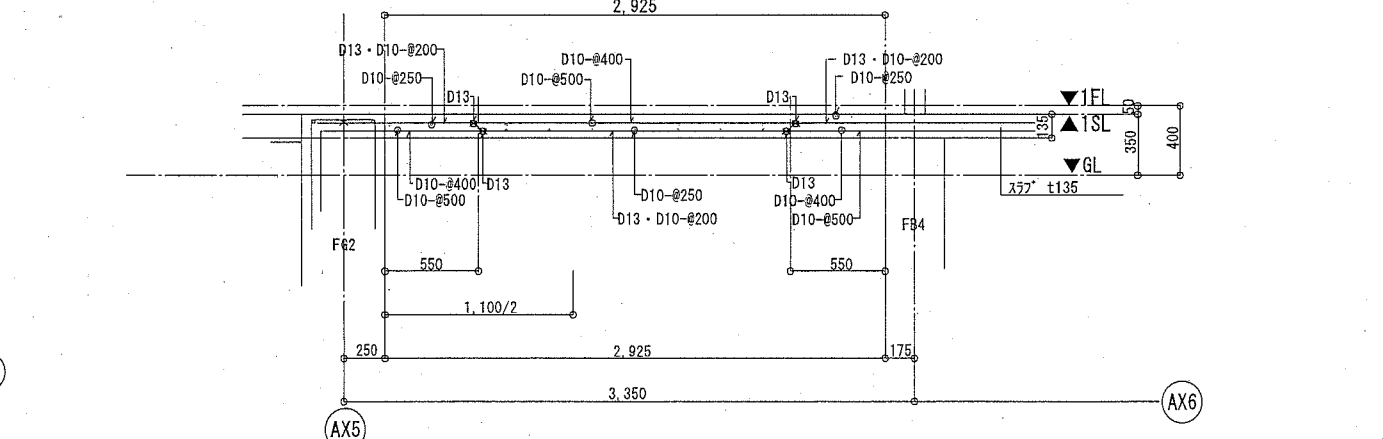
※土間スラブコンクリート配筋は、既存の配筋ピッチを優先とする。



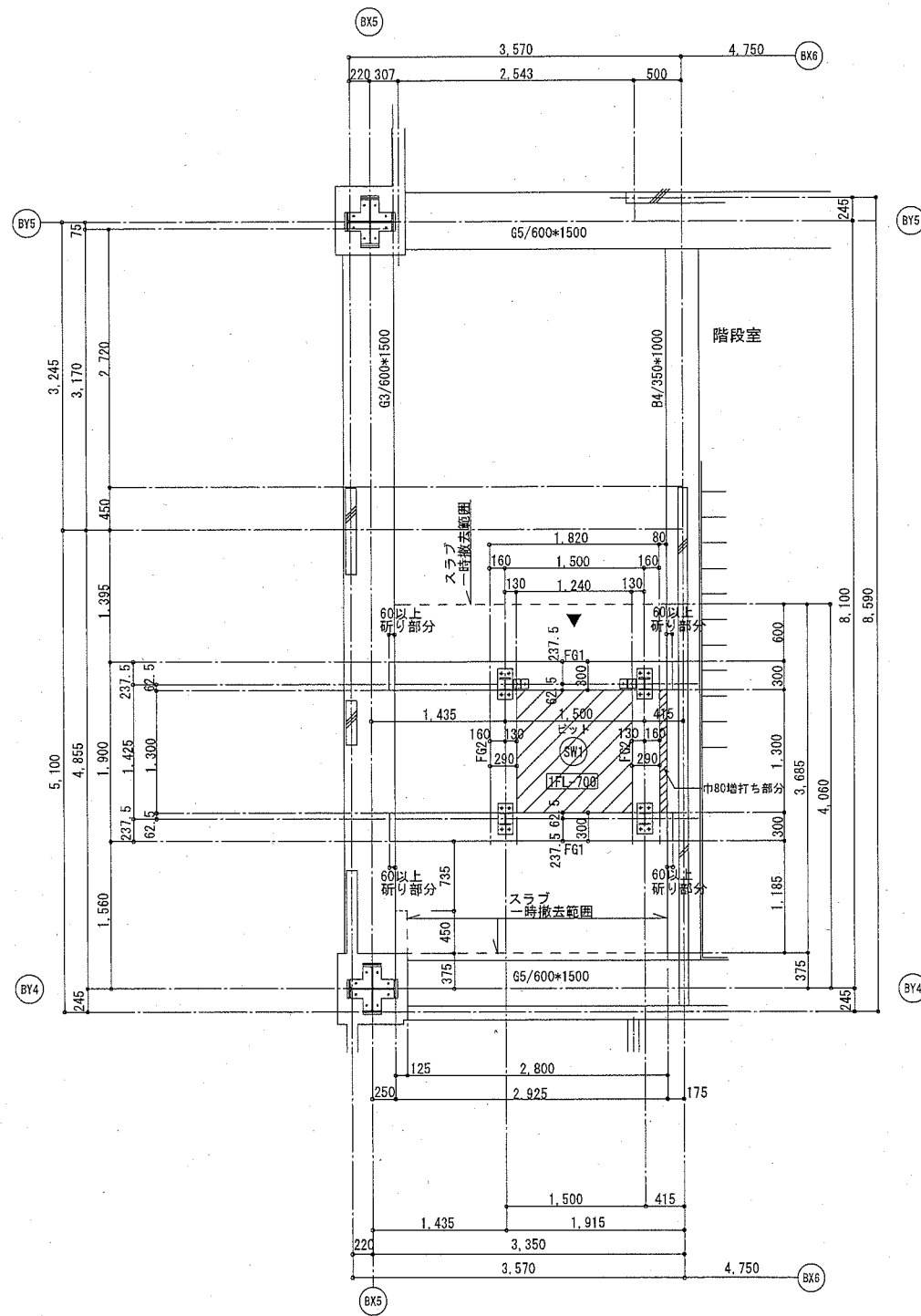
ピット部 補強梁 (FG1) Y通り配筋図 S=1/30



既存 S4スラブ (長辺) 配筋図 1/30

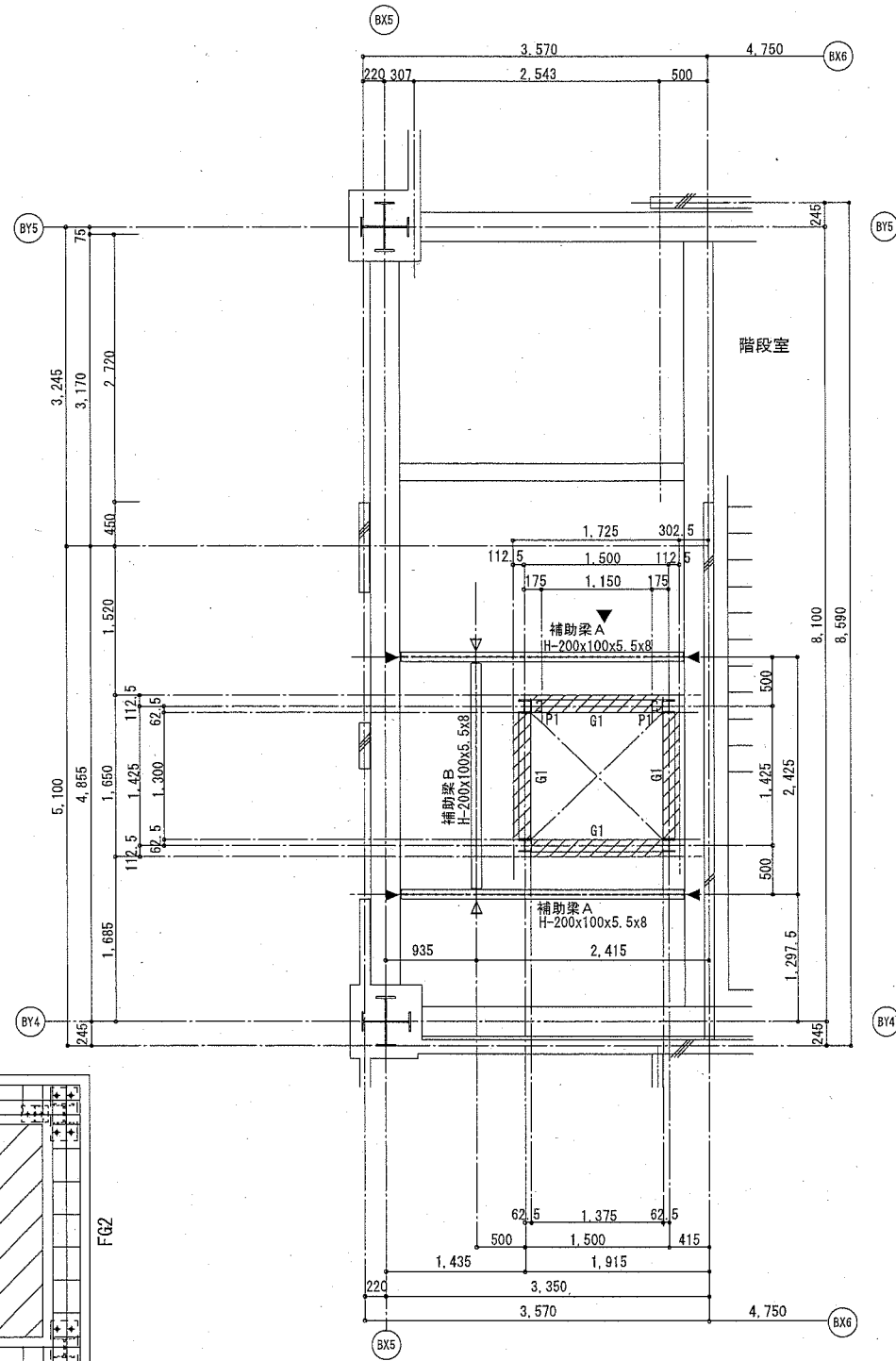
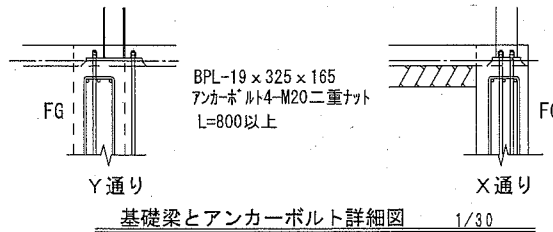
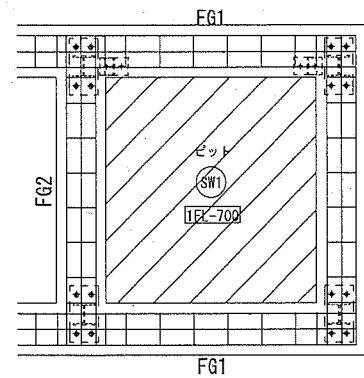


既存 S4スラブ (短辺) 配筋図 1/30



基礎、1階床伏図 1/50

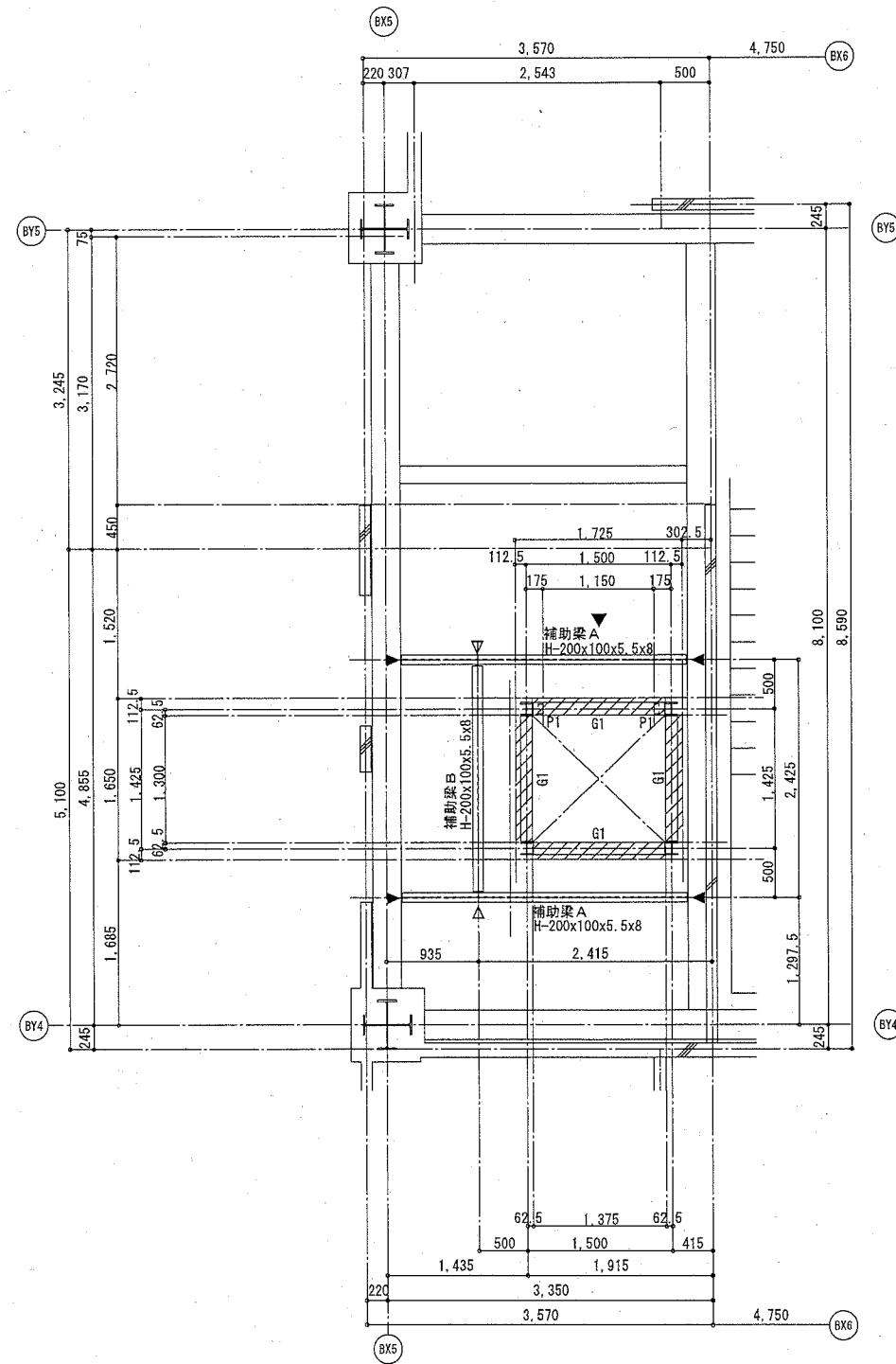
特記なき限り



2階床伏図 1/50

特記なき限り

- スラブ開口端部隙間埋め (コンクリート打設)
- 既存耐火被覆撤去後、GFL取付後補助梁設置、耐火被覆撤去面専用補修材にて補修
- △ : 新設補助梁接合部



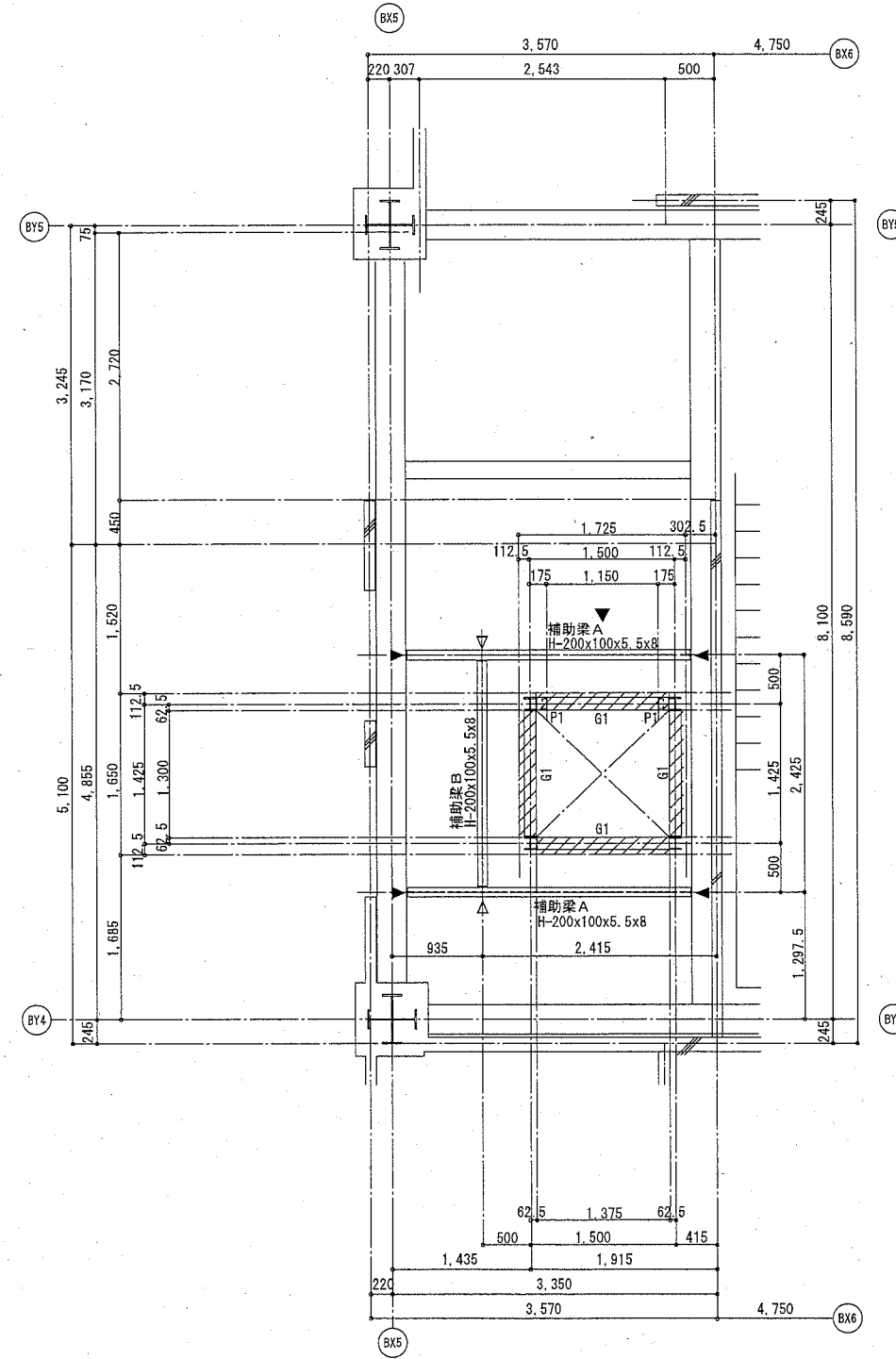
3階床伏図 1/50

特記なき限り

//// : スラブ開口端部隙間埋め
(コンクリート打設)

▲ 既存耐火被覆撤去後
GPL取付後補助梁設置
耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

△ : 新設補助梁接合部



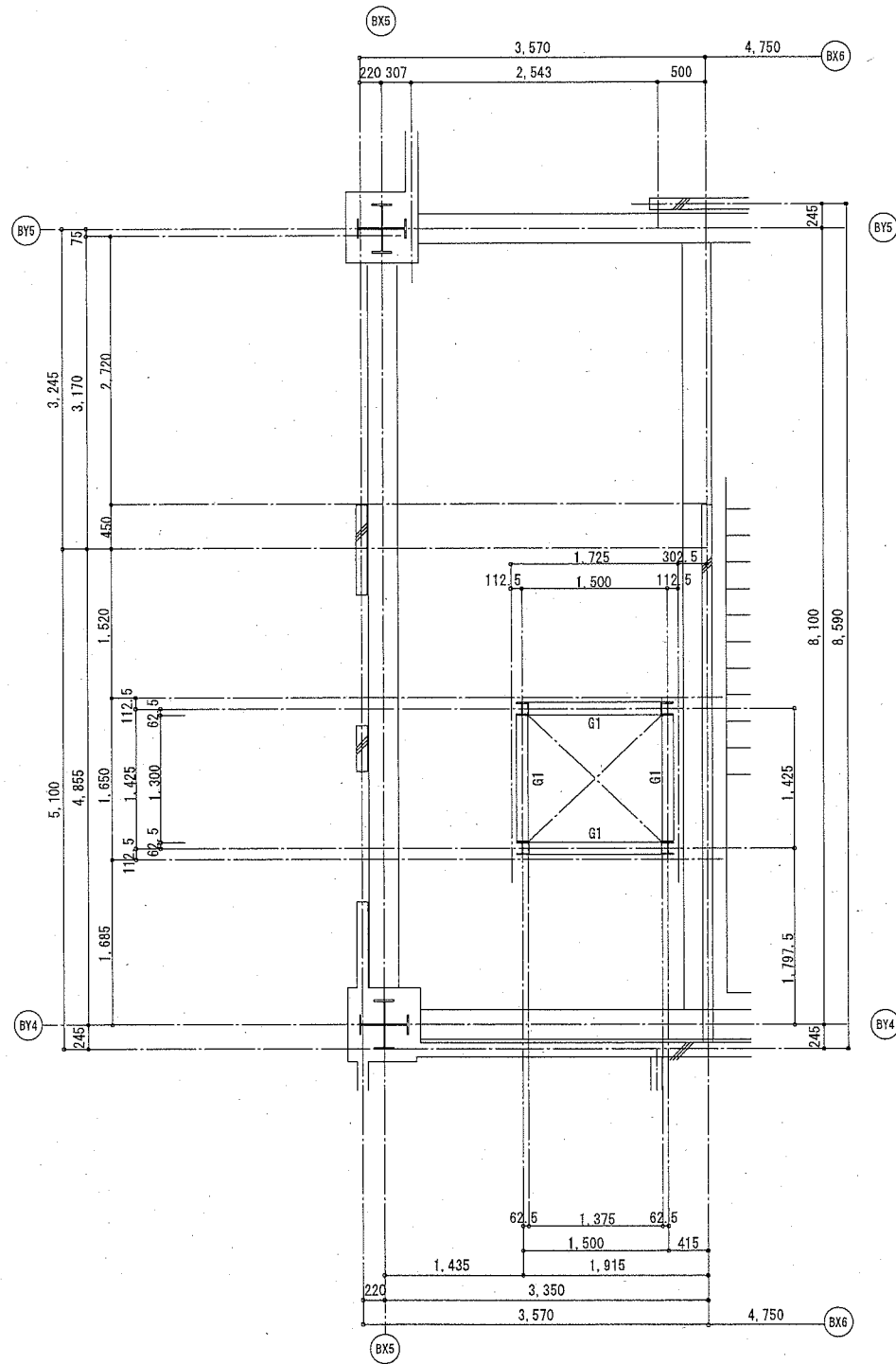
4階床伏図 1/50

特記なき限り

//// : スラブ開口端部隙間埋め
(コンクリート打設)

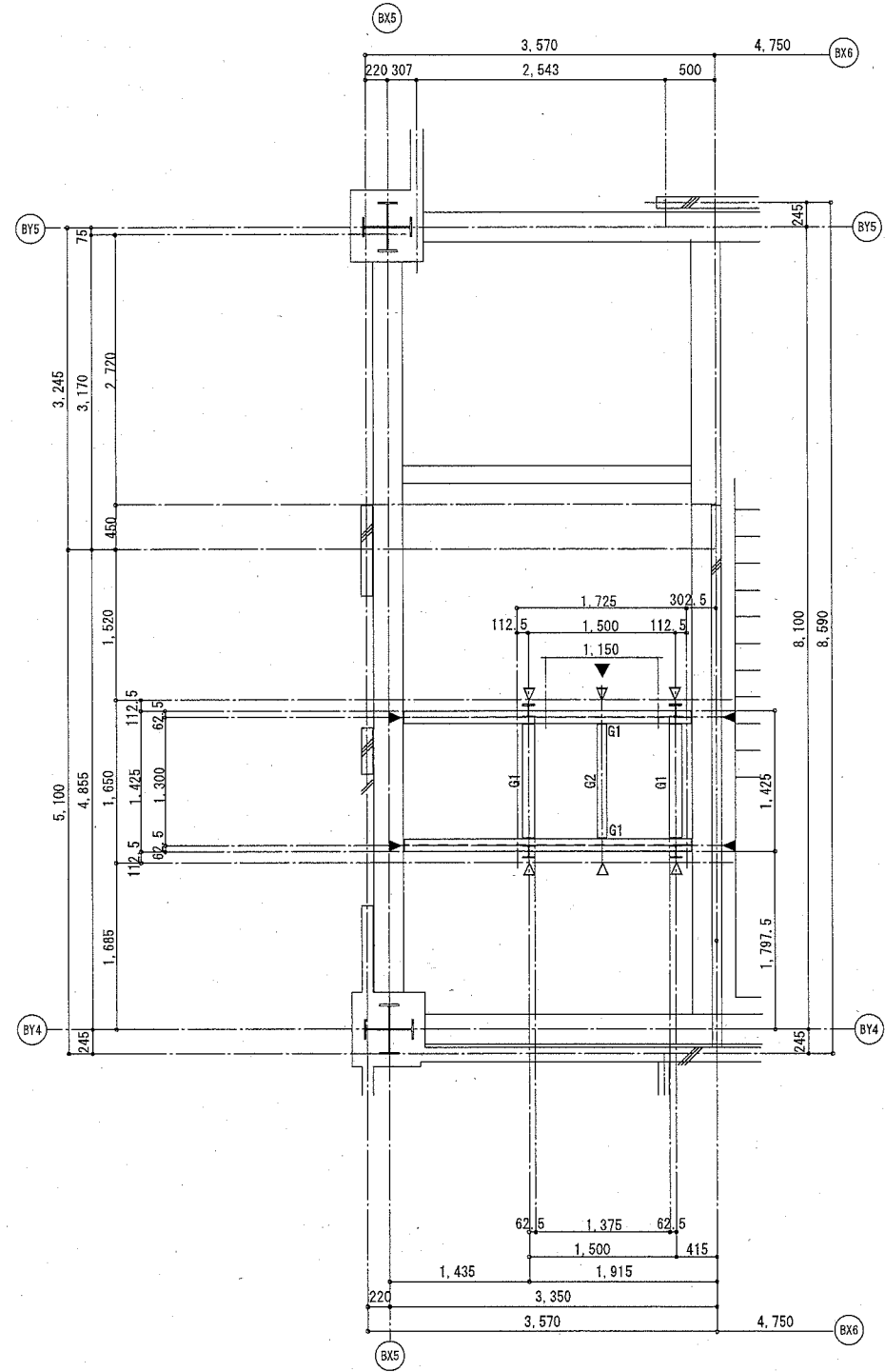
▲ 既存耐火被覆撤去後
GPL取付後補助梁設置
耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

△ : 新設補助梁接合部



4階+2100 機械室床伏図 1/50

特記なき限り

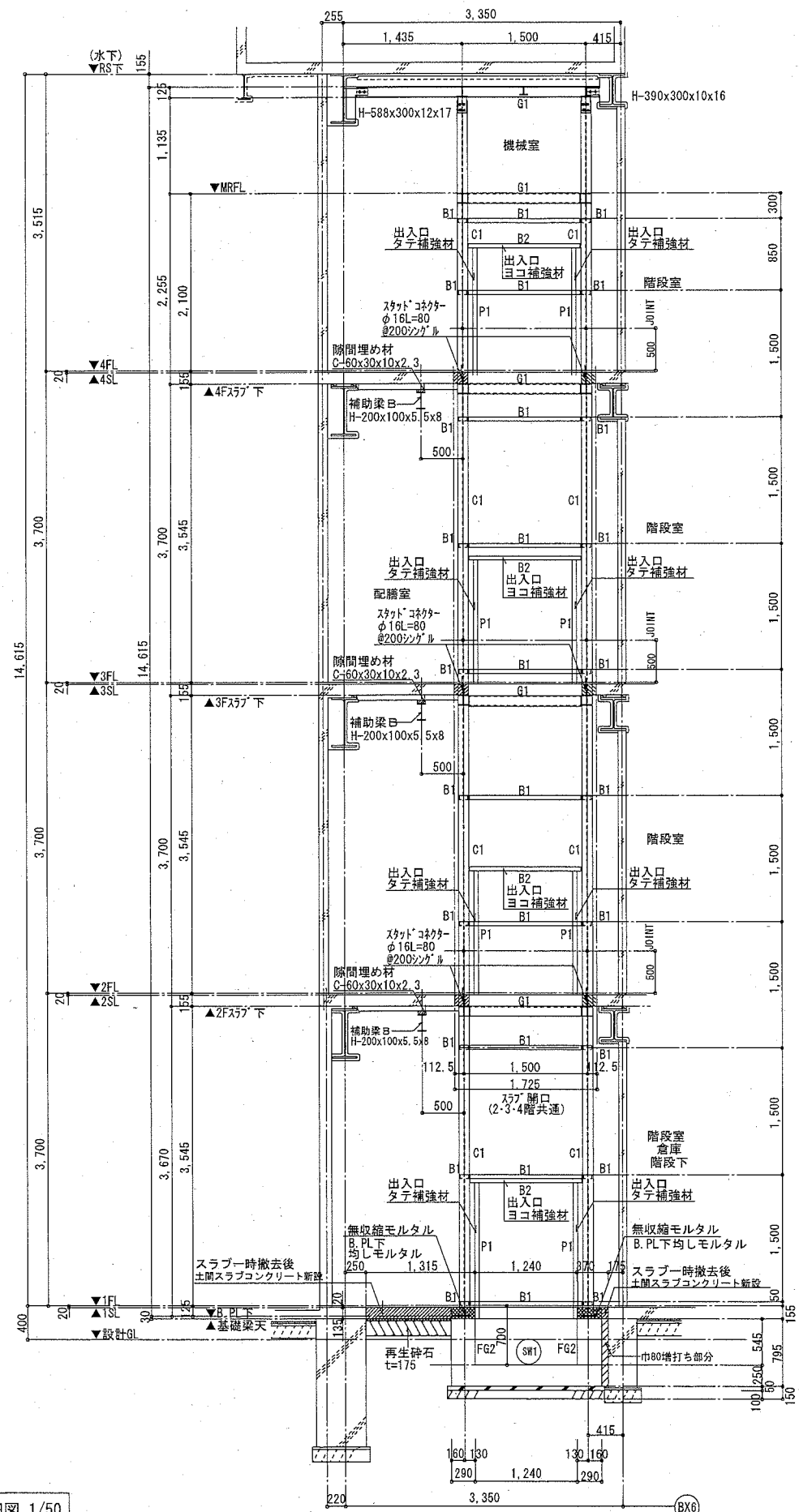


R階床伏図 1/50

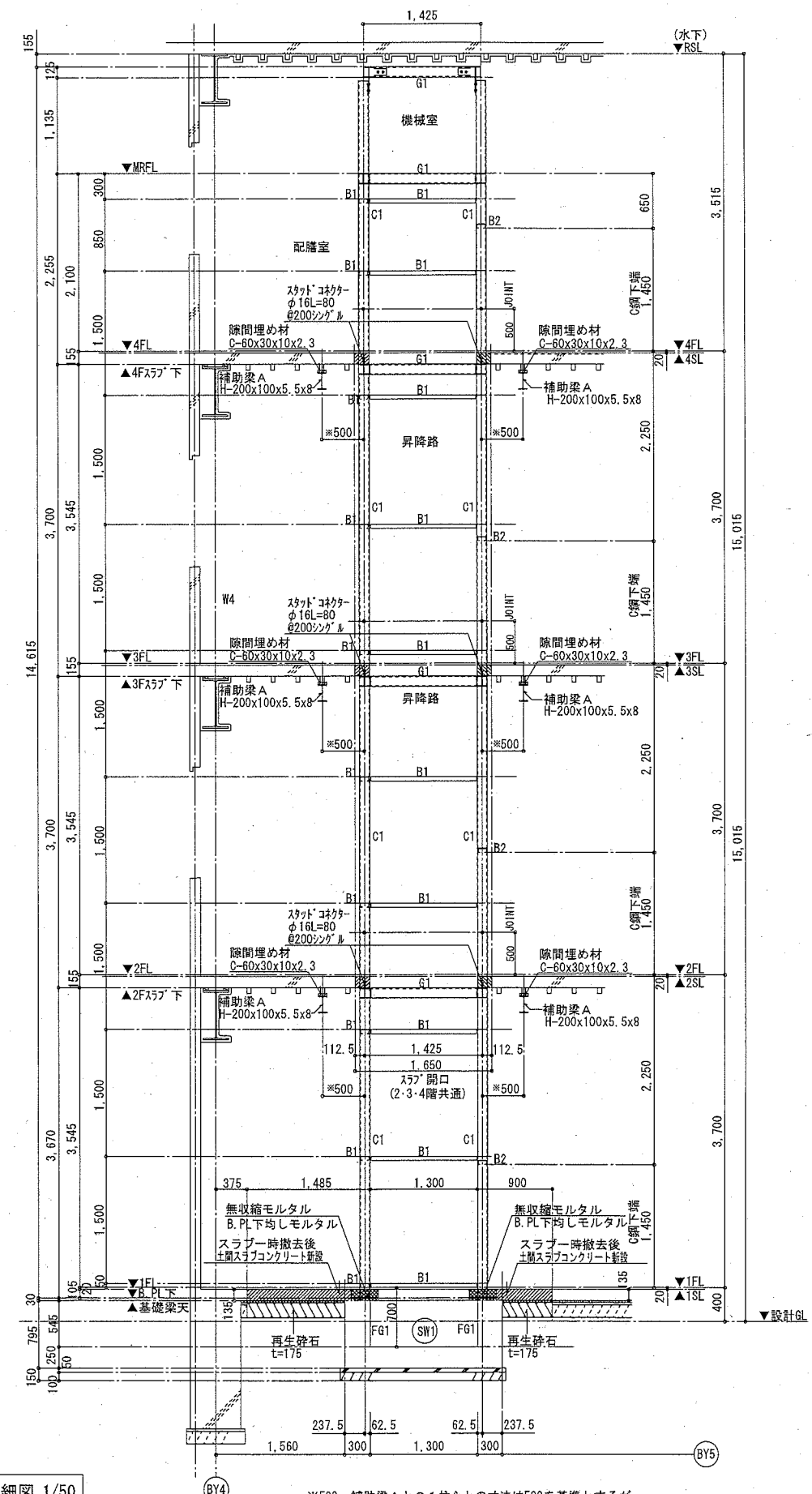
特記なき限り

柱頭部と既存梁接続位置
 ▲ 既存耐火被覆撤去後
 GPL取付後梁設置
 耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

△ : 新設梁接合部



X方向 昇降路断面詳細図 1/50



Y方向 昇降路断面詳細図 1/50

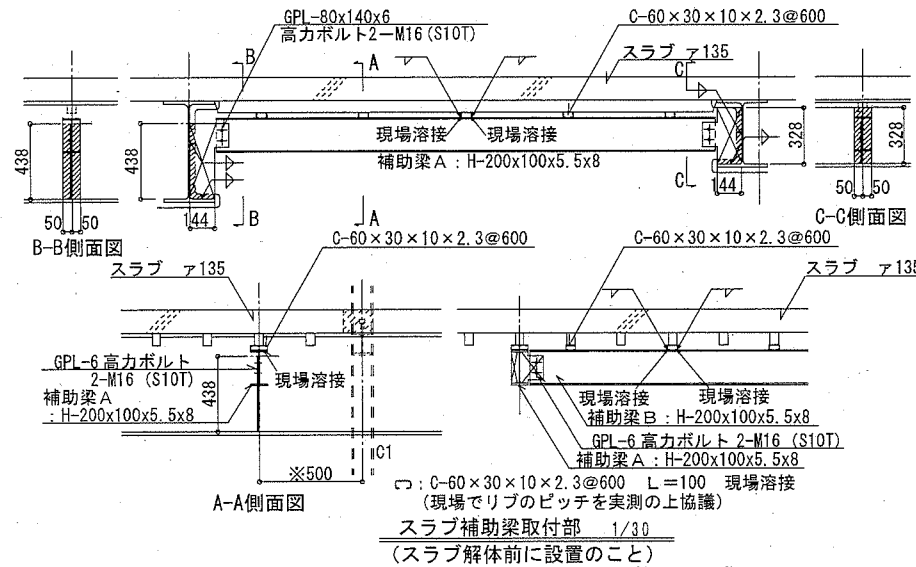
※500：補助梁AとC1柱心との寸法は500を基準とするが、現場のリピッチにより700までを許容寸法とする。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	B棟 断面図		
							No. S-15

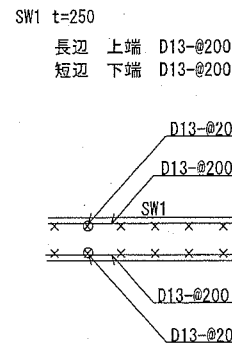
構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30

*特記なき限り、市止メ筋はD10-@1000とする
D16以下はSD295A D19以上SD346

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	300 x 795	290 x 795
上端筋	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	3-D19
あばら筋	□-D13-@200	□-D13-@200
腹筋	4-D13	4-D13



構造詳細図 SW1 1/30



構造詳細図 SW1 1/30

スラブ開口部隙間埋め詳細図 1/10

※控えコ配筋は、既存配筋ピッチを優先とする。
※既存RCスラブ 上筋、下筋ある場合。

構造詳細図 鉄骨リスト 縮尺 1/30

*特記なき限り
材質 SS400
使用ボルト 高力ボルト
アンカーボルト
あと施工アンカー (接着系アンカー筋) SS400

符号	C1	G1	G2
位置	全断面	全断面	全断面
全断面			
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
備考			
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
備考	柱材質 SS400 BPL-19x325x165 アンカーボルト 4-M20二重ナット L=800以上 フランジ PL-9x180x125 高力ボルト 2-M16(S10T) ウェブ 2PL-9x300x80 高力ボルト 2-M16(S10T) 既存G3 H-588x300x12x20 既存G3 H-390x300x10x16 既存B2 H-390x300x10x16 PL-9 高力ボルト 2-M16(S10T) PL-9 高力ボルト 4-M16(S10T) PL-9 高力ボルト 2-M16(S10T) ■: 既存耐火被覆RWt=30撤去 □: GPL取付後耐火被覆撤去面専用補修材にて補修	スタッドコネクタ: φ16 L=80 @200シングル	■: 既存耐火被覆RWt=30撤去 □: GPL取付後耐火被覆撤去面専用補修材にて補修

スラブ開口部隙間埋め詳細図 1/10

※控えコ配筋は、既存配筋ピッチを優先とする。
※既存RCスラブ 上筋のみの場合。

スラブ開口部隙間埋め詳細図 1/10

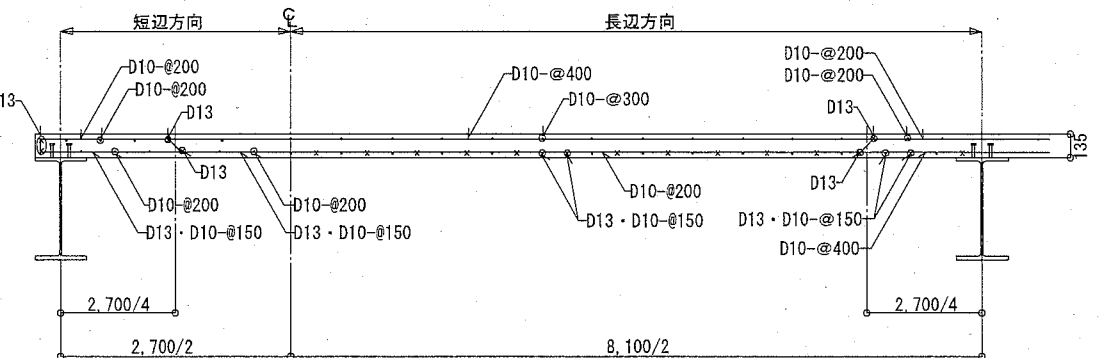
※控えコ配筋は、既存配筋ピッチを優先とする。
※既存RCスラブ 下筋のみの場合。

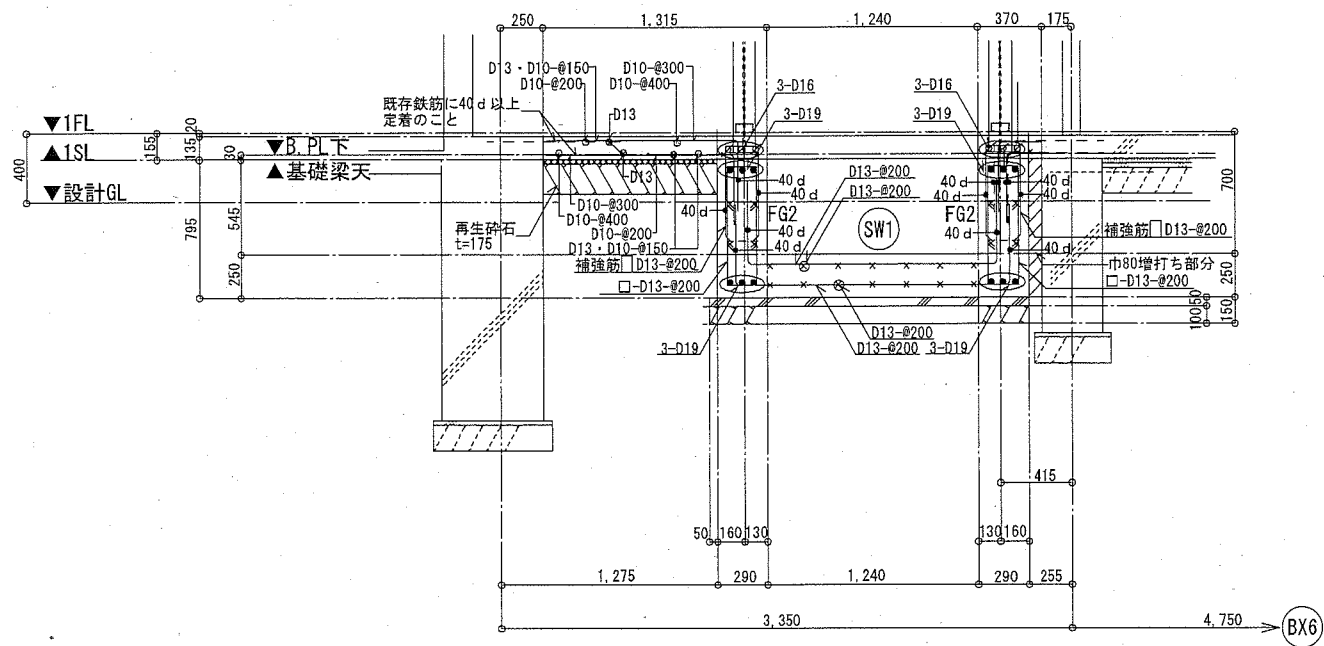
構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30

*特記なき限り
材質 SS400
使用ボルト 高力ボルト
普通ボルト
あと施工アンカー (接着系アンカー筋) SS400

記号	B1・B2	P1
位置	全断面	全断面
形状寸法		
鉄骨	B1: レール受け中間ビーム B2: 出入口ヨコ補強材 C-100 x 50 x 20 x 3.2	P1: 出入口タテ補強材 C-100 x 50 x 20 x 3.2
備考	PL-9 H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 PL-9 2-M12普通ボルト	P1柱頭接合部 (現場溶接) B2(出入口ヨコ補強材) C-100x50x20x3.2 P1柱脚接合部 (2階より上階) P1(出入口タテ補強材) C-100x50x20x3.2 GPL-6 2-M12普通ボルト (工場溶接) P1(出入口タテ補強材) C-100x50x20x3.2 GPL-6 2-M16 あと施工アンカー GPL-6 2-M12普通ボルト H-125x125x6.5x9
あと施工アンカー仕様		
備考	1) 既存躯体への有効埋込み長さ l e は、アンカー軸部の直径 d a に応じて 8 d a 以上 (mm) (接着系アンカー筋) とする。 M16 (外径15mm) 埋込み長さ l e (15x8) =120mm以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ l e (19x8) =152mm以上 2) あと施工アンカー (接着系アンカー筋) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 d a : 13mm以上、22mm以下 2. ピッチ p a : 7.5 d a 以上、かつ300mm以下 3. ゲージ g a : ダブル配置5.5 d a 以上 4. ヘリあき c 1 : 2.5 d a 以上 5. はしあき c 2 : 5 d a 以上	

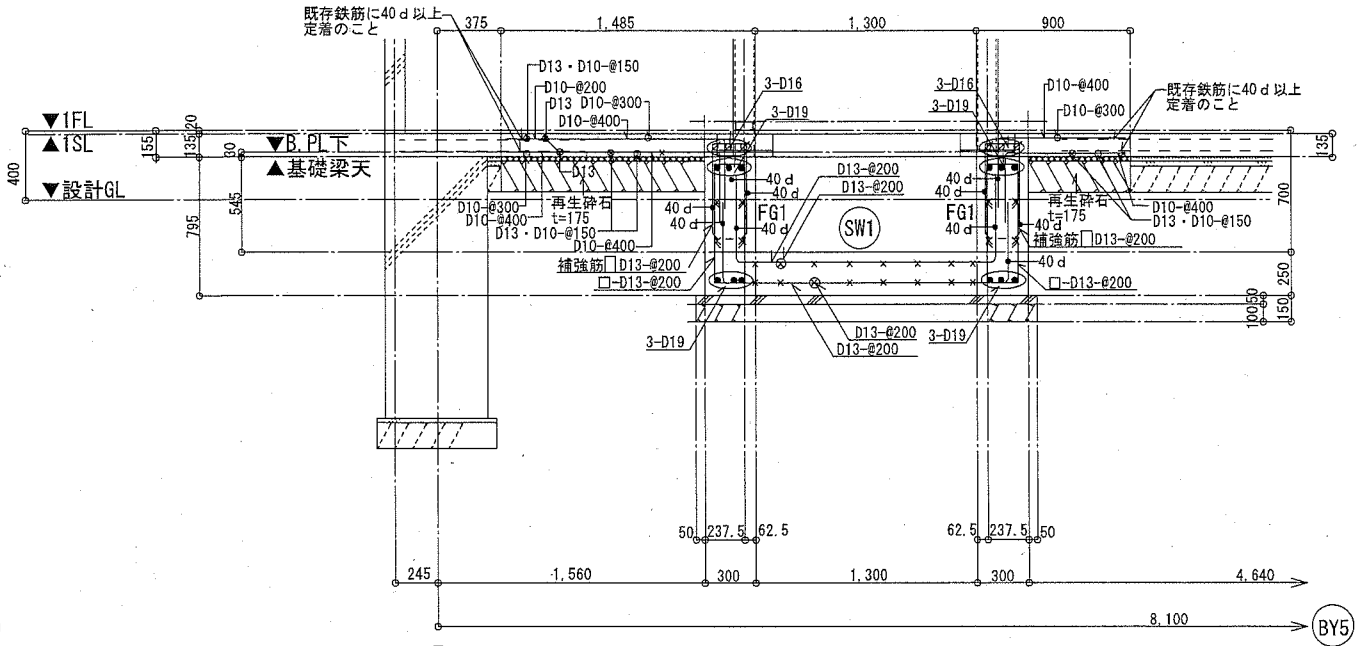
既存 S2スラブ配筋図 1/30





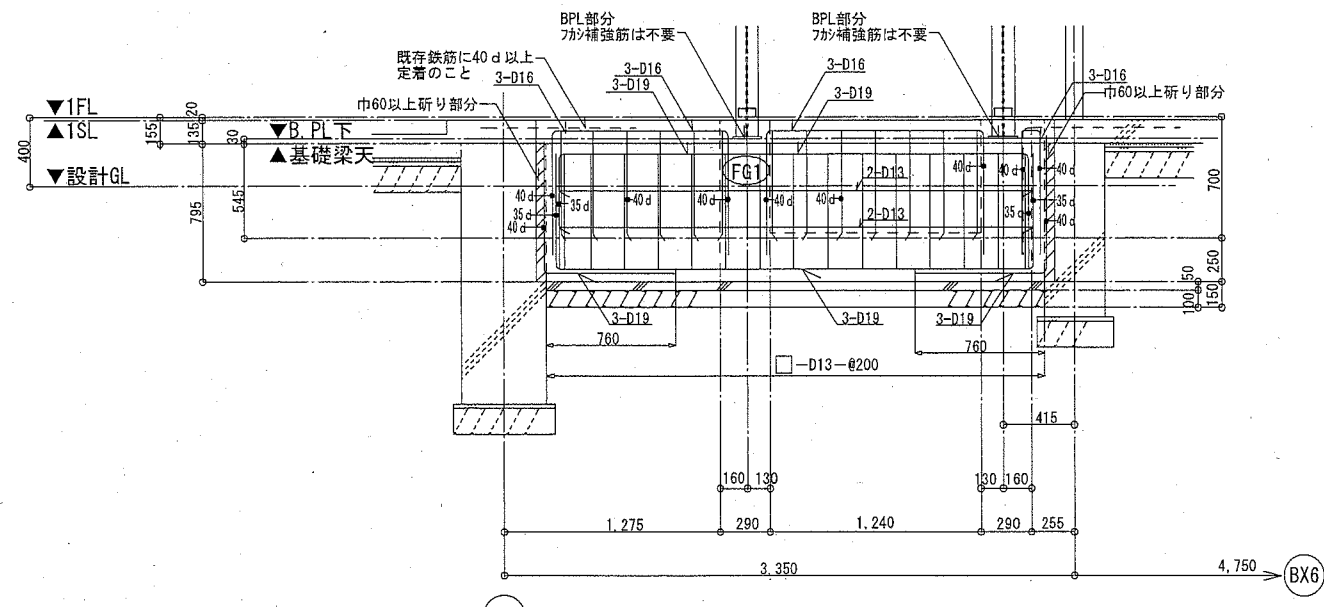
ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30

※土間スラブコンクリート配筋は、既存の配筋ピッチを優先とする。

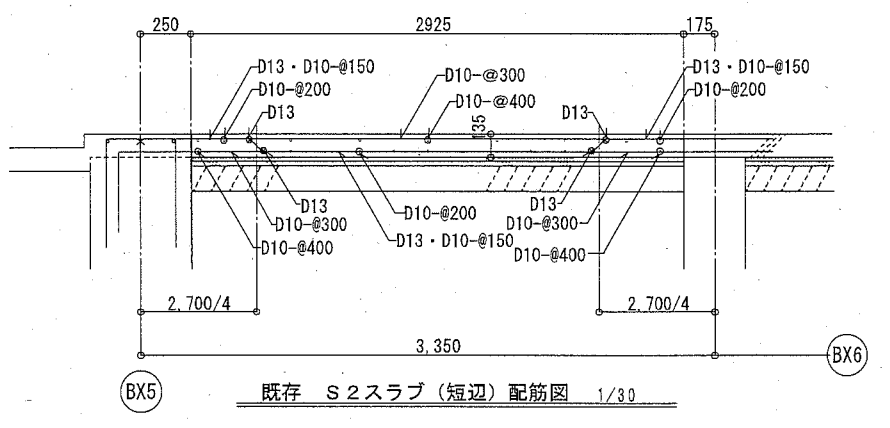


ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30

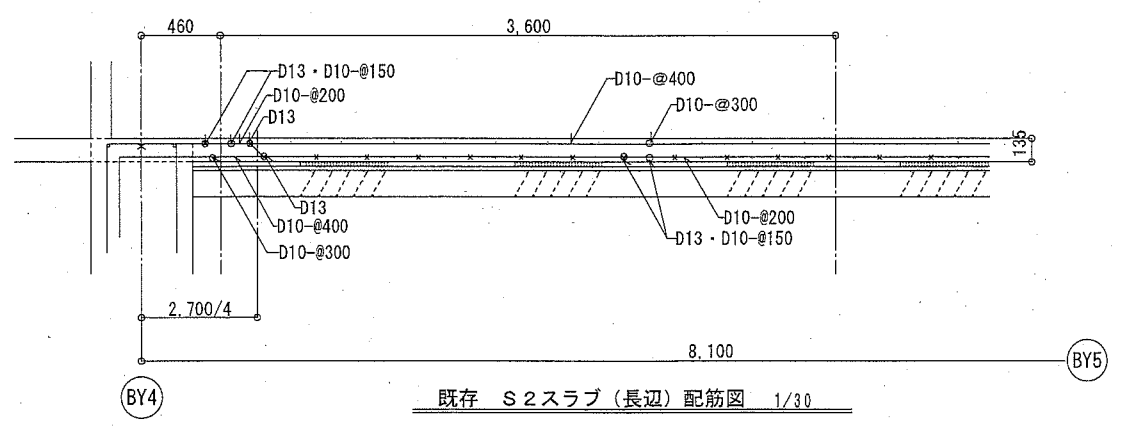
※土間スラブコンクリート配筋は、既存の配筋ピッチを優先とする。



ピット部 補強梁 (FG1) Y通り配筋図 S=1/30

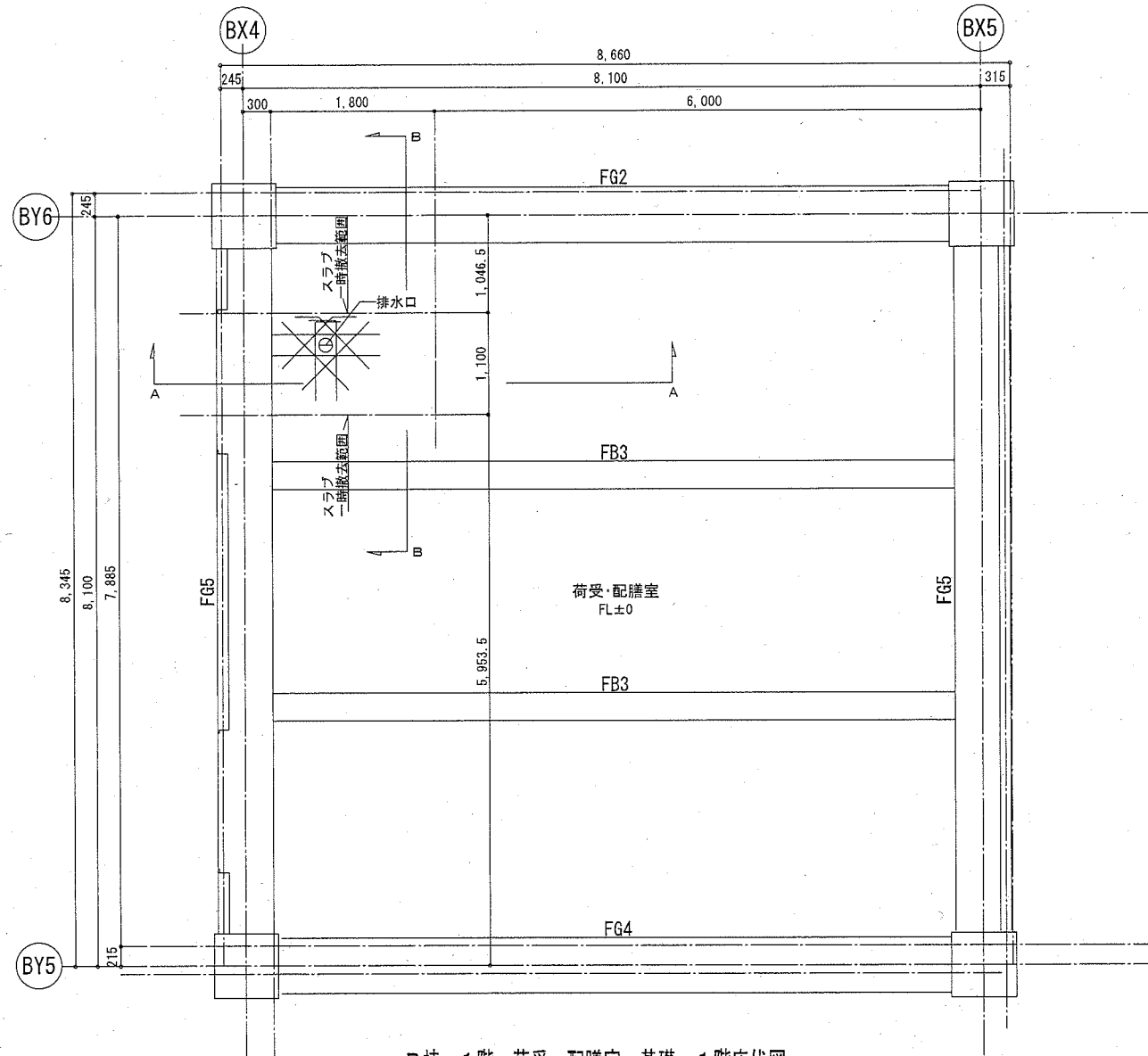


既存 S2スラブ (短辺) 配筋図 1/30

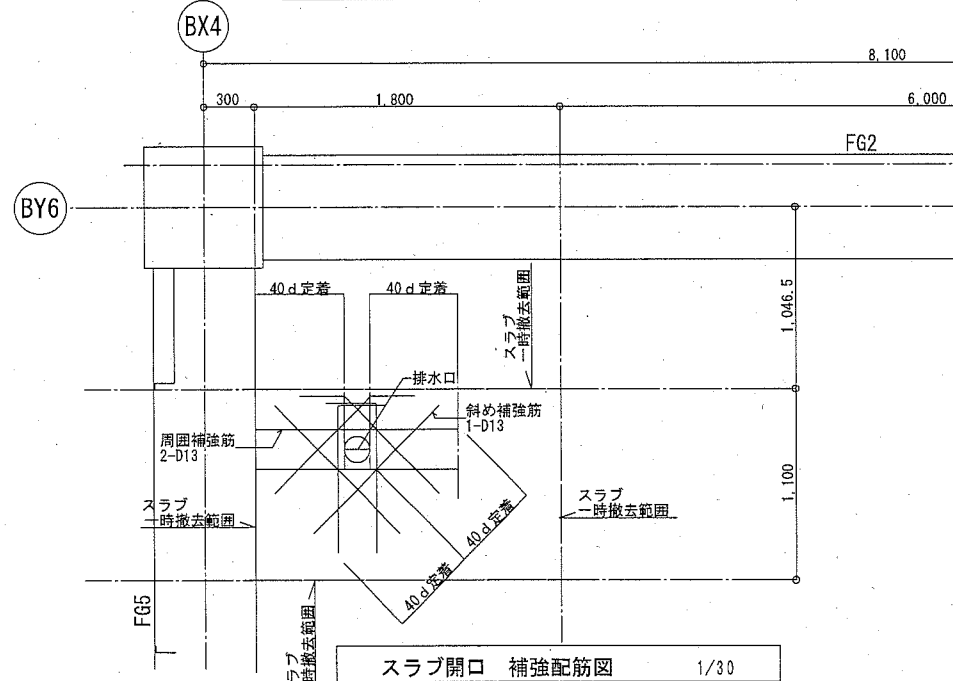


既存 S2スラブ (長辺) 配筋図 1/30

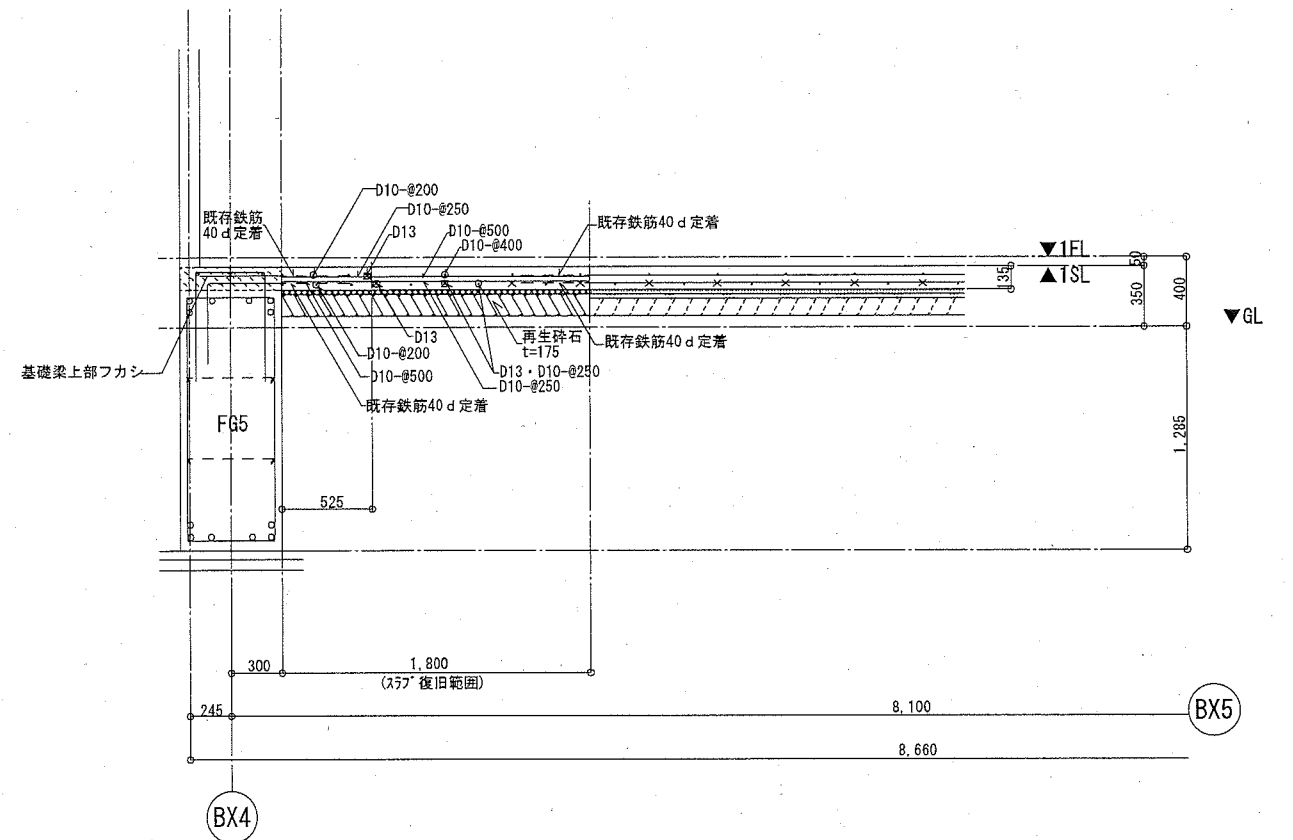
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/30
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	日棟 基礎配筋図		S-17



B棟 1階 荷受・配膳室 基礎、1階床伏図 1/50

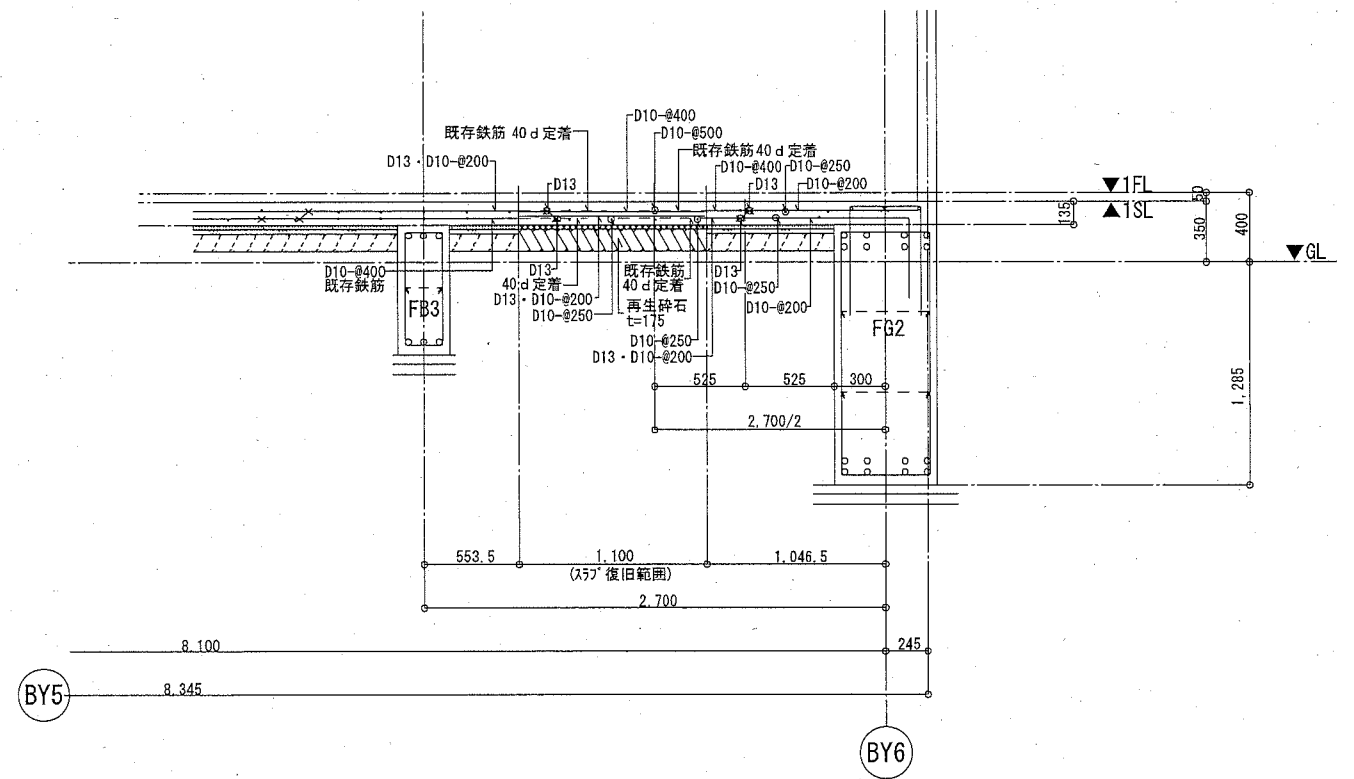


スラブ開口 補強配筋図 1/30



A-A スラブ 復旧 配筋図 1/30

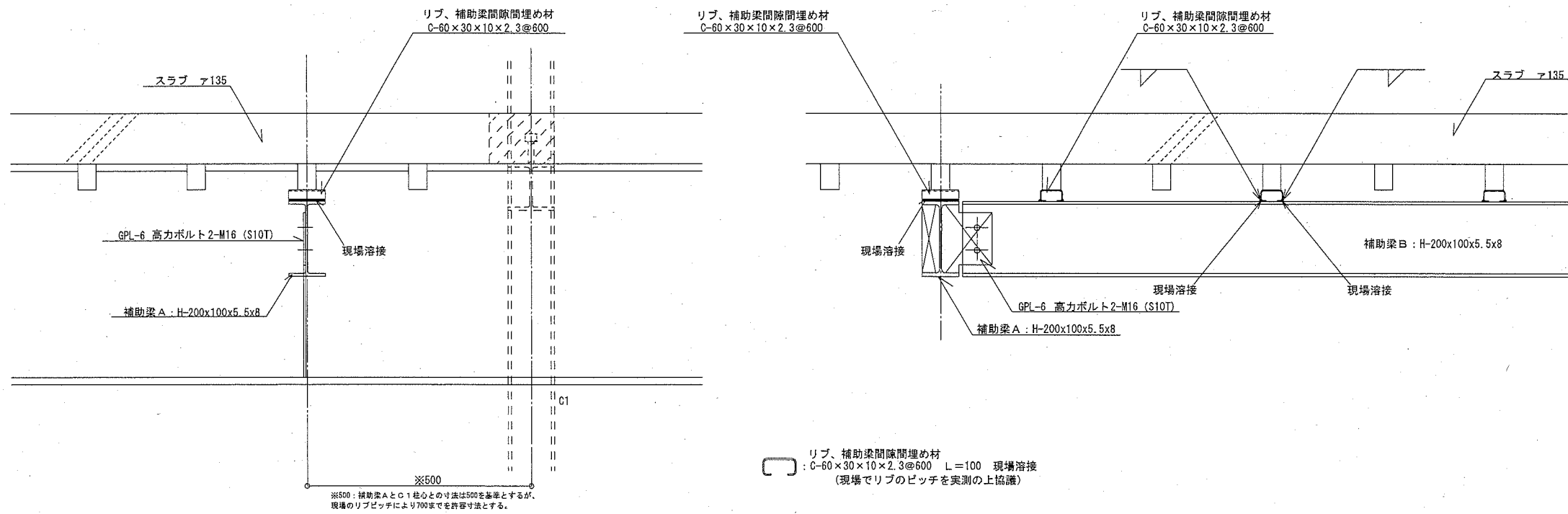
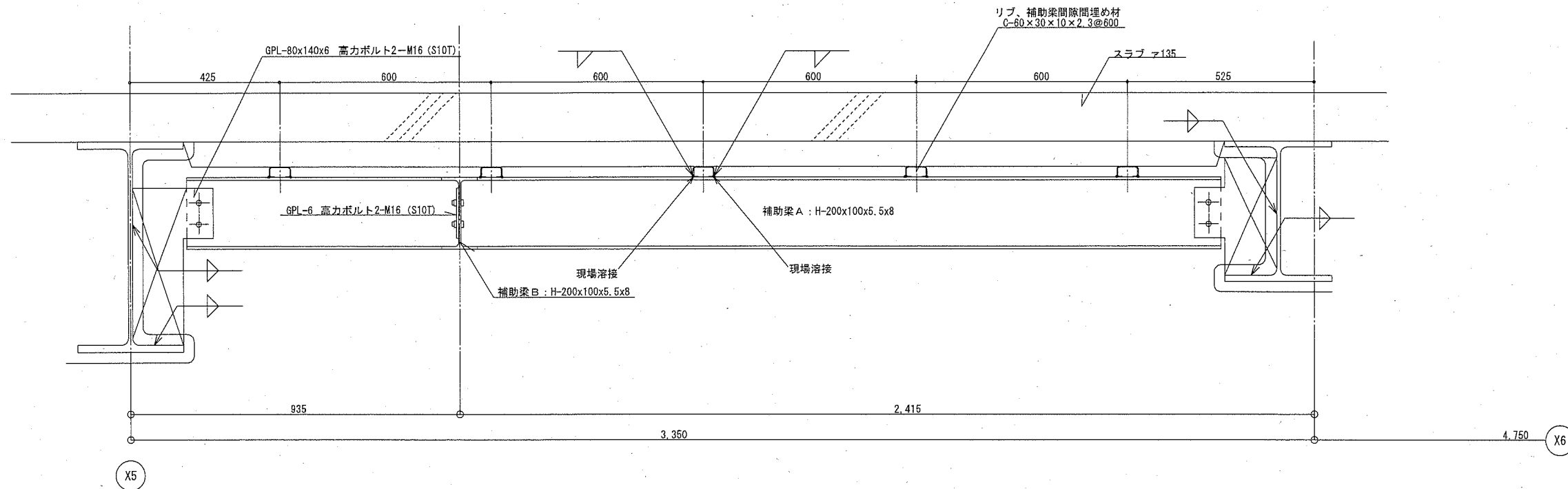
※スラブ配筋は、既存の配筋を優先とする。



B-B スラブ 復旧 配筋図 1/30

※スラブ配筋は、既存の配筋を優先とする。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/30	
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称	B棟1階 荷受・配膳室 コンクリートスラブ 復旧配筋図		1/50	
							No.	S-18



スラブ補助梁取付詳細図 1/10
(スラブ解体前に設置のこと)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 令和 2年 2月	図面名称 A棟、B棟 スラブ補助梁取付詳細図	1/10
				No. S-19	

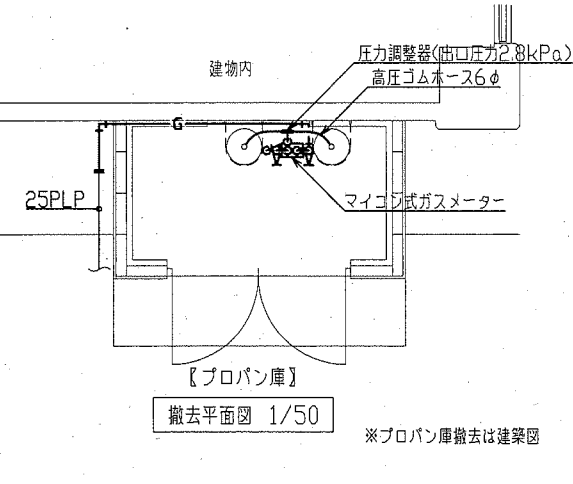
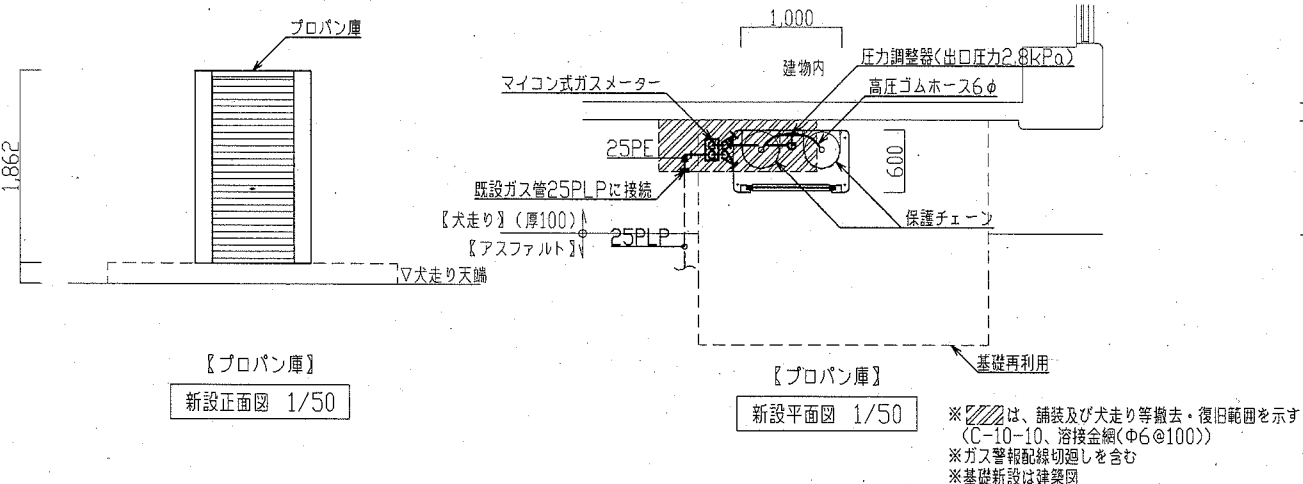
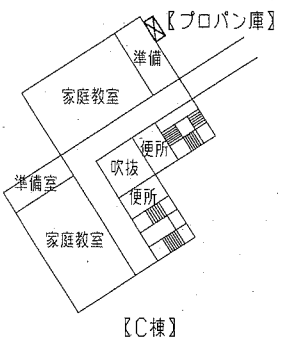
凡例

記号	名称	材質・仕様	規格・備考	保温防食塗装等
----	給水管(流注)	VB : 硬質塩化ビニルライニング鋼管(屋内一般)	JWWA K 116	GW+ALGC (c2・(ロ)・VII)
		SU : 一般配管用ステンレス鋼管(屋内隠蔽)	JIS G 3448	GW+ALGC (c2・(ロ)・VII)
		HIVP: 耐衝撃性硬質塩化ビニル管(埋設)	JIS K 6742	管廻り100mm山砂
----	排水管	VP : 硬質ポリ塩化ビニル管(屋内隠蔽)	JIS K 6741	GW+ALGC (c2・(ロ)・VII)
		VP : 硬質ポリ塩化ビニル管(土間(第一樹まで))	JIS K 6741	管上100mmまで山砂、管底突固め
----	通気管	VP : 硬質ポリ塩化ビニル管(屋内隠蔽)	JIS K 6741	
—G—	ガス管	CGP : カラー鋼管(硬質塩化ビニル被覆)(屋外露出)		
		PE : ガス用ポリエチレン管(埋設)	JIS K 6774	
—X—	消火管	SGP : 配管用炭素鋼管(屋内)	JIS G 3452	
—V—	弁類	GV : ゲートバルブ(ステンレス鋼 JIS10K)	JV 8-1	
○	水栓			
○	床上掃除口	COA : 床上掃除口(防水皿無し)		
○	床排水トラップ	TSA : 床排水トラップ(防水皿無し)		
—	通気金物			
—EA—	排気ダクト			
—PA—	排気ダクト			
—	実線(太)	改修前に於いて撤去を示し、改修後に於いて新設を示す		
—	実線(細)	既設を示す		
----	破線(細)	改修後に於いて既設を示す		

※給水管の異種管接続には電蝕防止継手を用いる

プロパン庫仕様 参考型番 ホクエイ BN-100MT (耐塩害仕様Bタイプ)

品名	材質	仕上げ
土台枠	高耐食亜鉛鋼板	ポリエステル系樹脂塗装
柱	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
壁パネル	〃	〃
母屋	〃	〃
横桟	〃	〃
屋根	高耐食亜鉛鋼板	〃
シャッター	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
レール	亜鉛メッキ鋼板	〃
アンカーボルト	SUS304	



器具表(新設)

名称	仕様・付属品	型番(A社)	型番(B社)	A棟		B棟				合計	
				2階 配膳室	3階 配膳室	1階 配膳受・ 配膳室	2階 配膳室	3階 配膳室	4階 配膳室		
洗面器	洗面器、自動水栓、Pトラップ、壁給水	L210C、TENA40A	L-176UEC、AM-140C			1					1
自在水栓(流し用)	F10A 泡沫 スパウトL=170	T131SUN13C	LF-16F-13	1	1	1	1	1	1		6

機器表(新設)

記号	機器名称	仕様	電源容量			台数	設置場所	備考
			相(φ)	電圧(V)	容量(kW)			
FE-1	壁付換気扇	形式: 格子タイプ・電気式シャッター 能力: 30cm×1,360m³/h×10Pa 付属品: SUS製ウェザーカバー(防鳥網付)、他標準付属品一式	1	100	40W	1	B棟1階高受・配膳室	スイッチは電気工事
FE-2	壁付換気扇	形式: 格子タイプ・電気式シャッター 能力: 20cm×260m³/h×10Pa 付属品: SUS製ウェザーカバー(防鳥網付)、他標準付属品一式	1	100	15.5W	1	B棟1階ホール(荷揚室)	スイッチは電気工事
FE-3	天井換気扇	形式: 天井埋込(低騒音形) 能力: 150φ×260m³/h×30Pa 付属品: SUS製深形フード(ガラリ付)、他標準付属品一式	1	100	31W	1	A棟1階ホール(荷揚室)	スイッチは電気工事
FE-4	天井換気扇	形式: 天井埋込(低騒音形) 能力: 150φ×300m³/h×20Pa 付属品: SUS製深形フード(ガラリ付)、他標準付属品一式	1	100	31W	5	A棟2・3階配膳室 B棟2~4階配膳室	スイッチは電気工事
	給気用ウェザーカバー	形式: 30cm SUS製(防鳥網付) 付属品: SUS製エアフィルターユニット付				1	B棟1階高受・配膳室	

機器表(撤去)

記号	機器名称	仕様	電源容量			台数	設置場所	備考
			相(φ)	電圧(V)	容量(kW)			
FE-5	壁付換気扇	形式: 格子タイプ・電気式シャッター 能力: 20cm 付属品: 樹脂製ウェザーカバー	1	100	-	1	B棟1階作業室	
FE-6	天井換気扇	形式: 天井埋込(低騒音形) 能力: 100φ 付属品: ベントキャップ	1	100	-	1	A棟2階印刷室	

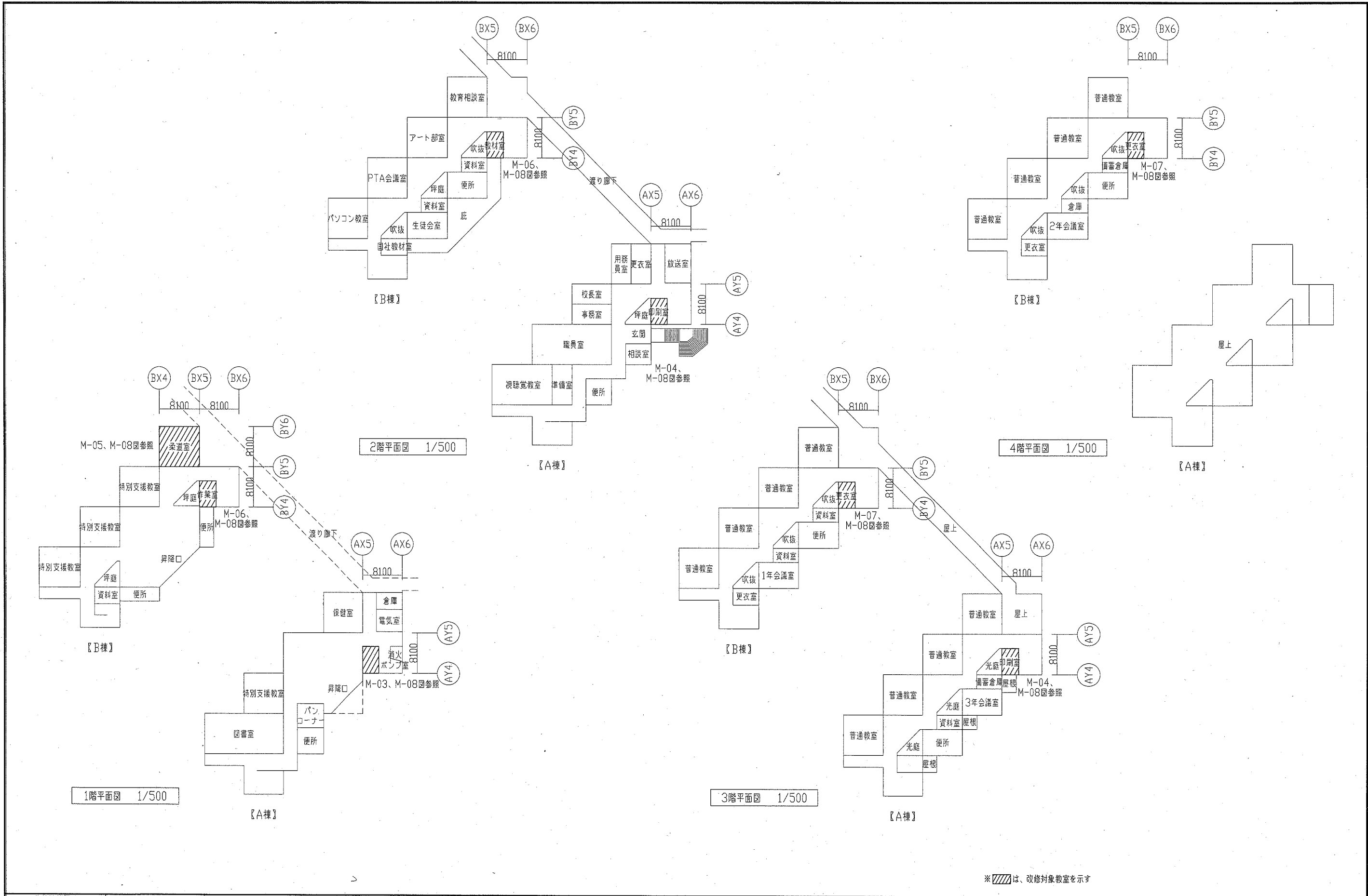
公共建築課長



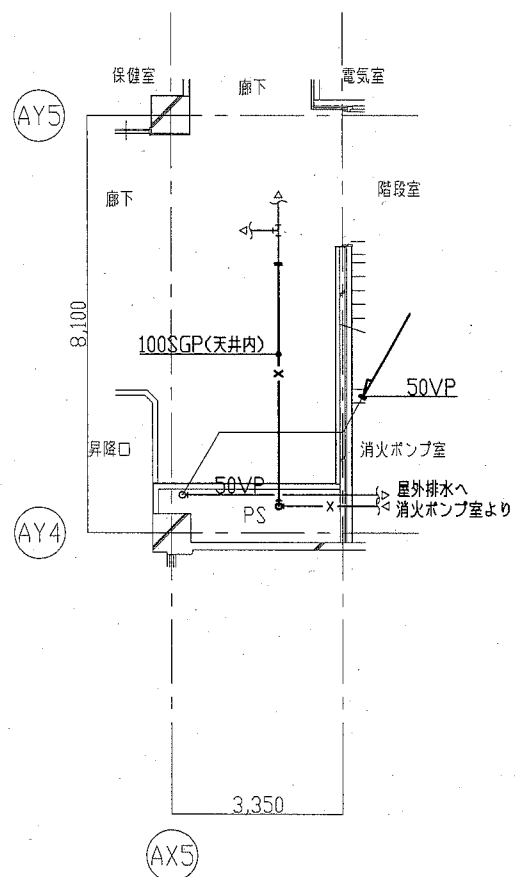
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 凡例・器具表・機器表・プロパン庫改修図

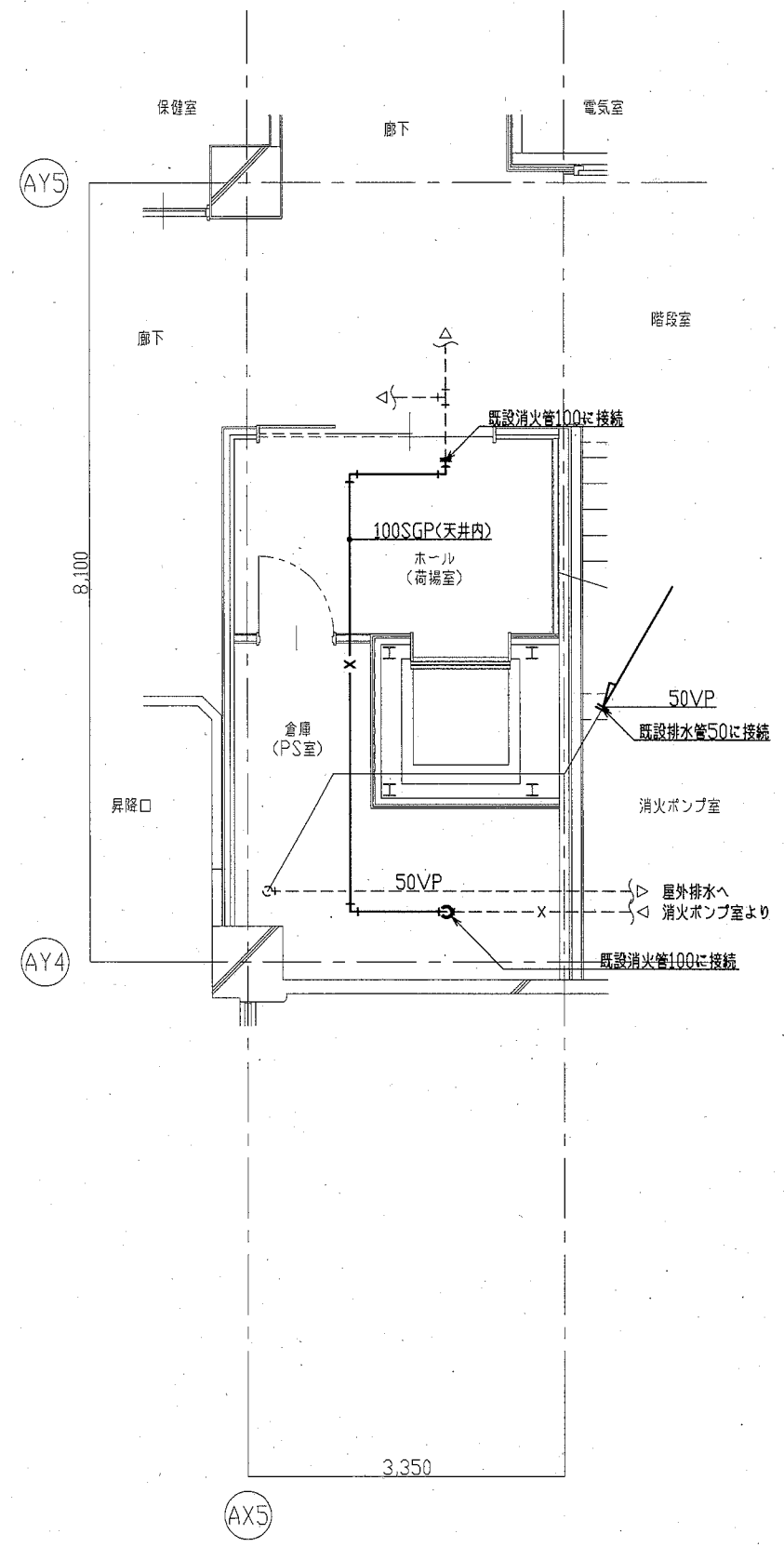
縮尺 A2 N.S.1/50 M-01 No.



公共建築課長 	主査等 担当者	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 令和2年2月	工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事 図面名称 各階平面図	縮尺 A2 1/500 M-02 No.
-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------	--------------------------------	----------------------------------------	-------------------------------



A棟1階平面図(改修前) 1/100



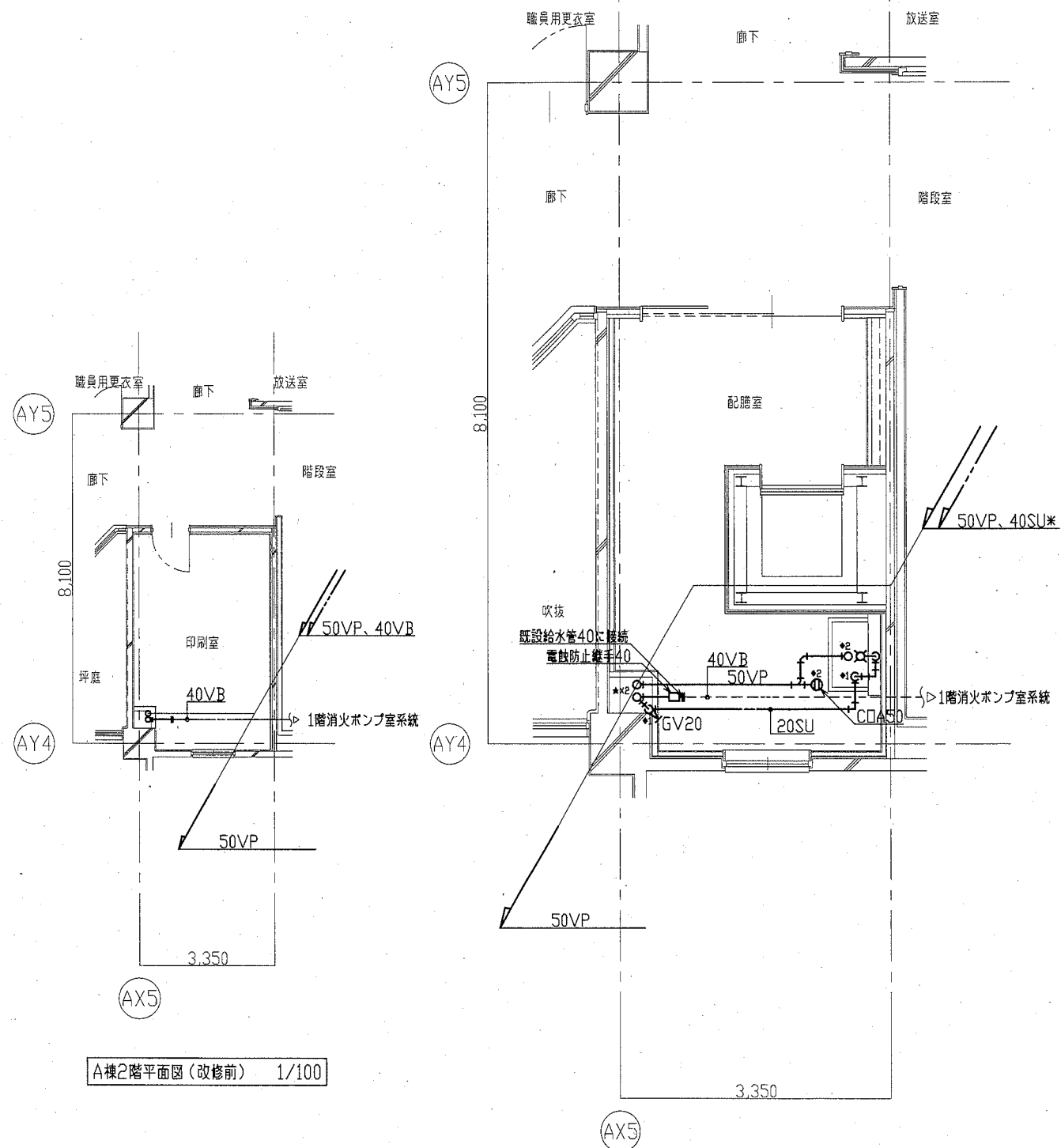
A棟1階平面図(改修後) 1/50



横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和2年2月

工事名称 市長沢中学校昇降機設置建築その他工事
 図面名称 衛生設備A棟1階平面図(改修前・後)

縮尺
 A2 1/50,
 1/100
 M-03
 No.



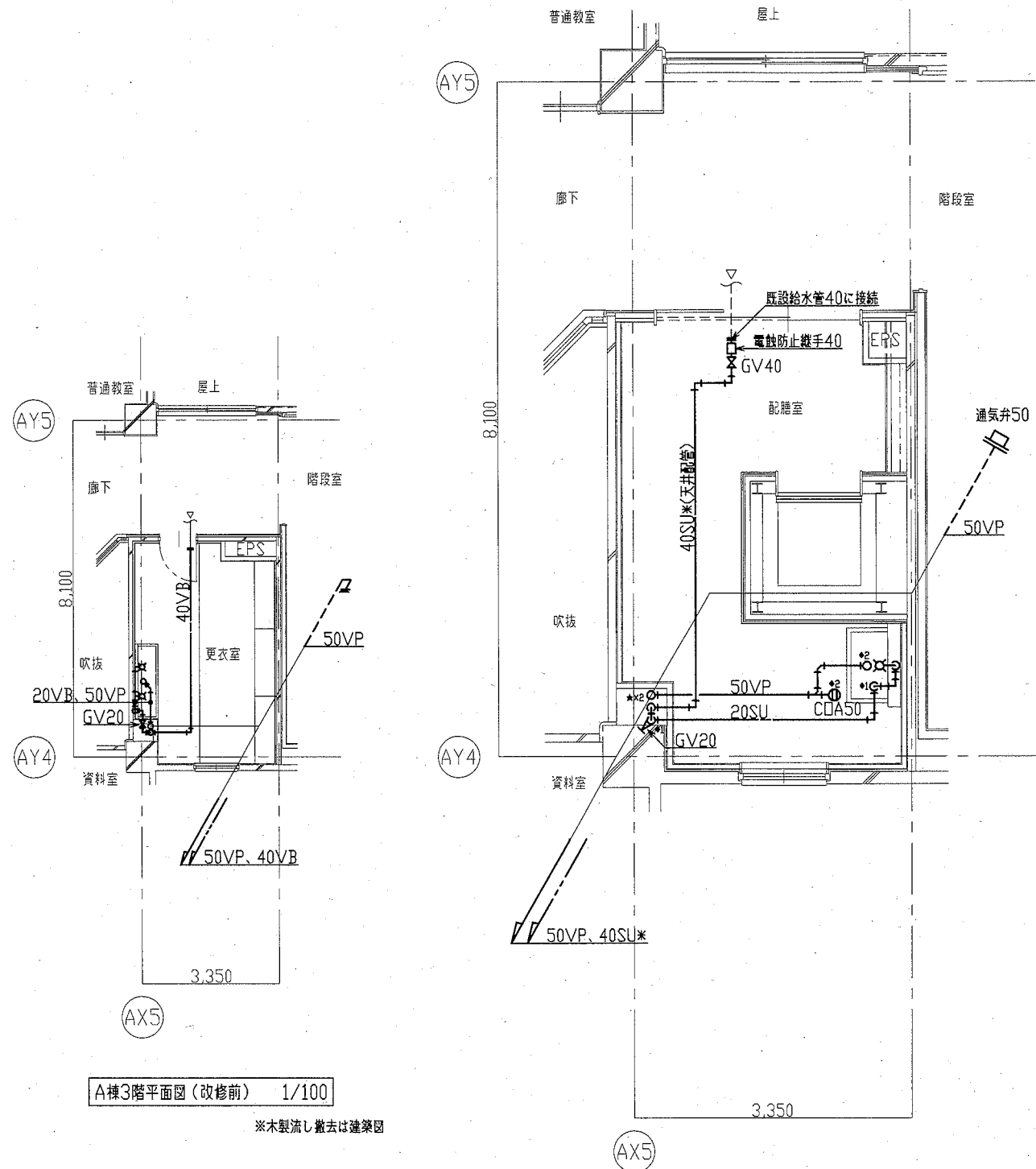
A棟2階平面図(改修前) 1/100

A棟2階平面図(改修後) 1/50

※SUS製流し設置は建築図
※40SU※は先行配管とする

コア抜き サイズ	数量
50mm *1	2
88mm *2	2

*は既設費通部再利用



A棟3階平面図(改修前) 1/100

A棟3階平面図(改修後) 1/50

※SUS製流し設置は建築図
※40SU※は先行配管とする

コア抜き サイズ	数量
50mm *1	2
88mm *2	2

*は既設費通部再利用

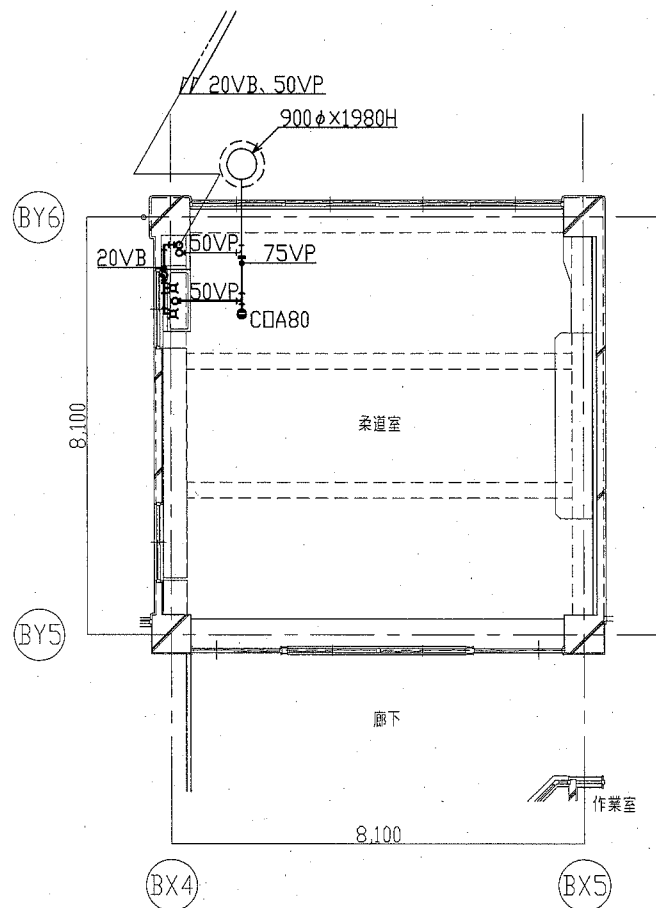
※木製流し撤去は建築図



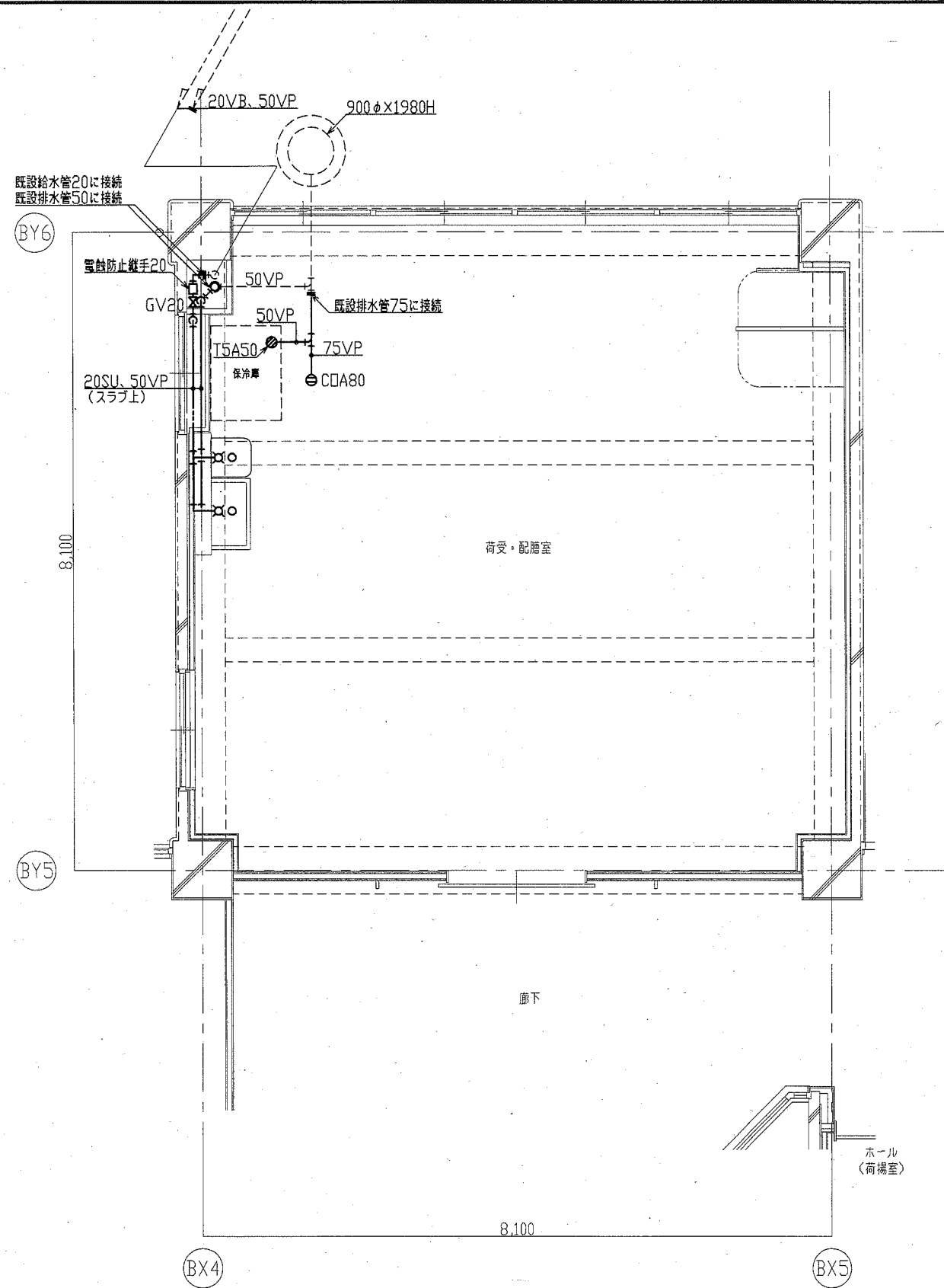
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 衛生設備A棟2・3階平面図(改修前・後)

縮尺 A2 1/50, 1/100
M-04
No.



B棟1階平面図(改修前) 1/100



B棟1階平面図(改修後) 1/50

公共建築課長

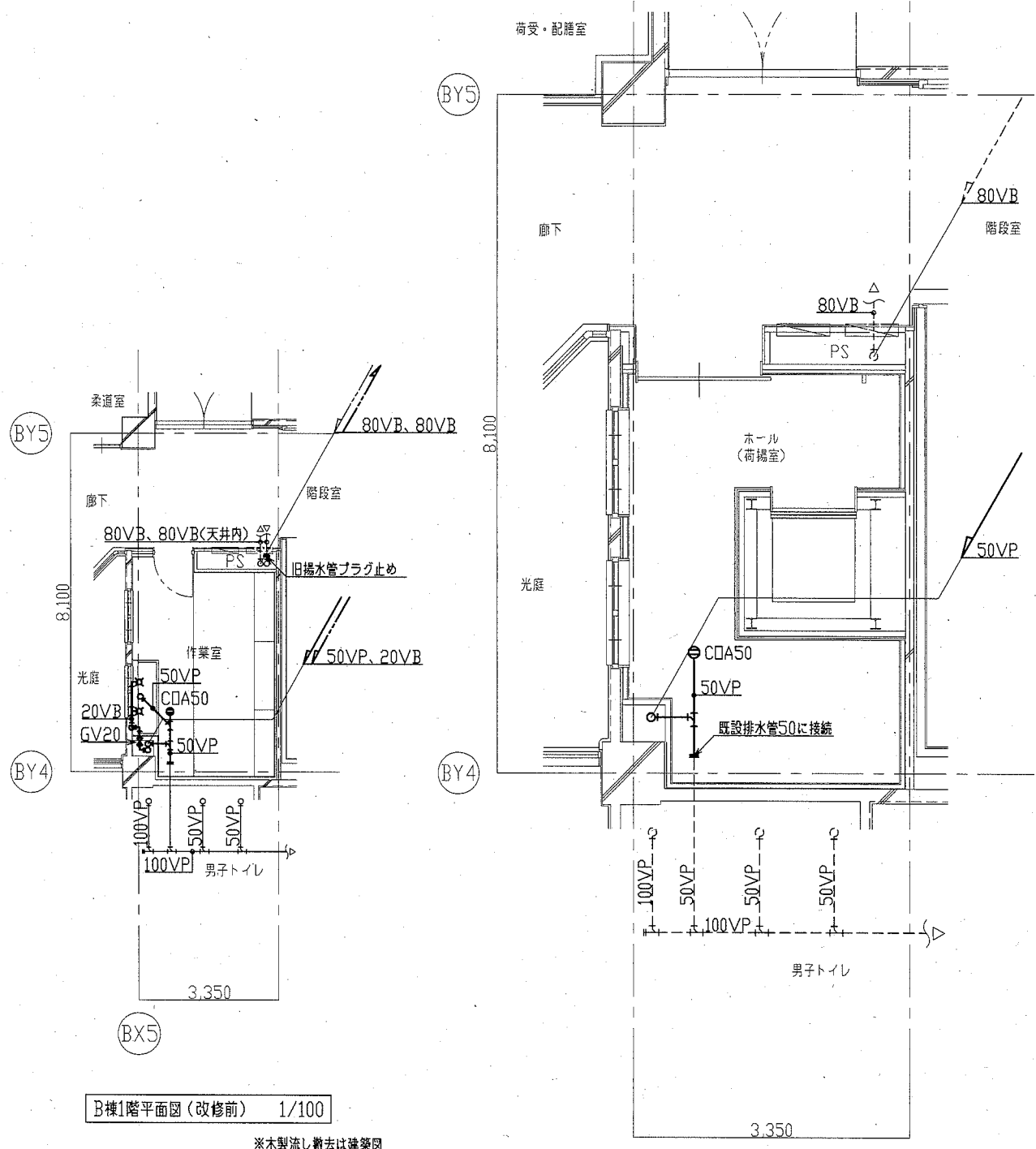


横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 衛生設備B棟1階平面図(改修前・後)

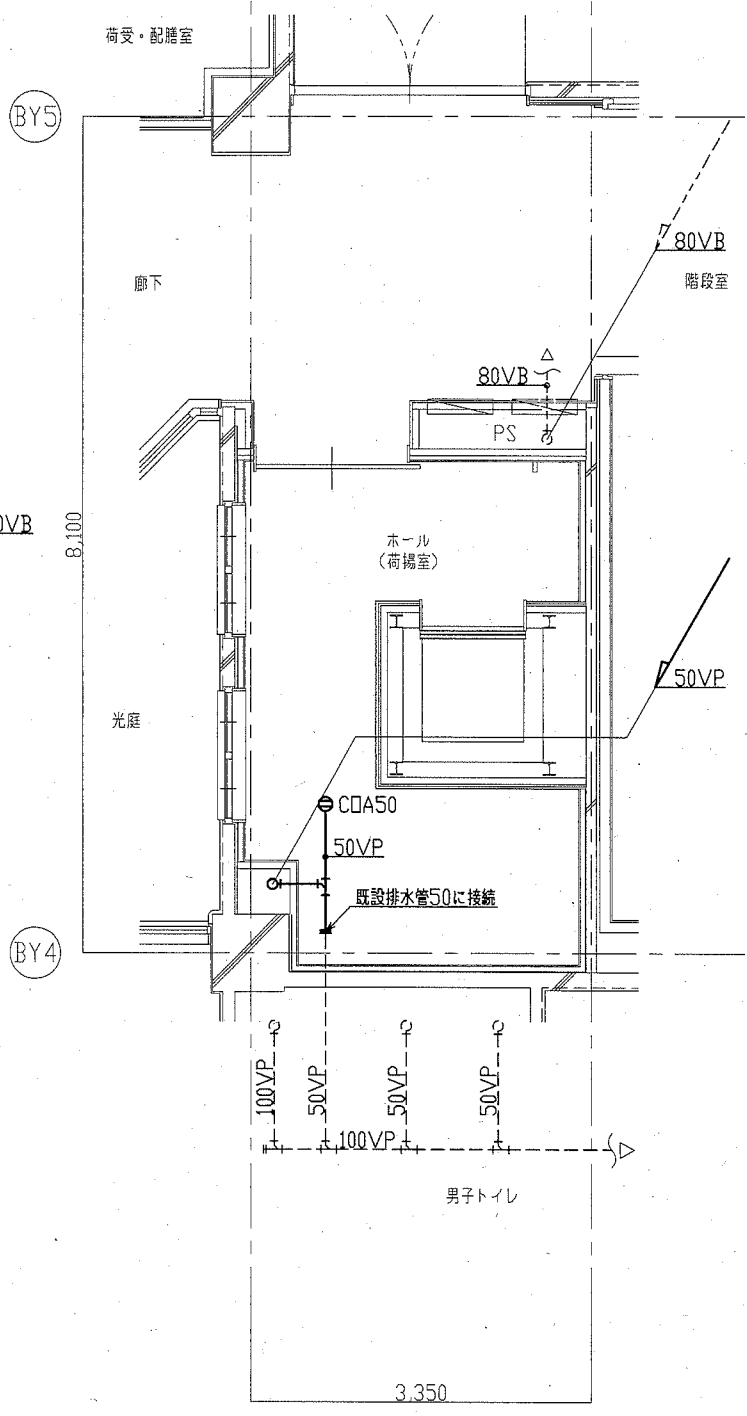
縮尺
A2 1/50,
1/100

M-05
No.



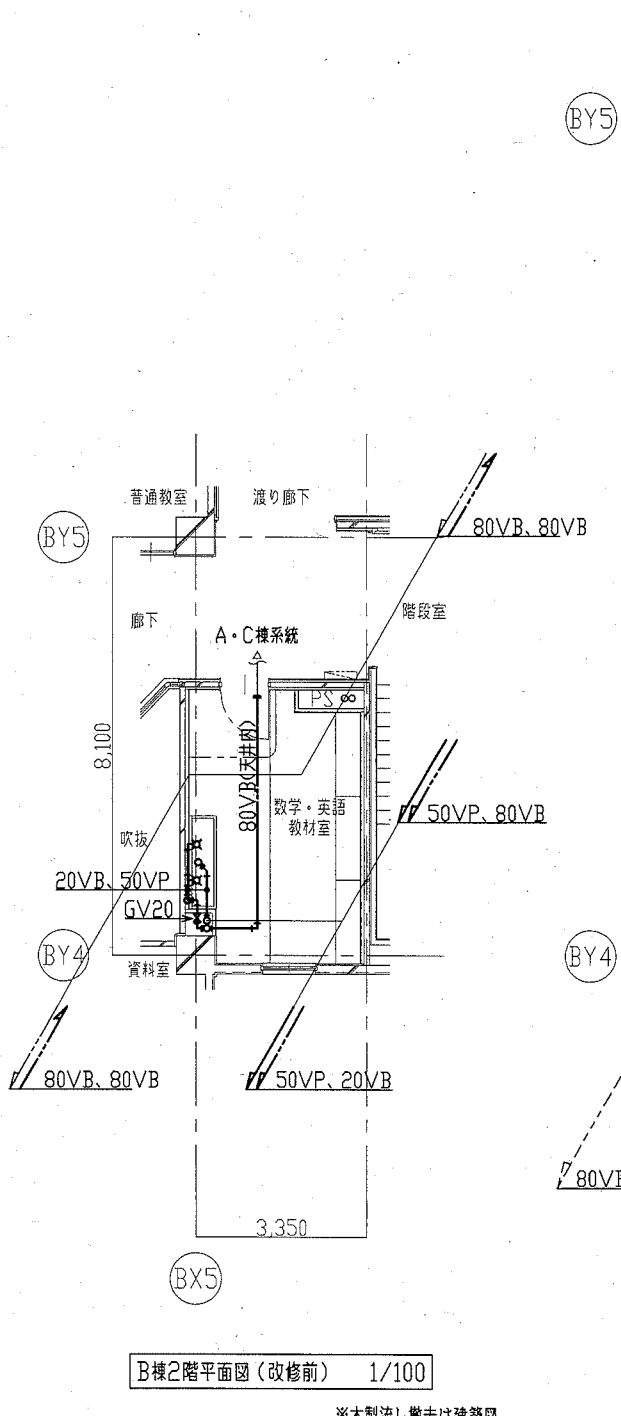
B棟1階平面図(改修前) 1/100

※木製流し撤去は建築図



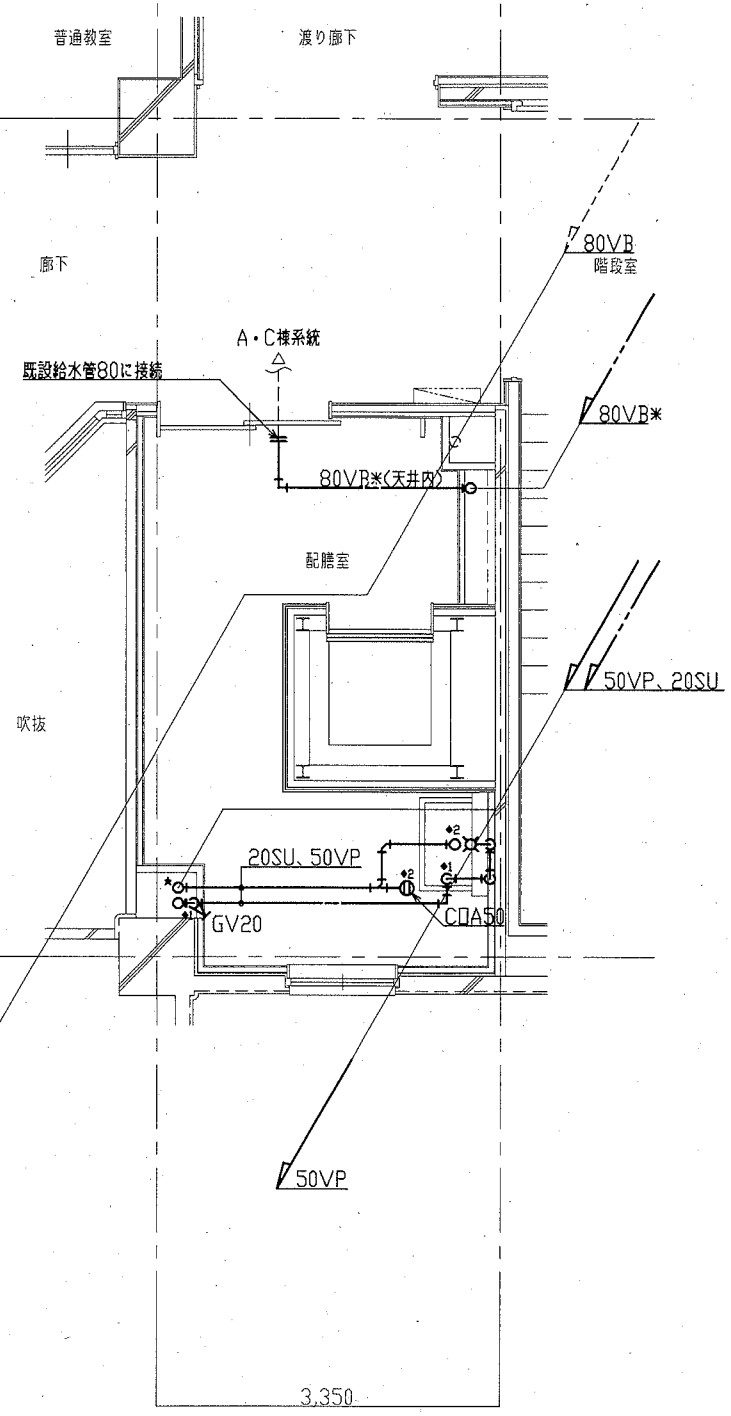
B棟1階平面図(改修後) 1/50

※SUS製流し設置は建築図



B棟2階平面図(改修前) 1/100

※木製流し撤去は建築図



B棟2階平面図(改修後) 1/50

※SUS製流し設置は建築図
※80VB*は先行配管とする

コア抜きサイズ	数量
50mm φ1	2
88mm φ2	2

★は既設貫通部再利用

公共建築課長

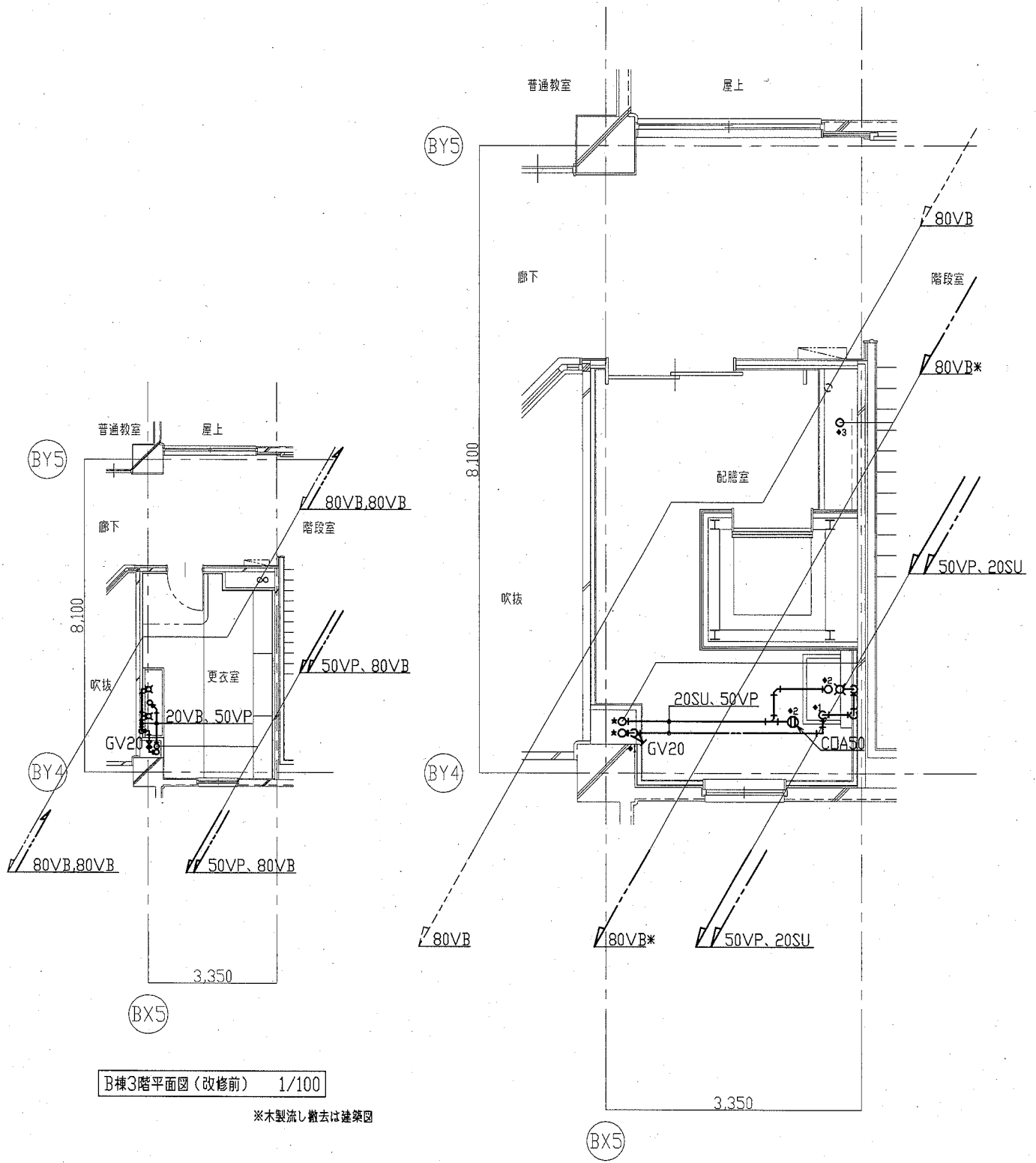


横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 衛生設備B棟1・2階平面図(改修前・後)

縮尺
A2 1/50,
1/100

M-06
No.

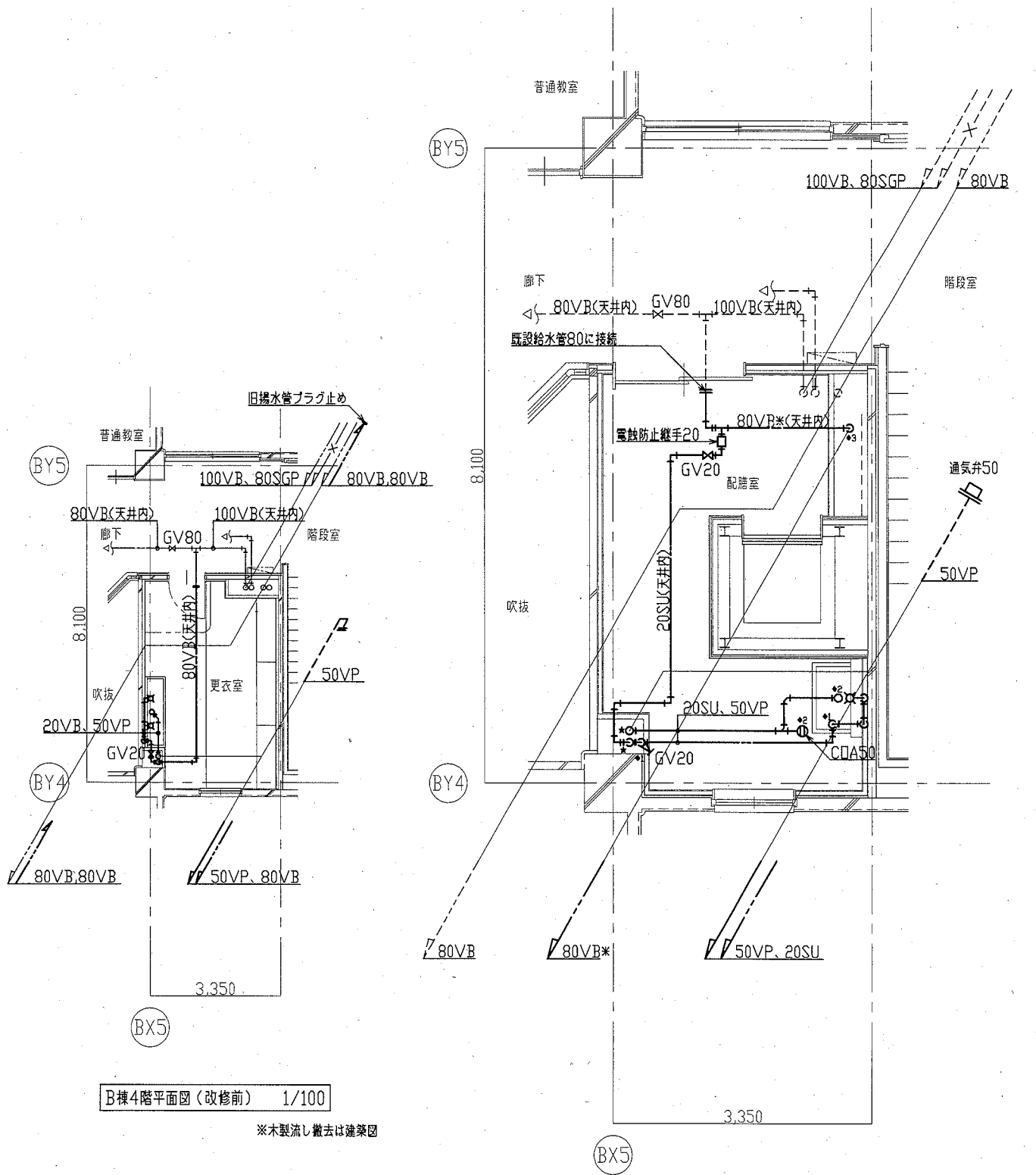


B棟3階平面図(改修前) 1/100

※木製流し撤去は建築図

B棟3階平面図(改修後) 1/50

※SUS製流し設置は建築図
※80VB*は先行配管とする



B棟4階平面図(改修前) 1/100

※木製流し撤去は建築図

B棟4階平面図(改修後) 1/50

※SUS製流し設置は建築図
※80VB*は先行配管とする

コア抜きサイズ	数量
50mm #1	2
88mm #2	2
125mm #3	1

*は既設貫通部再利用

コア抜きサイズ	数量
50mm #1	2
88mm #2	2
125mm #3	1

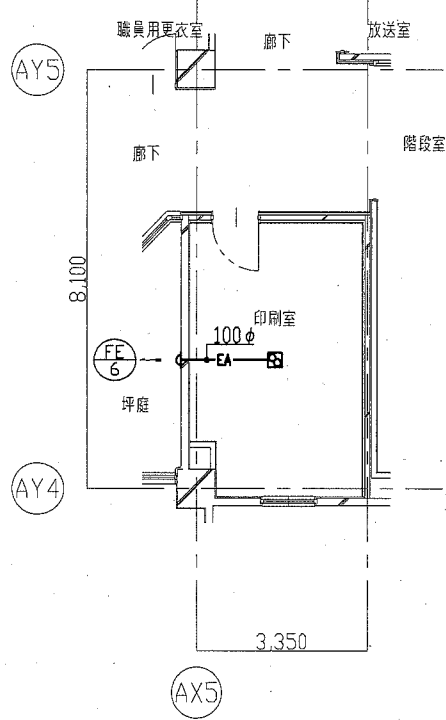
*は既設貫通部再利用



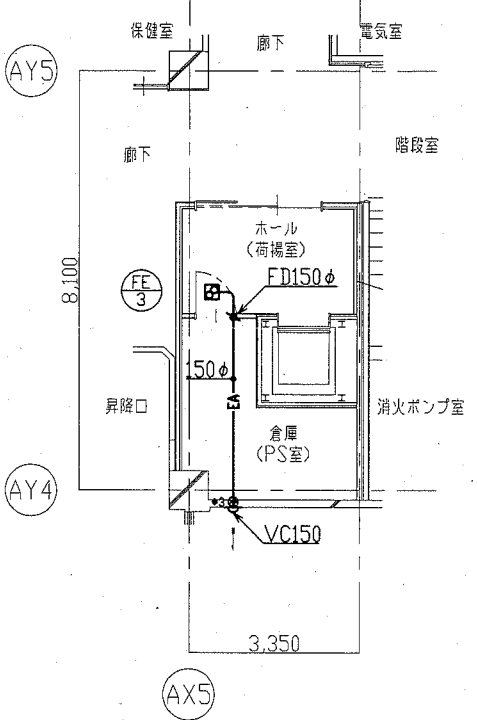
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

工事名称 市立長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 衛生設備B棟3・4階平面図(改修前・後)

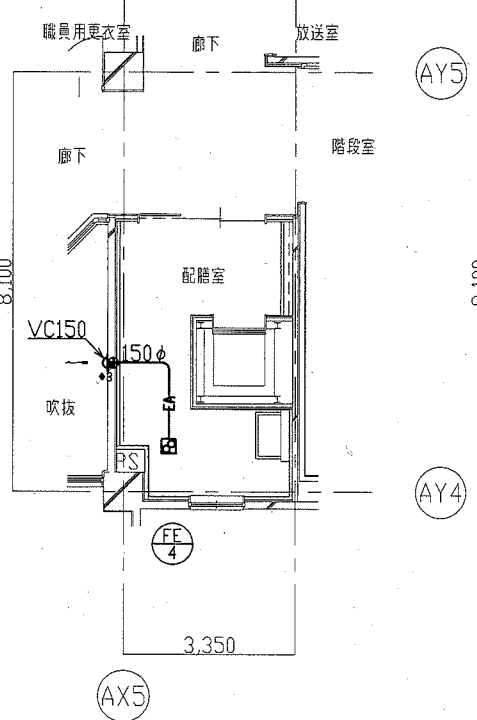
縮尺 A2 1/50, 1/100
M-07 No.



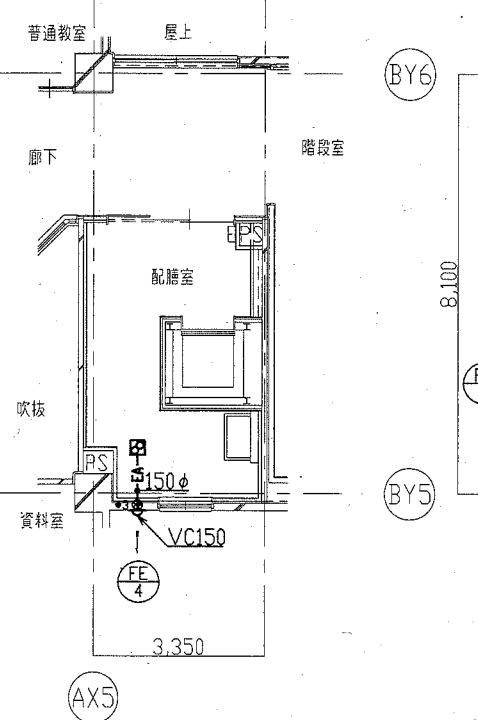
A棟2階平面図(改修前) 1/100



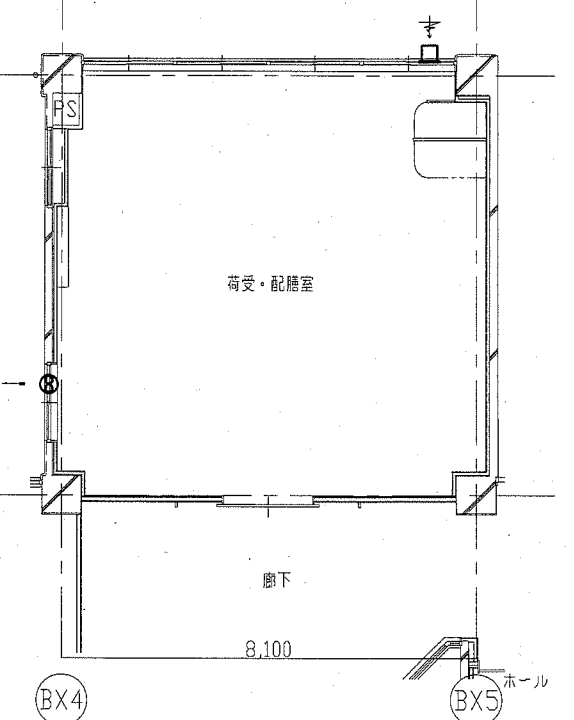
A棟1階平面図(改修後) 1/100



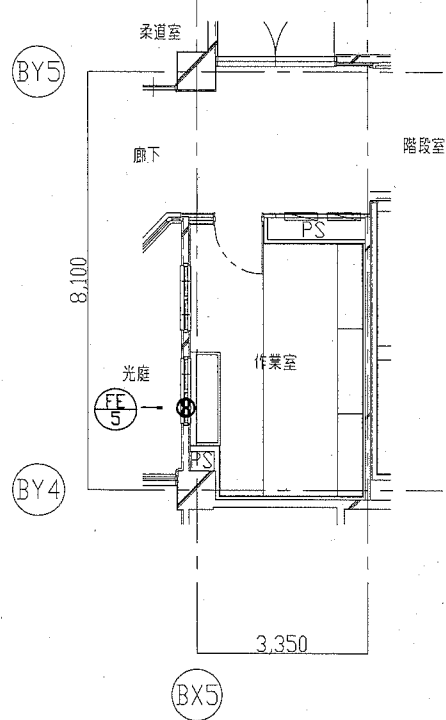
A棟2階平面図(改修後) 1/100



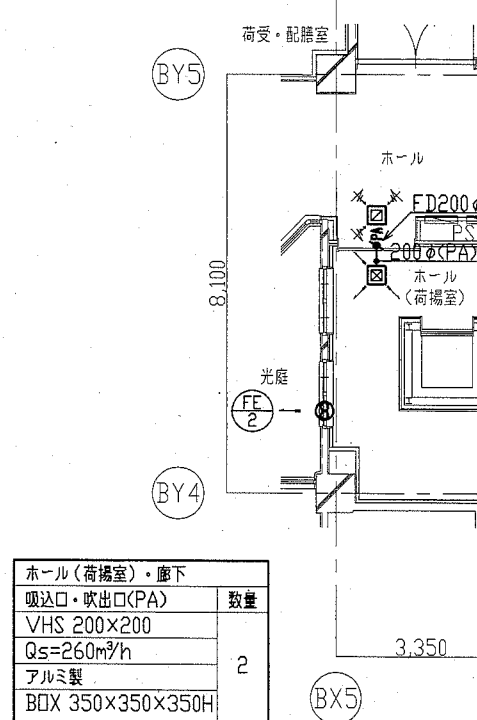
A棟3階平面図(改修後) 1/100



B棟1階平面図(改修後) 1/100

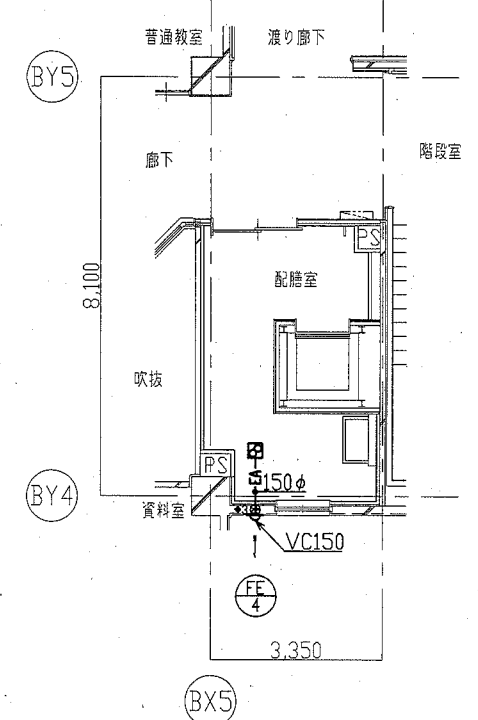


B棟1階平面図(改修前) 1/100

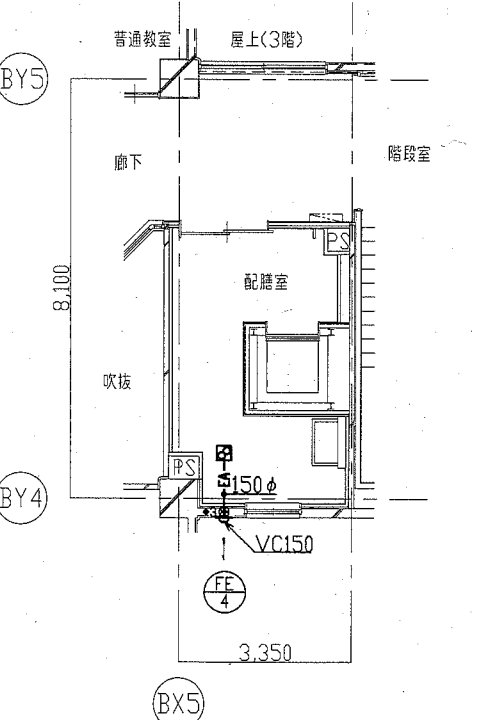


B棟1階平面図(改修後) 1/100

ホール(荷揚室)・廊下	数量
吸込口・吹出口(PA)	2
VHS 200×200	
Qs=260m³/h	
アルミ製	
BDX 350×350×350H	



B棟2階平面図(改修後) 1/100



B棟3・4階平面図(改修後) 1/100

コア抜きサイズ	数量
50mm *1	-
88mm *2	-
200mm *3	6

※壁付換気扇は新設アルミパネル(建築図)に設置



横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

工事名称 市長沢中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 空調設備各階平面図(改修前・後)

縮尺 A2 1/100
M-08
No.